

三宮センター街三十年史

三宮センター街連合会

三宮センター街三十年史

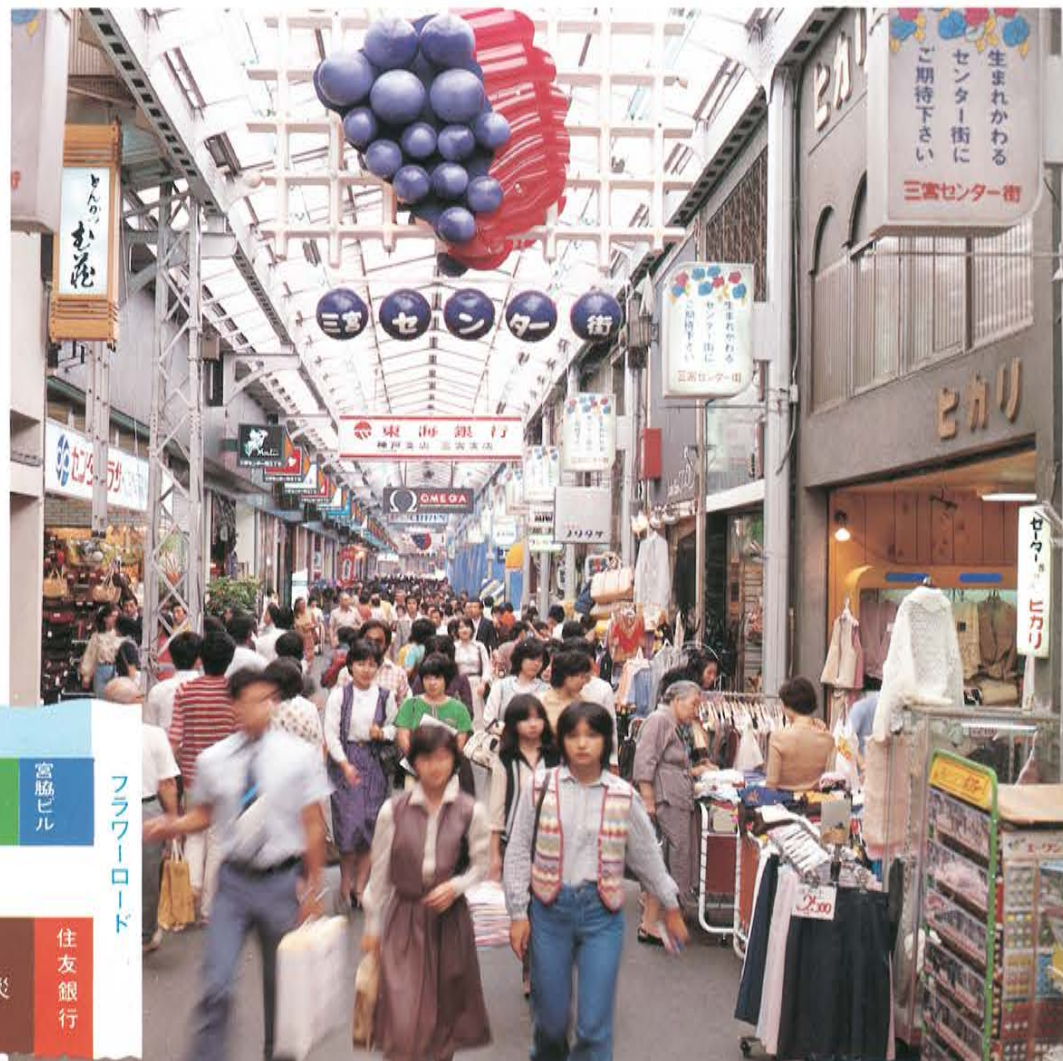
三宮センター街三十年史





▲センター街1丁目

▼センター街2丁目



さんプラザ

ユーハイム  
コンフェクトビル

スタイルビル

宮脇ビル

フラワースロード

(2区)

(1区)

さんセンター

第1防災

第5防災

住友銀行

京町筋



▲センター街西入口



▲センター街東入口

▼センター街3丁目

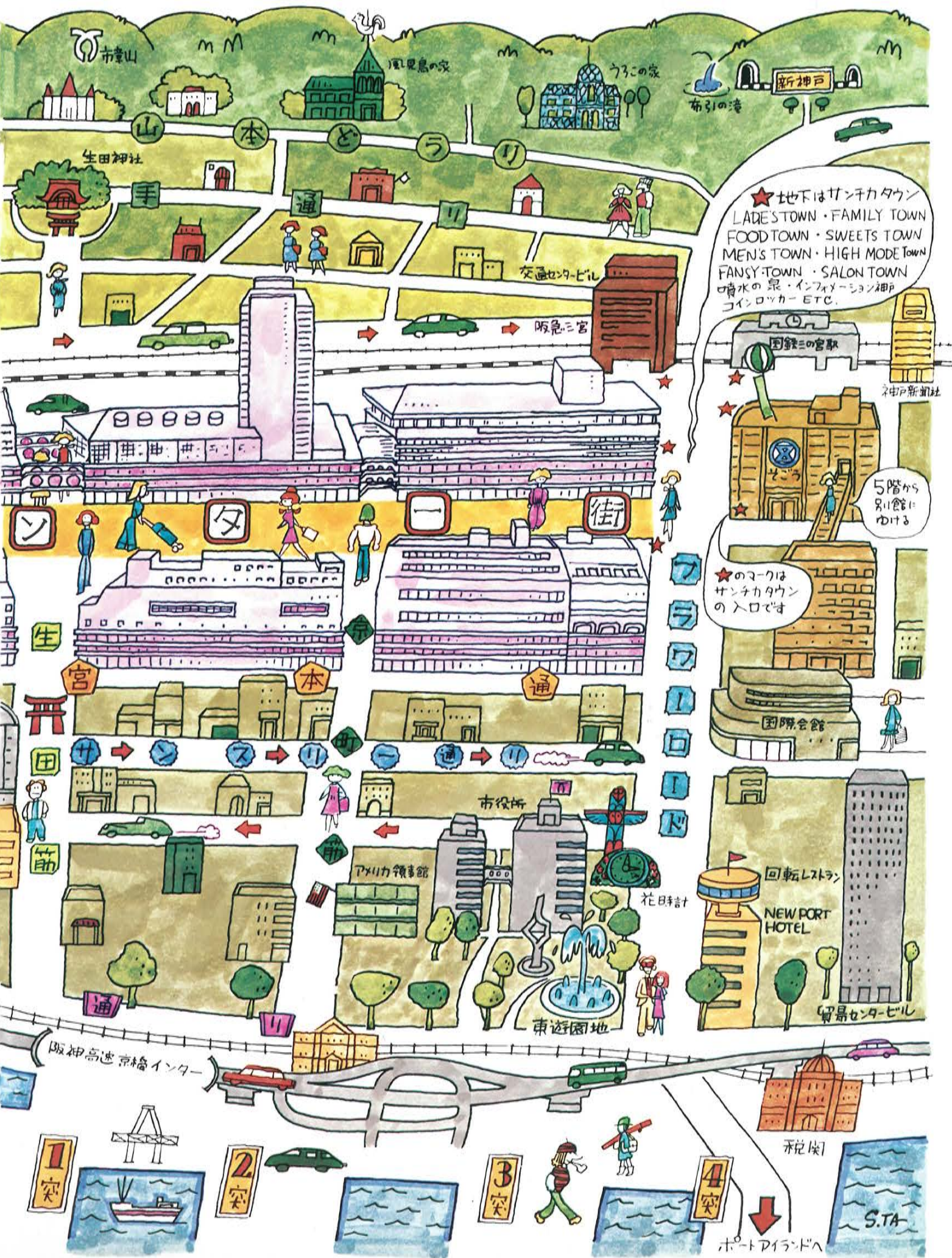


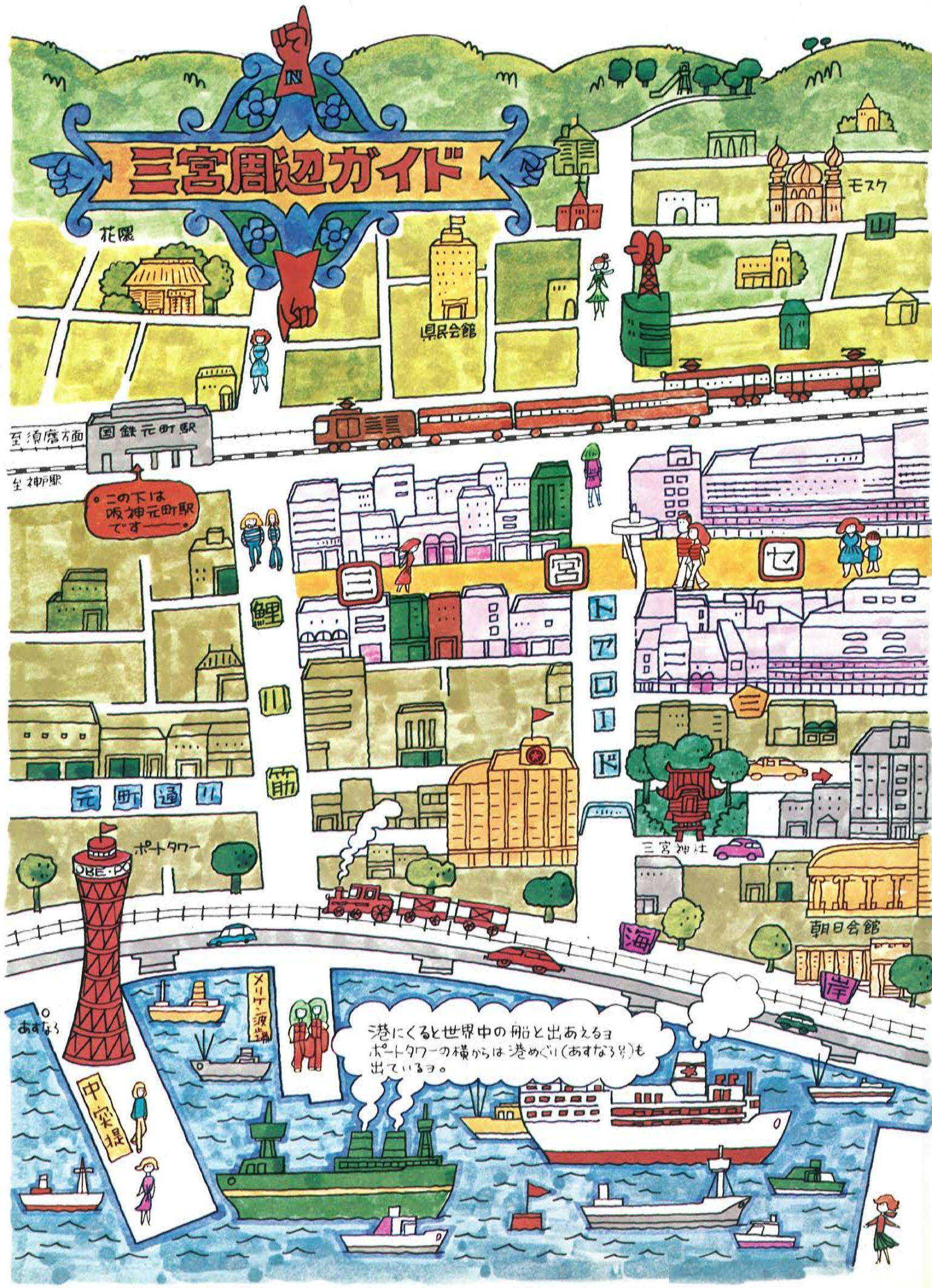
▼1丁目



川西英先生作(月刊センターNo.80表紙)









▲創立20周年を祝い賑やかに三宮センター街をパレード(.41.4.6)

▼三宮センター街創立20周年祝典会場受付



▼華やいだ会場風景

▼長沢堅次連合会長より表彰を受ける  
晴れの町会の功労者たち



月刊センター創刊20周年 (S.50.5.27)  
坂井知事さんの祝辞と辻久子先生の特別演奏





上・センター街の氏神様生田神社の春祭で12年ぶりに三宮地区が奉仕当番。かわいい稚児さんの記念撮影。(S .46.4.14.~16)

中左・三宮神社春祭奉仕当番役員の勢揃い。中央は清水宮司、祭典委員長坂本正三氏。(S .48)

中右・センター街を行く生田祭り。(S .46)

下・婦人部の奉仕もお祭りにかかせない。





▲善意の日のチャリティセール(S.42.6.1 大洋劇場前で)



▲6月1日兵庫県善意の日、センター街でアピールする金井知事さん、行政猛男さん。

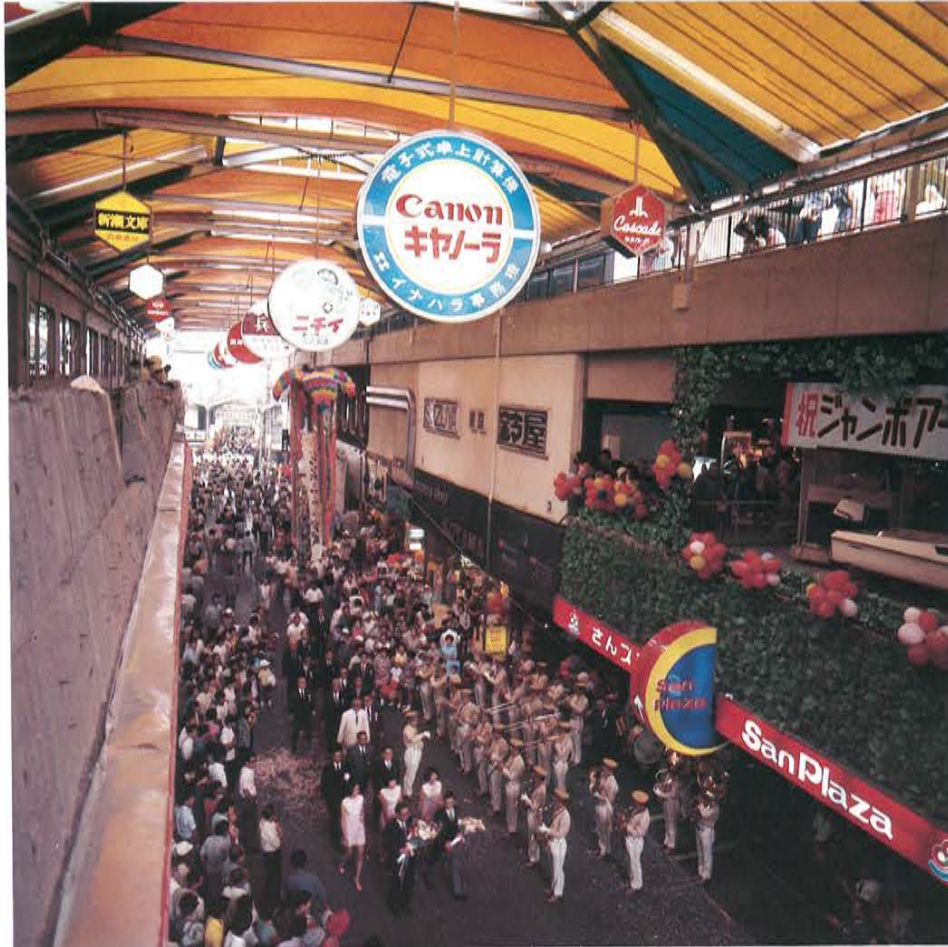


▲柳筋がセンター街へ加盟したことを祝って行われたチャリティセール。オークションには横山ノック氏(参議院議員)、奥田博之氏(ラジオ関西)も応援に(上田ビル工事現場前で S.44.4)



▼6月1日のチャリティセール  
(下はS.46 大洋劇場前、左は星電社前で)





▲さんプラザ完成まで仮設店舗で不自由をしのいだ(S. 45. 4)

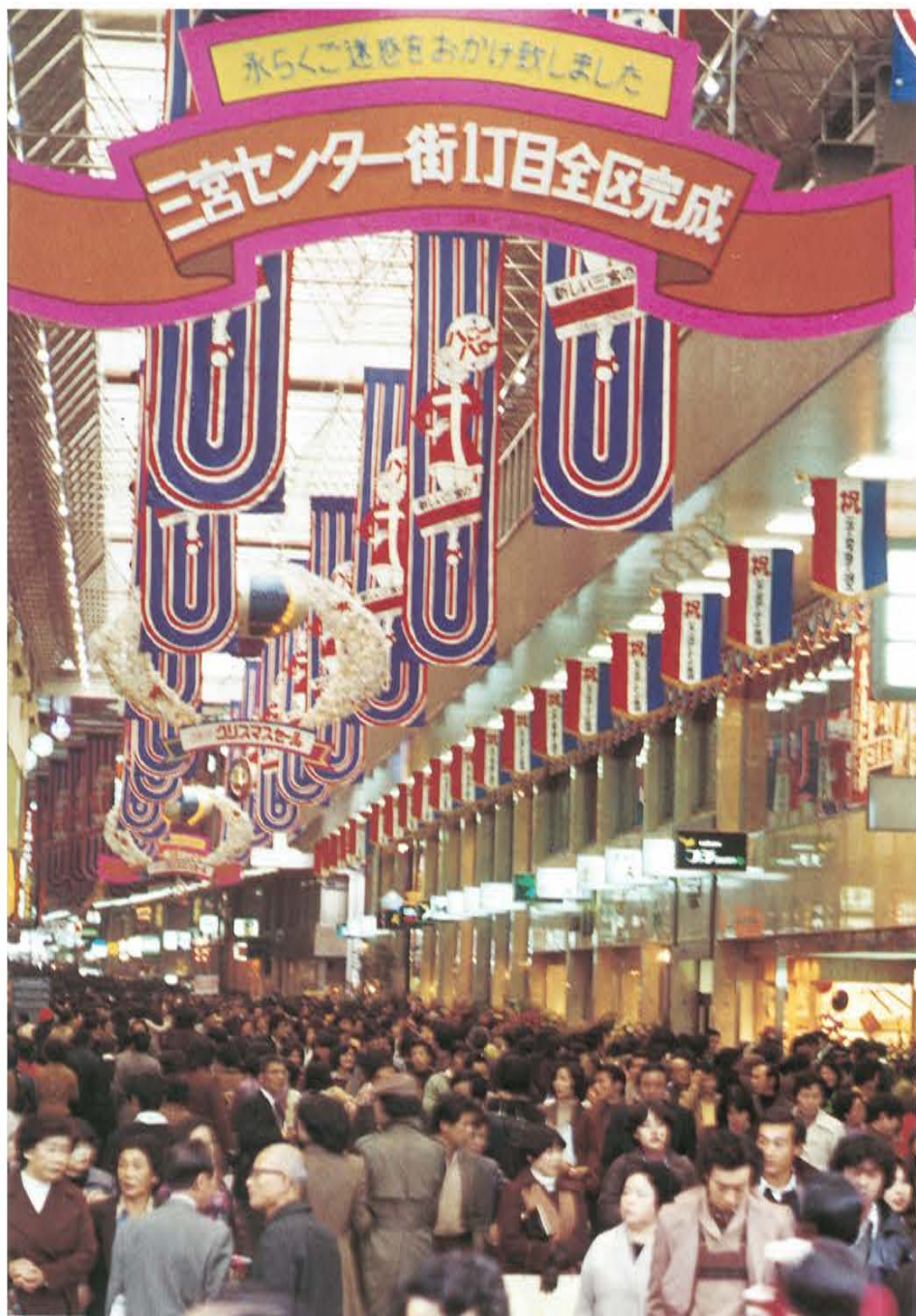


▶さんプラザ竣工式。金井兵庫県知事、宮崎市長らの臨席で三宮再開発第一号ビルのオープンを祝った。左は祝賀式(S. 45. 4)  
▲ジャンボアーケード完成ノ喜びのパレードをする1丁目役員(S. 46. 9)

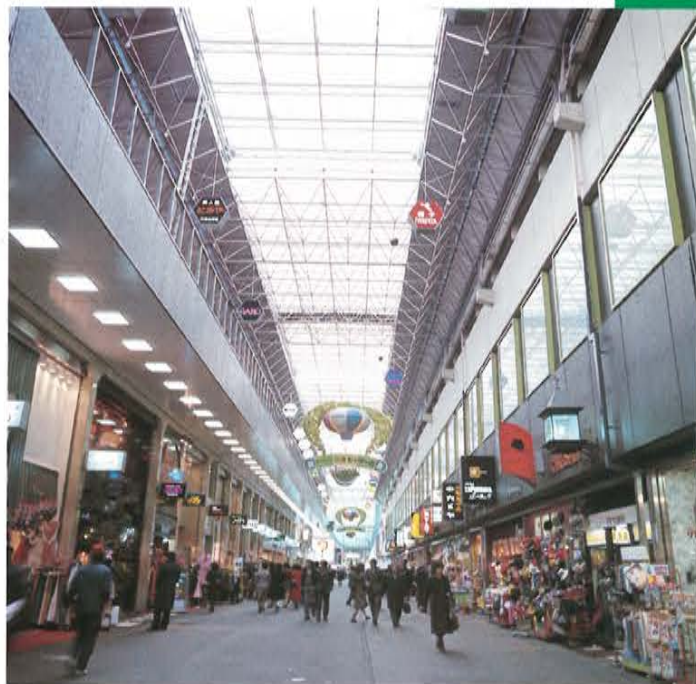


▼さんセンター工事中。センター街再開発事業の第一号、第一防災の工事現場(S. 43. 12)  
▶珍しく雪におおわれたさんプラザ工事現場(S. 44. 2)





ニューセンタービルとセンター街1丁目のジャンボアーケード完成祝賀会が盛大に行われた(S.51.12.3) 続いて翌年5月センター街1丁目全区完成。新しい三宮を待ちかねた人々で11メートルの道も人で溢れた。





右上・センタープラザ完成、宮崎市長のテープカットでオープン (S .50.7.26)  
右下・センタープラザ完成間近の1丁目風景



▲センタープラザ西館オープン (S .53.3)

▲センタープラザ自慢の吹き抜け中央の鏡の広場

▶センタープラザオープンを祝うアーチ (生田筋)

▼センタープラザとセンタープラザ西館を結ぶ生田筋のブリッジ





▲同じくチャリティショーとして即席似顔絵コーナーを開設。  
 ▲神戸カーニバル前夜祭、ウインドウラークが  
 展覧(S・42)

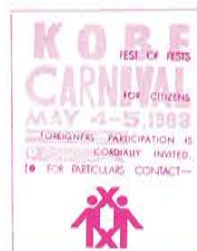


▲神戸まつり、三宮トリオのフレッシュ大行進(S・49.5)

◀神戸まつりの装飾(S・51.5)

▶神戸カーニバルのパレード(S・43.5)

▼神戸カーニバルでビル工事の壁面をらくがき広場に開放。人気を呼んだ(S・42.5)





▶神戸まつりにジャンボラクガキコーナー  
が出現。大人気(S .46.5)

▼フラワーロードを行進する三宮トリオ  
(S .51.5)



◀神戸カーニバルで長沢連合会長を先頭にパ  
レードする。(S .42.5)

▼三宮トリオなかよし大行進(S .51.5)



三宮センター街  さんちかタウン  そごう





▲S .49正月 ▶S .52.12 クリスマスセール



▼S .39.10 東京オリンピック



▶43・2万博の年(そごう)



▶47・7



▶47・3





▲ S.47.1 新春風景



▲ S.49.7 さわやか夏のページェント



▲ S.47.1 デラックスバーゲンセール



▲ S.46.7 三宮ハワイアンセール

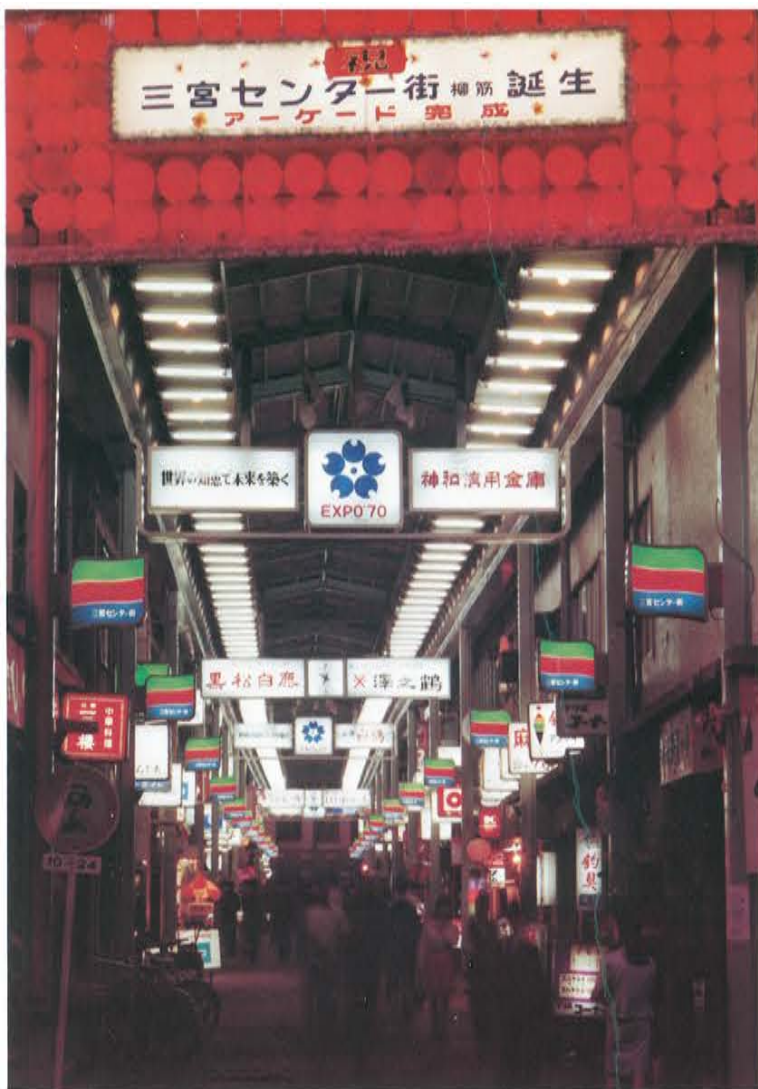
▼ S.43.8 サンノミやお中元セール サンノミヤ



▲ S.47.5 神戸



▼ S.48.4 スプリングフラワー

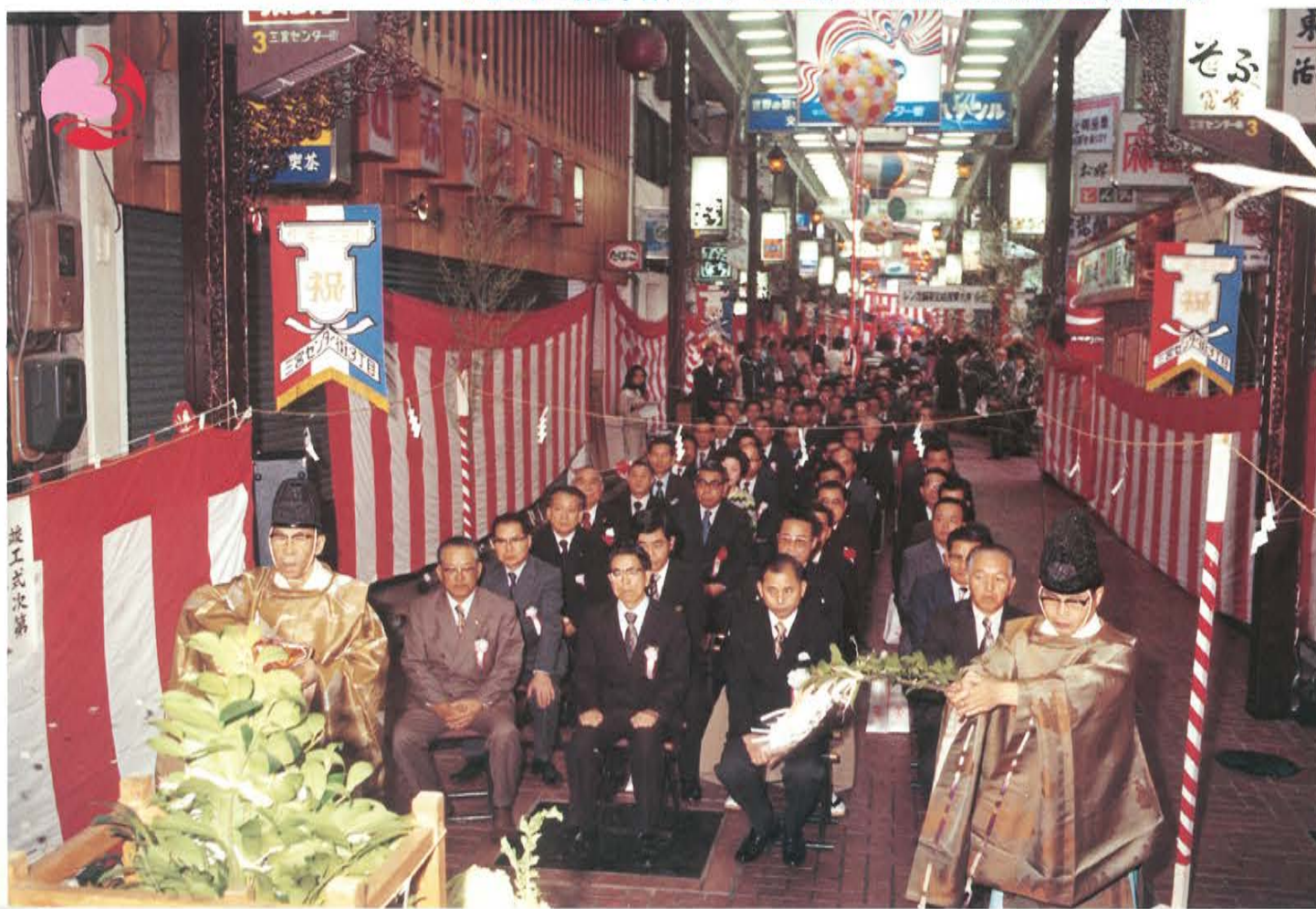


昭和53年11月完成を目指す三宮センター街  
2丁目浜側、三宮11街区東共同ビル工事現場



▲柳筋がセンター街3丁目として連合会に加盟した(S .44.4)

▼センター街3丁目(センター三三街)レンガ舗装完成の竣工式(S .51.10)



# 「三宮センター街三十年史」発刊ご挨拶



三宮センター街連合会

会長 岸 野 利 男

三宮センター街創立三十年史の発刊に当り、誠に感慨深いものがあります。

戦後間もない昭和二十一年、焦土を整地し、ともかく店舗をつくり、人集めが第一と各店主が相寄り、あの手この手と企画を重ね、当時ハイカラと言われた「三宮センター街」と命名した街は爾来、三十年間こうした諸先輩並びに各店主方の努力の集積で発展に次ぐ発展、今神戸一の大ショッピング街としてその名前は全国に知られており、今後の責務を痛感する次第であります。

都市改造と再開発事業により、このセンター街も高層立体化を遂げ、三十年前の面影とは全く一変いたしました。二十一世紀を迎えるこれからの街づくりとして、私たちは諸先輩の残された実績と努力の賜物を大切に引き継ぎ、近代化商店街としてお客様に愛される街、ファッションの街としてグレードアップに専念して、今後日本一の商店街として恥しくない商店街、店舗構成に努力して参りたく存じます。各位の御協力、御努力をお願い致します。

今回のセンター街三十年史発刊に当り協力を賜りました関係各位に対しまして、心より厚く御礼申上げると共に、三宮センター街の益々の発展に御尽力をお願い致し、各位の御健勝を御祈り申上げます。

## 祝辞

# 三宮センター街三十年史刊行に寄せて



兵庫県知事

畔井 時忠

戦後三十年―その歴史とともに歩み育った三宮センター街は、いまや神戸はもとより、日本の顔となりました。この華麗なるファッションタウンは、人と人との出会いをつくり、交流の輪をひろげていくなかで心の乾きをうるおし、暮しに夢と希望をもたらしてくれました。

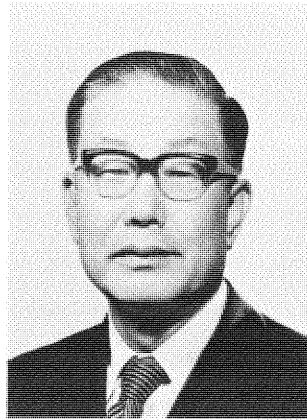
もはや商店街は商品を買う場としてではなく、新しい人間を再生する場であり、コミュニケーションを創造する場なくてはならないであります。

日々国際化する社会、その先頭をいく旗手として三宮センター街のはれやかな前進に心からの拍手をおくります。

ここに三十周年を迎えられるにあたり、改めて関係者各位のご尽力に深く敬意を表しますとともに、さらに一層のご発展を心から祈念してやみません。



# 三十年史発刊を祝して



神戸市長

宮崎辰雄

三宮センター街がめでたく創立三十周年を迎えられ、このたびその記念誌を発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

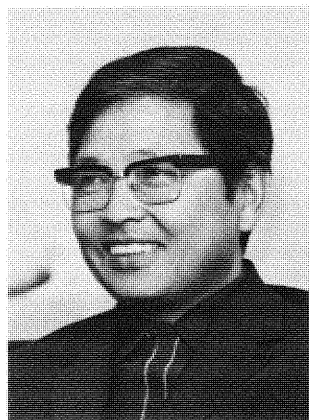
三宮本通り商店街として親しまれていた「三宮センター街」が現在の名称で呼ばれるようになったのは昭和二十一年だと聞いておりますが、終戦を契機としてこの頃から三宮センター街の方々はどこよりも早く復興に取組まれたことを思い出します。以後三十年間、月刊PR誌「センター」を発刊されたり、「さんプラザ」、「センタープラザ」をはじめとして商店街近代化に努力された結果、今では神戸の中心商店街として全国に名前を知られるまでに成長されてまいりました。

三十年の間には、消費者意識、交通体系、競合商業地区の状況などが相当変わってまいりましたが、これからの三宮センター街におかれましては、大阪商圏に対抗しつつ、神戸の都心商店街として発展していただかねばなりません。

三十年のはえある伝統を築かれた皆様がさらにめざましい飛躍をとげられますことを心からお祈りいたしまして発刊お祝いの言葉といたします。

# 祝辞

## 三十年一世



陳秉臣

センター街は、戦後の神戸の復興と繁栄のシンボルであるといつてよいだろう。いまでもときどきセンター街を歩いていて、ふとそのあたりが瓦礫の原であった空襲直後の情景を思い出すことがある。よくもここまでやったという感慨が深い。同時に三十年という歳月の重さを、身にひしひしと感じる。

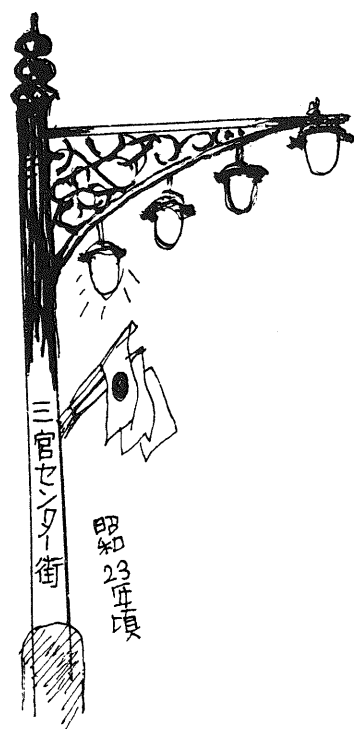
二十年ひと昔ということばがあるが、中国では「三十年を一世と称す」という考え方がある。たとえば何某の五世の子孫という記述があれば、その一世の平均を三十年とみて、何某がその家をはじめてから百五十年たったところだと、大雑把にかぞえるのだ。人間には幼年、少年時代があり、勉学期、そして修業期がある。その時期には父親は健在であることが多い。父親の隠居あるいは死去によって家督を継ぎ、それをわが子へ渡すまでの期間を、ほぼ三十年とみたのである。平均寿命が大幅にのびた現在では、このかぞえ方にはいささか問題があるかもしれない。それでも三十年とい

えば、やはり一つの大きな区切りであることにはかわりはない。

「世」という字そのものが、十の字を三つ重ねて三十をあらわしている。二十を廿と書くのは、現在でもよく使われ、三十を卅とするのもよく見うけられる。だが、「世」の字をよくみると、廿にもう一つ十を加えた形だが、この最後の十はカーヴをえがいて、ずっとのびている。ここがこの字の味わい深いところである。

三十年という長い歳月に敬意を表して、一種の詠歎がこめられて、最後の十がのびされたと解してよい。私は「世」という字にたいしては、最後の線が長くひかれ、折れまがることによって、つぎの世代へうけつがれることを暗示している、という私的な解釈をしている。

センター街では大きな改造がおこなわれた。人によっては、これが大きな区切りで、生まれかわったという表現をしているようだ。たしかに町としては、一世から二世へ移りつつある。しかし、私はセンター街創業の精神をここで思い返して、区切りよりも「世」の字のもつ継続のほうに重点をおきたい。みごとにうけつがれることを、心から期待する。



# 三宮センター街三十年史

## 目次

表紙題字 神戸市長 宮崎辰雄

### カラーグラビア

3  
—  
18

諏訪山より三宮を望む

ヤングの街ファッションの街三宮センター街

三宮周辺ガイド(田坂修一)

三宮センター街創立二十周年

生田神社 三宮神社の春祭

三宮センター街チャリティ

さんプラザ さんセンター

ニューセンタービル アーケード

センタープラザ センタープラザ西館

神戸カーニバル 神戸まつり

センター街アーケード四季の装飾

三宮センター三三街 11街区工事中

### 三宮センター街三十年史発刊ご挨拶

三宮センター街連合会長 岸野利男 19

### 祝辞

三宮センター街三十年史刊行に寄せて

兵庫県知事 坂井時忠 20

三十年史刊行を祝して

神戸市長 宮崎辰雄 21

三十年 一世

陳舜臣 22

### 昔の三宮周辺

27  
—  
33

昔の三宮神社付近 昔の生田神社

そごう・中道周辺

昭和初年の滝道付近

悲惨! 昭和二十年大空襲

歴代会長 副会長 理事長 副理事長 35

なつかしの三宮

三宮町の概要

明治、大正の三宮神社と境内の賑わい 50

三宮センター街の構成

生田森とセンター街附近今昔 52

柳筋の概要

思い出のジャン市と柳筋界限 53

終戦前の三宮町復元図(永井文明)

三十年のあゆみ

昭和二十一年〜昭和三十年 三宮センター街創立より確立時代 61

昭和三十一年〜昭和四十年 三宮センター街成長発展の時代 71

昭和四十一年〜昭和五十二年 三宮センター街近代化時代 117

市街地改造事業前の三宮地図(ゼンリン)

三宮トリオ・メンバー そごう神戸店 さんちかタウン 164 162

三宮センター街協同組合の記録 166

PR誌月刊「センター」の刊行 168

三宮センター街善意の会の奉仕 174

三宮センター街連合会会員名簿 170

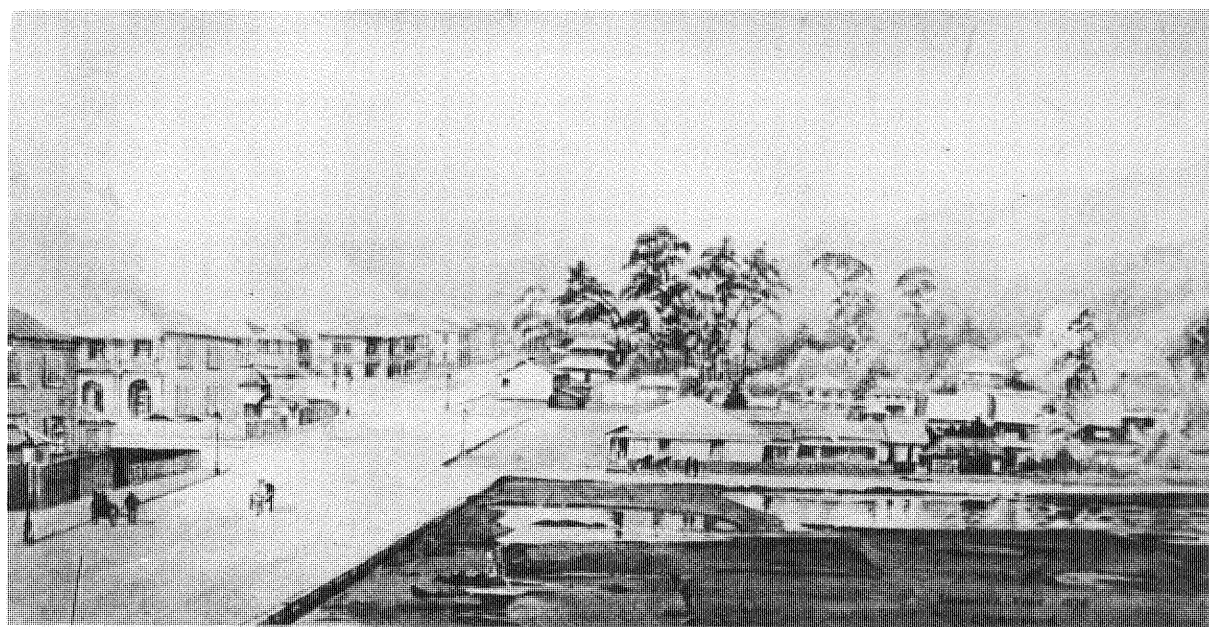
資料提供者ご芳名 制作編集スタッフ  
編集委員

178 177

# 昔の三宮周辺

諏訪山からの眺め（明治二十年代）カラー写真の「諏訪山より三宮を望む」と同位置

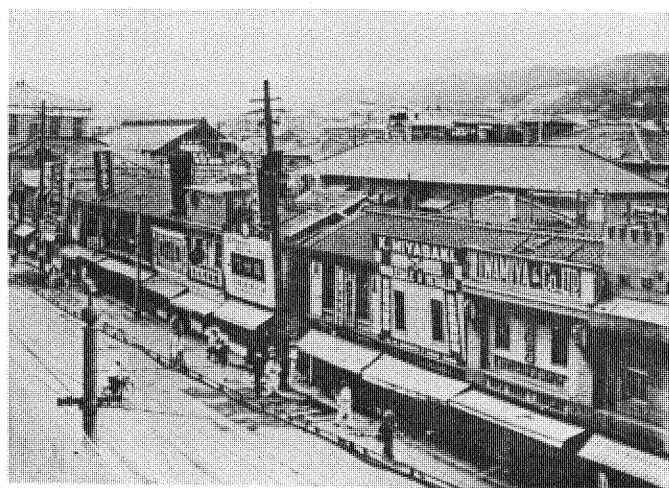




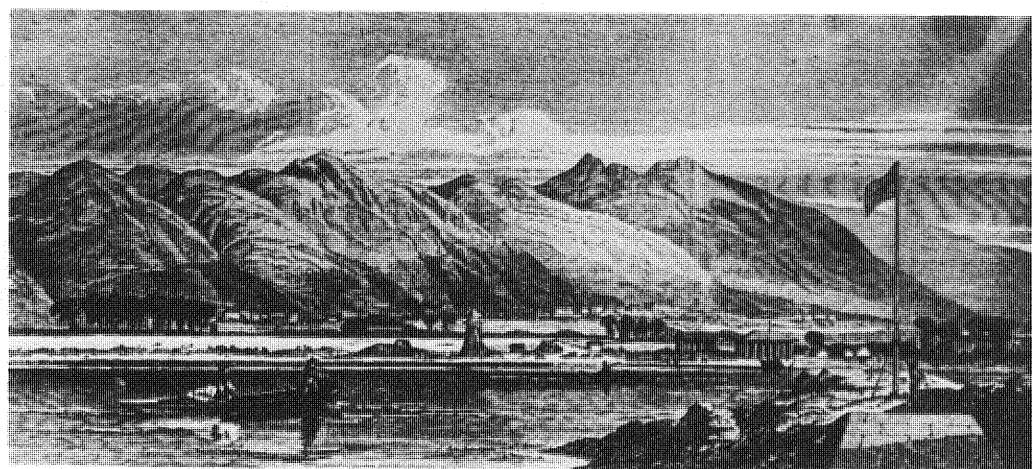
三宮神社の森を東方から見て英人バーナードが描いたもので、左側は出来て間もない居留地の洋館が並び、手前はまだ水田である。  
一八七八年(明治十一年)の年号とサイン入。



三宮町三丁目大丸前。永田岩見屋など、スベルで書かれた看板が上っている。  
河原霊社の道しるべが電柱の根元にあった。



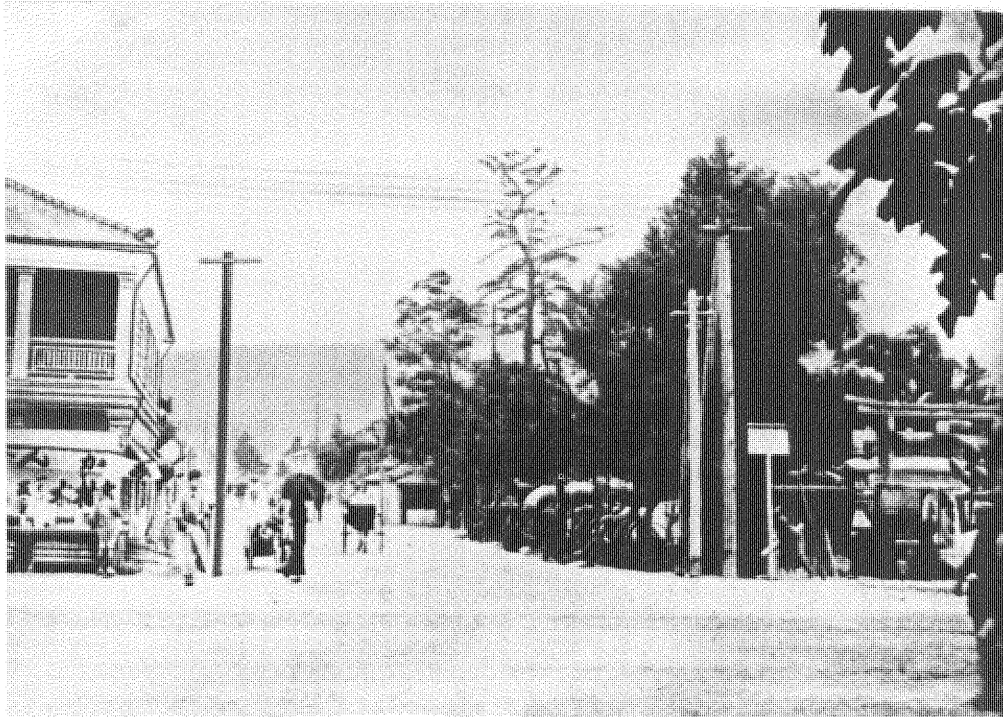
明治初年三宮町一丁目  
(現在大和証券の所)  
にあった勝海舟の海軍  
操練所寮は、後に湊山  
小学校へ移築して校舎  
に使われた。



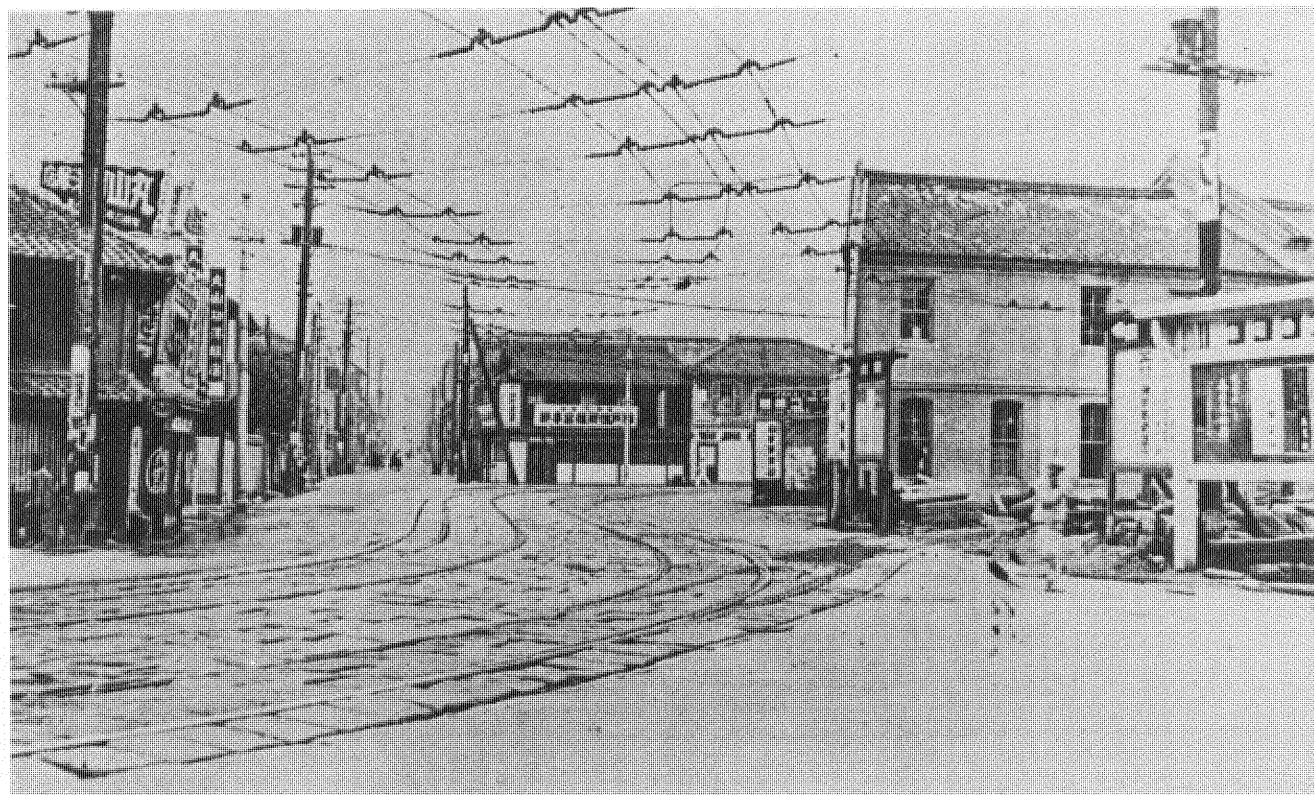
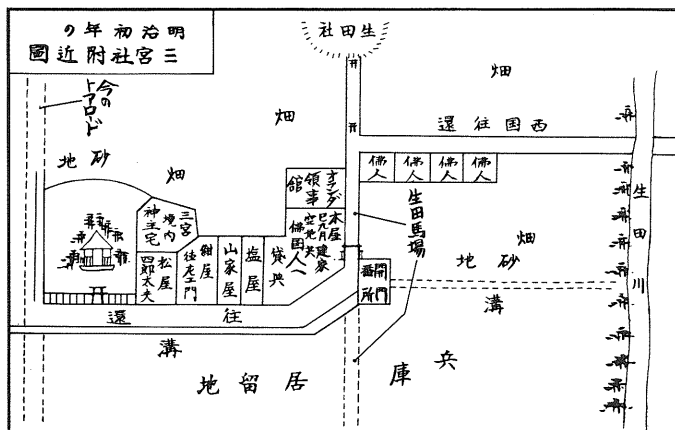
明治初年の神戸港。兵  
庫居留地の景と書かれ  
ている。英国旗の立っ  
ている所が当時の英国  
領事館所在地で、海軍  
操練所の舟入堀である  
(京都大学図書館蔵)

# 昔の三宮神社付近

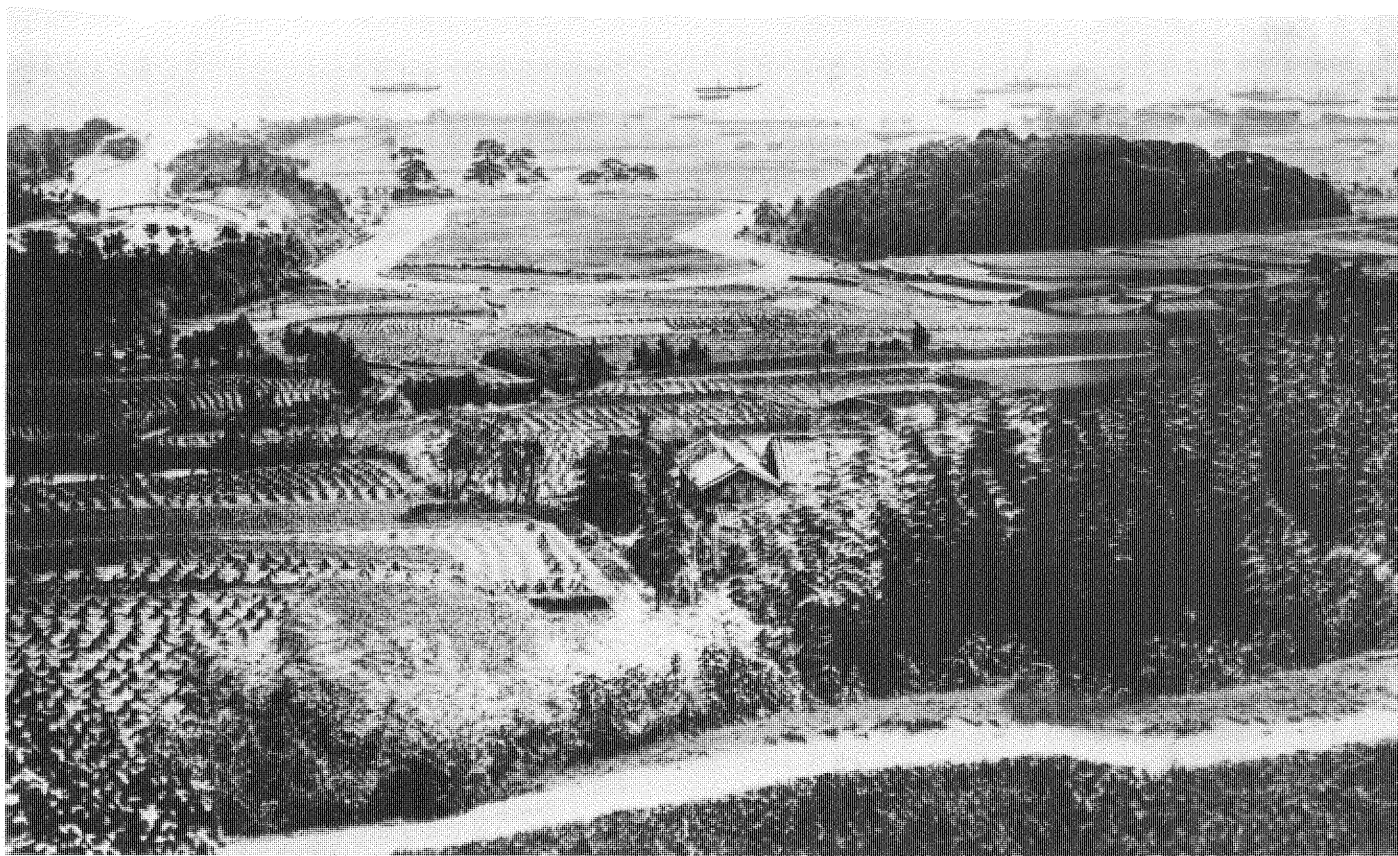
明治三十年代のトアロード。昔三ノ宮筋と呼ばれたところで、山手に住む異人さんたちの居留地への通勤路として賑わった。  
 右手の森は三宮神社で客待ちの人力車が並んでいる。



三宮神社から東へ望む。鉄柱は市電の架線。  
 右の図は明治初年の住居図で右上に西国往還とある所がセンター街一丁目に当たる。



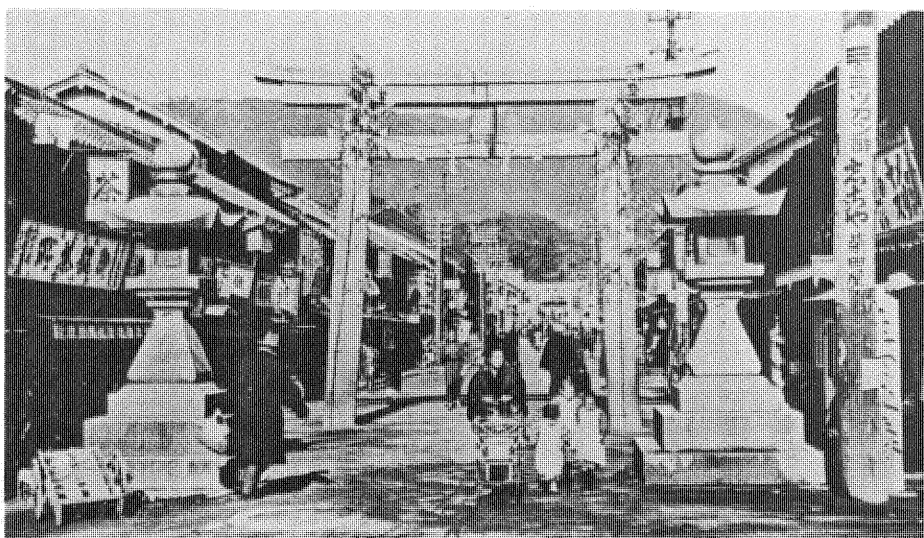
三宮神社から生田筋へ曲がるところ。  
 右手は電気局、左手に丸山洋服店の看板が見え、上図の生田馬場に当たる。  
 (昭和四年写)



生田の森（明治二年砂子山から写す）中央のグラウンドは生田の馬場。松並木は西国街道で、現在の三宮センター街。



明治末頃に撮影された生田神社拝殿。

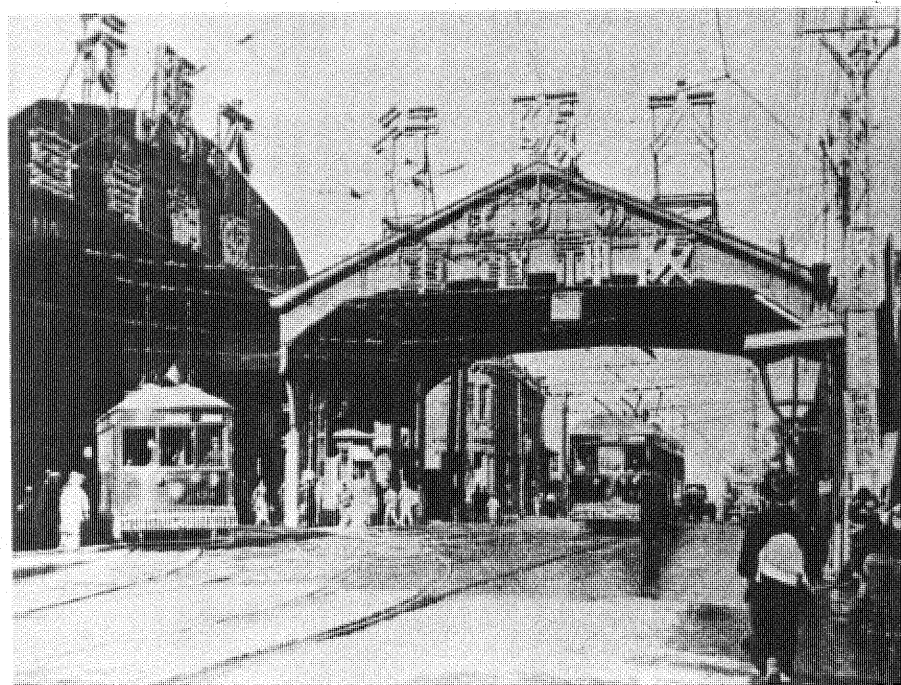


生田神社二の鳥居（国鉄高架山側のそばには大きな石灯籠が立っていた。（昭和四年）



鉄道高架基礎工事中の滝道踏切付近で、二二が現在の三宮駅となった。（昭和四年九月写）

昭和はじめの三宮滝道付近。阪神電車の終点は三宮滝道（現在フラワーロード）にあった。写真の右方は市電磯上線で、昭和十年十月、市電の国道線開通によって廃線となった。



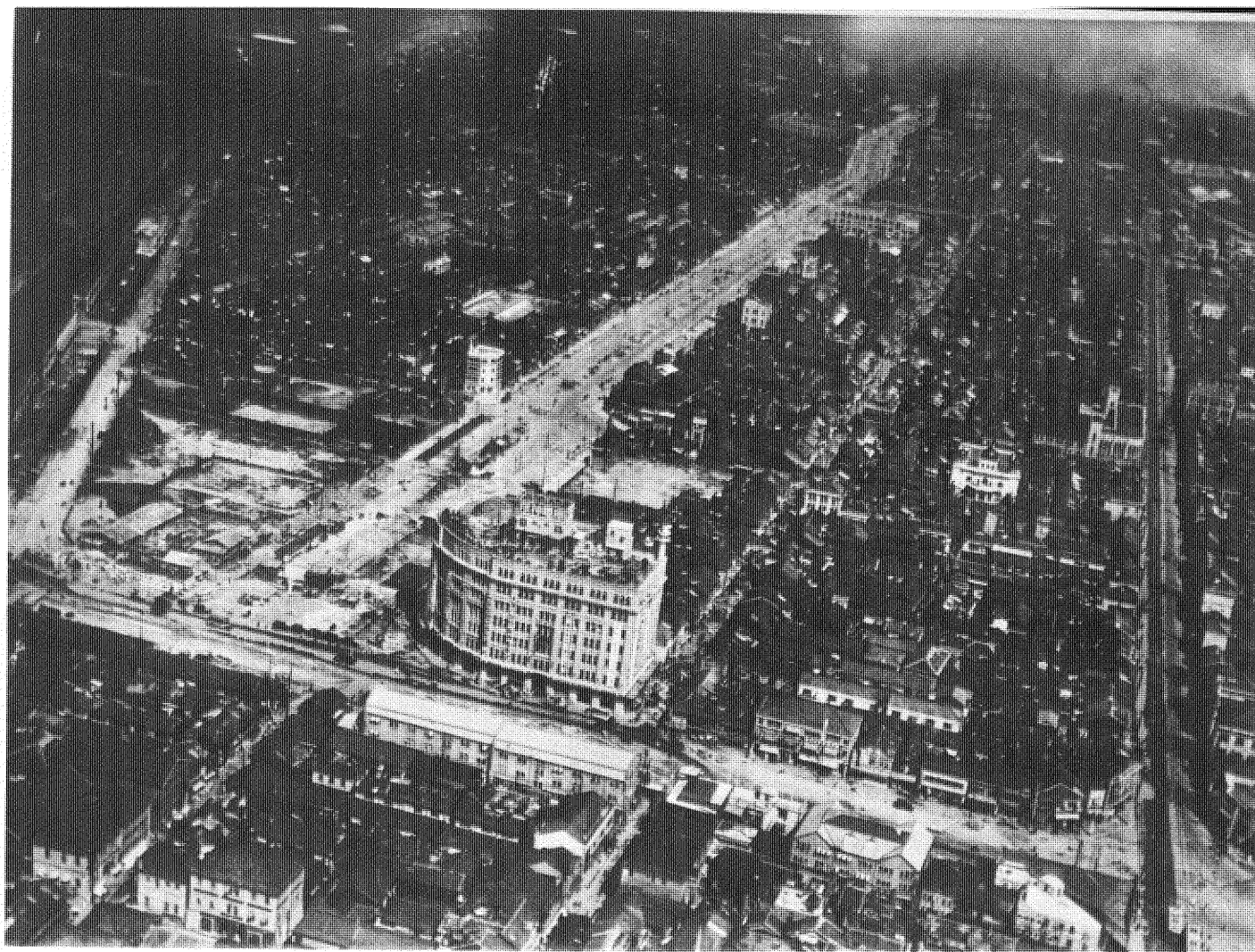
三宮駅前で防空演習を行う（昭和十九年）



居留地の外人クラブ（現在の東遊園地）

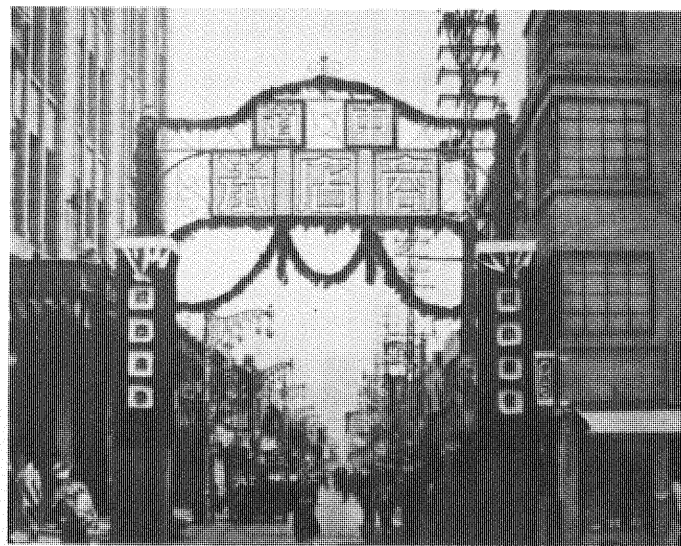


そごう三宮店が昭和八年十月一日  
現在地に開店した当時の周辺。

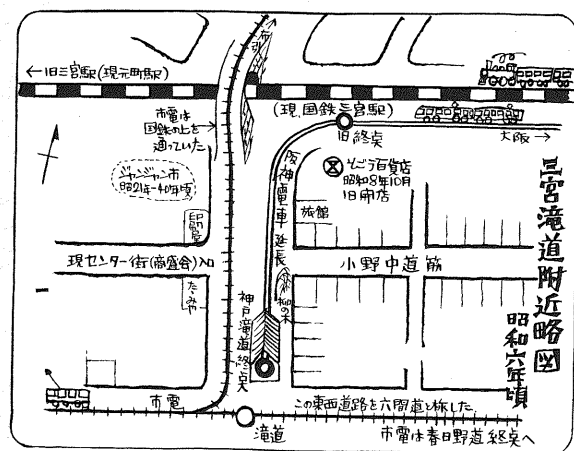
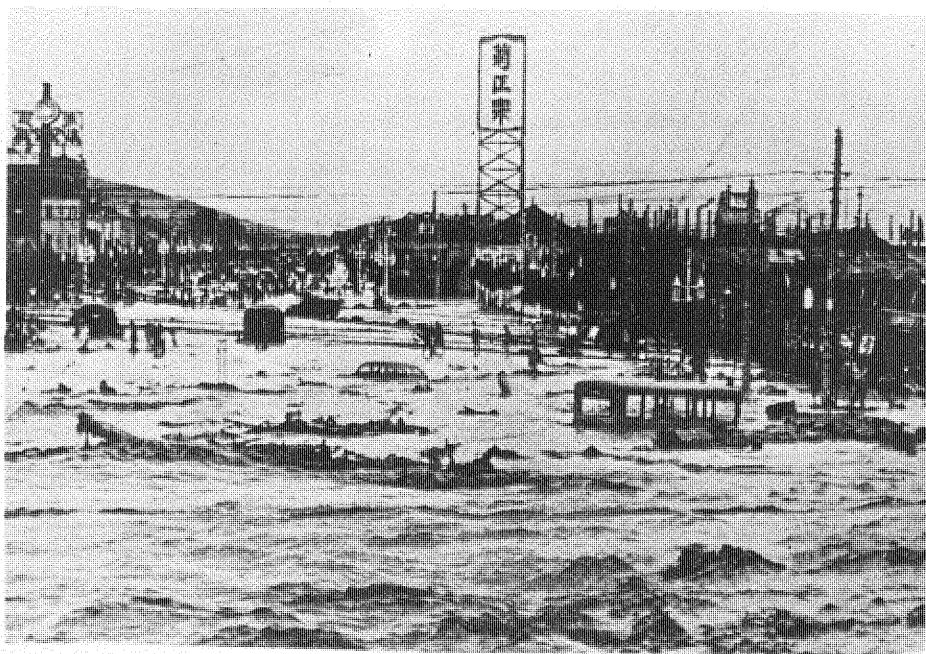


戦前ショッピングセン  
ターとして繁栄した小  
野中道商店街。神戸市  
商工祭の装飾が華やか  
にしてある。

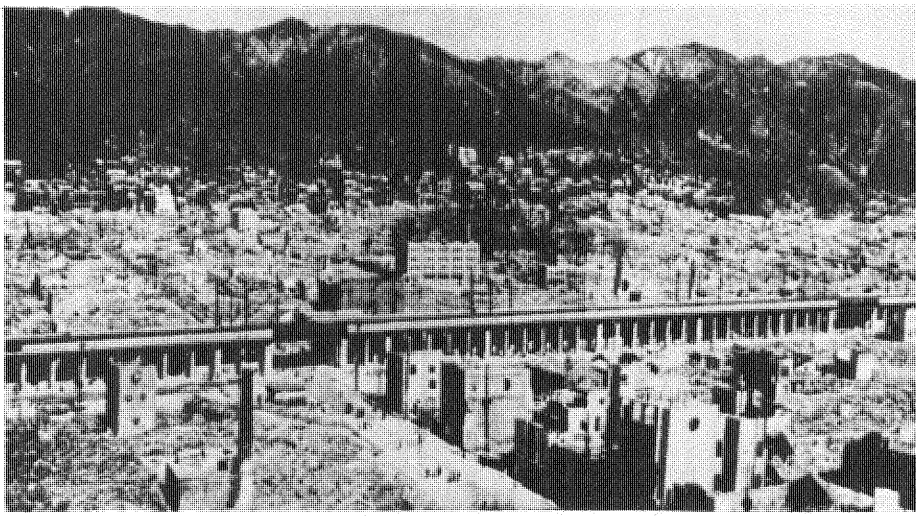
(昭和十一年五月)



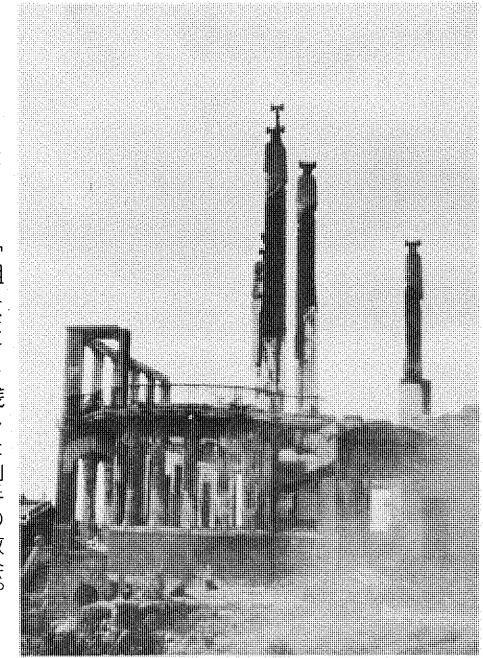
昭和十三年七月阪神大水害の惨  
状。家もバスも押し流された。



悲惨！昭和二十年大空襲

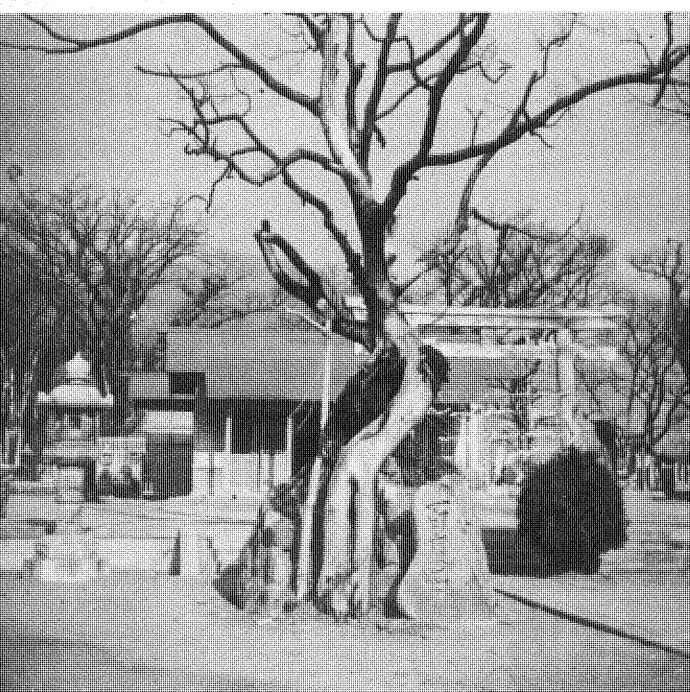
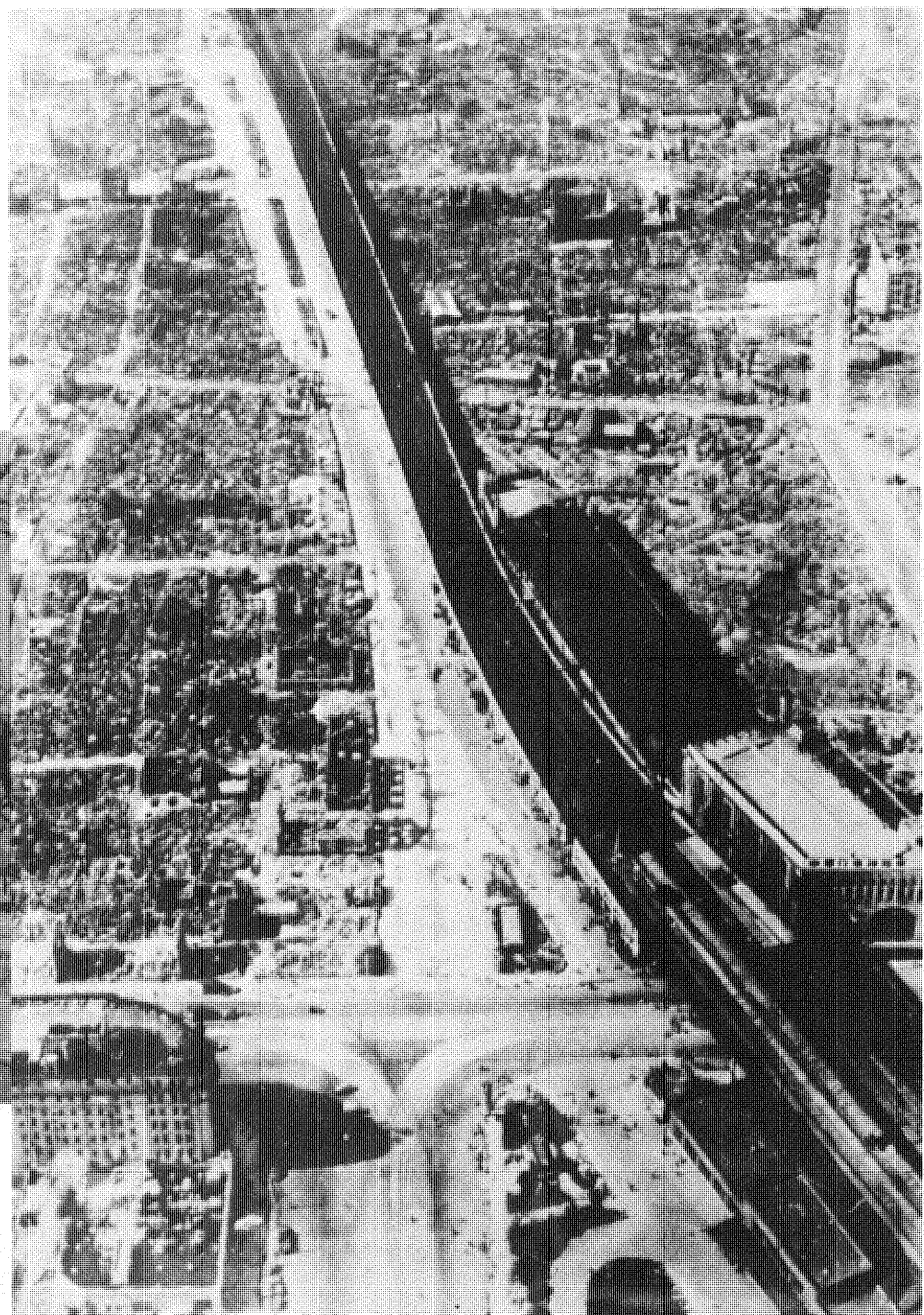


中央に横切るのは国鉄高架、斜に通っているのはトアロード。



骨組みだけを残した山手の教会。

昭和二十年六月五日の大空襲で焼野原と化した三宮センター街周辺。国鉄高架線路の左手が現在のセンター街一帯。(そごう上空より西を望む)



楠の大樹も燃えてしまった生田神社。百度石だけが健在。

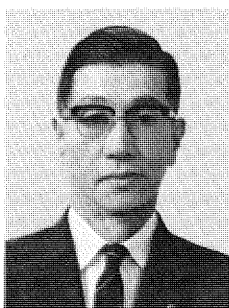
# 歴代

理事会  
理事長

・

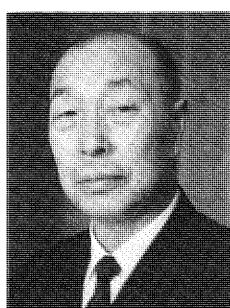
副理事長  
副理事長

# 三宮センター街連合会



長 沢 堅 次

店名 長沢文具センター  
創業 明治15年5月／葦合区御幸通  
センター街開店 明治17年10月  
営業品 文房具・事務用品  
副会長 昭和21年～23年3月  
連合会長 〃 25年4月～29年3月  
〃 39年4月～48年2月



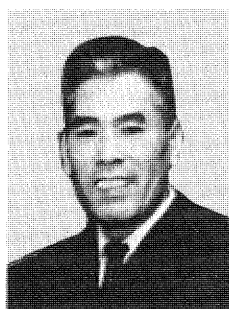
東 條 喜 三 郎

店名 マミー株式会社  
創業 昭和21年3月現在地  
センター街開店 同右  
営業品 婦人服飾、ブラウス  
副会長 昭和21年～25年4月  
連合会長 〃 29年～33年



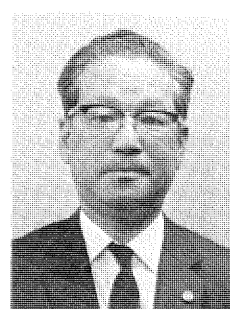
東 中 清 一

店名 ベル株式会社  
創業 昭和2年現在地  
センター街開店 同右  
営業品 フランス菓子・喫茶・レスト  
ラン  
連合会長 昭和21年～23年3月  
〃 24年4月～25年3月  
副会長 〃 32年4月～33年3月



平 野 年 雄  
(故人)

店名 アカシヤ  
創業 明治初年家具製造業  
センター街開店 昭和22年2月  
営業品 毛皮・ダスター・洋傘・婦人  
洋品  
副会長 昭和23年4月～25年3月



岸 野 利 男

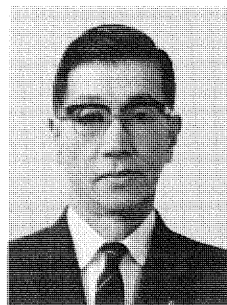
店名 シンワ洋装店  
創業 昭和22年4月  
センター街開店 昭和26年9月  
営業品 国産舶来婦人服地・仕立  
連合会長 昭和48年3月1日～現在



渡 辺 徳 治 郎  
(故人)

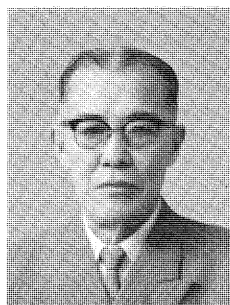
店名 翠芳園  
創業 昭和24年4月  
センター街開店 昭和27年4月  
営業品 茶と茶道具  
会 長 昭和29年4月～32年3月  
連合会長 〃 33年4月～39年3月

長 沢 堅 次



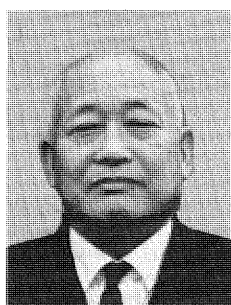
店名 長沢文具センター  
創業 明治15年5月／葦合区御幸通  
センター街開店 明治17年10月  
営業品 文房具・事務用品  
副会長 昭和21年～23年3月  
会 長 “ 25年4月～29年3月  
連合会長 “ 39年4月～48年2月

渡 辺 徳治郎  
(故人)



店名 翠芳園  
創業 昭和24年4月  
センター街開店 昭和27年4月  
営業品 茶と茶道具  
会 長 昭和29年4月～32年3月  
連合会長 “ 33年4月～39年3月

田 和 繁之助



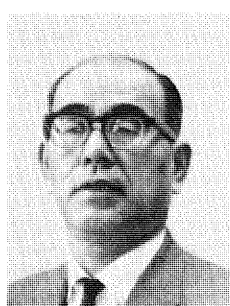
店名 田和洋装店  
創業 大正12年8月  
(中山手通りに開店)  
センター街開店 昭和22年8月5日  
営業品 婦人服地と仕立  
副会長 昭和30年4月～32年3月

米 崎 岩 雄



店名 丸松呉服店  
創業 昭和4年4月  
センター街開店 昭和23年元旦  
営業品 京呉服・帯  
会 長 昭和32年2月～33年12月  
(1丁目3区会長兼務)

木 下 政 雄



店名 アンコールショップ  
創業 昭和11年5月  
(三宮町1丁目・丸糸店創設)  
センター街開店 同右  
営業品 婦人服飾  
会 長 昭和32年4月～33年3月  
(1丁目1区会長)

土 井 儀一郎  
(故人)



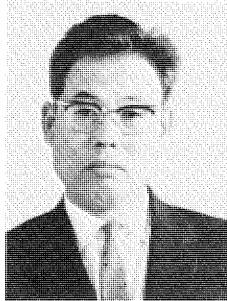
店名 ド中手芸品株式会社  
創業 大正7年7月7日  
センター街開店 同右  
営業品 手芸材料全般  
会 長 昭和32年4月～34年3月  
(1丁目2区会長)

# 三宮センター街1丁目



井野 富次郎

店名 関西電気工業所  
創業 大正13年 楠町交差点前  
センター街開店 昭和6年  
営業品 電気製品全般・電気工事  
副会長 昭和34年度



福井 猛郎

店名 福井商店 スタイル  
創業 明治24年現在地  
センター街開店 同右  
営業品 以前家具・現在洋品雑貨卸小  
売・貸ビル  
副会長 昭和34年度



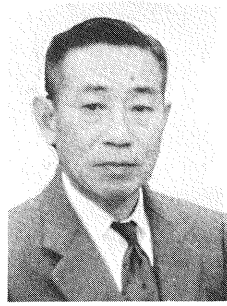
後藤 博雅

店名 星電社  
創業 昭和21年11月1日  
センター街開店 同右  
営業品 家庭電化器具製品全般・電気  
工事請負他  
会長 昭和34年度



黒田 丈三

店名 メグリ洋装店  
創業 昭和22年1月  
センター街開店 同右  
営業品 婦人・子供服地  
副会長 昭和35年度  
会長 〃 36年度



大井 義雄

店名 イセヤシャツ店  
創業 大正14年4月  
センター街開店 昭和元年現在地  
営業品 Yシャツ仕立 (商盛会)  
副会長 昭和25年4月〜29年  
会長 〃 35年度



山下 良造

店名 山下履物店  
創業 明治25年  
センター街開店 同年  
営業品 高級履物  
副会長 昭和30年〜36年(7期)  
会長 〃 37年〜41年

島 本 良 晴



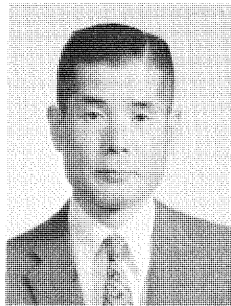
店名 フタバヤ  
創業 昭和12年 陶磁器貿易  
センター街開店 昭和23年7月  
営業品 陶磁器・硝子・金属食器・美術工芸品  
副会長 昭和35年度

後 藤 和 平



店名 後藤書店  
創業 明治43年6月8日  
(三宮本通り)  
センター街開店 昭和13年4月  
営業品 古書売買  
副会長 昭和36年度

田 淵 富 久 蔵



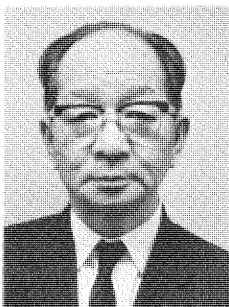
店名 みどりや玩具店  
創業 昭和21年6月  
(そごう前加納町5丁目)  
センター街開店 昭和25年3月  
営業品 おもちゃ・人形  
副会長 昭和36年度

大 西 章 輔



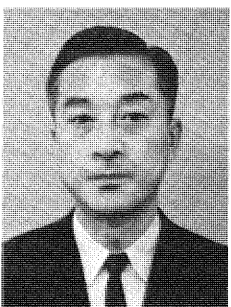
店名 大西呉服店  
創業 明治45年  
センター街開店 同右  
営業品 京呉服・帯  
副会長 昭和37年～45年  
理事長 〃 46年～51年

山 内 鶴 雄



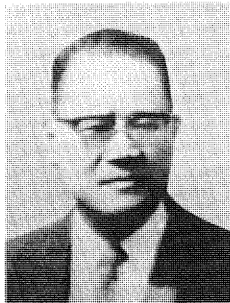
店名 視正堂  
創業 昭和27年11月  
センター街開店 同右  
営業品 眼鏡専門  
副会長 昭和37年～40年(4期)

松 谷 彰 久



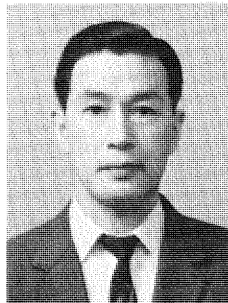
店名 ベニヤ  
創業 昭和22年11月(本山森市場)  
センター街開店 昭和33年11月  
営業品 服飾・婦人洋品  
副会長 昭和37年～39年(3期)

# 三宮センター街1丁目



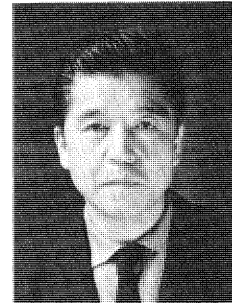
山  
川  
源次郎  
(故人)

店名 くしや化粧品店  
創業 昭和元年  
センター街開店 昭和32年  
営業品 化粧品・バッグ  
副会長 昭和42年度



山  
田  
六  
郎

店名 ウインザー  
創業 昭和22年3月  
センター街開店 昭和28年  
営業品 婦人服仕立・ブレタポルテ・  
アクセサリー  
会長 昭和42年  
理事長 // 52年〜現在



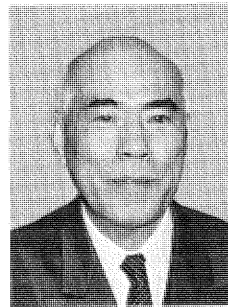
森  
田  
博  
次

店名 MENS・SHOP  
神戸モリタ  
創業 昭和23年4月  
センター街開店 昭和29年10月  
営業品 紳士服飾  
副会長 昭和41年度



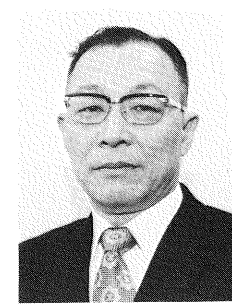
原  
田  
幹  
夫

店名 J & R ハラダ  
創業 大正5年現在地に香月甘党の店  
として開業  
センター街開店 同右  
営業品 婦人服飾  
副会長 昭和43年〜45年  
副理事長 // 46年〜51年



小  
松  
原  
政  
雄

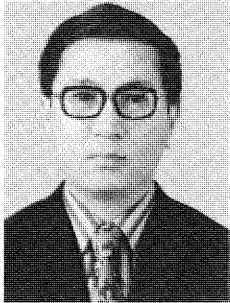
店名 神戸センター  
創業 大正7年現在地にて創業  
センター街開店 同右  
営業品 世界の民芸・アクセサリー  
会長 昭和43年〜45年



小  
山  
博  
義

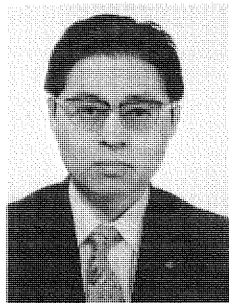
店名 コヤマカメラ  
創業 昭和21年  
センター街開店 昭和30年  
営業品 カメラと写真材料  
副会長 昭和42年、44年〜45年  
副理事長 // 46年〜51年

# 三宮センター街1丁目



長 沢 基 夫

店名 長沢文具センター  
創業 明治15年5月  
センター街開店 明治17年10月  
営業品 文房具・事務用品  
副理事長 昭和52年〜現在



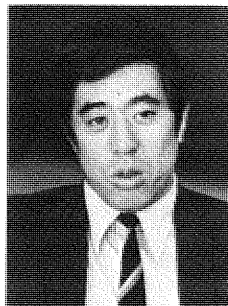
西 正 興

店名 ユーハイム・コンフェクト  
創業 昭和19年2月  
センター街開店 昭和42年10月  
営業品 洋菓子・クッキー・レストラン  
副理事長 昭和52年〜現在



柴 本 実

店名 ミカサ  
創業 明治23年現在地に創業  
センター街開店 同右  
営業品 毛皮・洋傘・ショール・スカ  
ーフ・ストール  
副理事長 昭和46年〜51年



小松原 正 義

店名 神戸センター  
創業 大正7年現在地にて創業  
センター街開店 同右  
営業品 世界の民芸・アクセサリ  
副理事長 昭和52年〜現在



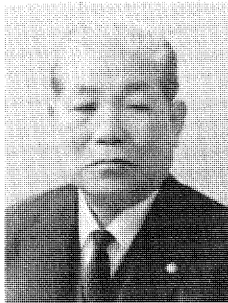
川西祐三郎先生版画  
△1971・三宮センター街▽

# 三宮センター街2丁目



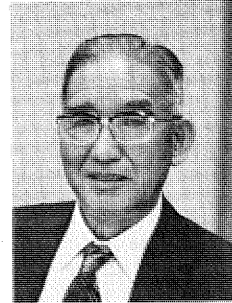
田路茂夫

店名 田路時計店  
創業 昭和7年8月  
センター街開店 昭和21年11月  
営業品 時計貴金属・喫煙具  
副会長 昭和25年～33年3月  
会長 〃 34年度



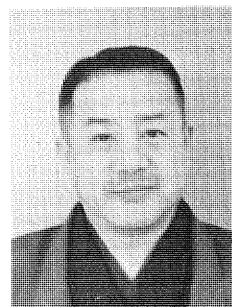
大内保市  
(故人)

店名 マルダイ卸店  
創業 昭和7年7月  
(行商的に始めた)  
センター街開店 昭和24年4月  
営業品 ボタン・高級レース・手芸系  
副会長 昭和25年～29年  
会長 〃 29年4月～31年3月



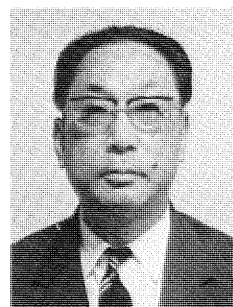
上田数平

店名 上田洋服店  
創業 昭和7年5月三宮本通り商店街  
センター街開店 昭和23年10月  
営業品 紳士既製服・誂服・紳士洋品  
会長 昭和25～29年 31～33年  
〃 34～35年 36～37年



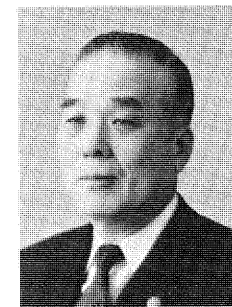
三木正之助

店名 丸太屋呉服店  
創業 明治40年京都にて営業、大正5年5月生田区多聞通6丁目  
センター街開店 昭和21年9月  
営業品 京呉服・帯  
副会長 昭和33年4月～34年1月  
〃 37年 44年～46年



坂本正三

店名 喜久屋化粧品店  
創業 大正12年2月10日  
センター街開店 昭和26年10月25日  
営業品 化粧品・婦人雑貨  
副会長 昭和33年度  
会長 〃 37年度  
〃 40年～42年  
副理事長 〃 51年～53年



行政猛男  
(故人)

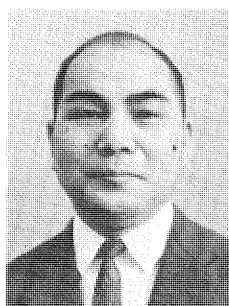
店名 趣味の店ユキマサ  
創業 先々代より神戸での商人  
センター街開店 昭和23年5月  
営業品 趣味の工芸品・アクセサリ  
洋品雑貨  
副会長 昭和29年4月～33年3月  
会長 〃 35年度

池田 享



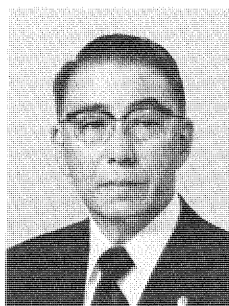
店名 アイリス  
創業 昭和11年10月  
センター街開店 昭和22年4月(1丁目)  
〃 25年6月(現在地)  
営業品 高級婦人服地とお仕立  
副会長 昭和34年度  
会長 〃 38年度

今江 英夫



店名 おそめや  
創業 昭和15年  
センター街開店 昭和22年3月  
営業品 半襟・特選小物  
副会長 昭和34年、37年  
〃 〃 40年、42年  
〃 〃 44年、46年  
副理事長 〃 48年、49年

川 飛 満 祐



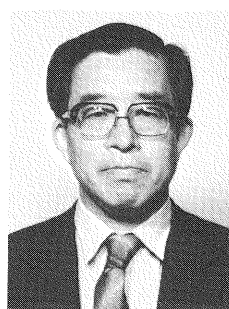
店名 とんかつ武蔵  
創業 昭和14年7月1日  
センター街開店 創業時より現在地  
営業品 トンカツ専門  
副会長 昭和34年 42年、44年  
会長 〃 46年、48年  
理事長 〃 51年、現在

尾 上 一 二



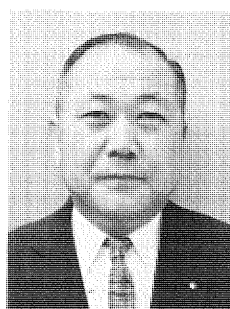
店名 フェンツショップ  
創業 昭和8年2月(加納町5丁目)  
センター街開店 昭和29年9月  
営業品 各種織物・フェンツ  
副会長 昭和35年度

藤 井 幸 男



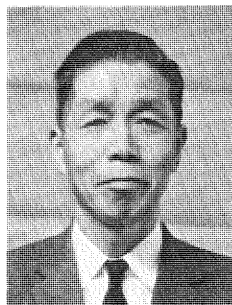
店名 フランス菓子ドンク  
創業 明治38年7月10日 兵庫区塚本通  
センター街開店 昭和26年7月21日  
営業品 フランス菓子・パン・喫茶  
副会長 昭和35年度  
会長 〃 39年度

三 角 恒 雄



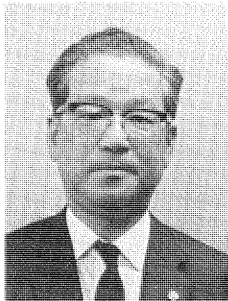
店名 ちんがら屋  
創業 昭和22年3月  
センター街開店 同右  
営業品 きもの工芸  
副会長 昭和36年度

# 三宮センター街2丁目



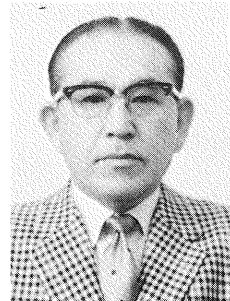
毛利保一

店名 毛利マーク  
創業 大正3年3月  
センター街開店 同右  
営業品 バッジ・旗・カップ・造花・  
Xマスデコレーション  
副会長 昭和38年度  
会長 〃 42年～44年



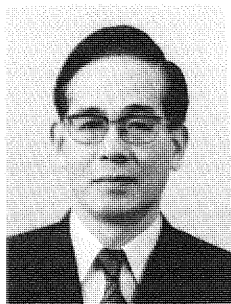
岸野利男

店名 シンワ洋装店  
創業 昭和22年4月  
センター街開店 昭和26年9月  
営業品 国産・舶来婦人服地・仕立  
副会長 昭和38年度  
〃 〃 40年～42年  
会長 〃 44年～46年



北村嘉雄

店名 まる喜履物店  
創業 昭和8年4月（荒田町1丁目）  
センター街開店 昭和22年11月現在地  
営業品 草履・下駄・サンダル  
副会長 昭和36年度  
〃 〃 39年度



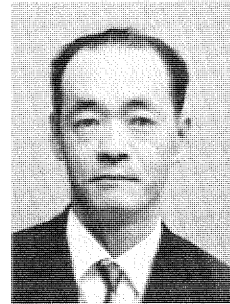
進藤勇

店名 ほんぐう靴店  
創業 昭和25年  
センター街開店 昭和32年～47年閉店  
営業品 婦人靴・紳士靴  
副会長 昭和42年～44年  
〃 〃 46年～47年



西尾悟

店名 リリアン  
創業 昭和21年4月15日  
センター街開店 昭和24年4月15日  
営業品 高級洋品  
副会長 昭和40年～42年  
〃 〃 44年～46年  
理事長 〃 48年～49年3月



田中卓郎

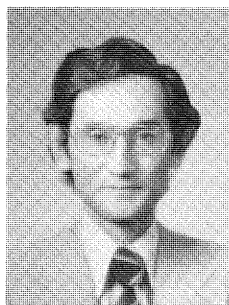
店名 マリヤ  
創業 昭和21年12月  
センター街開店 昭和31年9月  
営業品 毛糸・婦人服地小売  
副会長 昭和39年度  
〃 〃 42年～44年

稲 永 富士夫



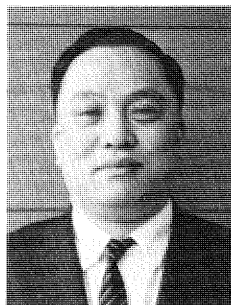
店名 スコッチ洋服店  
創業 昭和12年  
センター街開店 昭和25年  
営業品 紳士服・服飾  
副会長 昭和46年～48年  
副理事長 〃 48年～49年

芹 沢 利 雄



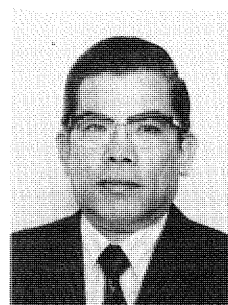
店名 セリザワ  
創業 明治36年4月  
センター街開店 昭和34年9月  
営業品 婦人服飾の店  
副会長 昭和46年～48年

石 井 省 三



店名 アカシヤ  
創業 明治初年  
センター街開店 昭和22年2月  
営業品 婦人服飾  
副理事長 昭和48年～49年  
理事長 〃 49年～51年

坂 田 光 男



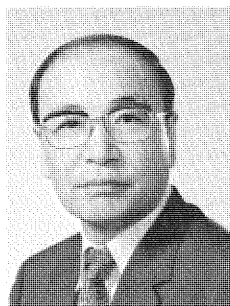
店名 ミツチャン  
創業 昭和26年12月1日現在地で創業  
センター街開店 同右  
営業品 舶来雑貨  
副理事長 昭和49年～現在

行 政 信 敏



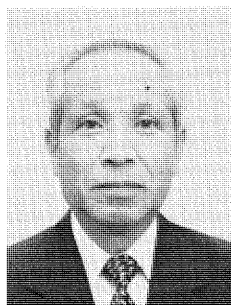
店名 ユキマサ  
創業 先々代より神戸で営業  
センター街開店 昭和23年5月  
営業品 洋品雑貨・趣味の店  
副理事長 昭和49年～現在

藤 田 明



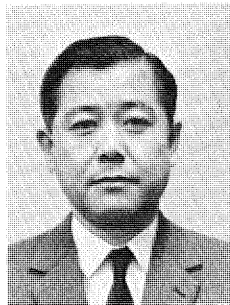
店名 モード・フジタ  
創業 昭和28年  
センター街開店 同右  
営業品 婦人服飾  
副理事長 昭和49年～51年

# 三宮センター街2丁目



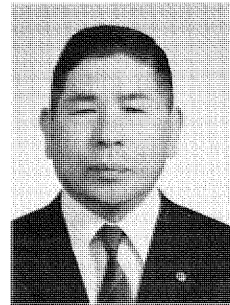
伊藤 実朗

店名 ニューホープ  
創業 昭和27年現在地で創業  
センター街開店 同右  
営業品 紳士洋品  
副理事長 昭和53年〜現在



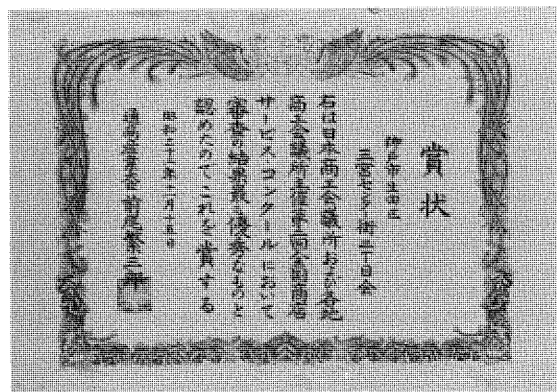
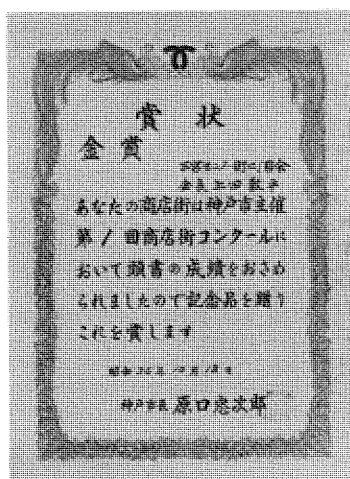
限 部 宏

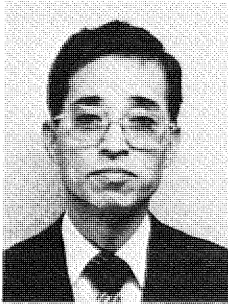
店名 マミー  
創業 昭和21年3月  
センター街開店 同右  
営業品 ブラウス・婦人服飾  
副理事長 昭和51年〜53年



福 田 次 男

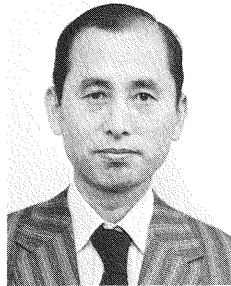
店名 バッグの三和  
創業 昭和20年9月六間道商店街  
センター街開店 昭和22年4月  
営業品 バッグ・カバン  
副理事長 昭和51年〜53年





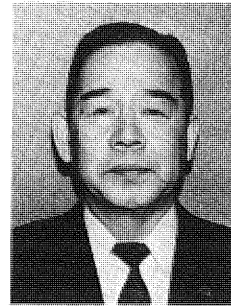
寛  
信雄

店名 春陽軒  
創業 昭和31年 大阪天王寺区  
センター街開店 昭和36年11月  
営業品 中華料理  
副会長 昭和44年4月～50年3月  
副理事長 昭和50年4月～現在



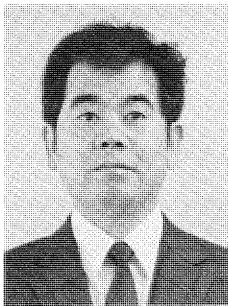
宮  
本 正三

店名 時雨庵  
創業 昭和30年6月現在地  
営業品 すし・そば  
副会長 昭和40年4月～44年3月  
会長 昭和45年4月～50年3月  
理事長 昭和50年4月～現在



北  
森 愛紹

店名 栄寿司  
創業 昭和20年12月現在地  
営業品 すし・日本料理  
副会長 昭和33年4月～40年3月  
会長 昭和40年4月～45年3月



妻  
鹿 満

店名 マルトシ  
創業 昭和39年3月  
センター街開店 同右  
副理事長 昭和53年4月～現在



馬  
場 敏之

店名 たちばな  
創業 昭和25年 新開地  
センター街開店 昭和32年  
副理事長 昭和51年4月～現在

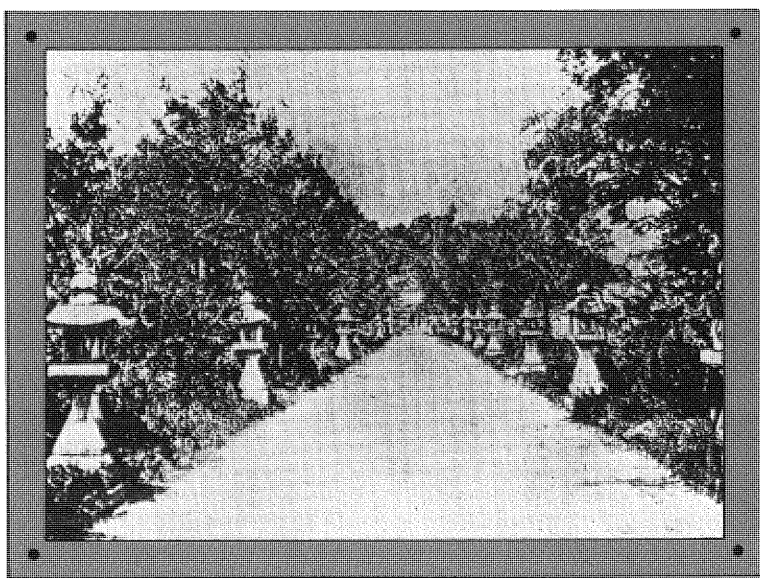


山  
田 茂

店名 山田の案山子  
創業 昭和28年3月 新開地  
センター街開店 昭和33年  
営業品 串かつ  
副会長 昭和47年4月～50年3月  
副理事長 昭和50年4月～53年3月

# なつかしの三宮

明治初年の生田の馬場



# 明治・大正の三宮神社と境内の賑わい

荒尾 親成

明治七年五月、神戸―大阪間に国鉄が開通した時、いち早く三ノ宮駅（いまの元町駅のところ）が設けられたことによっても生田神社の裔神（まごがみ）八社（一ノ宮―八ノ宮のうちでは全国的に知られ、とりわけ神戸市民に最も馴染みの深いお宮!!）ご祭神の天照皇太神の御子湍津姫命（たきつひめのみこと）は、古来航海の安全と商工業の繁栄を守り給う神さまとして神戸にはうってつけの神さま。ここ中心に現在のセンター街も繁昌した感が深い。筆者が神戸にきた明治四十年から大正末年までの記憶をたどっても、そのころの三宮神社境内は西の新開地と対抗する盛り場の感があった。

三宮神社への道すがら楽しかった。私がいつも通って行く道は小野中道通りを通して滝道の広い踏切りを渡り、三宮本通りへはいると（現在センター街一丁目）先ず目につくのが阪本の洋食（現在錦のところ）、その山側に狐のよめ入りの大きな看板をあげた福井家具店（現在ユーハイムコンフェクト）、嬉しかったのは「製紙場のぜんざいうまいよ」とよく食べに寄った小山ぜんざい（現イナハラ）。南手に大きな製紙場があったのでそう呼ばれた。

更に西へ行くと甘党の香月、その東側にアーチ形のトンネルがあって、その奥に東横の芸者置屋があり、キレイどころが箱屋の男衆を連れて左棲で歩いているのに会ったし、大西の下駄

屋、井上金物、長沢の文房具、大西呉服染屋などが商売を張っておられた。

生田筋を浜へ折れ、東側の山新うどん屋を見ながら煉瓦小路へはいると、いよいよ三宮神社の賑わいが伝わってくる。

境内には万国館（のち寄席になったこともある）世界館（のち御代娼座、落語の寄席、また三宮キネマ）三宮倶楽部という活動小屋があり（何れも明治末年から大正元年に誕生）歌舞伎座（明治二十四年朝日座、同三十二年一月焼失、同年十二月改名再建）という芝居小屋、雑居亭という浪曲定席があつていずれも大繁昌していた。

殊にこの時代、お正月三ヶ日の賑わいは、たいしたもので、爆竹を売る店（南京町から中国服を着た人が出張してきていた）ポップン、竹ごま、のぞきからくり、見世物小屋も出て、いちばん子供の食欲をそそったのがサザエの壺焼き、プーンと鼻にくるとたまらなく食欲をそそり、これ喰べて「ナンテ、マがいいんでしょ」と流行歌に合せるシャレタ子供もいた。夏場の納涼のそぞろ歩きを当てこんだ境内の賑わいも盛んで植木市、氷店、アイスクリーム屋さん、足立袋物屋さん、歌舞伎座裏で、氷とアイスクリーム屋さん、早替りして、一晚の売り上げがなんと百円（いまの百万円）と噂され人々を驚かせた。

明治四十二年春、本殿北裏に三階建て出来た三宮勸商場（商品



陳列館は、いまの百貨店の前身を思わせる雑居ビルさながらの商店街で、夏場には、この屋上で早くも大正初年にビヤガーデンを開いていた。星空を仰いで、屋根のない物干し場を思わせる階段を登ってゆくと、それでもアサヒビールの提灯が風にゆれ、涼しそうで

ビール、洋食、氷金時とナカナカ近代的な商売をしていた。

とくに印象に残っている想い出は、この勸商場の入口右手に瓦斯会社直営のカフェー「ガス」が大正二、三年の頃もう誕生したことで、五銭のコーヒを注文しても砂糖壺が各テーブルに出されていて、砂糖お好みによって入れ放題の豊楽振り、いたづらな子は、コーヒを半分飲み、また砂糖をたっぷり入れてコップ一杯マケマケにして飲んでいた。いつもキレイなウェートレスが白いエプロンをタスキにかけ、帳場のあたりからはその頃流行の松井須磨子のカチューシャの唄やゴンドラの唄、さては誰れかの蜜声に近い声で「お前とならばドコまでも、日光のケゴンの滝の中までもトコ、イトヤセン、カマヤセン!!」が蓄音機からフンダンに流れ興をそそった。この店は忽ち名物店に

なり、当時の神戸の文化人の巣のようなかたちになっていた。

筆者の子供のころ、三宮境内で印象に残っていることをあげると、活動小屋三宮倶楽部西のアンマキ屋の二銭のアンマキのうまかったこと、神社西入口のホーラクでギンナンと椎ノ実を煎ってアツアツのを売っていたオバサンのこと、大正四、五年のころ新聞社主催の活弁サン人気投票で、世界館の島津鷺城が新開地勢をおさえて最高得点で優勝したこと、三等入選、万国館秋山実弁士が前説の挨拶で首を横にお辞儀する癖があるので。カニとアダ名されて人気があったこと、歌舞伎座で天勝の奇術桃中軒雲右衛門の浪花節、松浪義雄、和歌浦糸子（初代大江美智子養父母）の金色夜叉を見たり聞いたこと。

お正月を迎えるに当っては社家の宮司さん（清水家）の家へ神宮大麻お礼を暮れの三十日に毎年貰いに行っていたこと、この先代のお母さん勢以女史が日露開戦に当り金壺万円也（いま一億円の価値）を警察に持って行き、ポンと戦費にお使い下さいと投げ出し、天晴れ大和撫子振りを発揮!!ために本殿横に立派な石造顕彰碑（位置を替えて現存している）が建てられていたこと、古来三宮神社境内からコンコンと真清水が湧き、代々宮司さんが世襲で清水姓を名乗っておられること等、想い出は尽きるところを知らない。

戦後都市計画のため境内はひどく縮小されたが、この賑わいは今日のセンター街の賑わいにつながったような気がしてならない。

（郷土史家）

生田森とセンター街附近今昔

福田 義文

汐なれし生田の森の桜花春の千鳥のなきてかよへる

秋成（あきなり）

平安朝から江戸期にかけての生田森から海岸に通ずる馬場先は、名作「雨月物語」の作家・上田秋成が詠んだような、まことに美しい田園風景で、民謡にも「婆々ジャ、ババ（馬場）ジャ

ト云ハンスケレド、生田ノババニハ花ガ咲ク」などがある。

焼けてしまった生田森からは山手の教会がついそこに見えた（昭和21年早春）

この附近が、市街地的な発展を遂げたのは神戸開港後で、しかも明治三十年以後。私が、大阪天満から生田宮に転勤した昭和十三年（阪神

風水害）ころは、東門筋は古道具屋が多く、生田前筋から三宮神社附近は、色とりどりの商いの店と色街があった。建物

も木造二階建てで、通行者も和服がほとんど。モダンボーイが出現したのもこの時代。その中、太平洋戦争の大きな渦の中に突入。遂に昭和二十年六月五日むなしい焼土と化した。

戦いの烈しき跡は残りけり焼き枯らしたる楠の大樹に

関（たけし）

この歌は、言語学者・北里関が、焼けただれた森に寄せられた、かなしい歌。

「焼土から立ちあがる」と、言う詞さながらに、枯死したと思った生田森も芽をふき出し、宮前のセンター街附近も、神戸市再建復興の先がけとなって繁栄した。今、このあたりは「世界の衣・食が、ここに集る」の観がある。私は、限りなき未来を夢みながら、来し方四十年余の激しかった歴史の悲しみと、喜びを回想している。

（生田神社宮司）

生田の池は防火用水の役目を持っているが大空襲には間に合わなかった。



思い出のジャン市と柳筋界隈

春木 一夫

ジャン市がいつ発生したのかよくわからない。しかし、戦後の三宮で、もっとも活気のあったのはジャン市と高架下とである。高架下には第三国人がたくさんいたが、ジャン市は純血の日本人ばかりであった。

何とかちゃんという美人のいるメシ屋があって、そこへ行けば、中西勝、貝原六一、鴨居玲君などの、絵は売れないが志の高い青年が焼酎を呑んで、盛んに気熄をあげていたのである。

昭和二十三年頃の柳筋。立っている人は早水ブリキ店のお母さん。



顔を見ると、十円、二十円とせびられたが、三十年たった今でもまだ返して貰えない。

ジャン市は全国的にも、有名だったらしい。哲学者の谷川徹三さんや作家の竹田敏彦さんが

ぜひ見たいというので、案内したこともある。竹田さんは小説に、少年刑務所から脱走してジャン市にかくまわれる少女のシーンを描き、映画にもなった。小説新潮にグラビアのルポルタージュを書き、腐敗し切ってどろーんとした空気とか、わい雑なムードとかの表現を使ったので、その記事が、この一角に住む人たちに、カチーンときた。

「肉体労働者に安くて栄養ある食物を提供しているわれらに対する侮辱だ」

組合長が交渉して、竹田さんから数十万円を出させた。

その金は便所の改装費に使われたそうだが、あのとときの美人も、便所も今はない。雨が降るとぬかるんでいた道路は、果たしてセンター街のどの辺にあたるのだろうか。

☆ ☆

柳筋もまた懐しい町だ。印象が暗いのは灯火が少なかったせいだろう。何しろ戦災に焼け残ったのはパウリスタと燐寸会館ぐらいで、他は今にも潰れそうなブラック小屋が、しめった黒い土にへばりついていただけなのだから。

しかし、復興の気運は見え始め、亡くなった芥川賞候補の作家中野繁雄さんが、

「うまいコーヒがあるぜ」

と、無理矢理に誘い出し、酒呑みの私を困らせたコーヒ屋も生れ出していた。

松岡寛一さんがモデルにしていた馬小屋のようなスタンドもあったし、武田繁太郎さんが「芦屋夫人」のモデルにしたとい

## 柳筋 三宮町三丁目の概要

柳筋商店街は昭和四十四年四月五日、近代的なアーケードを完成、祝賀式典を行ったのを契機に『三宮センター街三丁目』として、センター街連合会に加盟した。

現在は『センター三三街』という愛称で呼ばれているが、これは昭和五十一年秋に、舗道を赤煉瓦に改修した時、一般から募集したもので、キャラクターも決まっている。

戦後もしばらくは三宮町三丁目の全域が一つの町会で、この通りは昭和二十二年頃までは道幅も三層ぐらいの狭い路地で、十五、六軒ばかりの飲食店が焼跡のバラックで営業している程度の、ひっそりした裏通りに過ぎなかった。

その頃、隣保であるセンター街が発展のきざしを見せはじめたので、この通りでも何か手を打たねばと、まず町内会を作り全員が役員になって協議の結果、神戸市の許可をもらって道路の両側に柳の木二十本を植えて柳筋と命名した。それから町にちなんでも柳荘とか柳旅館とか、柳という麻雀荘が誕生し、会員

がコツコツと道路整備に励む

などの努力が実り、朝鮮動乱

の影響もあってか外人バーが

ふえ、柳筋も漸く活気を呈し

てきた。初代会長藤和頼太郎



柳筋発展の功労者  
藤和頼太郎氏

う女性が通うスタンドも流行っていた。鎌田の糸平さんが、焼け残った赤煉瓦の上で焼いている鰻の匂いを嗅ぎながら、いつの日かこれを腹いっぱい食べてやろうと、けなげな決心をしたときもあった。

柳筋に柳が植えられたのは昭和二十三年頃だろうか。彫刻家の新谷秀雄さんと二人で、流して歩いたことがある。新谷さんがウクレレをひき、私が歌うのである。

本職の流しが眼を怒らせてきても、

「やあ、旦那方ですか」

顔見知りだったりして、ニヤリとされたのも今では懐しい。

ダンスホールの「ソシヤル」で喧嘩が始まり、仲裁に入ったときなどは、気がついたら、ホールの床に伸びていた。あとで聞くと、多数の乱闘だったので、喧嘩相手と間違えられ椅子でなぐり倒されたのだそうだ。

こういう思い出は、今の三宮センター街の輝きからは伺うすべもない。  
(作家)



▲昭和22年春。地球の上に朝が来る…で一世を風靡した川田晴久氏とトアロードを行く北森愛紹氏。

氏の功績に追うところが多い。その後、外人バーもへり、現在の  
のような物品販売四分、飲食店関係六分の街並みになった。

三十年頃になって、柳筋は自ら率先して都市計画を申請し、  
道路を一挙に六呎の二倍の広さに拡張し、同時に下水、ガス、  
電気工事も相ついで整備、町並みは面目を一新した。

それを機会に東入口に最初に三三ビル（北森、矢野、真壁氏）  
が建ち、西に角丸ビルが、その後次々とビル化して現在に至る  
が、それでも三十五年頃まではまだ空地が目立っていた。

昭和四十年、十八年間の会長を勤めた藤和氏が顧問になり、北  
森愛紹氏が会長に就任、近代化第二期へはいる。

その第一号事業としてアーケードの建設が決まったが、今は  
大きく育って長年親しんできた柳並木への郷愁が強く、切るこ  
との賛否両論相半ばして仲々結論を見なかったのであるが、商  
店街近代化はそれを優先するとして、四十三年柳を切り総工費  
三千五百万円をかけて翌年四月竣工、センター街へ加盟。

翌年より宮本正三氏が会長に就任、五十年四月振興組合を結  
成して今日の盛業を勝ち得たのである。

△柳筋商店街時代の会長、副会長▽

☆藤和頼太郎氏「スター時計店」 昭和23年～40年3月 会長  
☆押切博氏「オリンピア」 昭和23年4月～33年3月 副会長  
☆矢野太郎氏「ヤノスポーツ」 昭和33年～42年3月 副会長  
☆角丸時雄氏「角丸印刷」 昭和40年4月～42年3月 副会長



▲道幅を6呎に拡張して工事を急ぐ（昭和31年頃）  
右は道路、水道、下水、電気等の諸工事が完了して  
お祝いの会の記念写真（昭和32年）



▶三三ビル。昭和三十三年に  
東入口に出来た柳筋では第一  
号のビル



## 三宮町の概要

### ▼明治6年11月 三宮町が誕生

三宮町は三宮神社があることにちなんで明治六年十一月命名された町で、出来てから百五年になる。

東は滝道、現在のフラワーロードから、西は鯉川筋まで、北は国鉄線路、南は元居留地までの区域で、現在神戸の中心地となっているが、当時は全くの寒村風景であった。

この辺りは旧神戸村の一角で、現在のトアロードは「三の宮筋」と呼ばれていた。周囲には田畑が広がっていて、近くに源平の戦いで討死した勇士「河原兄弟塚」が四、五本の松の根本に祀られているだけの西国街道筋に当たる。

三宮神社は大きな森であった。それが明治維新の神戸の開港の際に、この森をつぶして、その土で居留地の海岸をこしらえその南一面が居留地になったことから、にわかに賑わいを増していった。それでも明治十五年の記録によると戸数は百二十戸で四百人が住んでいたと記されている。

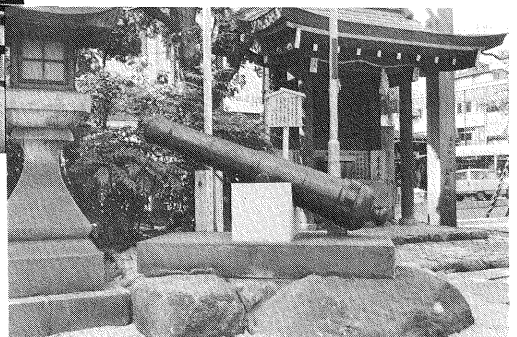
### ▼明治27年9月 三宮町一、二、三丁目に分れる

名もなき農村地帯であった三宮町も二十年余りたった二十七年頃には戸数が九百戸、人口三千五百余人になり、漸く町らしくなったので、この年、一丁目から三丁目まで区分けされた。

一丁目は滝道から生田筋の間、二丁目は生田筋からトアロー

### 神戸事件の石碑

三宮神社の境内にある石碑と大砲は慶応四年一月十一日（明治元年）この前で起った大事件を記録している。この日三宮神社前を東進していた備前藩砲隊の前を外国人が横切ったことから無礼者め！と相なり大砲を打って戦った（但し死者は一人もなし）ことから、国際的大問題となった。幕府は責任者として備前藩滝善三郎に永福寺で切腹をさせ、事件は落着いた。大砲はその時の同形のもので、後日和田岬か



★ ★  
ら採掘されたものを、記念にここへ設置して往時を偲ぶよすがとした。現在は県政百年記念に設置された青銅プレートがある

ドまで、三丁目はトアロードから鯉川筋までで、南北に通っている道路を挟んで区切られたので、一、二、三丁目の面積は必ずしも均等ではなく、一丁目が広い。

明治三十八年に阪神電車がそごうの山側まで乗入れてきてからは、東の客が三宮へ来易くなり、目に見えて発展していく。加えて明治四十三年四月には、神戸市街電車の本線が開通し、大正元年、滝道、加納町間が開通して、いよいよ本格的な三宮町の発展を招いたのである。

# 三宮センター街の構成

三宮センター街は昭和二十一年秋に誕生した戦後の新興ショッピングセンターである。

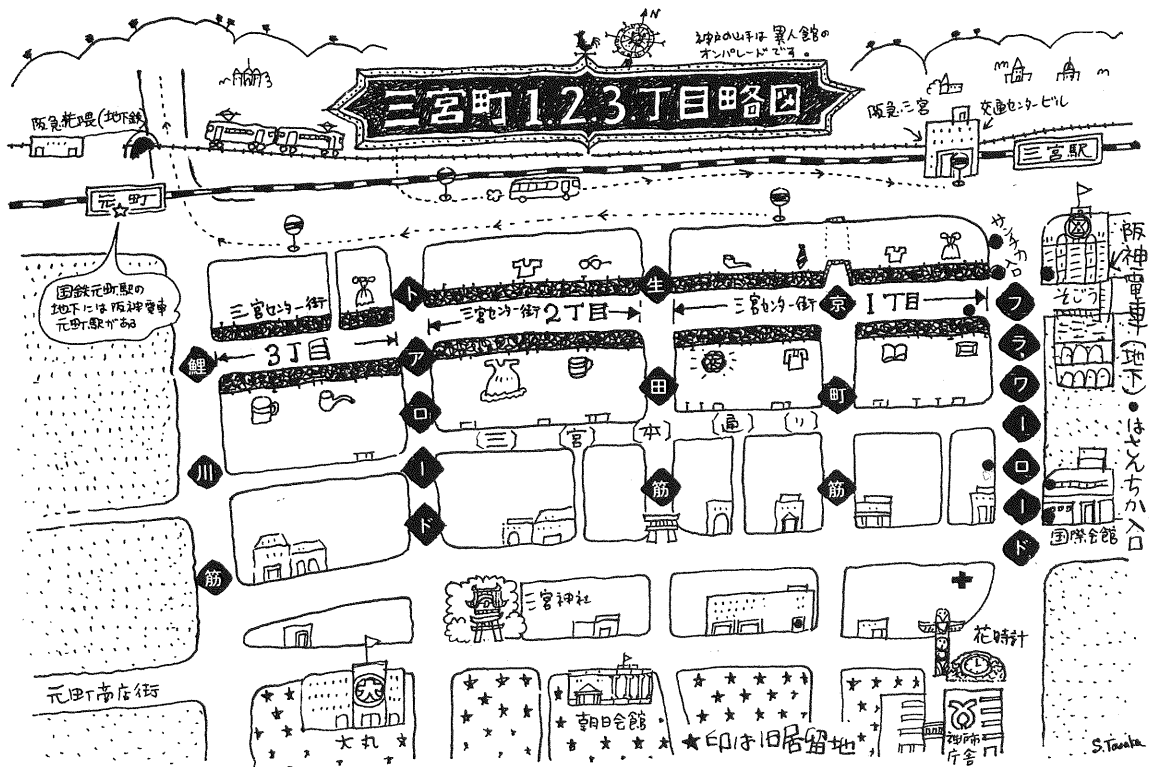
「流行を創る街」として、常に時代の先端を行こうと、会員は一丸となって街づくりに励んできた。

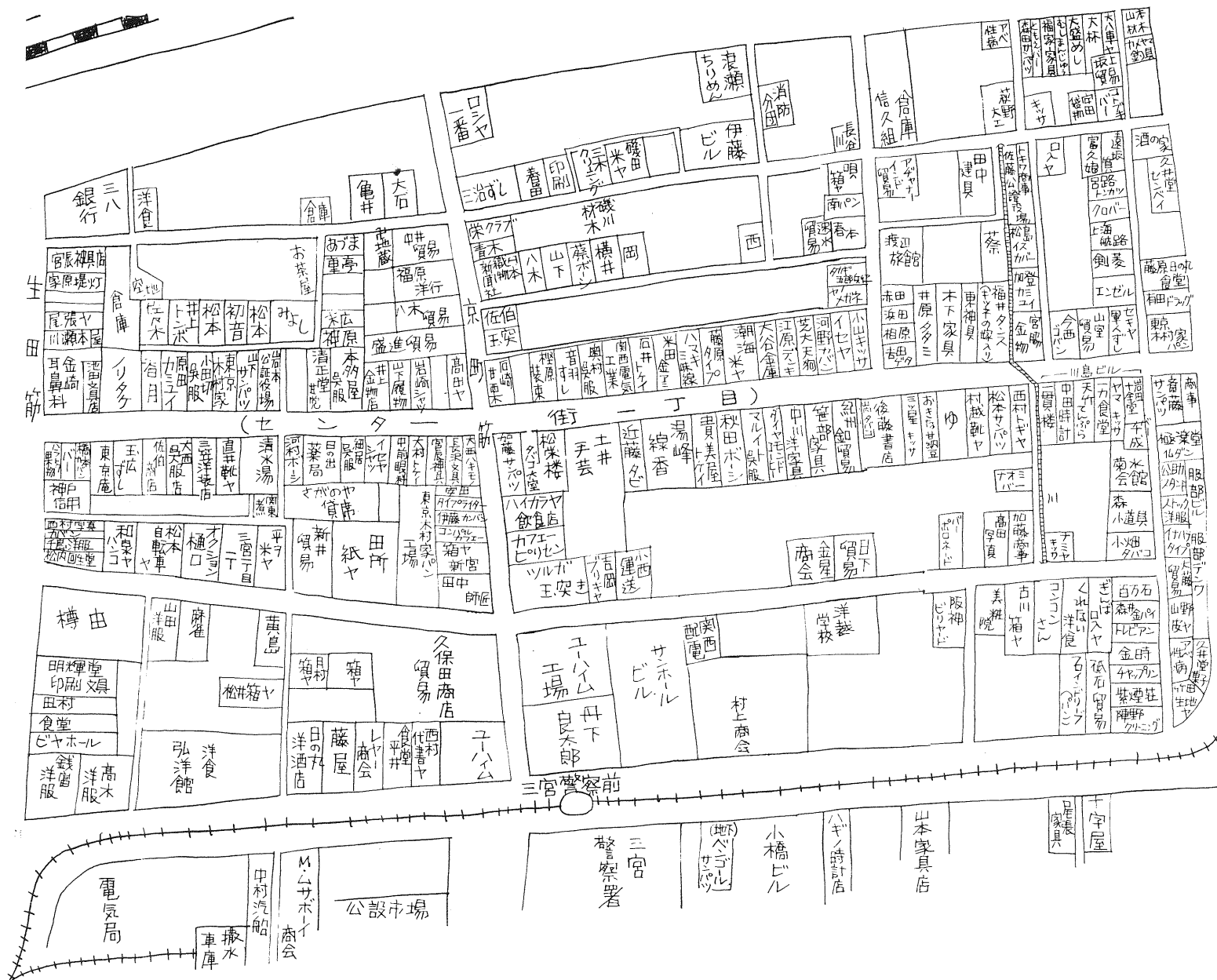
三宮センター街商店連合会の構成は、加納町五丁目の一部を東入口として、三宮町一、二、三丁目を東西に貫く全長五四三メートル、その両側に並ぶ二二八店の小売商店によって成り立っている三丁連合の商店街で、各丁の組合員と店舗数、長さは左記の通りである。

|     |     |     |         |
|-----|-----|-----|---------|
| 一丁目 | 九〇名 | 九二店 | 二六五メートル |
| 二丁目 | 六一名 | 六一店 | 一五三メートル |
| 三丁目 | 七五名 | 七五店 | 一二五メートル |

一丁目は昭和四十六年四月に、二丁目は四十八年二月に三宮センター街振興組合を結成した。三丁目は元「柳筋商店街」と称していたが、四十四年四月アーケード完成を契機に三宮センター街三丁目として加盟し、昭和五十年四月振興組合を結成。

神戸市は昭和四十一年三宮の近代化をめざして「三宮市街地改造事業」をスタートさせ、山側を市が担当、南側は「防災建築街区造成事業」として権利者がそれぞれビル化し現在に至っている。





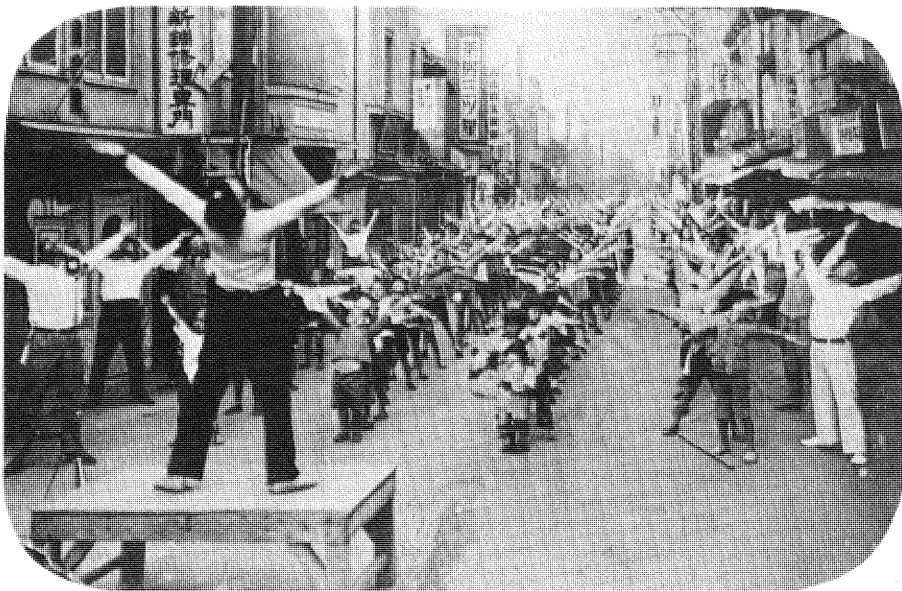
◆ 復元図作制にご協力下さった方々 (敬称略)

上田数平、井上貞夫、伊福良雄、岡本玉吉、川飛満祐、滝本義明、栗山浅子、小松原政雄、小西利幸、佐伯シゲ、坂本正三、斎藤通生、清水俊雄、柴本 実、田所新三、直井イサ、中本仁市、長沢堅次、永田良一郎、早水敬治、藤井吉昌、藤田信一、森川千以、山下良造、横井信市

上記以外の方にも色々ご協力頂きありがとうございました。お気付の点編集室へご連絡下さいませ。

〈復元図〉 永井文明 < ☎ 078 - 391 - 8515 >





▲ラジオ体操イチ、ニッ、サン！ 商盛会の朝の体操は町中で盛大に行われた。キモノを着て手をふる女の子もいる（S.15）



▲S.51.10. 高架下の改装で戦後のビラが現われた。

▼戦後に初めて復活した生田祭りで（S.23.4）



▼せいもん払いのおいらん道中は新聞にも報道された。



鈴蘭燈の出来た頃の2丁目西入口付近（S.23.秋）



昭和二十一年～昭和三十年

# 三宮センター街創立より確立時代





話題をさらった「おいらん道中」きつねの嫁入りや福井家具店前で（S.27.10.27）

## 三宮センター街誕生

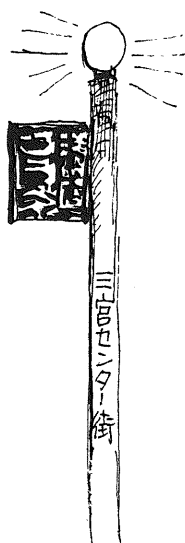
### ▼昭和21年

三宮センター街は敗戦の焼土の中に芽生えた。昭和二十年三月以降のたび重なる米軍の大空襲によって、神戸は都市の姿を失い、市民は憔悴の極地の中で八月十五日終戦の日を迎えた。

この時、古くから一丁目で商いをしていた人たちによって、いち早く新しいショッピングセンターを作ろうという動きが出はじめ、意欲に燃えた有志たちが日夜相寄り協議を重ねて、漸く二十一年秋に商店会を結成した。

戦前、一丁目のこの通りは三宮本通りと呼ばれ、小売商店も六、七十軒つながり、商盛会という町会もあって、割合い賑やかであったが、二丁目の通りは道幅こそ一丁目と同じ広さ（六畝）であったけれども、豆腐屋、漬物屋、一杯飲み屋、寿司屋などの小店が、住居の間にある程度の裏通りにすぎなかった。

そういう土壌の上に生まれた商店会は、この通りに何か顧客に親しまれる「愛称」をつけようということになり、明治開港以来、エキゾチックなムードを持っている神戸の、戦後生まれの新しい町にふさわしい「バタ臭いもの」にしようと知恵をし



ばり、一丁目でスターという喫茶店をしていた大石氏の発案で命名したのが和洋混合の「三宮センター街」なのである。

いま至る所に「センター街」という名前の街を見かけるが「三宮センター街」こそ元祖である。

創立当時の会員は四十数名、一丁目は可成り家並みも出揃ったけれども、二丁目は終戦時のままの空地が目立ち、焼け落ちた土が盛り上った個所も見受けられ、店舗らしいものは三分の一程度しかなかった。これを五区に分けて役員を決め、初代会長に東中清一氏（当時四十二才）が就任した。

当時は闇市盛なりし頃で、特に三宮駅高架下周辺は、全国的に名をはせる大型闇市で、その繁盛ぶりは目覚ましいものであったが、ここへ隣接して作った「センター街」への客足は一向に振わず、統制経済下にある時代のこととて、正規ルートの商品は品薄で魅力に乏しく、しかもなじみのない通りのために、いつも閑古鳥が鳴いていた。

### ▼昭和22年

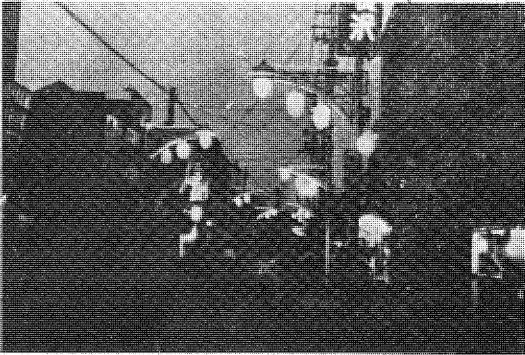
この闇市へ流れる人達をセンター街へ呼ぶ方法はないかと協議の結果、町の店主や主婦らが「さくら」となり、町内を右往左往、客の誘致に専念した。そして二十二年、木の柱の上に電球を一個つけた街路燈を建てて夜間照明を始めた。電柱には三宮センター街のネームを入れ、この柱に各店が木製の看板を掲げてPRに懸命だったが、未だ物資不足の時代のこと、これさえも珍しがられた。松竹映画ではこのアイデアを高く買って撮影に訪れ「復興の街」として上映された。

## 鈴蘭燈が出来る

### ▼昭和23年

更に翌年春には、これを鈴蘭燈に替えて華やかさを出そうということになり、当時既に大正筋商店街に立派な鈴蘭燈が出来上っていたので、それを見学に行き、完成までのいきさつなど詳しく説明してもらって、大いに参考にした。

鈴蘭燈は鉄柱にしてセンター街のネームプレートも入れ、一基五万円、各店平均四千四百円ぐらいの負担で三十基を設置、こうして完成した鈴蘭燈は、明るく華やかに街のムードを盛り上げて面目を一新した。



そういう中で、四月十五日には戦後ではじめての生田祭りを盛大に奉仕した。生田神社のお祭りは、氏子の町域が広いので十二年目に一度奉仕当番が回ってくるシステムになっており、この年は地元三宮が真心をこめて奉仕し、久しく忘れられていたふるさと祭りの心をとれもどすことが出来た。

また十一月七、八日には神戸みなどの祭りが盛大に行われ、センター街では娯楽の少なかった市民のために、大洋劇場でのご自慢大会を催し楽しい時を過ごした。

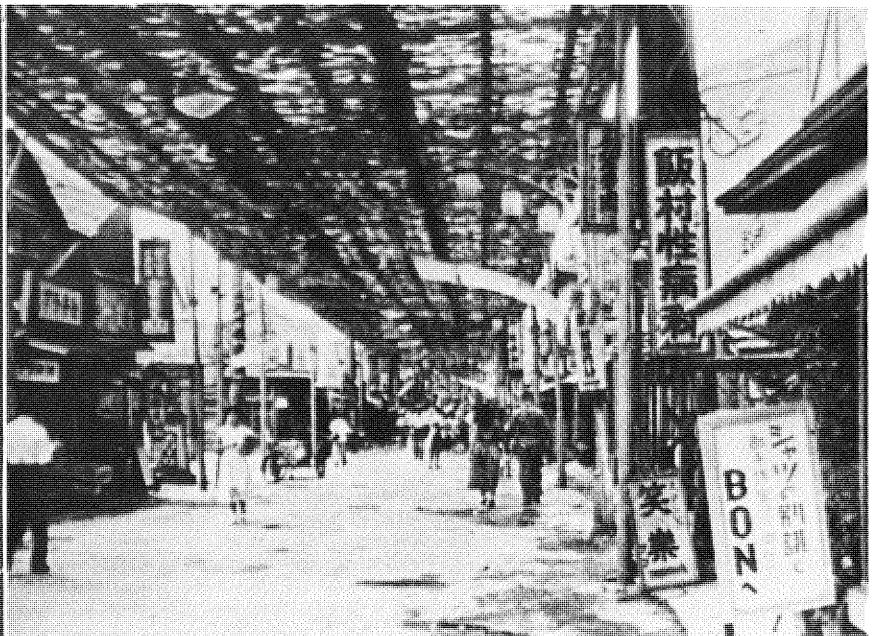
## 回転アーケードとよし簀の日除け

### ▼昭和25・26年

会員の努力で人通りも増え、商店も漸増してくるにつれて、町内の運営事務も繁忙となったので、二十五年一、二、三区を一丁目会とし、会長に長沢堅次氏(当時四十二才)が就任。四、五区を二丁目会として上田数平氏(当時四十五才)が会長に就任した。

二丁目会では二十六年十二月、二丁目の東西の入口に一六〇万円(二基)で二段式逆回転ネオンアーチを完成、これがやがてセンター街のシンボルマークの役目をなすようになり、当時マスコミは東洋一のアーチと喧伝した。二十六、七年の夏には道路の上に日除けの「よし簀」を張り、ヘチマを垂らしてお客の人気を呼んだ。二丁目では、間口一間につき五十銭の日掛け貯金を始め、二十五万円程で作ったが、一丁目は日掛けの点で

三宮センター街創立から確立の時代



▲よし簀をはって日除けにした。アーケードの原型。

左上は東洋一とはやされた逆回転するアーチ。

中はおいらん道中で扮装し、けんを競った店主たち。

下は三宮青年会の盛大な盆おどり (S.24.8)



意見が合わず、二丁目より少し遅れて完成した。  
このよし簀張りを思いついたのには理由がある。二丁目の田路氏の話によると：

『昭和二十五年ある夏の日、店の前に立って東と西を眺めた。生田筋からトアロードまで歩いている人がなんとたった七人。理由は国鉄三ノ宮、阪急、阪神で降りた人々は、高架下が涼しいといってここを通り、トアロードを南へ下りて大丸へと買物に行く。センター街は無視された格好で泣くに泣かれぬ口惜しさであった。そこで考えられたのが道路の上に材木を組み立ててその上によし簀を張るというアイデアで、これで大分涼しくなったものの、一雨降れば黒い汁がポツリポツリと落ちて、お客さんの服を汚したり苦情が出てこれは失敗だった』と。

## 道中頼末とおいらん道中

▶昭和27年



当時道路は非常に悪く少しばかりの雨にも水溜りができる。センター街も例外ではなかった。舗装をしてくれるように市へかけ合ったが、市は、まだ優先的にやる所がたくさんあるので、商店街なんかとんでもないと、全く相手にしてくれないので、更に建設局へも伺ったが同様の返事であった。それでも尚諦めず、当時市会議長であった大崎一郎氏に相談したところ、材料は町費で負担し、労力は公費でまかなうという変則システムで話しが決まり、町会が百二十万円ばかり出資して一月に舗装と側溝が完成、ずいぶん街らしい様子を呈してきた。

十月二十七、八日、誓文払いのアトラクションとして、役員会員扮する全町あげての「おいらん道中」を繰りひろげて人気を呼んだので、センター街が広く世間に認められるきっかけをつくった。

### ◆おいらん道中頼末

恒例のせいもん払い折からの不景気とあってあの手この手の客寄せの中でひとときわがたセンター街のおいらん道中。松竹から衣裳一式六十万円で借り、



◀昭和二十六年秋、みなと祭で賑わうセンター街二丁目。丸太屋、中前眼科、エビス、タマガキ等の看板が見える。



高尾（丸福）吉野（喜久屋）揚巻（長沢・写真）の三太夫中心に手古舞衆、新造、かむろなど六十余名がきつねの嫁入りやで支度して二時間余りをシャナリ、シャナリ揚巻太夫は特訓受けて八寸三齒の高下駄の運びを見ごとに演じた。これで売上げ二十万円はかたいと店主連はニンマリ（当日の新聞）



## アーケード完成・二丁目

▼昭和28年

よし簀を張って日除けにしたが、一時の思いつきでは効果が上がらなかったのだ、半永久的なアーケードを建設することになった。

二丁目では早速準備をすすめ、当局の許可を仰ぐ。先ず市、続いて県、建設局、消防署、警察署を回り申請書を出したが、全部受付けてもらえなかった。それで再び町内有志で大崎氏に相談をもちかけたが、ここでも即決というわけにいかず保留となった。それから十日後、市から返事があって『高知市でアーケードが建設されていることが判った。市の関係者五名を出張



アーケードの組立て作業と下は  
三宮神社清水宮司による地鎮祭



させるから、町からも一緒に行って見学して来たらどうか』とのことで、それから一週間後に市の職員と町内会有志七名は高知市を訪問。高知市へ到着すると役所から出迎えを受け、商工会議所で説明会を開いてもらい、その後アーケードを見学、長所や短所や苦心談も聞き、大きな収穫を収めて帰神した。高知では既に種類の違ったいくつものアーケードが完成していた。

帰神後、市の態度も少しずつやわらぎ、三カ月後に許可がおりたので、二丁目では八百万円―一千万円の予算を計上、日掛貯金を始めた。大切な事は施工者探しで、予算に合わせて、しかも堅実な素材を使う有名会社ということで、川崎重工業株式会社決定。十二月二日盛大な完成祝賀式を行なった。

アーケードはスライド式で使用する鋼材五〇ト、アルミニウム一・七ト、高さ六メートル、柱間五メートル・五五メートル、総長一五三メートル、電気工事は横山電気。総工費は銀行利息、竣工祝賀会費を加えると千六百万円を要し、返済に四年近くを要した。

アーケードに関しては賛否両論があった。センター街だけでなく、各商店街でも問題になったが、センター街の人通りは日毎に多くなっていたし、迷子が出る程になった。各地商店街から見学者が来町するようになり、これで漸くセンター街も世に認められるようになった。

アーケードの竣工記念「年の市大売出し」が二日から二十五日まで一、二丁目で開催、五百円以上お買上げ商品券、千円以上に特別抽選券が渡される。商品は舶来電気洗濯機又は三菱ミシン、いずれもお好みの品五十台。

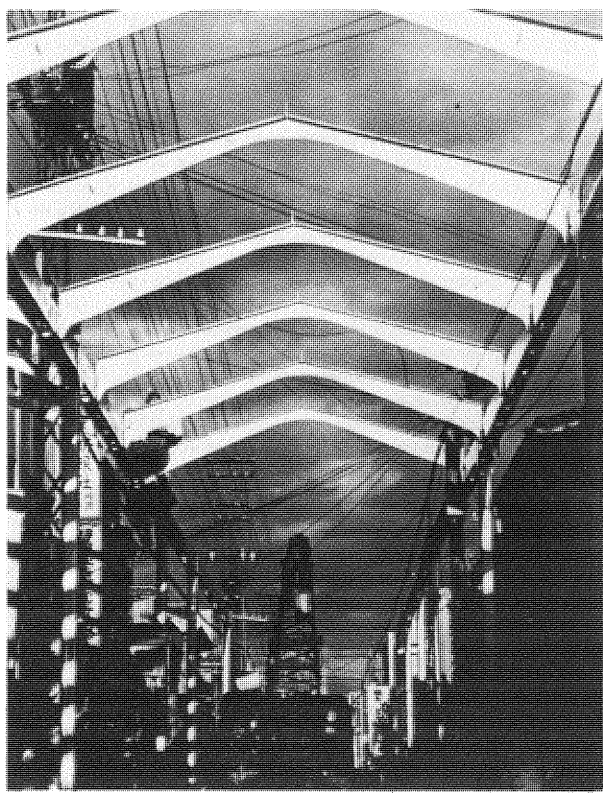
連合会設立・協同組合設立

▼昭和29年

街の様子も大方整ってきたので、二丁目の連けいを一層密にするために三宮センター街連合会を作り、会長に東條喜三郎

▼三宮センター街協同組合創立

このようにして町の基礎を確立したセントー街では、諸般の事情にかんがみ、相互扶助の精神に基き組合員のために必要な共同事業を行い、自主的な経済活動を促進する目的をもって三宮協同組合を創立した。創立総会は十月十日、設立同意者七十名。十一日申請、十四日岸田幸雄知事認可証七〇〇号。初代理



▲立派に出来上ったアーケードの下で竣工式（二十八年十二月二日）  
▲アーケード完成を祝って色刷りで載った連合広告



▼昭和30年 1月1日 PR誌「センター」創刊

センター街のPR誌「月刊センター」が東條連合会長らの肝入りで有志によって発刊された。(下)これは全国的に見て商店PR誌の先駆をなすもので、同年月に創刊されたものに「銀座百点」がある。

▼3月20日～4月10日

春の大売出し「お好み温泉一泊旅行」百三十人招待

白浜、芦原、城崎の三温泉いずれでもご招待というのが当り当選組番号も当初の予定百人分が百三十人分とはね上る好成績だった。抽選の結果、九十二番が温泉招待、前後賞九十一、九十三番(湯上りタオル贈呈)二百六十人が決定した。

温泉行は六月二十日までならいつでも三宮駅内日本旅行会三宮営業所でクーポン券と引換えられる。この企画は前回一等キヤノン・カメラ賞より、より多くの人に喜んでもらおうという気持がアップビルした最近のヒット版だといわれている。

▼5月8日 婦人部誕生

商店街には珍しい婦人部を、八日の「母の日」を記念して結成した。会員家庭の主婦、女性従業員など百七十名を集め、親睦と社会勉強に努めるのが目的。

▼6月23日 二丁目の総会

梅雨時に珍らしい快晴、深緑におおわれた有馬街道を全但貸切バスが四十七名の会員を泉郷有馬へ運ぶ。兵衛紅葉谷別館での総会は定刻の五時に開会、大内会長を始め全員浴衣姿もなごやかに議案もすらすら承認可決された。商店街会費改正の件も



のび行くセンター街発展のため、一同協力支持の意を表し可決。

またセンター街発展策並に親睦に関する懇談会はセンター会館を高度に利用し店主の研究会、店員の補習教育など会員より建設的な

意見も続出、七時から宴会に移った。

▽お買物はセンター街で 扇港随一 金鳥蚊取線香

▽好いて好かれた仲ぢやもの

ちよつとやさそつとで離れません セメダイン

恒例の福引の名文句に拍手。有馬の美妓長唄「都鳥」演芸部のリードでのど自慢や飛入り演芸に歓を尽した。

▼6月25日 「センター会館教養講座」

夜七時からナショナル金銭登録器KK主催で「映画と講演の会」が開かれ店員の教養向上に大きな成果をあげた。

「教養講座」が七月一日夜英語C組からはじまり、一般聴講者を交えた勉強家、老若男女三十名が関大平山政市先生の手ほどきで「グッド・イヴニング」と和気あいあい、各科目とも超満員の盛況で「お断り」に一苦労だった。

▼7月24日 会と催し

センター会館では九時半から、関大平山政市先生の「正常販売高予測法」の講習会を開く。聴講無料、テキスト一五〇円。

▼7月10日～8月15日

### 川柳と絵入りあんどんで中元大売出し

全商店街をあげて盛大に行う期間中の呼び物は、各店毎に川柳と絵入り「あんどん」を軒並みぶら下げセンター街を花やかで大きな「あんどん廊下」と化し夕涼みがてらの顧客に涼感を楽しんでもらう趣向。

川柳はふわうすと川柳社同人から募集したところ婦人を交えての四百五十句の秀作が集まり、選出に街のお歴々が数日間、徹夜する騒ぎだった。また軒毎に発表された入選作の中から優秀作を一般の投票で決定し、入選者には賞品を贈るが、さらに一位投票者のうちから五十名を抽選で決定、賞品を贈呈する。なおこの期間中スマートなマッチをセンブラ・マンに上げることになっている。あんどんの作者はイワタ・タケオ、鴨居玲、岡村、山下、大久保の諸氏。

### ▼8月 川柳人気投票発表

投票総数三千六百十八票と、審査の結果、一位から十位までの入選句が決定、また第一位(一五四番)に投票された方、三百九十五名のうち五十名(抽選)に、それぞれ入選賞を贈呈した。

入選句次の通り(カッコ内はあんどん番号)

- 1位(一五四) センター街越路吹雪とすれちがい 頑子
- 2位(四八) 窓明けて白一色の事務に居る いづる
- 3位(一一八) 珠暖簾静かに酔うた肱枕 鬼堂
- 4位(一八六) ポーナスの日をセンター街二度三度 比呂詩
- 5位(一九七) 気持よいお世辞背にして店を出る いづる

ぐくく回センター街で買い

- 6位(八一) 買う人も満足がありセンター街 弘昌
  - 7位(二〇九) 涼しげな眼が蝶タイの柄を選び 泉三
  - 8位(六八) 倅せな二人へ映えるアーケード 三昭
  - 9位(五八) センター街明日への糧に歩くなり 好啓児
  - 10位(二七〇) 恋人に着せたい柄に立ち止まり 三昭
- ▼11月20日～12月25日

センター街恒例の 歳の市大売出しとXマス・セール  
連合会恒例の年末の催しを次のような豪華版で行う。

十一月二十日～十二月五日 歳の市大売出し  
十二月六日～十二月二十五日 クリスマス・セール

### ◎お楽しみラッキー・カード

。買上げ千円ごとに一枚進呈(百円ごとに補助券進呈)

◎お好み温泉へアベックで招待(ラッキー・カード二十枚を一口として抽せんにてアベック一組ご招待)

芦原温泉と東尋坊温泉——お宿泊つるや旅館

白浜温泉と泉都めぐり——お宿泊桃の井旅館

城崎温泉と日和山遊覧——お宿泊西村屋旅館

三月末日迄におすきなときに、お好みの温泉へ

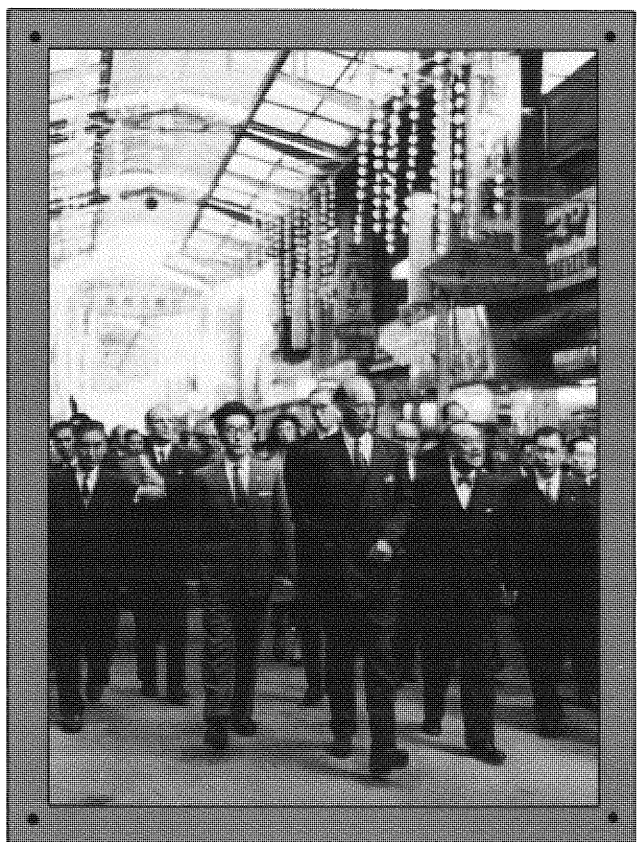
◎またはエンバイヤ・ポータブルラジオ(電池、電灯線兼用)

売台 ◎当せん発表 十二月二十五日

昭和三十一年～昭和四十年

# 三宮センター街成長発展の時代

ベルギーの前皇帝レオポルド三世がセンター街へお見得になった（昭和三十六年三月）





続いてライオン歯磨提供の素人名人会は、おなじみの西條凡児司会でNJB新日本放送の公開録音。

▼7月3日 センター街野球部奮戦

歡聲にこたえた。

「イヤ、よくやったく」 (いままで一ペンも勝ったことない)

ト  
ー  
ア  
ロ  
ー  
ド

三 宮 町

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 喫 | 洋 | マ | 毛 | カ | 洋 | カ | 洋 | 洋 | 時 | 洋 | 呉 | 化 | 毛 | 喫 |
|   |   | ↓ |   | バ |   | メ |   |   |   |   |   |   | 粧 |   |
| 茶 | 装 | ク | 糸 | ン | 装 | ラ | 品 | 服 | 計 | 装 | 服 | 品 | 糸 | 茶 |

---

|   |   |    |   |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|----|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ド | 絹 | 毛  | ヒ | 美  | ミ | パ | 則 | 美 | 風 | ニ | 高 | 上 | 田 | ア | ふ | 喜 | ひ | エ |
|   |   |    |   |    |   |   |   |   |   | ユ |   |   | 田 | 路 | イ |   |   |   |
| ン | マ | カ  | ツ | ↓  |   | 光 |   |   |   | ↓ | 砂 |   | 洋 | 時 |   | み | 久 | ル |
|   |   | ↓  | 里 |    |   | 商 | 芸 |   |   | ↓ |   | る |   | 服 | 計 | リ |   |   |
| ク | 屋 | クリ | 屋 | ヤル | 店 | 社 | 神 | ブ | 屋 | と | 店 | 店 | ス | や | 屋 | ろ | ム |   |

田 生

2            丁            目

|      |    |    |    |    |       |     |      |      |   |   |   |   |   |
|------|----|----|----|----|-------|-----|------|------|---|---|---|---|---|
| 呉服   | 洋服 | 洋装 | 洋品 | 生地 | 履物    | 洋服  | 半衿小物 | 宝石時計 |   |   |   |   |   |
| ちんがら | タマ | ま  | マ  | ト  | え     | シ   | 若丸   | フ    | 山 | お | エ | ハ | 玉 |
| ん    | マ  |    |    |    | アメリカン | びらん |      | エン   | 口 | そ | ン | リ |   |
| が    | る  | ミ  | ミ  |    | スタイル  | 飴支  |      | ツ    | 洋 | め | パ | ウ |   |
| ら    |    |    |    |    |       |     |      | シ    | 服 |   | イ | ツ |   |
| や    | キ  | 喜  | ヤ  |    | 店     | ワ   | 松    | 福    | ブ | 店 | ヤ | ド | 垣 |

三  
 三  
 三

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 味 | 洋 | 紳 | 吳 | 洋 |
|   | ネ | 士 |   |   |
|   | ク | 洋 |   |   |
|   | タ | 品 |   |   |
| 屋 | 服 | イ | 服 | 傘 |

---

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ト | 住 | さ | 大 | 東 | シ | 袋 | 古 | 渡 | 大 | 福 | 大 | ミ |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ル | く |   |   |   | ラ |   |   | 辺 | 和 | 西 |   |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 屋 | 徳 |   |   |   |
| ア |   | 和 | 京 |   | 物 | 川 | 洋 | シ | 吳 | カ |   |   |
|   | ら |   |   |   | ユ |   |   | ヤ | 商 |   |   |   |
| 商 |   |   |   |   |   |   | 服 | ッ | 服 |   |   |   |
| 店 | 山 | や | 屋 | 庵 | リ | 寿 | 軒 | 店 | 店 | 店 | 店 | サ |

センター街やのにここまでよう勝ってくれた——と、これは奮戦した選手団を迎える役員の偽わらない親心で、三都市制覇の野望は破れても全店挙げての野球さわぎは幕となった。

#### ▼8月7日 二丁目婦人会

相互の親睦と社会見学を主旨として誕生した婦人部は、夕刻より会員約九十名が二台のバスに分乗、奥マヤにドライブ。百万ドルの夜景に汗を忘れ、ジェットコースターに日ごろの辛勞を忘れて数時間のリフレッシュを有意義に終った。

#### ▼10月4日

全選手が年齢四十歳以上という、ちょっとめずらしい野球でそれも、朝から晩まで、店の内で、平常あまり肉体労働に縁のない店主ばかり。からっと晴れた秋空にセンター街東西百八十軒の店主方が一日をたのしく遊ぼうという。

野球熱は去る七月、三都市対抗商店街野球大会に、オール・センター街が出場、四位という好成績を挙げて以来、一そうさかんとなり、この日一、二丁目の試合となったわけだが、とかく勝敗に熱中しすぎて肝心の目的が他にはずれることがあつてはならぬ——というわけで、四十歳以上の店主に限られた。

試合は三宮そごう南側の磯上グラウンドに、富士、三井、神戸、福徳相互各銀行、神港新聞、神港通信社の各来賓を迎え、東條連合会長の始球式により午前十時四十五分開始され、にぎやかな声援のうちに試合は終了した。

#### ▼12月1日～20日 センター街のクリスマス・セール

“その場で当る”カラクジなし

#### センター街1・2丁目O・B懇親野球大会

|     |         |    |
|-----|---------|----|
| 2丁目 | 1100164 | 13 |
| 1丁目 | 453003X | 15 |

於 磯上グラウンド

#### 2 丁 目

|    |                 |          |
|----|-----------------|----------|
| 1  | 玉垣 (時計店)        | 左        |
| 2  | 川飛 (トンカツ・ムサン)   | 一        |
| 3  | 岸野 (シンワ洋装店)     | 二        |
| 4  | 雨宮 (モニック・レース)   | 三        |
| 5  | 松原 (トミヤ洋品店)     | 遊        |
| 6  | 伊藤 (ニュー・ホープ洋品店) | 捕        |
| 7  | 北村 (まる喜履物店)     | 右        |
| 8  | 池田 (アイリス洋装店)    | 中        |
| 9  | 三谷 (ミツヤ)        | 投        |
| PH | 田路 (時計店)        |          |
|    | 東條 (マミー・ブラウス)   |          |
|    | 大内 (マルダイ・ボタン店)  |          |
|    | 松岡 (同上)         |          |
|    | 坂本 (喜久屋化粧品店)    |          |
| 監督 | 一田路             | キャプテン—池田 |

#### 1 丁 目

|    |               |          |
|----|---------------|----------|
| 1  | 古川 (セトモノ店)    | 一遊捕      |
| 2  | 黒田 (メグリ洋装店)   | 投        |
| 3  | 熊谷 (アライ菓子店)   | 左        |
| 4  | 竹村 (大和屋洋品雑貨)  | 二        |
| 5  | 長谷川 (ツルタ薬局)   | 三        |
| 6  | 井上 (金物店)      | 右        |
| 7  | 植村 (まからずや洋品店) | 中        |
| 8  | 宮脇 (金物店)      |          |
| 9  | 栗山 (東京庵)      |          |
| PH | 渡辺 (翠芳園)      |          |
|    | 福井 (家具店)      |          |
|    | 長沢 (文具店)      |          |
|    | M銀行三宮支店次長     |          |
| 監督 | 一渡辺           | キャプテン—長沢 |
| 球審 | 王野正義          | (野球評論家)  |
| 塁審 | 松岡、大塚、和泉      |          |

一遊捕投左二三右中

ホームラン 黒田、竹村 2塁打 古川 勝利投手 竹村  
敗戦投手 三谷

一、〇〇〇円お買上毎にその場で当るスピード籤

二百円毎に補助券進呈

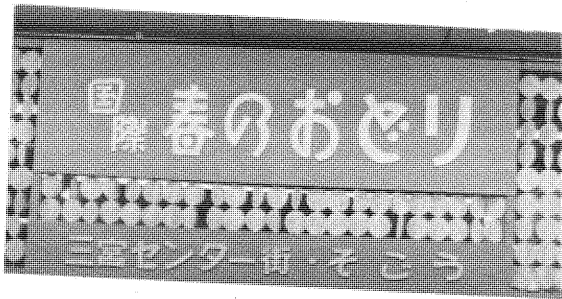
①お正月宝塚歌劇御招待 (一月七、八、九、十日)

②朝日会館・大洋劇場御招待

③資生堂オリブシャンプー洩れなく進呈

各商店毎に一等から三等迄の賞品を備え付お買上と同時に抽籤  
その場で賞品を貰える新しい方法

#### ▼12月21日～31日 センター街の年の市大売出し



▶お中元セールの抽せん会 (32年 8月19日)

▼SKDの春のグランドショー招待受付



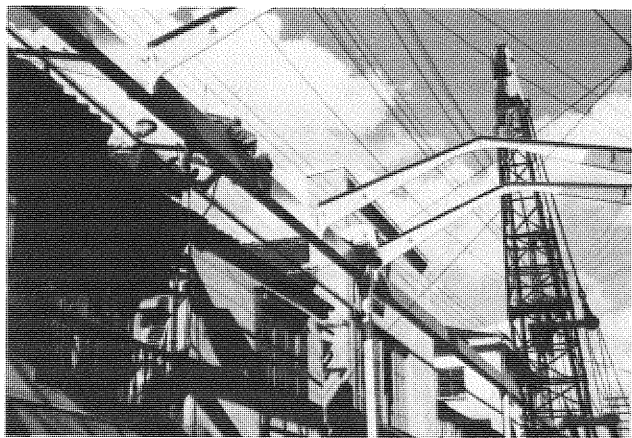
◀O・B 慰親野球大会は一丁目の勝利で幕(磯上グラウンドで)

▲三十二年夏、センター街の街角でラッカサンスタイルは二十年目にまたやってきた。



▶勝利のパレードがセンター街をねり歩く。左は大洋劇場前でリーダーたち。





▲1丁目の東入口にアーケード工事が始まった。10月には完成の予定。

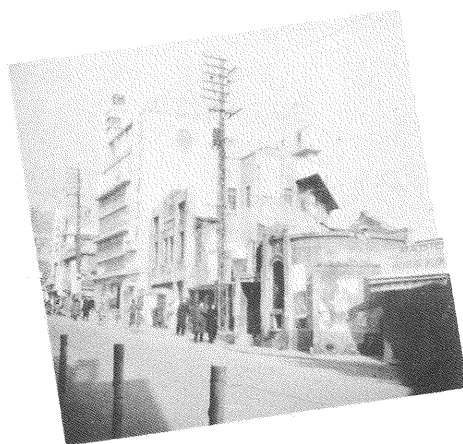
▼神戸市庁舎が新築落成し、お祝いカーニバルが盛大に行われた。下はセンター街青年部30名によるみこし（市庁舎正面）



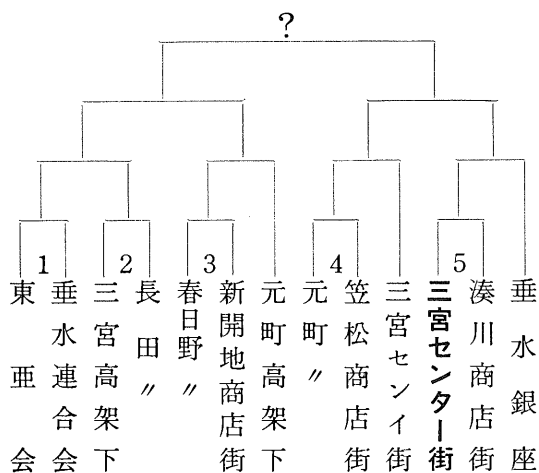
▲センター街のアーケードも慶祝一色、市庁舎の三宮移転が繁栄の要因となった。



▼終戦後進駐軍のダンスホールになっていたパウリスタ（昭和21年）



## △組合せ



= 出場メンバー =

|            |         |            |
|------------|---------|------------|
| 部 長        | 渡辺徳治郎   | 翠芳園        |
| 監 督        | 長沢 堅次   | 長沢文具店      |
| コーチ        | 梅本 政夫   | 元中日ドラゴンズ捕手 |
| コーチ        | 栗山 常造   | 東京庵        |
| 助監督        | 藤井 幸男   | ドンク        |
|            | 平野 省三   | あかしや       |
|            | 黒田 丈三   | メグリ        |
| マネージャー     | 池田 正彦   | 池田靴店       |
|            | 松岡 稔夫   | マルダイ       |
|            | 伊藤 稔    | ニューホープ     |
| 応援団長       | 川飛 実    | とんかつムサシ    |
| 主将兼<br>内野手 | 大鹿 庫万22 | 上田洋服店      |
| 投手         | 大塚 真吾23 | 三宮塗料       |
| 〃          | 松井 繁23  | マルダイ       |
| 〃          | 甲斐 圭介22 | 池田靴店       |

|      |      |      |       |      |       |      |      |      |      |       |       |        |       |      |      |   |   |
|------|------|------|-------|------|-------|------|------|------|------|-------|-------|--------|-------|------|------|---|---|
| 〃    | 〃    | 〃    | 〃     | 〃    | 外野手   | 〃    | 〃    | 〃    | 〃    | 〃     | 〃     | 〃      | 〃     | 〃    | 内野手  | 〃 | 〃 |
| 中原   | 古松   | 渡辺   | 旭     | 勝浦   | 吉田    | 平田   | 小田   | 松村   | 稲岡   | 阿部    | 折野    | 米里     | 田中    | 玉山   | 鶴鷹   |   |   |
| 祥多19 | 宏友20 | 明彦19 | 嘉彦21  | 章23  | 恭平20  | 道夫22 | 裕光19 | 清22  | 稔21  | 武22   | 富一23  | 穂21    | 義治21  | 世哲19 | 茂22  |   |   |
| 大洋劇場 | 一貫楼  | 丸糸商店 | 美和光芸社 | カツウラ | ファミリア | さくらや | 大和屋  | 大洋劇場 | 池田靴店 | ソルタ薬局 | 上田洋服店 | ニューホープ | 則武ガラス | 星電社  | 大洋劇場 |   |   |

▼1月7日～10日 クリスマスセール特賞招待

特賞クラスの宝塚ご招待組は、お正月興行の、七、八、九、十日の四日に別れて観劇、それぞれ往復の電車賃と、食事、茶菓券つきのサーヴィスに大喜び。センター街から出張した店主連が食事や喫茶券の世話をした。

▼4月26日～5月10日(祝)神戸市庁舎開庁記念三宮力ーニバル

◎落成記念大売出し（四月二十六日より五月十日迄）又二十六日より二十八日の三日間は、五百円以上お買上の方に記念品進呈。ゴム風船五万个配布。

◎催し物（二十六日落成記念式典当日）勇壮なる獅子舞（センター街青年三十余名）元気溢れる子供みこし（センター街小学生三十名）美しい花隈芸妓（二十名）店主の袴着用行進（五十名）

以上の豪華メンバーは式典当日センター街に勢揃い。午前十一時センター街を振出しにそごう百貨店、新聞会館を経て市庁舎へねり歩き、豪華絢爛の一大絵巻をくりひろげ百万市民の祝典気分を一層もり上げる。市交通局では、記念切符五十万枚に「三宮カーニバル」と刷込み宣伝する。

▼7月4、5、8日 第四回神戸市商店街優勝野球大会  
オールスターで優勝

神戸市内商店街の親睦と体位の向上を図る目的をもって、神戸市、市商連、日本経済新聞の主催で野球大会が催されるが、センター街はオールセンターで出場、試合にそなえて既に六月二十日より練習を開始、七月二日迄毎朝六時より磯上グラウンドにて猛練習を続けている。昨年は生田前、高架下二軍を降し準優勝戦へ進んだが、本命長田商店街に惜敗涙をのんだ。今年は左の強剛メンバーにて優賞。

昭和32年度改選新役員

○三宮センター街連合会

会長 渡辺 徳治郎 (翠芳園)

○二丁目会

会長 米崎 岩雄 (丸松呉服店)

副会長 土井 儀一郎 (ドナ手芸店)

〃 木下 政雄 (アンコール)

○二丁目会

相談役 東條 喜三郎 (マミー)

〃 大内 保市 (マルダイ)

会長 上田 数平 (上田洋服店)

副会長 田路 茂夫 (田路時計店)

〃 行政 猛男 (ユキマサ)

○一丁目一区会

会長 木下 政雄 (アンコール)

副会長 宮脇 昇 (金物店)

〃 川島 辰太郎 (ときわ食堂)

企 画 増田 豊次郎 (精肉店)

〃 黒田 丈三 (メグリ)

〃 宮元 一雄 (まるみや)

○一丁目二区会

会長 土井 儀一郎 (ドナ手芸店)

副会長 井野 富次郎 (関西ネオン)

企 画 後藤 英一 (星電社)

〃 大井 義雄 (伊勢屋シャツ)

〃 島本 利男 (フタバヤ)

〃 山川 源次郎 (くしや)

監 査 稲原 豊親 (稲原タイプ)

会 計 月田 辰吉 (日の出薬局)

〃 後藤 和平 (後藤書店)

顧 問 大村 啓蔵 (三宮時計店)

○二丁目三区会

会長 米崎 岩雄 (丸松呉服店)

副会長 東中 清一 (ベル洋菓子)

〃 長沢 堅次 (長沢文具店)

企 画 山下 良造 (山下履物店)

〃 植村 忠三 (まからずや)

会 計 大西 儀蔵 (大西呉服店)

役 員 渡辺 徳治郎 (翠芳園)

〃 井上 貞夫 (荒物)

〃 西岡 精一郎 (三水商会)

〃 田和 繁之助 (田和洋装店)

〃 長谷川 一雄 (ソルタ薬局)

〃 竹村 義知 (ヤマトヤ)

〃 原田 幹夫 (香月)

○二丁目会 (四区、五区)

相談役以下副会長別掲の通り

企 画 元田 蓮 (モトヤ靴店)

〃 坂本 正三 (喜久屋)

〃 今江 英夫 (おそめや)

〃 坂田 光男 (みっちゃん)

〃 三木 正之助 (丸太屋)

会 計 酒井 隆八 (ヒカリ毛糸)

会 計 酒井 隆八

渉 外 部 池田 享 (アイリス)

〃 福本 辰 (丸福履物店)

〃 厚生部 藤井 幸男 (ドンク)

〃 平野 いくの (あかしや)

〃 川飛 実 (むさし)

〃 山口 幸次 (山口洋服店)

〃 太田 利秋 (エビス宝飾店)

〃 岸野 幸枝 (シンワ洋装店)

〃 内藤 三郎 (えびら館)

〃 毛利 巖 (毛利マーク)

〃 久利 宇太郎 (大学堂眼鏡店)

〃 坂本 正三

監 査 松原 治郎 (トミヤ)

〃 西尾 悟 (リリアン)

〃 県市商 池田 茂夫

連 担 当 池田 享

警察 担当 坂本 正三 (エルム喫茶)

防 犯 担当 坂本 正三

金 振 興 資 池田 三男

金 委 員 坂田 光男

ア ー 補 員 池田 茂夫

修 委 員 池田 享

三 池 行 田 正之助

三 木 正之助

▼7月20日～8月12日 ラッキーカード付お中元三宮大セール

センター街・そごう共催

最も買いよく工夫された中元セールのそごう百貨店とタイアップして開催。会員は全員中元セールの胸章をつけてお客様への応接につとめる。豪華なサービスの数々は

○現金三百円お買上毎にラッキーカード一枚進呈(ナンバー入)

○賞品 一等 家庭用電気冷蔵庫又は最新型14吋テレビ

二等 ミキサー、扇風機、トランジスタラジオの内一品

三等 トースター 四等 タオル二枚

五等 映画館入場券(国際日活又は国際松竹)

右賞品は八月十九日午後一時より国際会館にてラジオ神戸とタイアップして抽せん会を行う。

▼8月19日 神戸国際会館大ホール

お中元三宮大セール ラッキーカード抽せん会

正午からラッキーカードの抽せん会が国際会館大ホールで行われた。二千二百名を擁する大ホールも定刻にはお客様でぎっしり。渡辺連合会長の挨拶の後、生田葺合両警察、市商工課、新聞社立会いのもとに、主催者側役員参加して厳正なる抽せんが始まる。神戸そごう、センター街の各売場から選ばれた美しいユニホームのお嬢さん十五名の手で風車は廻り次々と当選番号を決定。観客は一喜一憂、しばし暑さも忘れて見守るうち十二時五十七分無事抽せんを終了。

一時十五分よりお楽しみアトラクションが始まり、会場は拍手と爆笑の渦に包まれながら午後二時四十五分楽しい抽せんの手と

幕をとじた。

★景品引換えは裏面記載の

お買上げ店にてラッキーカード引換えに八月二十一日～九月二十日迄に。

★そごうは一階商品券売場にてお引換。

▼7月28日 九州諫早市民へ愛の救援物資発送

七月下旬西九州を襲った豪雨は百年来の大悲慘事として全国民の耳目をそばだてた。悲しみに明けられるこれ等不幸な方々へ、センター街一丁目一・二・三区会百九軒、二丁目会六十三軒、全商店一丸となってこれにあたり、婦人部の協力によって偉大な成果を納めた。持ち寄られた品々は衣料品、日用雑貨、書籍等で七月二十八日二丁目会でセンターホールへ寄せられた品は総数二千五百点、現金壹万参千円、物品は日本赤十字社を通じて、現金は神戸新聞社に委託速刻発送した。一丁目会では大洋劇場前に集荷大梱包十二袋、長崎県知事西岡氏宛直送した。

▼8月～10月 一丁目にアーケード

センター街の東玄関に最新式の明るいアーケードが出来事になった。八月から工事にかかり、竣工は十月の予定。

☆六月には二丁目のアーケード補修も完了

竣工以来五年の歳月を経た二丁目のアーケードは、晴雨のうれいなくショッピングを楽しませたが、少々の破損の個所も生じたため、予算百八十万円を投じて補修完了。

| 等級 | 景品                   | 組    | 番号                             |
|----|----------------------|------|--------------------------------|
| 1等 | 電気冷蔵庫又はテレビ           | 各組共通 | 下5ケタ<br>35271                  |
| 2等 | 扇風機又はミキサー又はトランジスタラジオ | 〃    | 下5ケタ<br>23499<br>35959         |
| 3等 | トースター                | 〃    | 下4ケタ<br>1859・5007<br>6034・6592 |
| 4等 | タオル2本又は湯上りタオル        | 〃    | 下3ケタ<br>064・556・840<br>920・994 |
| 5等 | 国際松竹又は国際日活入場券1枚      | 〃    | 下2ケタ<br>21                     |

▼9月19日 東遊園地グラウンド

珍プレー続出！ O・B懇親野球  
大会

|     |           |
|-----|-----------|
| 一丁目 | 20600023× |
| 二丁目 | 400000331 |
|     | 11 13     |

快晴の昼休み時間の事としてサラリ

ーマンやO・G達の笑援(?)を背に和気あいあいの好試合を展開した。

試合は逆転に成功した一丁目チームが13対11で昨年に続き栄冠をかく得、敢闘賞、珍プレー賞ごろうさん賞等数々の賞品が授与され午後三時閉会した。

▼11月22日～12月20日 三宮Xマスセール

センター街・そごう共催

30万円の夢と(富士銀行又は神戸銀行の定期預金証書が多数に当るスピードくじ……)ダブルプレゼント

☆一回お買上げ三〇〇円毎にラッキーカード(抽せん補助券)一枚進呈

☆ラッキーカード二枚で抽せん一回(センター街・そごう共通)

☆抽せんはスピードくじ(三角くじ)即決でその場で賞品進呈

☆抽せん場センター街は各店頭、そごうは六階抽せん場

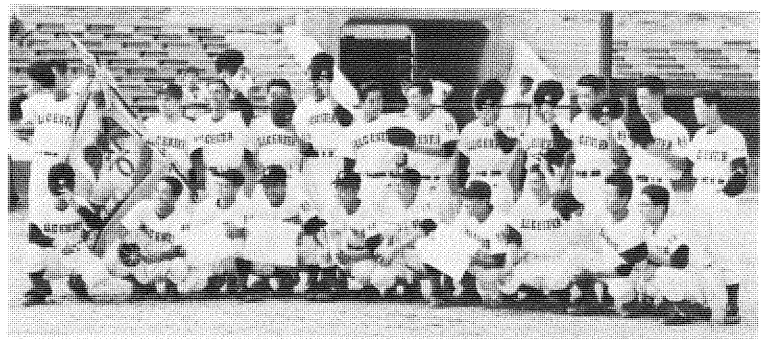
☆景品各組共通くじなし 1等 定期預金証書一千円也

2等 金鶴石鹸一ヶ 3等 グリーンライオン歯磨一ヶ(旅行用)

★有効期間 昭和32年12月20日まで



三宮Xマスセールの装飾



よく働らきよく楽しむセンター街の野球熱！ 上は月刊センター賞の盾。



## 昭和33年度改選新役員

[illegible]

▼2月24日 城崎温泉 総会は観光バスで 二丁目会

定時総会を観光バス内で開催、多忙きわめる商店主の能率増進には好評サクサク。午前九時、会員五十数名が乗車して城崎温泉向け出発。途中六時間もの空白を活用してバス内で総会を開催、温泉地到着迄に議事を完了。議題は

- 一、昭和三十二年度収支決算報告並に事業経過報告。
- 一、昭和三十三年年度予算案並に事業計画承認の件。

一、役員改選の件。その他

楽しい福引等を終えて午後三時城崎着日和山遊覧をすませてこまな旅館で懇親会を開き、翌日午後一時同地を出発帰神した

▼4月25日～5月5日 三宮グランドセール

センター街・神戸そごう共催

国際港都神戸のシンボル、新市庁舎も四月二十六日で九一年センター街と神戸そごうでは、提携一周年記念として「三宮グランドセール」を開催。

- 粗品進呈 四月二十七、八、九日の三日間、五百円以上御買上げの方へ粗品進呈。

●松竹歌劇「春のおどり」へ御招待 この三日間に引続き、連続サービスとして、四月三十日より五月四日迄五百円以上御買上げの方にその場で当る三角くじ一枚を進呈、抽せんによって国際会館「春のおどり」へ御招待。

☆招待先 国際会館大劇場

☆招待日時 五月五日第一回公演(午前十時開場、十一時開演)

☆招待人員 二千二百名様(全館客席買切り)

▼6月4日 緊急防火対策について 連合会

六月二日朝元町テラーの火災に際し六名の焼死者を出した大惨事が二度と発生することのないよう、センター街においても緊急対策を講ずる必要を痛感し、早速六月四日、松浦生田消防署長、同予防主任の臨席を得て、連合総会を開催、連合会長一、二丁目会長他役員及び会員約五十名が出席して、今後の防火対策につき、詳細に亘り検討し、左記事項を協議した。

協議事項(抜萃)

一、建物に対する避難設備

非常の際逃げ出せるよう、窓、縄梯子、ロープ等を準備する。

一、出火の原因となる物に注意する。火の用心、漏電、引火し

やすい物の置場に細心の注意を払う。

一、消火器、室内火災報知機の備付。

一、アーケードは夜間必ず開被する。

一、一家の人員は常に隣人に知らせておく。

一、日頃より発生当時の家内での各係をきめておく。

一、火災発生時に於ける緊急措置。

(イ) 火災報知器を利用する。

(ロ) 局番なし一一九番(消防署)に急報。

(ハ) 大声で「火事だァ」と連呼する。

▼7月10日

センター街行進の五大都市体育大会神戸選手団を激励

七月十一日から三日間、京都市内十二会場で開催された第九回五大都市体育大会に出場の神戸選手団百三十名は市役所前で

結団式、壮行会の後、宮崎助役、中根市会副議長の激励を受けて後、市消防局ブラスバンド、市章旗を先頭にトア・ロードよりセンター街を行進。渡辺連合会長は五市親善のために健闘して下さいと激励の花束を贈り、壮途を祝した。

▼7月8日～11日 商店街野球大会

商店街野球の名物？ センター街応援団も例によって空カ  
ン、太鼓でドンドン、ジャンジャン見事な応援に満場の観衆？  
も只ウツトリ?! ロカビリーまじりの身振りも飛出す始末。

神戸市・市商連・日本経済新聞社主催の第五回神戸市商店街  
優勝野球大会は厳しい暑さの中で16チームが参加して行われ  
た。昨年優勝のセンター街も今年は一丁目チーム、二丁目チ  
ームと2チームが参加、強敵を相手に炎暑のグラウンド上に奮闘し  
たが、準々決勝で両チームとも仲よく(?) 涙をのんだ。

一回戦 センター街2 8X—0 湊川商店街

センター街1 11X—0 板宿本通

二回戦 センター街1 3—5 笠松商店街

センター街2 2—4 元町高架

▼7月22日 海の女王センター街をパレード

二十日第十八回「海の記念日」の行事の一つ「海の女王」市  
内パレードも人気を呼び、午後市内パレードのトップをきって  
センター街を訪問、花束や記念品が贈られた。

▼8月10日まで 三宮中元セール

センター街・神戸そごう共催

☆一回のお買上げ一、〇〇〇円毎に抽せん券1枚

☆二百円毎に補助券一枚進呈。補助券五枚で一回抽せん  
☆抽せんは「スピードくじ」でその場で景品を渡す。

◎抽せん券、補助券共センター街、そごう共通

◎抽せん場はセンター街(各店頭) そごう(一階)

(賞品) A賞:資生堂ホームセット(大型) B賞:オーディコロ

ン(大瓶) C賞:キャンドー又はガーゼハンカチーフ



▶センター街をデモンストレーションする松竹歌劇のトップスター



▼8月19日 一丁目の事務所びらき

午前十一時より役員全員が出席、来賓渡辺連合会長、三木二丁目副会長の臨席を得て事務所びらきを行った。三宮神社宮司のお被いの後、渡辺、三木、米崎一丁目会長の挨拶や祝辞があり、東中一区会副会長の発声にて乾杯、新事務所は京町筋交り点より西へ浜側三軒目ナイス靴店の二階で一丁目の事務全般を専任の事務員をおいて執り行うことになった。

▼9月9日 二丁目O・B野球大会 東遊園地グラウンドで

からりと晴れ上った絶対の野球日和、南北にわかれて親善野球大会を開催、試合は逆転、又逆転、北軍5、6回と手堅く稼ぎ6点をリードして、あわや北軍の勝利?やに見えたが、南軍ラストヘビーを発揮、奮戦して無死満塁の時背番号⑦の三塁打に支えられて形勢一変、南軍に凱歌が上った。

▼10月1日 センター街従業員へ福音

連合会ではかねてから推進委員会をもうけて委員十五名(各区三名)他会長、副会長が従業員の福利施設について色々と検討を重ねていたが、左記事項が決定した。

一、退職金制度(十月より実施)

一、定休制度、毎月第三月曜(来春一月より実施)

一、メートル法実施(十月より)

▼10月8日 秋晴れに区ミスパレード

みなとの祭に花をそえるミス生田の発表会が神戸勤労会館三階で行われた。

ピンクのカクテル・ドレスを美しく装う新ミス山口益世さん

准ミス藤井敬恵さん、白戸典子さんの三人が拍手に迎えられて入場、久保区長の挨拶、表彰状、記念品贈呈があり、昨年度区ミス北条時子さんが花束を贈った後、来賓祝辞に山口さんが感謝の言葉を返し市内パレードにうつり区民へ挨拶した。

▼10月18日 待望久し全町アーケード完成!

連合会では一丁目、二丁目を通じてのアーケードが完成、各界名士を招き、一丁目会長アンコール(木下政雄氏方)で竣工祝賀式典を行った。

▼10月20日 みなと祭協賛商店街訪問レース

みなとの祭前奏曲として商店街の親睦を兼ねて神戸市内十数商店が参加して行うレース(全長約二軒)が午後一時より行われ、生田区役前を出発各選手が力走した。

センター街からもモード洋装店より蔭山賢郎(27)、福井一夫(24)両君が出場した。写真上は中継所(大洋劇場前)でお客様や役員の応援をうけてバトン・タッチする福井君。

▼11月7日~12日 年に一度の大せいもん払

センター街・神戸そごう共催

お買上げ一、〇〇〇円毎に抽せんで、その場で当るOSK恒例秋の踊り(神戸国際会館)へ約二、五〇〇名様を御招待しようというもの。

▼11月15日 神戸国際会館午後六時

大せいもん払のおくりもの 国際秋のおどり御招待の幸運をつかまれたお客様方で、会場はあふれる程の盛況……

正六時田中店長の挨拶の後、次々とくりひろげられる豪華絢

爛の舞台に魅せられ楽しいひとときを過した。

▼12月1日～25日 二重抽せん付三宮クリスマスセール

お正月に梅田コマ劇場へアベックで御招待！

センター街・そごう共催

☆一回お買上一、〇〇〇円毎に抽せんによりその場で梅田コマ

劇場正月興行「コマ歌舞伎」入場券二枚進呈

「扇雀、半四郎、蓑助、ロッパ、新珠ら出演」

☆二〇〇円毎に補助券進呈

☆当せん洩れの方には抽せん番号入りラッキー鉛筆を進呈、再

抽せんにてナショナル家庭電化製品（一〇万円）が当る！

発表は十二月二十九日センター街、そごう各店頭

☆抽せん券は、センター街・そごう共通

☆抽せん期間・十二月一日～十二月二十五日

☆招待日・一月六日から十一日迄の六日間指定席

▼12月26日 クリスマスセールダブル景品一〇万円の抽せん

梅田のコマ歌舞伎正月興行へ、二千名様を御招待して好評を

博した三宮クリスマスセール（そごう、センター街共催）はダ

ブル景品付き——棹尾を飾ってダブル景品の残る一つラッキー

鉛筆の抽せんが師走の二十六日十時より神戸銀行本店ホールで

関係者立会の上で行われた。

美しい女店員さん（そごうと神戸銀行本店より）の手によって

廻る風車は厳正に当せん番号を決定、幸運の十万円のお年玉と

なって現われた。



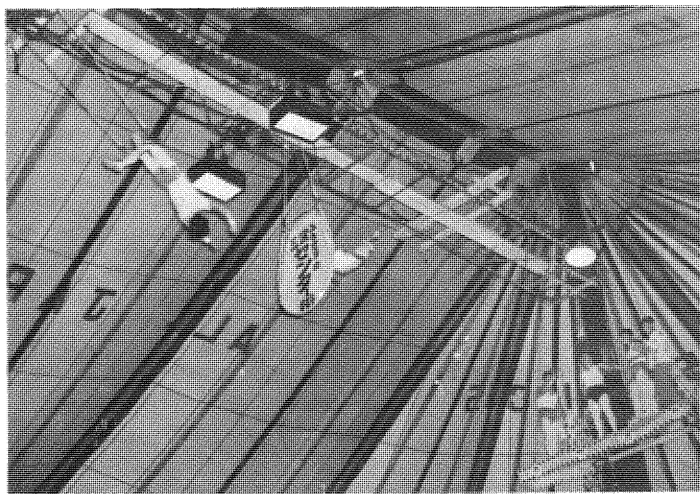
★下は球場の名物  
センター街の応援団



◎抽せん立合・センター街より山下履物店、喜久屋化粧品店、リリアンショップ各店主。  
・そごうより 岡部支店次長 桂課長、須鎗課長。  
・お客様 神戸銀行三宮支店 長。

三宮クリスマスセール  
ラッキー鉛筆抽せん番号

| 賞品                      | 組  | 号      |
|-------------------------|----|--------|
| ナショナル家庭電化製品<br>10万円相当品  | A組 | 101022 |
|                         | B〃 | 109073 |
|                         | I〃 | 126018 |
| キッチンセット<br>又は<br>サロンセット | G〃 | 103375 |
|                         | J〃 | 103122 |
|                         | E〃 | 107086 |
|                         | F〃 | 107877 |



▲秋のおどりであいさつする米崎1丁目会長、  
田中そごう店長、渡辺連合会長、田路2丁目会  
長（33年11月）  
◀センター街の輪をつき破る空中ブランコ、P  
Rの先端ノ木下サーカスで（33年12月）

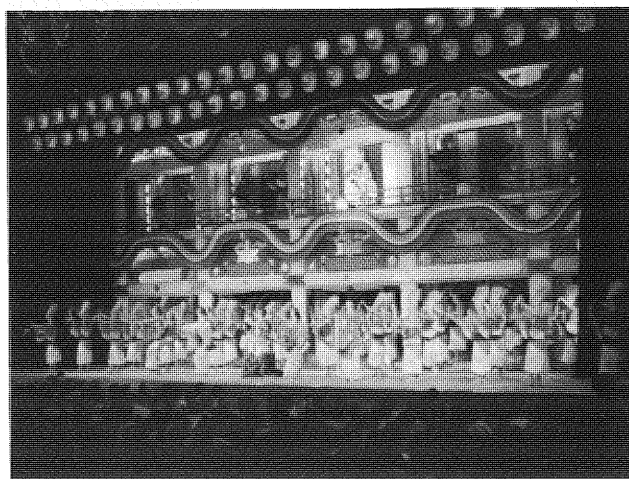


▲中元セール1丁目景品引換所  
（34年7月）

▲松竹歌劇・三宮グランド国際春のおどりの舞台（34年5月）

▼秋のおどりの舞台（33年11月）

▼商店街野球大会、1・2丁目チーム入場（33年）



▼1月19日 センター街の休日―週休制実施記念大会より―

全店ブラインドをおろしたセンター街の休日―商店従業員福祉の一つとして一月十九日(第三月曜)三宮センター街、元町、トアロード、大丸前の四商店街は週休制実施にともない第一回目の一斉休業を行った。

この日午後一時より、兵庫労働基準局の主催で記念式が行われ、センター街はバスに分乗して王子児童文化会館の会場へ行く。商店街代表でぎっしりつまった会場は、寒さも忘れる程で記念行事はおごそかに、且、華やかに行われた。

式次第第7の通り。

# 神戸市商店街週休制実施記念大会 プログラム

## 第一部 記念式

1. 開会の辞 兵庫労働基準局次長
2. 主催者挨拶 兵庫労働基準局長
3. 労働大臣感謝状贈呈
4. 兵庫労働基準局長感謝状贈呈
5. 優良従業員表彰 神戸市商店街連合会長
6. 労働大臣挨拶
7. 来賓祝辞  
兵庫県知事 神戸商工会議所会頭  
神戸市長 兵庫県経営者協会会長
8. 受賞者代表挨拶 神戸市商店街連合会長
9. 閉会の辞 兵庫労働基準局次長

## 第二部 演芸

1. 吹奏楽 兵庫警察音楽隊
2. 毎日放送公開録音 早川電機提供  
「金の歌・銀の歌」  
(三宮センター街対元町商店街)  
司会 小野田 勇

センター街は一、二丁目とも優良商店街として労働基準局長より感謝状を贈られ、渡辺連合会長が代表してこれを受けた。  
引続き神戸市商店連合会長より優良従業員の表彰が行われ、

センター街関係の受賞者は百四十六名、代表としてツルタ薬品株式会社経理部長中村勘右衛門さんが表彰状を受けられた。

## 兵庫労働基準局長山本局 長の挨拶(要約)

大都市の一流商店街が一斉定休にふみきる事は非常に困難な問題であります。この度神戸の代表商店街がこの困難をのりこえ、全国のトップを切って今月より一斉定休を実施された事は、誠に大英断で敬服の至りであります。

これによって従業員に与えられる幸福は一層深く、立派な従業員が全知全能の働きをする泉となる

ものと考えられ店主にとっても意義深い事と思います。従業員の休養と娯楽と教養等、余暇の善用のために、当局も計画を進めつつありますので、商店街におかれてもより発展するよう永続的な実施を希望致します。

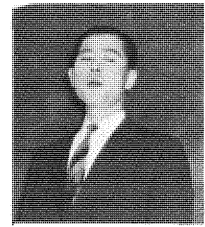
尚今日のために長い間絶大な努力を傾けられた関係当事者各位に心から敬意を表すると共に各位の健康と商店の発展を希望してやみません。

▲全国初の商店街一斉定休日を制定し、シャッターを降したセンター街を視察する労基局山本局長、渡辺連合会長ら。



## 予選風景

本番に先だってセンター街のセンター会館で予選が行われた。飛入歓迎、三宮センター街店主従業員ニカギルの貼紙もされ、アコーディオンの伴奏で次々と歌い、審査の結果、出場者6名が選ばれた



▲限部宏さん



▶予選の司会者藤田マコトさんとキャプテン長沢堅次さん。

▼予選の審査員、内海重典さんと大久保怜さん。机の下に火鉢が当時を偲ばせる。



▶予選会場



★ ★

全国初の商店街一斉定休日を実施した三宮センター街と元町商店街は、当時最大のラジオの人気番組「職域対抗歌合戦・金の歌銀の歌」で美声を競い合った。

これは神戸市商店街週休制実施記念大会の第二部アトラクションとして催されたものです。

まず予選の審査をお願いした、大久保怜さんに今日の予想を伺い

ますと、

「レベルはマア、マアというところ。相手の力を知らないので勝敗は今のところ何とも云えませんが元町は地域も広いし、大勢の中から選ばれた方達だから、やはりうまい人も多いでしょうし、センター街は負けてもともと、楽な気持でやってほしいです。しかし試合だからやはり勝ってほしいと応援に来ました」



▲金の歌銀の歌の華やかなステージ。小野田勇さんの司会で楽しく進行していく。金の組センター街チームは向って左側。



▲出場者前列左より隈部宏さん、長沢堅次さん、戸田朝恵さん、後列花石静雄さん、野波昇さん、内藤進さん（井上貞夫さん撮影）

▼超満員の観客席には、喜久屋、田路、丸松丸太屋、丸福、マルダイ、山下さん達の顔が見える。



センター街出場者一覧表

| 順番  | 氏名    | 店名     | 題名        | 得点 |
|-----|-------|--------|-----------|----|
| 1   | 野波 昇  | マミー    | 赤い夕陽のふるさと | 82 |
| 2   | 隈部 宏  | マミー    | 私の太陽      | 86 |
| 3   | 戸田 朝恵 | G 線    | ステキなランデブー | 90 |
| 4   | 長沢 堅次 | 長沢文具店主 | 槍 さび      | 90 |
| 5   | 内藤 進  | ツルタ薬局  | 母あればこそ    | 88 |
| 6   | 花石 静雄 | パリー    | 赤いランプの終列車 | 85 |
| 課題曲 | 隈部 宏  |        | あいたいなあの人に | 86 |



## 三宮センター街 Vs. 元町商店街

34年1月19日 王子児童文化会館で

| 金の歌・銀の歌得点表   |                      | 毎日放送<br>放送日時1200-1245 |  |
|--------------|----------------------|-----------------------|--|
| 三宮           | 82 86 90 90 83 85 86 | 607                   |  |
| 元町           | 86 84 83 86 82 84 80 | 585                   |  |
| シャープ テレビ・ラジオ |                      |                       |  |

結果は上掲の表の通り予想以上の好成績で見事シャープラジオを勝ち取りました。米崎、田路両会長も「皆よく頑張って呉れて本当によかった。あくまで親睦の意味ではあるけれども、試合だから勝ったことは本当に嬉しい」と喜びで一杯。

又キャプテン長沢文具店主も、さすが嬉しそう——喜びをかくしきれぬ笑顔でこう語られました。

「嬉しかったね。勝った時の気持ちは童心にかえったとでもいうのか、誰にでもよい、肩を叩いて「ありがとう」と叫びたかったよ。キャプテンとして出来るだけの

ことをして、負けても悔いはないが勝てたんだから本当に嬉しかった。最初ジャンケンで勝って金の組にきまつたし、今日の喜びを勝ち得た原因と云えば、選手諸君の健闘もさることながら、矢張り皆さんの理解に支えられたおかげだと思う。連合会長はじめ、役員さんは勿論のこと選手を出して下さった店主、或いは会員の皆さんが一体となって励まして下さったお蔭で、忙しい所に練習や何かと暇つぶしも多かったのに気兼ねなくやれたお蔭だと思ふ。尊いのは何と云ってもチームワークだということをしみじみ感じたよ」

▼1月26日～29日 新年総会を別府で開催 二丁目会

新年総会を別府温泉で開催した。参加人員五十数名でなかなかの盛会であった。

行程は二十六日午後六時十分、中突堤を関西汽船にしき丸で出発、翌日午前十時五十八分別府着、早速別府市内名所巡りをすませて、午後六時旅館清風園に到着き総会を開催。翌二十八日午前七時起床、寒さもものかわ阿蘇観光に出発、世界一の外輪山を持つ大阿蘇の偉容を心ゆくまで眺めた後熊本へ――

午後七時五分熊本発の急行で帰途に着き、二十九日午前九時二十四分無事帰神した。

▼3月16日 一斉休日の楽しいハイキング

今年初めから一斉休日（毎月第三月曜）を実施したセンター街では、三月十六日従業員のうち希望者約一五〇人（内女性七〇人）で、初の休日利用のテストケースとして、生田区役所主催の「商店街一斉休日余暇活用集い」に参加、午前九時区役所前集合、運動グッ、セーター姿で再度山ドライブ・ウェー、修法ヶ原と歩き森林植物園で昼食、ダンスを楽しみその後運動会、宝さがし等々、数々の行事に心ゆくまで楽しい一日を過ごし、四時半頃解散した。

▼4月1日～15日 皇太子様ご成婚慶祝 スプリングセール

センター街・神戸そごう共催

「三宮スプリングセール」は皇太子さまのご成婚をお祝い申し上げ美しいデコレーションにいろどられ、O・S・Kの楽しい「春のおどり」の御招待付。

▼4月1日 センター街の『テーマソング』決まる

センター街では、お客様により広く深くセンター街を理解して頂く一助にもと「センター街テーマソング」を各商店の店主、家族並に従業員より募集したところ、予想以上の優秀な歌詞が多数集まり審査の結果、行政猛男氏の作詞が入選した。

〔審査員・順不同〕 山崎紀男氏（関西大学教授） 内海重典氏（宝塚音楽学校教授） 大久保怜氏（ボード・ピリアン） 原 正氏（神戸新聞文化事業局長）

▼4月20日 テーマ・ソング 入選者授賞式

午前十一時から、センター会館においてテーマ・ソングの入選者授賞式と発表会が行われ、先ず渡辺連合会長の挨拶があり引続いて協同組合東條理事長より授賞者へ賞状と賞金、記念品が授与され第一位入選者行政氏よりお礼の言葉がのべられ、大久保怜氏より歌詞の審査と作曲（神戸の新進作曲家斉藤超（わたる）氏）の報告があり、楽譜を手に「センター街の歌」の歌唱指導があった。

テーマ・ソング

入選者氏名

- 第一位 行政猛男氏（ユキマサ）
- 第二位 永井明美さん（リアン）
- 第三位 渡辺一則氏（翠芳園）
- 佳作 畑中邦夫氏（丸松呉服店）
- 内藤三郎氏（えびら館）
- 増田正雄氏（増田精肉店）
- 西島秋男氏（西島染洗店）
- 吉野修二氏（玉垣洋品店）

尚五月四日国際春のおどりに、センター街コーラス部によって発表の予定。コーラス部のリーダーは隅部宏さん（マミー勤務）

昭和34年

# センター街の歌

作詞 行政 猛男  
作曲 斉藤 超

1. チャイムメロディーにみながとほあけても  
2. あしどろりかーくゆきがとこしはうひとし  
3. こころひとすーじひがとこしはうひとし

四季をいろどる花時計  
神戸のセンター 神戸のセンター  
センセンセンター センター街

四うつ 季をく いもろどる はなんの いや  
つづく らあか るのい さア ケー

かおるセ シン スに いき た ま ち  
あそ のろ あ うき も た の し ま ち

コー

ベーのセンターコー ベーのセンター

センセン センター センター 街

センター街の歌

作詞 行政 猛男  
作曲 斉藤 超

一、チャイムメロディーに みなとは明けて  
四季をいろどる花時計  
香るセンスに生きた街  
神戸のセンター 神戸のセンター  
センセンセンター センター街

二、足どり軽く 行き交う人も  
うごくモードの 三の宮  
明日の流行 創る街  
神戸のセンター 神戸のセンター  
センセンセンター センター街

三、こころひとすじ 東と西に  
つづく明るい アーケード  
そぞろ歩きも たのしい街  
神戸のセンター 神戸のセンター  
センセンセンター センター街

▼台風15号災害地救援物資の集荷（12丁目婦人部による）内容は日用品、食料など170点、20個に梱包して神戸新聞厚生事業団へ委託した。



▲大久保怜さん（正面）の指導で、センター街の歌の練習が始まった。渡辺連合会長、作詞の行政さん、後藤1丁目会長も声はり上げて…。

▼7月10日 神港新聞と二丁目会の親善野球

センター街は野球がお好き、そのPRの程も著しくあちこちから他流試合の申し込みを受けて親善野球を行っているが、十日は荒田グラウンドに於て神港新聞社事務局と一戦を交えた。

午後五時三十分試合開始、センター街は初回猛打爆発先発投手をK・Oし鼻息荒かったが、後半はやや沈滞気味で作戦そこをきたし、加えて田路キャッチャー負傷のため、五回逆転負の涙をのんだ。日没のため五回で試合終了。

◎センター街出場選手店名

投手 ドンク喫茶店 〃 パリー洋装店 捕手 田路時計店  
一塁手 マリヤ毛糸店 二〃 パリー洋装店 三〃 シンワ洋装店  
ショート 丸太屋呉服店 レフト まる喜履物店 センター エビス宝飾店 ライト 丸太屋呉服店

▼8月13日 街を良くする研究会 一丁目会

センター街一丁目会では街を良くするための研究会（月例第一回）を十二時十五分よりエスカルゴに於て行った。後藤会長以下街の役員十五名の他にお客様として関大教授山崎先生、渡辺利雄氏を迎え、今後の街の発展について話しあい山崎先生に指示を仰ぎ、続いて渡辺氏の欧州土産話をきき、貴重な時を過ぎた。

当日出席の店主へ順不同▽ 星電社、視正堂、伊勢屋シャツ店、シカゴ靴店、山下履物店、ウインザー、流泉書房、大西呉服店、長沢文具店、ベル洋菓子店、田和洋装店、後藤書店、丸松呉服店、三水商会、くしや化粧品店。

▼7月10日より8月15日 三宮中元セール

センター街・神戸そごう共催

★ナショナル電化製品十万円が当る★

☆お買物千円毎にダブルチャンスのおたのしみ☆

★一回のお買上げ千円毎にナショナル電化製品十万円が当る本券と、即時景品引換えの副券付抽せん券一枚。

★二百円毎に補助券一枚進呈、補助券五枚で抽せん券一枚と引換える。

☆随時景品引換えの副券は枚数によっていろいろのお楽しみ景品と引換える。☆景品の引換場所

センター街は ・大洋劇場前と、ムサシ前の景品引換所

そごう百貨店は ・四階北東階段前の景品引換所

▼8月17、18日 商店街指導者ゼミナール 有馬温泉池の坊

市経済局、市商連の主催、福徳相互銀行協賛により開催、センター街より二十名参加（定員百名）熱心な研究が行われた。

田路時計店主報告「明大教授日本商業学会理事の清水晶先生のスーパーマーケット問題を中心にした話が参考になりました。アメリカ各地の商店街やスーパーマーケットを直接視察され撮影されたものを参考に解説をきいたのですが、カナダ等も日本に比べて一歩も二歩も進んでいるようです。特にスーパーマーケットに対する概念が私たちは「特価品売場」というような解釈をしているが、あちらでは決してそうではなく、あくまで正価販売でこれこそ品位ある商法の根本だと思いました」

▼8月19日 三宮中元セール抽せん会

センター街・そごう共催

ダブルチャンスのお楽しみ、三宮中元セールの十万円電化製品が当たる抽せん会は、正午よりそごう七階会議室で行われ、幸運の番号が決定した。賞品の引換は八月三十一日まで。

▼8月26日 スライド映画の会

『どうしたら満足してお買物して頂けるか?』と研究しているセンター街では、一丁目二丁目店主従業員を集め午前と午後二回、福徳相互三宮支店ホールで、同行撮影のスライド「接客法・陳列法について」を映写、中小企業診断員高橋彦司先生の解説つきで勉強をした。

▼9月21日 一丁目従業員の京都バスツアー

バス二台で、京都市内観光を行い百二十名の参加を得、好評裡に楽しい一日を過ごした。このところ従業員達は一寸した慰安旅行ブーム、言うなれば「イイ感じ」であった。

◎当日のコースⅡ出発(九時) — 東本願寺 — 西本願寺 — 三十三間堂 — 高台寺(中食) — 清水寺 — 円山公園 — 知恩院 — 平安神宮 — 京都撮影所 — 金閣寺 — 帰神(七時)

△係役員▽スミヤマ店主・井上金物店主・黒田メグリ店主・宮辰店主・ヤマトヤ店主・イセヤ店主。

▼9月23日 OSB△オールドスター戦▽

恒例九月の行事として磯上グラウンドで、午前十時半より同好の志が相寄り、残暑照りつける中をオールドスター達が迷プレーの続出する野球を行った。先月は山側が久し振りに勝利を獲得したのだが、今度は大差で浜側店主チームに凱歌が上った。

▼9月29、30日 一、二丁目婦人部

・台風15号の水害地へあたたかい救援物資

予想外の被害をもたらした九月二十六日の台風15号……刻々と判明する被害ニュースに、センター街では罹災者への救援物資を二十九日一、二丁目会の婦人部が先にたって街中馳せ廻り、日用品・学用品・衣類・食糧品等全部で百七十点、約20梱が各一、二丁目事務所に高くつまれた。

翌三十日、これに現金がそえられ婦人部幹部打揃って、神戸新聞厚生事業団へ寄託した。

▼10月は商店サービス月間

常日頃お客様のサービスについては、商店街一同細心の注意を心がけているが、まだまだ至らない処も多く、十月は反省の意味も含めて、サービス月間として留意することとなった。

「よい品を正しい値段で」「お買物は安心してお買物出来るセンター街で」をモットーに、サービスを心がけるもの。

▼10月14、15日 一、二丁目会 松たけ狩

店主達の親睦と慰安を兼ねて、一丁目では十五日、二丁目では十四日道場町の松たけ山へ「松たけのすき焼で一杯!」とばかり、それぞれバスを仕立てて出掛けたが、手先が痛いばかり期待外れでサッパリ。

・百五十万円でアーケードのスス払い 一丁目会

京町筋—生田筋間のアーケード補修を工費約百五十万かけて埃、塵等を落し乳白色の塗装を施し、キレイにする事になった

▼12月 一丁目事務所で旅行の写真展

去る九月と十一月に従業員家族ぐるみで京都奈良方面へバスで慰安旅行した際の写真を役員が厳選審査して入選をきめ、賞品を贈り入選作品は一丁目事務所に展示した。

▼12月1日～25日 三宮クリスマスセール

センター街・そごう共催

お正月に大阪新歌舞伎座へアベックニ、〇〇〇組御招待

一回の買上げ五〇〇円ごとにその場で当るスピードくじ進呈！

・ゴールドデン賞 新歌舞伎座初春興行アベックご招待

(長谷川一夫・中村扇雀豪華スター出演)

・シルバー賞 三宮地区封切映画劇場ご招待

(阪急会館・新聞会館大劇場・三劇・三映

・三宮東宝・国際日活・松竹・大洋松竹の

ロードショウ御招待券)

クリスマスデコレーションも楽しいもの：

センター街の頭上を美しい六頭だての金色の

トナカイがジングルベルの音楽に乗って、サ

ンタさんのプレゼントを運んで来る。

動く、光る、そして歌うセンター街のクリ

スマスデコレーションは企画部苦心の力作で

あった。



◀早朝から夜中まで働くのが商家の常と考えられ、そうしてやってきた商人たちが、一斉に休業することは全く画期的な大事業で労働基準局も全面的に力をかけて実現した。

▼皇太子さまご成婚慶祝の三宮スプリングセールが行われた。



◀センター街の一斉定休日も早や三回目、休日は通りでキャッチボールを楽しむ。



▼1月 一丁目婦人部正式発足

商店婦人としての地位向上に努め、店の繁栄と家庭生活の合理化、婦人相互の親睦、街の繁栄に寄与し婦人達の活動を系統だてる為、規約を定め新年度より発足した。

▼1月7日 一丁目新年宴会

神戸ホテルで午後六時より各店主出席の上開催、同夜はゲストに大崎一郎議員、山崎関大教授、金融関係者同席。先ず、昨年度の慰安旅行の際の8ミリ映画を鑑賞、その後ゲストの有益なる話題を交えて、有意義な夕を送り約二時間後解散した。

▼1月15日 一丁目成人式

「成人の日」に従業員の成人に記念品を進呈。

▼1月22日 S・O・B新年懇親会 二丁目

午後三時より、舞子ホテルに於て新年懇親会を行った。

会員三十余名は、センター街より貸切りバスにて会場に向い事業報告等を行い、懇親会に移り盛大裡に終了した。創立以来丸一年を経過したことになる。

▼2月15日、18日 一、二丁目総会

一丁目会は十五日、二丁目会は十八日、それぞれ恒例の総会を山中温泉、芦原温泉へ一泊で開催、北陸の雪景色と温泉情緒を味はいつつ総会議事を終了、全出席者無事帰神した。

▼2月22日 ヤングセンター・ゼミ発足

二丁目会の若主人の集りで、毎月一回、会員の輪番制で当番を定め、講師を招いて講習会を開いたり、他商店街の見学をしたり、会員相互の親睦をはかり、今後のセンター街を益々良き

商店街にしたいという意欲に燃ゆる若き商店主達の集まり。第一回を二月二十二日センター会館で開催、福徳相互銀行の御好意で中小企業診断員高橋彦司氏を招き、十時より三時間種々の講義をきき活潑な質疑応答に有意義な一刻を過した。

▼3月22日 宅地価格神戸一に三・三平方メートル48万円

大阪国税局が三月二十二日発表した相続税・贈与税の算定基準となる管下二府四県の最高宅地価格表では、兵庫県下の部で、センター街ドンク喫茶店の土地が34年度三七万五千円から今年は四七万五千円と十万円もの上昇、そごう神戸店三九・八(三一・八)新開地坂本漢方薬店二五・〇(二四・〇)大正筋日栄堂一一・三(九・二)☆カッコ内(三十四年度)単位万円

▼3月21日 一丁目リクレーション

三月の定休日を利用してバス二台で新和歌浦、紀三井寺へ従業員バスツアーを行った。

▼4月11日 一丁目会婦人部結成さる

全店明るい買いよいセンター街にする為には先ず主婦の協力を、と三宮神社社務所で結成式を行った。店主も主婦も店員も街全体が親睦と連絡を保ち向上を目的とし今後毎月役員会を開き商店経営・商業ゼミと沢山の企画を持って、さきに結成されている二丁目婦人部と歩調を併せ活動するとの事、役員は部長渡辺(翠芳園)・副部長宮脇(ミヤワキ)・島本(フタバヤ)・佐伯(フクトク)・会計栗山(東京庵)の他・一区・二区・三区に各委員がおかれている。

▼3月1日 昭和35年度新役員（各部長のみ掲載）

○三宮センター街連合会

会長 渡辺 徳治郎（翠 芳 園）

○一丁目会

会長 大井 義雄（イセヤシャツ）

補佐 後藤 博雅（星 電 社）

副会長 山下 良造（山下履物店）

〃 島 本 良 晴（フタバヤ）

〃 黒 田 丈 三（メ グ リ）

文 化 井 上 貞 夫（井上金物）

企 画 松 谷 公 輔（ベ ニ ヤ）

総 務 宮 脇 昇（宮脇金物）

会 計 山 内 鶴 雄（視 正 堂）

監 査 田 和 繁之助（田和洋装店）

○二丁目会

会長 行 政 猛 男（ユキマサ）

副会長 尾 上 一 二（フ エ ン ツ）

〃 藤 井 幸 男（ド ン ク）

会 計 河 野 敬 助（マルダイ）

企 画 藤 井 幸 男（ド ン ク）

文化・厚生 尾 上 一 二（フ エ ン ツ）

相談役 大内保市・東條喜三郎・池田享・田路茂夫・上田数平

▼4月17日まで スプリングセール

浩宮様ご誕生、清宮様ご成婚を祝して行ったスプリングセー  
ルは五百円買上げ毎に記念タバコの当るスピードくじを進呈。

▼4月28日～5月10日 ゴールデンセール

ゴールデンウィークの飛び石連休を迎えてアーケード装飾、  
中吊看板、ちょうちん、店頭装飾等と意匠をこらす。

尚5月8日「母の日」の為に特に「お母さんありがとう」の  
ポスターを店頭にお客様のお母さん方へ母の日プレゼントカ  
ード（ピンク・ブルー・銀の三色刷豪華カード）を進呈。

▼5月4日 テーマ・ソング発表会

昭和三十四年、皇太子殿下御成婚を記念して、街のテーマ・  
ソングとして町内募集したセンター街の歌を国際会館で発表し  
た。

▼5月16日 ニ丁目リレーション

バス貸切りで従業員、店主の慰安に春のいで湯有馬温泉へ奥  
マヤを経て楽しい一日を過ごした。

▼5月23日 ヤングセンター・ゼミ

四月には第一回商店診断（店舗内外の模様・照明等）を行い  
大変参考になり有意義であったので関大山崎教授を招いて事務  
所で10時より「商店の労務について」ゼミを開いた。

▼5月25日 県商店連合会から表彰

県商店連は農業会館で十周年記念式典を盛大に行い、席上、功  
労者を表彰したが、センター街では「地区推薦感謝状贈呈者」  
として、東中清一氏が多年にわたるセンター街での活躍と功労

で表彰された。

▼5月18日 道路を広くきれいにする運動

二十五日からの強力週間に先がけて一丁目事務所で、生田署より係官二名を招き、連合会長、一・二丁目各役員相寄り、お互いに協力して街を広く、きれいにする様、関係各位の注意と認識を新たにしよう申し合せ、その後係官同伴で街を視察。

▼5月26日 女子プロ野球白元チームと対決

女子プロ野球で活躍中の白元チームが戦を挑んで来たので、センター街一丁目・二丁目の選抜チームで、十時三十分より磯上グラウンドで応戦、好天気でコンディションも上々、12-4でセンター街が圧勝した。

▼5月26日 太平洋岸津波被災者へ愛の救援物資を発送

ヤング・センターでは愛の救援物資を神戸新聞厚生事業団に寄託。婦人部でも会員が金品を持ち寄り、災害地の皆さんへ真心のこもった贈物をした。

▼7月9日 二丁目摩耶山へ納涼バス

従業員や家族連れで午後六時半二台で出発、頂上展望台で百万ドルの夜景を楽しんだ。

また七月三十日には甲子園球場へナイターバス運行、伝統の神巨戦を楽しんだ。

▼7月21日 海の女王パレード

第七回海の女王梁瀬瑛子さん(20)ら一行五名は午後一時半頃、オーブンカー三台でセンター街を訪問、渡辺連合会長より記念品が進呈された。

▼7月18日 一丁目明石へバスツアー

明石天文学館見學と、明石海水浴場で、楽しい一日を過ごした。参加者六十名。

▼7月15日～8月10日 三宮中元セール

センター街・そごう共催

金賞ナショナルトランジスタポータブルテレビなど電化製品  
十万円が十本当るノ一、〇〇〇円ごとに抽せんのお楽しみ  
・お買上げ一口一、〇〇〇円ごとに抽せん番号入り鉛筆進呈  
・お買上げ一口、二〇〇円ごとに補助券一枚進呈五枚で抽せん  
番号入り鉛筆と引換え(センター街各店頭及びそごう一階)  
・抽せん日：八月十四日(日) 神戸国際会館にて公開抽せん  
アトラクションとして「黒い花ビラ」で人気の水原弘シヨ  
・抽せん発表：八月十六日三宮センター街・そごう店頭  
【賞品】金賞：ナショナル電化製品十万円・銀賞：ナショナル  
電化製品三万円・銅賞：ナショナル電化製品一万円

▼9月13日、20日 センター街の見学視察団来町

十三日には京都の公開経営指導協会の二十名程が見学、座談会を開いた。また二十日には静岡の沼津商店街より五十名、京都より百二十名が見学の後、沼津の方は一丁目事務所で上田、長沢前会長を囲んでアーケード建設に関する質問やら、各お店の事など熱心に懇談。京都の方は見学の後、役員さん達と共に福德相互銀行で中食、座談会をもうけそれぞれ質疑応答があり懇談。尚六月にも横浜商店街と小野市商店街からも視察団が訪れている。

▼9月21日 S・O・Bの会

磯上グラウンドで恒例南軍対北軍の対抗野球試合を十時三十分より行い、堂々二時間の力闘の末、今回は過去連敗の汚名を返上、見事14―8で北軍に凱歌があがった。

また十月十三日には有志三十人がバスで松茸狩に三田、相野方面に出掛けた。

▼10月16日 二丁目婦人部

バスで大阪中座家庭劇(夜の部)を観劇。

▼10月17日 バスツアー 一、二丁目会

一丁目会はバス三台で京都方面に行楽の一日を過ぎた。百五十余名が参加、名勝苔寺、嵐山、紅葉の高尾を回り夜七時すぎ無事帰神した。二丁目会でも七十余名がバスで大阪見本市会館で開催中の宇宙大博覧会を見学。

▼11月26日 一丁目婦人部

バスで部員約六十名が大阪新歌舞伎座で評判の菊五郎劇団(山田五十鈴特出)観劇会を催した。

▼12月25日まで 三宮クリスマスセール

センター街・そごう共催

特賞十万円(ギフトチェック)の当るノ

・お買上一、〇〇〇円毎に抽せん券一枚

・〃 二〇〇円で補助券一枚(補助券五枚で抽せん一回)

◆抽せん日:昭和三十六年一月十日

◆景品引換:一月十五日↓二月十五日まで

特賞:十万円 一等:三万円 二等:一万円 三等:五千元

四等:一千元

五等:五百円

各賞共銀行発行お買物できるギフトチェック

◇

▼5月31日 センター

街に掲示された神戸国際港都建設事業三宮第三地区(現在さんプラザ)市街地改造事業管理処分計画。

管理処分計画の認可を受けた年月日は昭和四十三年五月二十九日

管理処分計画公告年月日となっている。

▼36年12月 土地区画

整理委員に当選した喜びの大内保市氏(右)と渡辺徳治郎氏(共に故人)



▼1月4日 新年挨拶会

一丁目、二丁目連合企画として新年挨拶会を午前十時より一丁目ベル喫茶店別館階上で渡辺連合会長の挨拶で開催、会員相互の親睦と繁栄を誓いあった。

▼1月10日 クリスマスセール当せん番号発表

センター街・そごう共催

午前十時より栄町二丁目勸業銀行神戸支店二階ホールで、センター街一・二丁目役員・そごう係役員・新聞社と立会のもとに行われた。当選番号は直ちに新聞紙上に発表した。

|                                                          |          |                                                                                             |
|----------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特 賞                                                      |          | 2 135823 • 7 129856<br>3 130668 • 11 131470<br>6 143591                                     |
| 10万円                                                     | 各組<br>共通 | 108437                                                                                      |
| 1 等<br>3 万円                                              | 各組<br>共通 | 143513 • 119174<br>101320 • 115655<br>105800                                                |
| 2 等<br>1 万円                                              | 各組<br>共通 | 107028 • 102411<br>102567 • 118153<br>114101 • 143889<br>141948 • 135771<br>136392 • 126979 |
| 3 等<br>5 千円                                              | 各組<br>共通 | 801                                                                                         |
| 4 等<br>1 千円                                              | 下 3 桁    | 602 • 082 • 283<br>627 • 154 • 672<br>632                                                   |
| 5 等<br>5 百円                                              | 各組<br>共通 |                                                                                             |
| 景品引換日<br>1月15日→2月15日 (休日を除く)<br>場所 センター街1・2丁目事務所<br>・そごう |          |                                                                                             |

▼1月15日 成人式 一丁目

成人の日を迎えた従業員が(全従業員約八四〇人中約一割の)八十五名にも達するので、神戸市より記念品、町内会よりシャープペンシル、ベルの洋菓子を贈り前途を祝福した。

▼1月20日 S・O・Bの新年総会

楠公前「三輪」で新年総会を開催、席上本年の行事予定を四

月・九月に恒例の二丁目商店対抗野球、又季節に応じて厚生福祉事業をすすめてゆく事を全員一致で決定した。

▼1月23～25日 新年総会

・一丁目会は一月二十三日、二十四日バス貸切で城崎温泉・日和山公園・玄武洞へ。

・二丁目会は二十三、四、五日と玉造温泉一泊御崎・松江方面へ遊覧。各商店の繁栄の年として一年の計を相談した。

▼2月9日 東京・阿佐ガ谷パールセンターより視察団

一行十一人が来町、一・二丁目役員を交えてベル喫茶店で座談会。テープコーダーを持ち込んでお互いの質疑応答の録音やら、各店の印象をカメラや8ミリにおさめ、流石若手役員さんで固めた新進の阿佐ガ谷商店街だけに、鋭い視察ぶり。

席上、「阿佐ガ谷パールセンターと名付けたのは、昨年センター街を視察した時の印象が、他のどの商店街より発展的に見え、理想的に思われて感銘深かったので、あやかる様にと名付けました」と嬉しいご報告。センター街役員もエビス顔。又対百貨店問題・従業員問題・アーケード・商店経営等ディスカッションして七時過ぎ散会した。

▼2月20日 スキーツアー 一丁目

定休日貸切バスで五十余名が参加、北兵庫の鉢伏スキー場へ日帰りバスツアーを楽しんだ。

▼3月14日 ベルギー前皇帝レオポルド三世ご散策

殿下は三日間の関西の日程の中で午後二時すぎから約半時間を神戸でのご散策にセンター街を選ばれたが、この日、ホテル

神戸からセンター街へ、関係諸官・上田二丁目会長、他センター街役員の案内でご散策、ビービーショップでビニール製のワンワンのおもちや四個、ダッコちゃん、小山カメラ店でフィルムなどを買われ、ウインドウ、アーケード、折からのスプリングセール開催中のサクラの装飾に目を細めて喜ばれ、楽しい一刻を過ごされた。昼下りの人出と見物の人の波にイササカ驚いておられ、護衛の警官も整理に大ワラワであった。このあと午後四時大阪空港発の日航機で東京に向われた。(71頁写真も)



#### ▼3月16日 一丁目婦人部総会

午後三時より、神戸観光ホテルで開催された。来賓の中江神戸市商工課長、渡辺連合会長、一丁目正副会長、文化部長臨席。会員四十名出席。会長挨拶の後

- 一、三十五年度の事業報告と会計報告。
- 一、三十六年度の事業計画、予算審議、役員改選の件について

合議の結果、役員は留任決定。

#### ▼5月9日 尼崎新三和商店街から視察団

尼崎市商工課長同伴で同協同組合一行がセンター街を訪れ、アーケードやウインドー等視察、神戸信用金庫で役員と懇談。

#### ▼5月12、13日 三宮神社春まつり当番

戦後ずっと中断していた春まつりが、三宮町一・二丁目宮元地区の当番で復活、十二日本祭、十三日神幸祭には大人・子供みこしがねり歩き、稚児行列には四十人が参加するなど賑わった。委員長は渡辺連合会長。

#### ▼5月15日 初夏のバスツアー 一、二丁目

従業員家族慰安のため一丁目ではバス三台で赤穂、室津方面へ初夏の旅を楽しんだ。二丁目ではグリーンバスを運行、新緑の紀三井寺、温山荘と新和歌の浦へ。

#### ▼6月6日 一丁目婦人部東条ダムへ

貸切バス一台で東条ダム、闘竜灘方面へ行楽の一日を過ごした

#### ▼7月21日 海の女王パレード

第八回海の女王都寿美子さん、準女王ら五名は、昼過ぎセンター街を訪れ大洋劇場前で街より記念品を進呈した。

#### ▼7月1日～8月15日

抽せんが二度楽しめる…ダブルラッキーの賞品提供

三宮中元セール センター街・そごう共催

アサヒビール一年分が当る…空くじなし!

★お買上一、〇〇〇円毎に抽せん(五〇〇円で補助券一枚)

★抽せん期間は七月七日～七月三十一日まで。

★抽せん方法……そごう・センター街の各店頭にてインスタント三角くじでその場であたる。

※インスタント抽せん賞品

★A賞：アサヒ缶ビール   ★B賞：バヤリース缶ジュース

★C賞：鉛筆（抽せんナンバー入）

※更に後日二重抽せん（ダブルラッキー）

◎金賞：アサヒ缶ビール一年分（三六五本）   ◎銀賞：アサヒ缶ビール半年分（一八三本）   ◎銅賞：アサヒ缶ビール一

月分（三〇本）

▼8月18日 中元セール二重抽せん会

鉛筆番号で当たるダブル抽せん会は勸業銀行神戸支店で実施、当日の神戸新聞に掲載と同時に、各店頭に掲示。

▼7月7日 視察団来町

滋賀県長浜商店街の約四十名、また七月二十日多紀郡丹南町商工会の約六十名が県商工課の案内で来町。店舗のウィンドーや店内のディスプレイに懸命の視察ぶり。

▼7月10日 二丁目アーケード大改装完成

経費六百万円をかけて改装したもので、天井は積水化学のホワイトプラスチックで明るく、鉄骨は流行色のベージュ、消防活動を考慮して改装され、面目を一新した。

▼7月25日～8月24日 センター街ラジオ体操の会

夏の健康を護ろうと民生委員、役員の音頭取り、神戸市ラジオ体操の会、リクレーション協会主催、NHK、ラジオ関西などの後援に、センター街も参加、大洋劇場前七時三〇分～七時

四五分まで、二十七日以上出席者は神戸市より表彰される。

▼9月19、20日 全国商店連盟全国大会

今年は福井市で二日間に亘り催された。センター街からは、渡辺理事長、田路副理事長、上田、黒田両会長他幹部数名が出席した。大会では、小売商の振興策・法的保護の立法化を議会に要請する事などの議決が行われ、大会宣言の後、閉会した。

▼10月1日～15日 市商連（神戸市商店連合会）

再建10周年記念大売出し（みなとの祭協賛）

センター街ではアーケードの柱に提灯をつり装飾をほどこし大々的な協賛大売出しをする。百円毎に一枚の抽せん券（No入り）を渡し、ナショナル電気冷蔵庫・テレビ・ステレオ等：ナショナルの家庭電化製品を賞品として渡す。

▼10月1日～31日 第6回全国商店サービス強化運動

正札販売・正量販売・品質表示・接客サービス向上・陳列照明の改善―等一カ月間を特にこの運動の強化月間として実施。

主催は日本商工会議所、神戸商工会議所。

後援は通産省・中小企業庁・通産局・市商連・神戸新聞社。

▼10月8日～13日 第一回神戸市商店街コンクール

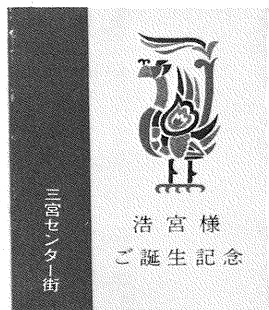
商店街の施設及び経営の近代化をはかり市内商店街の振興と市民の消費生活の向上に寄与する為に、神戸市経済局と市商連では、市商連から推選された商店街の中から審査によって優秀商店街を表彰しようというもの。

▼10月11日 二丁目婦人部

宝塚大劇場へ秋の観劇会のバスを運行。



▶道路を広くきれいにする運動の勉強会(35年5月)  
 ▲センター街の歌発表会。指導は大久保怜さん(35年5月国際会館)  
 ◀中元セール抽選会アトラクションは黒い花ビラが大ヒット中の水原弘ショー(35年6月)



◀浩宮様ご誕生、清宮様ご成婚を祝してスプリングセールに記念煙草進呈

▶三宮せいもん払抽せん場(35年)



▼二丁目会大運動会は従業員、家族300名の参加で修法ヶ原公園で(36年9月)



▼1月22日 S・O・B新年総会

神仙閣で五時半より新年総会と懇親会を開き席上本年度の活動方針や役員改選を行い和気あいあいの夕べを過した。

▼1月29日 二丁目婦人部新年総会 十二時より神仙閣で開催

▼2月6～8日 二丁目新年総会

片山津東尋坊・兼六公園へ参り銀世界の雪国風景を堪能、天候にも恵まれ楽しい旅であった。

▼2月7、8日 一丁目新年総会

七日朝出発、熱海一泊、いで湯気分浸って、恒例の総会を開催、昼食後現地解散。

▼2月12日 愛の贈物…一丁目婦人部

この寒い冬の不幸な子供達を少しでも慰め、心の糧にと町内各店有志から集めた金一封・オモチャ・文具・衣料品・その他を代表者が神戸真生塾（水谷愛子理事長）―生田区中山手通七丁目八八三―へ持参、大勢の子供達と有意義な一刻を過した。

▼2月18、19日 一丁目文化部スキーバス

バス一台で神鍋方面へ運行、スキーブームのこの頃、従業員にも大変好評で、楽しい一日であった。

▼3月17日 北海道室蘭商店街から視察団

17日午後、商工会議所の案内でセンター街を訪れ、商店のトップモードや、ウインドー装飾、アーケードを視察し、折からの人の流れに気を吞まれたり熱心な視察ぶりであった。

▼3月22日 一丁目婦人部新年度総会

有馬温泉池之坊（一泊）で開催した。

▼4月16、19日 一丁目お花見バス

吉野山へ四月十六日バス二台で運行した。また一丁目町内会有志で十九日大池聖天へ観桜会。

▼4月23日 二丁目婦人部

日頃の疲れをいやそうと神有かまぶろ温泉へ行った。

▼5月8日 舞鶴商店主婦の会視察団来町

一行五十名がセンター街を見学。その後神戸信用金庫のホールで役員達と懇談した。

▼5月14日 S・O・Bの会の鳴門観潮

有志三十名程で鳴門観潮に出かけた。潮かげんが悪く十分な渦の観賞は出来なかったが、洲本公園の馬や、久しぶりの船の旅で楽しい一日だった。

▼5月21日 従業員リクレーション新緑の保津川下り 二丁目

▼7月13日～8月10日 中元謝恩特別セール／空くじなし／

センター街・そごう共催

一、〇〇〇円お買上げごとに一回抽せん、五〇〇円で補助券一枚発行（補助券二枚で一回抽せん）

①第一次抽せん…センター街店頭およびそごう六階抽せん場で即時景品渡し。

②第二次抽せん…第一次抽せんのD賞により、そごう六階総合抽せん場で抽せん即時景品渡し。

第一次抽せん景品（センター街店頭・そごう六階抽せん場）

A賞…アサヒビール缶入 B賞…バヤリスジュース缶入 C

賞…ロッテチューインガム（四枚入） C賞…多色印刷鉛筆（J

IS規格HB) D賞:第二次抽せん景品(そごう抽せん場)

特賞:ナショナル・ルームクーラー(三本)又はトランジスタ

ーテレビ(三本)

一等:電気冷蔵庫(五本)又はステレオセット(四本)

二等:扇風機(十本)ジュースー(十本)トランジスタラジ

オ(十本)電気掃除機(十本)ルームラジオ(十本)

三等:蛍光灯スタンド(百六十本)電気コンロ(百六十本)電

気アイロン(百六十本)電気ポット(百六十本)

四等:ナショナルペンライト(千本)

### ▼9月1日 英語会話教室始まる 婦人部

婦人の地域クラブ活動が盛んである。

センター街婦人部でも教養講座第一期として、英会話教室が九月一日から(毎週土曜)始まった。寸暇をさいて商店の主婦従業員が、ハイティーンから六十才まで、予想以上の好評で只今受講生三十名、講師の宮出静子先生(神戸市観光課嘱託)のアシスタントで今日はアメリカ領事館副領事夫人ミセス・モートン。今すぐ役に立つ英語の実習としてお買物の「こープレイショpingー」が始まっている。ねぎられた時にはこう答えよう。

### ▼3月1日 昭和37年度新役員

#### ○三宮センター街連合会

会長 渡辺徳治郎(翠 芳園)

#### ○二丁目会

会長 山下 良造(山下履物店)

副会長 山内 鶴雄(視 正堂)

大西 章輔(大西呉服店)

松谷 彰久(ベ ニヤ)

企画部 森田 博次(モリタ洋服)

入江 清一(カスカード)

山田 六郎(ウインザー)

大村 啓蔵(三宮時計店)

柴本秀太郎(ミカサ)

佐伯 龍一(フクトク洋品)

総務部 山川源次郎(くしや)

宮脇 昇(宮脇金物)

文化部 井上 貞夫(井上金物)

奥村 ひさ(錦 商会)

久保 欣治(久保時計店)

大井 義雄(イセヤ)

会計部 島本 良晴(フタバヤ)

原田 幹夫(香 月)

監査・監察部 長谷川一雄(ツルタ薬局)

西岡精一郎(三水商会)

相談役 黒田 丈三・後藤 博雅

長沢 堅次・東中 清一

米崎 岩雄

#### ○二丁目会

会長 坂本 正三(きくや化粧品)

副会長 今江 英夫(おそめや)

三木正之助(丸太屋呉服店)

会計 西尾 悟(リアン)

企画部 玉垣 熊市(タマガキ洋品)

藤原 有(淡 洲堂)

中川 昭次(ハリウッド)

酒井 隆八(ヒカリ)

勝浦 章(カツウラ)

文化厚生部 福本 辰(丸福履物舗)

坂野 通夫(ファミリア)

酒井 春海(アオイ・ストア)

田路 達夫(田路時計店)

藤原 有(淡 洲堂)

元田 敏子(モトヤ靴店)

相談役 東條喜三郎・大内 保市

田路 茂夫・行政 猛男

上田 数平・池田 享

We have only one Price. (定価販売で) いますので、かけ値はいたしません

▼9月17日 比叡山へバスツアー 一丁目

根本中堂、三井寺、石山寺の秋色を味わい夜六時過ぎ帰神。

▼9月19日 米水上機母艦見学 一丁目

午後一時よりアメリカ第七艦隊の水上機母艦サリスバリーサウンド号（神戸初訪問）を見学、親善の役目を果たした。

▼10月15日 二丁目松茸狩

塩田温泉に往復バスで。山上ですぎ焼昼食会。

▼11月 商店街サービスコンクールに通産大臣賞…一丁目

この街・この人達に大臣賞…日本商工会議所が全国三百三十六商工会議所によびかけ、十月中「商店サービス運動」を行ったが、その一つとして商店・商店街サービスコンクールを実施したのに対して、一丁目が最高の「通産大臣賞」を受賞、センター街の美と役員の日頃の苦勞が評価されたと関係者一同大いに感激。（兵庫県下で通産大臣賞はセンター街のみ）

神戸市でも毎年産業界・商店街等の功勞者を表彰しているが十一月二十二日市庁舎三階会議室で、第十五回優秀商工業者表彰を行ったが、センター街では一丁目会長山下良造氏が、また二丁目ドンク高橋哲夫氏も表彰された。

▼11月5日、7日 婦人部観劇

一丁目婦人部は五日、二丁目婦人部は七日とそれぞれ秋のリクレーションとして梅田コマ劇場に観劇（夫婦善哉、「雪月花」中村扇雀・市川団四郎・乙羽信子ら出演）



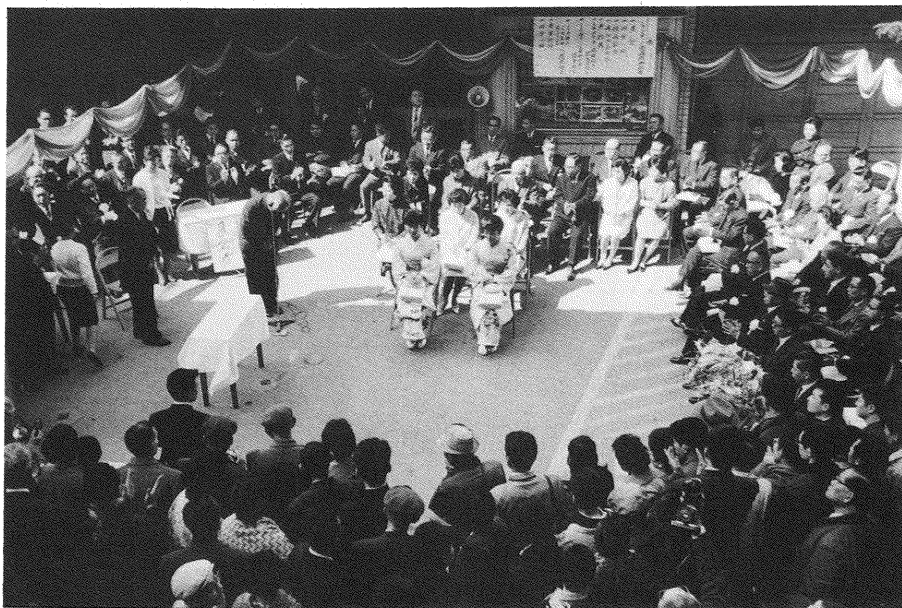
▼10月14日 2丁目火災



当時放火魔による火災が頻発していたのでセンター街でも警戒していたが到々発生、二丁目浜側のちんがら屋、タマガキ、シンワ、ぼんぐうなどが類焼した。



センター街がサロンのように華やかに、お客様に愛されたい願いから、アーケードに大型シャンデリアが取り付けられた。



式典は大洋劇場前で、通行人もみんな参加して華やか。中是有岡助役の点燈の瞬間、立っている人は渡辺会長。



▼メキシコ文化使節団のマリアッチ楽団がセンター街へ。



◀センター街従業員福祉の一つとして海の家が指定され、須磨の海水浴場も身近になった感じ。



▼1月10日 二丁目「エビス祭」

従業員に「福の神」：歳末商戦で忙しかった従業員の為に商売繁昌をかねて「エビス祭り」を行った。昨秋放火魔のいたずらで二丁目商店街の一部が焼け、予定していた「まつたけ狩」がフイになっていたため、文化部が六十数店から景品を集め、約六百人の従業員に福引大会を行なった。福本部長（丸福店主）がエビスさんで烏帽子衣裳をつけ、陣羽織の役員をアシスタントに華やかに行い、高級カメラ、18金腕時計、舶来玩具セットなど百数十点をそれぞれエビス賞・大黒賞として「おめでとう」「今年も頑張つてや」とサービス。

▼2月25日～28日 商店と商店街近代化展

街を明るくする照明灯・店内照明器具、近代的総合店舗、陳列器具を各メーカー、特約店などが県労使センター二階、四階に並べ、二十五日から二十八日まで、県、県商連の主催、関電その他の後援で行われた。

▼3月19日 シャンデリア点灯祝賀式典

懸案のアーケード下シャンデリアが完成、デラックス・ムード、カラフルな輝きの恐らく日本最初、世界中の商店街を探してもないのではないかと思われる。

当日は神戸市有岡助役を迎えて点灯式、ミス・コウベ、花のプリンセスも参加して音楽パレード、花の車、写真コンテスト記念タバコ（セール期間の初め一週間、シャンデリア図案の記念タバコ進呈）などの催しをおりこんで華やかに行われた。

これを記念して、神戸新聞社事業部、有名商社（ナショナル

・帝人・さくらフィルム・カネボウ・資生堂）と提携、華やかな祝賀行事を展開、三月十九日から一カ月間のセール期間中を文字通り「花イッパイ・光イッパイ」で祝福した。

「シャンデリア概要」

★二段式照明（一基につき）左右二・五m 天地二m 二〇W 蛍光灯（カラー）二十四本 中心部三〇〇W水銀灯 重量約一五〇kg 総工費五〇〇万円（一丁目五基・二丁目三基）

▼3月23日 東京渋谷商店街から視察団

シャンデリアの話題をテレビニュースで知った渋谷商店街五十名が来町、町内視察の後役員有志と懇談した。

▼4月1日 二丁目婦人部の新役員きまる

四月新年度任期二年。

・部長 上田房江 ・副部長 玉垣茂子 ・会計 毛利きぬ  
曹智恵子 ・その他の役員 福本ミネ 三木富士子 田路せい子 川飛欽子 元田敏子

▼5月4日 一丁目婦人部奉仕

「子供の日」の前日、同じ生田区内での不幸な子供を慰めようと町内より義捐金物資を集め、今年も神戸真生塾に衣類他七梱包を持参した。

▼5月15、16日、20日 バスツアー

一丁目婦人部は15、16日有志一行西日光耕三寺↓道後温泉方面へ、一丁目は従業員慰安会バス運行鷺羽山方面。二丁目はバスを宇治川ライン、宇治方面へ。二十日第三月曜定休日を利用しての旅であった。雨多い今年の五月に珍しくこの日だけはお

▼2月1日 昭和38年度新役員

○三宮センター街連合会

会長 渡辺徳治郎(翠 芳 園)

○二丁目

会長 山下 良造(山下履物店)

副会長 山内 鶴雄(視 正 堂)

大西 章輔(大西呉服店)

松谷 彰久(ベ ニ ヤ)

企画部 森田 博次(モリタ洋服店)

久保 欣次(久保時計店)

中振 和夫(マルナカ洋服店)

山田 六郎(ウインザー)

柴本秀太郎(ミ カ サ)

竹村 義知(ヤマトショップ)

総務部 山川源次郎(く し や)

宮脇 昇(宮脇金物店)

栄川 省造(真 美 堂)

内田 儀一(スズヤ宝飾店)

宮元 一雄(まるみや洋服店)

植村 忠三(マ ッ ク)

文化部 井上 貞夫(井上金物店)

小松原政雄(センター家具店)

会計部 島本 良晴(フタバヤ)

原田 幹夫(香 月)

監察部 西岡精一郎(ミ キ ヤ)

長谷川一雄(ツルタ薬局)

相談役 東中清一(ベル)・長沢堅次

(ナガサワ文具)・米崎岩雄

(丸松呉服)・後藤博雅(星

電社)

○二丁目

会長 池田 享(アイリス洋装店)

副会長 岸野 利男(シンワ洋装店)

毛利 保一(毛利マーク)

会計部 稲永富士夫(スコッチ洋服店)

企画部 平野いくの(あかし屋)

大成 順三(ふみや呉服)

限部 宏(マミーク K)

玉垣昭三(エンバイヤ)

伊藤 稔(ニューホープ)

文化 玉垣 昭三(兼 任)

厚生部 大成 順三(兼 任)

太田 利秋(エビス宝飾店)

福田 次男(三和商会)

伊藤 稔(兼 任)

運動部 玉垣 昭三(エンバイヤ)

管理責任 大上 美義(美登里屋)

婦人部(新設) 北畑ふみ子(ヒ ラ タ)

相談役 大内保市(マルダイ)・上田

数平(上田洋服)・東條喜三

郎(マミー)・行政猛男(ユ

キマサ)・田路茂夫(田路時

計店)・坂本正三(喜久屋)

天気。

▼5月 センター街 坪八十万円也

|| 国税庁の繁華街宅地評価で|| 相続税、贈与税の査定用

うなぎ昇りといわれた土地価も今年は少し上昇率がひくく、

去年にくらべて全国四十六都市の平均では一二%増。神戸では

一七%の値上りで、去年六十八万円(三・三平方メートル)だったセ

ンター街は今年八十万円也。

▼6月 視察団来町相つぐ

スマートでムードのある商店街・戦後最高の発展をみせる街

として週刊誌、新聞、テレビなどマスコミ界でも有名になり、

全国商店街注目の的、毎月東から西からの視察団が訪れ、色々

と研究参考にされているが、五日には、岡山市の上之町商店街

商店主二世達で結成する「十秀会」の若手メンバーが、山陽新

聞社のお世話で来町、街づくり、各店舗の経営方法など見学し

た後、ベル喫茶店で、直接、渡辺連合会長、山下、池田一・二丁目会長を交えて熱心な質疑応答を長時間行った。

また二十日には静岡県下の商店街代表（二世たち二十一名）

が市商連のお世話で来訪、ドンク洋菓子店・洋品店マック・喜久屋化粧品店・ベニヤ婦人服飾店・田路時計店・ナガサワ文具センターなどを見学し、意欲的な街づくりに対する態度を見せていた。

#### ▼8月1日 阪神―巨人戦ナイターへ 二丁目

ナイターバスは、ダブルヘッダーを甲子園球場に運行。

#### ▼7月8日 センター街「海の家」

ことしも店主・従業員の要望により「ラッキー」と契約した。

ことは特にあかし屋洋傘店のご好意で、赤と紺のキレイなビーチパラソル大小二ツ設置したのでこれを目印に利用者には「利用券」を二丁目事務所で発行している。

#### ▼9月7日 メキシコマリアッチ街頭へ

午後二時すぎ、折柄国際会館に出演のため来神中のメキシコ文化使節マリアッチ・ロス・ドラドス楽団が舞台扮装のままで歌いながらセンター街へ。メキシコ・ガタハラ地方の民謡楽団で、目下メキシコ最高の人気楽団である。

#### ▼9月16日 一丁目文化部 バスツアー

関西の名物ハイウェイ名神高速道路を走り琵琶湖見物のリクレーションバスを運行した。

#### ▼9月16日 二丁目秋季大運動会

午前九時より再度山修法ヶ原運動場で第二回大運動会開催。

店主・家族・従業員の他約三百人参加。後援：神戸、富士、三井、第一、住友、大和各銀行・神戸、神和信用金庫、七福、兵庫、福徳相互銀行（順不同）協賛：神戸新聞社事業部・二丁目婦人部・SOB会・月刊センター

#### ▼10月13日 河野一郎建設大臣来町講演会

七時から大洋劇場にて講演。「名神高速」「第二阪神」「夢のかけ橋」等々、神戸にも関係深い同氏が政局急を告げている折から、会場一ぱいの観衆地元代表を集めて実力者ぶりを披露した。渡辺連合会長も地元代表として演壇に立ち、河野大臣に感謝の意と今後地元のためによりしくと挨拶。

#### ▼10月 松茸狩

一丁目は十四日、神有沿線「平田」で、マツタケ狩を行い参加約七十名で盛会。同婦人部も十日、有野へ松茸狩の親睦会。二丁目婦人部：九日塩田温泉へ松茸狩、親睦慰安会、三十名。

#### ▼11月3日 永年勤続従業員表彰 連合会

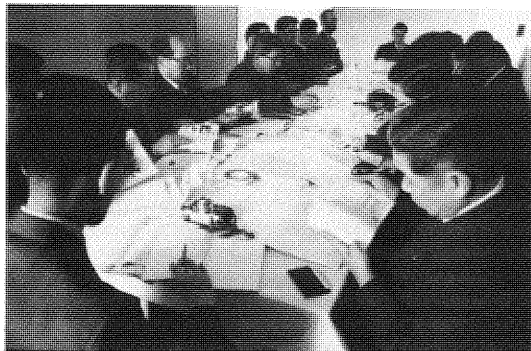
兵庫相互銀行六階で一丁目・二丁目の永年勤続従業員五年以上の二百四十名を表彰賞状記念品を贈呈、二百四十名の中には一丁目の大洋劇場：小幡さん26年、福井家具店：高島正之助さん18・2年、生駒レコード：桜井さん15年、ツルタ薬局：北村さん15年、マック：大村さん13年、二丁目のトンカツむさし：中井さん16・8年、毛利マーク：山田さん15・7年、ドンク：高橋さん14・2年、古中さん14・5年など十年以上も大勢ある

THE 18th TOKYO OLYMPICS



64

東京オリンピック



福岡からの視察団と懇談。



▲フランク永井さんのサイン会に集まったヤングたち（喜久屋で、7月）

▼市経済局の動態調査（8月6日、9日）



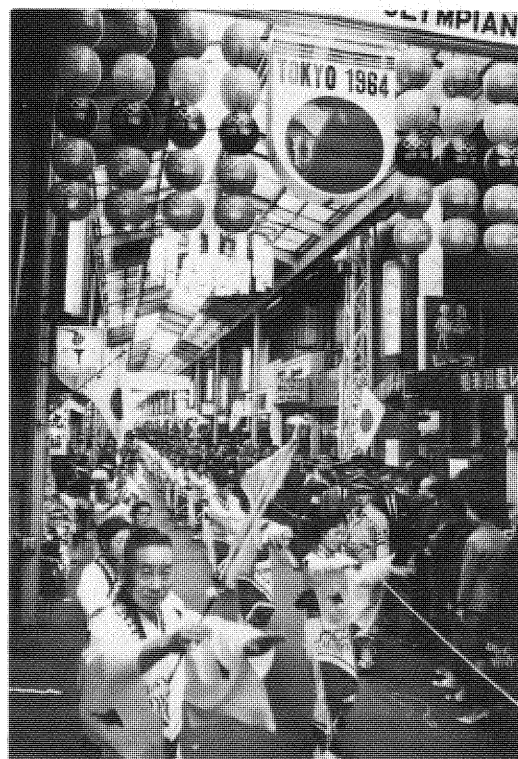
オリンピックの年

10月10日



昭和三十九年は東京オリンピックで湧いた。経済高度成長の波に乗って日本中が大ハッスル。東洋の小さな島日本へ世界中の人々がやってきた。大松監督ひきいる東洋の魔女、女子バレー、男子体操

のウルトラC：よくやりました。当時はセンター街もオリンピック行事を盛大に行なった。右下はイセヤさんを先頭に街を行く。上は県庁前で金井知事の聖火点灯。中はドンクのウインドウ。



## ▼1月20、21日 新年度総会

一丁目：一月二十、二十一日に蒲郡へ、三谷温泉一泊、豊川  
稲荷見学をかねて総会を開催。

二丁目：同じく二十、二十一日に四国道後温泉へ関西汽船の

船旅を楽しんで、総会を開催。

## ▼3月11日 福岡市商工会議所視察団一行十二名が来町

センター街の街づくりが、全国に聞こえているので……と、

視察に来神、街の共同施設、福利厚生、グループ対策組織運営  
法、労働条件などを、ベル階上で一、二丁目会長など関係者と  
長時間にわたって討論。

## ▼3月21日 連合会長渡辺徳治郎氏逝去

誠意実行の人であった渡辺連合会長がなくなられた。卓越し  
た明晰な頭脳と不屈の闘志をもって常にその信念を貫き、公平  
無私、センター街や小売業者繁栄のためにつくされた指導者で

## ▼2月1日 昭和39年度新役員

## ○三宮センター街連合会

会長 渡辺徳治郎（翠 芳 園）

## ○二丁目

会長 山下 良造（山下履物店）

副会長 山内 鶴雄（視正堂眼鏡店）

大西 章輔（京呉服大西）

松谷 彰久（ベ ニ ヤ）

企画部 森田 博次（モリタ洋服店）

柴本秀太郎（ミ カ サ）

長田 熙（大 和 屋）

竹村 義知（ヤマト・ショップ）

山田 六郎（ウインザー）

久保 欣治（久保時計店）

総務部 山川源次郎（く し や）

長谷川一雄（ツ ル タ）

宮元 一雄（まるみや洋服店）

栄川 省造（真 美 堂）

文化部 植村 忠三（マ ッ ク）

井上 貞夫（井上金物店）

内田 儀一（スズヤ宝飾店）

大橋 秀男（流泉書房）

黒田 丈三（メ グ リ）

會計部 中振 和夫（マルナカ）

島本 良晴（フタバヤ）

監査 西岡精一郎（ミ キ ヤ）

相談役 原田幹夫（香 月）

東中清一（ベル）・長沢堅次

（ナガサワ文具）・米崎岩雄

（丸松呉服）後藤博雅（星電

社）

## ○二丁目

会長 藤井 幸男（ド ン ク）

副会長 北村 嘉雄（まる 喜）

田中 卓郎（マ リ ヤ）

會計部 西尾 哲治（三 幸）

河野 敬助（マルダイ）

企画部 芹沢 利雄（セリザワ）

坂田 光男（ミツチャン）

衣笠 悦三（小 松 屋）

三角 恒雄（ちんがら屋）

文化部 三谷 勝平（み つ や）

厚生部 尾上 一二（フェンツ）

曹 豊和（三 輪 堂）

中川 豊（ハリウッド）

婦人部 則武 穂（ノリタケ）

相談役 大内保市（マルダイ）・上田

数平（上田洋服）・東條喜三

郎（マミー）・行政猛男（ユ

キマサ）・田路茂夫（田路時

計店）・坂本正三（喜久屋）・

池田享（アイリス）

あった。

センター街では連合会葬をもって生前の功績とその徳を賛えた。葬儀は三月二十三日平野祥福寺において前連合会長東條喜三郎氏を葬儀委員長に役員一同がその進行をたすけ山田無文老師を導師として、おごそかに莊重に、かつ盛大に行なわれた。徳を賛え死を悼む声は堂に満ち法務大臣をはじめ神戸市助役、



国会県会市会新聞社の他中小企

業関係から弔電がよせられた。

▼4月1日 長沢堅次氏連合会長に就任された。

▼4月20日 バスツアー

町内従業員リクレーションで一丁目会は、お伊勢参りのバス二丁目会は比叡山巡り、琵琶湖方面一周バスを。

▼5月12、13日 三宮神社夏まつり

カンカン帽に陣羽織、子供、大人みこし、猿田彦を先頭に、地元センター街が当番で上田数平氏を祭典委員長に行われた。

▼6月2日 二丁目婦人部会

約三十名の参加、赤穂御崎の滝野鮎狩で一日清遊。

▼6月24日 センター街親善ゴルフ同好会を結成

◎委員名 会長 長沢堅次（ナガサワ文具店）

幹事・ハンデー委員 後藤博雅（星電社） 福井猛郎（スタイルの店） 長沖正清（神戸信用常務）

エチケット委員 東條喜三郎（マミー） 木下政雄（アンコール）

古川周吉（古川軒） 会計 大橋秀男（流泉書房）

▼7月18日 ナイターへ 二丁目会

甲子園球場に、阪神―大洋19回戦ナイターを、セリーグのトップ争いの両チームの熱戦を心ゆくまで味わった。

▼7月20日 一丁目会

新舞子海岸と新装の国宝姫路城へ、一丁目婦人部では、片山津温泉一泊旅行を催した。

▼8月6日、9日 神戸市経済調査

六日（木）九日（日）、中元セール中のセンター街で神戸市商工課のアルバイト学生によって、商業診断（商店の内容）通行診断（通行人数）などの大がかりな調査が行われた。これは市経済調査室の広域対象施設のマスタープラン作成のための行事で、統計調査、面接アンケート（この項にあたるものが百貨店センター街、元町など都心の商店街の診断）で、年令、性別、居住地、職業その他施設利用の理由、目的を調査（当日、お買物客、通行のお客様に賞品付アンケートの葉書が手渡された）八月末日まで調査し、プラン作成に役立てようというもの。

▼9月6日 センター街視察団続々

全国的に名を馳せたセンター街の繁栄と流行を創る街の要因は何か？と視察団が絶えないが、今月も六日、静岡市商店街連盟、同商工会議所一行二十余名、十四日、横浜伊勢佐木町一、二丁目商和会一行二十名が来訪、担当役員と懇談、人通りの多い事、ウインドー商品構成等に見張って帰られた。

▼9月21日 親善ゴルフ同好会9・10月例会

芦屋カントリークラブで、小雨模様にも拘らず多数参加で行

われ、優勝矢野俊雄（玉垣時計）66、（二回連続優勝）2位土井良三（下キ手芸）68、3位大成順三（ふみや）68。

10月例会三田ゴルフ倶楽部で27ホールズプレイ。優勝近松良男一〇三・五、2位飯田守一〇〇、3位大成順三一〇四。

#### ▼10月19日 従業員リクレーション

一丁目は名神高速道路を走り伊吹山へバスドライブ。

二丁目は奈良へ三笠山大仏殿など見物した後ドリームランドで休み、帰路は名神高速でドライブをというもの。

#### ▼10月23日 静岡市からセンター街視察団

静岡市商店街一行四十名が大挙センター街を訪れ、その繁栄と流行を詳細に視察、福德相互銀行三階ホールで役員と懇談。

#### ▼11月3日 県知事賞の商店街功労者

県信用金庫大ホールで山下良造氏が、一丁目事務所小川俊一氏、二丁目加藤尚人氏。優良従業員表彰は十一月相楽園で猪又宏一氏（古川軒）魚田欽一氏（あかしや）が受賞。

#### ▼11月10日、19日 婦人部観劇会

一丁目婦人部は十日梅田コマで新派を、出演は中村扇雀、高田浩吉、大矢市次郎などで四十三名参加。二丁目婦人部は十九日武田尾温泉へ秋のリクレーションに一日清遊。参加二十名。

#### ▼12月11日～25日 三宮クリスマスセール

三宮センター街・そごう共催

特賞 夢の旅行券5万円が当るノダブル抽せんつき

#### ▼12月17日 商店街コンクール特別賞：二丁目

三十九年度第三回神戸市内商店街コンクールは神戸市・神戸

三宮周辺通行量調査表

昭和39年8月6日・9日  
神戸市商工課調

| 調査場所      | 日 | 男      | 女      | 合 計    | 33.11.23<br>(日)                                                                                                 | 33.11.19<br>(木) | 29. 3.23<br>(火) |
|-----------|---|--------|--------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------|
| センター街     | 6 | 16,542 | 18,412 | 34,954 |                                                                                                                 |                 |                 |
| 真 美 堂     | 9 | 25,191 | 39,242 | 64,433 |                                                                                                                 |                 |                 |
| 〃 大 洋 劇 場 | 6 | 16,244 | 18,115 | 34,359 | 40,503                                                                                                          | 24,543          | 17,212          |
|           | 9 | 20,779 | 27,932 | 48,711 |                                                                                                                 |                 |                 |
| 〃 む さ し   | 6 | 13,958 | 19,136 | 33,094 | 39,837                                                                                                          | 24,130          | 20,953          |
|           | 9 | 21,577 | 23,879 | 45,456 |                                                                                                                 |                 |                 |
| 京 町 筋 松   | 6 | 14,636 | 11,604 | 26,240 | 備考 神戸市経済局では、8月6日(木)と8月9日(日)の両日午前10時から午後8時までの10時間三宮元町周辺の経済調査を行ったが、その一環として行われた通行人員の集計が来た。この表では東西(南北)の合計、男女別で表わした。 |                 |                 |
|           | 9 | 12,458 | 12,356 | 24,814 |                                                                                                                 |                 |                 |
| 〃 漢 口 堂   | 6 | 17,509 | 18,700 | 36,209 |                                                                                                                 |                 |                 |
|           | 9 | 15,747 | 21,225 | 36,972 |                                                                                                                 |                 |                 |
| 生田筋 ユーハ   | 6 | 8,141  | 7,695  | 15,836 |                                                                                                                 |                 |                 |
| イムコンフェクト  | 9 | 10,870 | 9,266  | 20,136 |                                                                                                                 |                 |                 |
| 〃 ニュー     | 6 | 8,160  | 6,011  | 14,171 |                                                                                                                 |                 |                 |
| ミュージーンヘン  | 9 | 6,764  | 6,101  | 12,865 |                                                                                                                 |                 |                 |
| 末 積 製 額   | 6 | 5,940  | 5,513  | 11,453 |                                                                                                                 |                 |                 |
|           | 9 | 6,210  | 6,270  | 12,480 |                                                                                                                 |                 |                 |
| 元町通       | 6 | 13,610 | 8,618  | 22,280 |                                                                                                                 |                 |                 |
| オノコロヤ     | 9 | 12,456 | 9,796  | 22,252 |                                                                                                                 |                 |                 |

商工会議所・市商店街連合会主催で、今年は東京オリンピック商業道徳高揚運動、みなと祭り協賛として行われたもので、受賞式が十七日市役所三階ホールで、市商工課、中林県商連会長、鳥越市商連会長、市商連、県商連、来賓各位の出席で行われ、二丁目が特別賞を受賞した。



▶さんちかタウンオープン（十月一日）センター街はそこう  
と共催で三宮カーニバルを催して祝意を表す（一日～七日）  
▲連合会臨時総会（長沢会長）はさんちかタウンのオープンにともない、神戸市の次期地下



▲5月8日商店街野球大会に8年ぶりに凱歌をもたらした2丁目チーム（行政監督、坂本会長）

街工事が花時計下から鯉川筋―元町駅付近へ線引きの動向を察知したので急拠総会を開いて対策を協議した。（中）三月九日従業員研修は三時間の大勉強

☆さんちかタウンは三宮駅から神戸市役所を結ぶフラワールロードの地下に誕生した。ここは昔生田川、つけ替えて後滝道と呼ばれ、常に話題の多い地帯。昭和三十八年六月、三十三億円の工費で着工、十月一日二年余をついやして完成した。この日スタイルアンコールビルもオープンした。

▼5月12、13日 三宮神社夏まつり、子供みこし二基を氏子の子供たちがかつぎ式内を練り歩いた。



▼1月 センター街新年総会

一丁目会は、十八、九日、日光方面から鬼怒川温泉一泊、関東いでゆの旅を東海道新幹線で：

二丁目会は二十五、六日、名古屋方面から下呂温泉一泊現地解散、東海道新幹線を利用。

▼3月9日(19日) 神戸市商店街従業員研修会

神戸市経済局、商工会議所、市商連、市商連婦人連合会の主催で、九日より十九日まで市内の各商店街従業員を対象に積極的に行われた。日本ビジネス社・MTPインストラクター梶本

与士男氏を講師に「現代販売のしくみ、今日の販売店はどうあるべきか、販売員の役割、サービスとは、商品知識、商品販売心理、販売接客術など」十二項目をテキストによって受講、センター街は九日に福德相互銀行三階ホールで、七十余名が一時から四時まで勉強した。

▼4月15、16日 一丁目会婦人部

春のリクレーションとして白浜温泉に一泊旅行をした。

▼5月8日 二丁目婦人部が10周年

今から丁度十年前の五月八日、母の日に婦人部を作り、現在

▼2月1日 昭和40年度新役員

○三宮センター街連合会

会長 長沢 堅次(ナガサワ文具)

○一丁目

会長 山下 良造(山下履物店)

副会長 山内 鶴雄(視正堂眼鏡店)

〃 大西 章輔(大西呉服店)

総務部 山川源次郎(くしや)

〃 宮元 一雄(まるみや洋服店)

〃 松谷 彰久(ベニヤ)

〃 大村 啓蔵(三宮時計店)

〃 入江 清一(カスカード)

企画部 森田 博次(モリタ洋服店)

〃 久保 欣次(久保時計店)

〃 竹村 義知(ヤマト・ショップ)

〃 柴本秀太郎(ミカサ)

〃 長田 熙(大和屋シャツ)

〃 島本 良晴(フタバヤ)

文化部 井上 貞夫(井上金物店)

〃 黒田 丈三(メグリ)

〃 大橋 秀男(流泉書房)

〃 小松原政雄(神戸センター)

会計部 山田 六郎(ウインザー)

〃 中振 和夫(マルナカ)

監査 西岡精一郎(ミキヤ)

〃 原田 幹夫(香月)

○二丁目

会長 坂本 正三(喜久屋化粧品)

副会長 今江 英夫(おそめや)

〃 岸野 利男(シンワ洋装店)

〃 西尾 悟(リリアン)

会計部 三木正之助(丸太屋)

企画部 藤井 幸男(ドンク)

〃 石井 省三(あかし屋)

〃 坂田 光男(ミツチャン)

文化部 伊藤 稔(ニューホープ)

〃 隈部 宏(マミー)

〃 行政 信敏(ユキマサ)

総務部・婦人部 大内保市(マルダイ)

田路茂夫(田路時計店)

上田数平(上田洋服店)

会員約五十名。新役員は

上田房江(会長・上田洋服店)・玉垣茂子(副会長・玉垣時計店)・田中よ志(会計・マリヤ)・西尾正子(会計・三幸薬局)・川飛敏子(とんかつ武蔵)・田路せい子(田路時計店)・福本ヨネ(丸福履物)・石井敏子(エビス宝飾)・曹智恵子(三輪堂)夏のリクレーションは六月七日・八日山陰一泊。

▼5月6、8日 第11回神戸市商店街優勝野球大会に優勝

恒例の野球が須磨海浜球場でフタあけた。今年は、二丁目  
が第二試合、十一時三十分より、湊川商店街と対戦、選手はユ  
キマサ店主監督以下、シンワ、マミー、ぼんぐう、ニューホー  
プ、丸太屋、玉垣時計店、タマガキ、まる喜の各店従業員。

一回戦で元町と、二回戦で笠松商店街、三回戦で湊川商店街  
をそれぞれくだして八日最終日、須磨海浜球場でセンター街対  
東山商店街の優勝戦を三時から行い三対四で、第四回目の優勝  
以来八年ぶりに晴れの栄冠を獲得した。

▼6月1日 二丁目会事務所移転

ビル新築工事のため、左記の通り仮事務所へ移転。

一、移転先 神戸市生田区三宮町一丁目二八番地 ダイエー家  
具センター三階。移転期間は六月一日より十月末

▼6月11日 S・O・B会夏のリクレーション

デラックスバスで闘竜灘、東条湖へ出掛けた。シーズンの鮎  
のおどり喰いや激流で鮎を釣り、東条湖ではモーターボートで  
水シブキをあげたりの一日であった。参加約三十名。

▼7月19日 一丁目従業員リクレーション

バスで五十五名参加、淡路西浦方面江井町海岸で海水浴。

▼7月10日～8月15日 三宮お中元セール

センター街・そごう共催

お買上のお客様に洩れなくUSA三色ボールペン、又はUS  
Aつめ切りを7月10日↓31日までの期間に進呈。

▼9月17日 二丁目企画部勉強会

大丸、そごうの増改築、三宮地下街の誕生、スタイル、アン  
コールビルの誕生でセンター街も今こそ地力を発揮する時機が  
到来した感一入で、一層の勉強が必要であると三宮神社に約五  
十名が集まり、神戸銀行小西調査部長、関大教授山崎紀男氏を  
迎え約二時間、質疑応答を交えて勉強した。

▼10月1日～7日 さんちかタウン誕生 三宮カーニバル

センター街・そごう共催

さんちかタウン誕生を祝して「我楽多市」を開催、センター  
街始まって以来の大奉仕で売上げの一部を「三宮センター街善  
意の会」に寄贈。

▼11月3日 兵庫県と神戸市商連表彰

商業関係功労者として坂本正三氏が知事表彰、二十七日には  
優良従業員として三井英雄氏(ベル)林清恵氏(シンワ)が市  
商連、久保たえ子さん(高飛込)も市教委より優秀選手表彰。

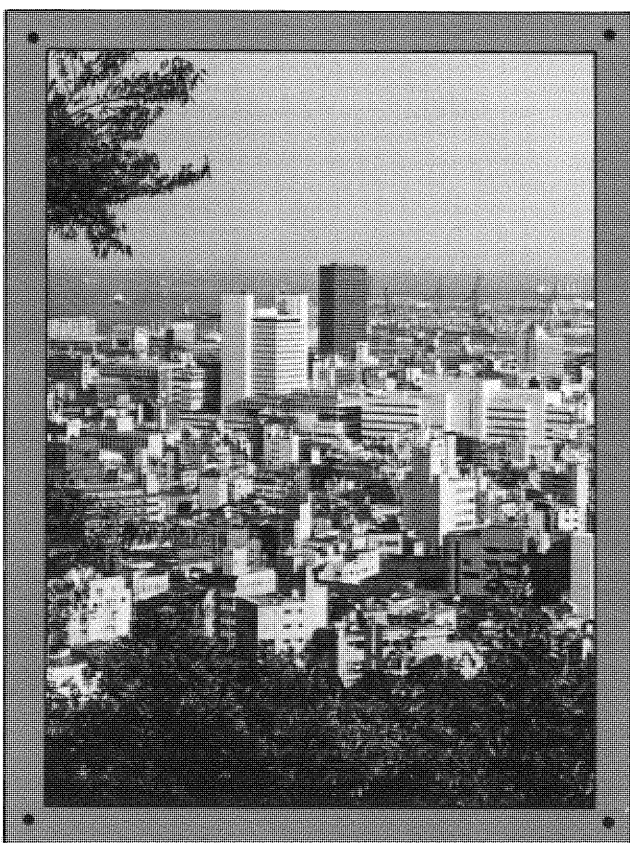
▼12月25日まで 三宮クリスマスセール

センター街・そごう共催

お買物のお客様に舶来洋酒ミニチュアと森永のハイクラウン  
チョコレート進呈(十二月十日～二十日迄の期間中)

昭和四十一年～昭和五十二年

# 三宮センター街近代化時代





祝・三宮センター街創立20周年



感謝状贈呈者

大石雄三氏

行政猛男氏

大井義雄氏

東中清一氏

上田数平氏

東條喜三郎氏

田路茂夫氏

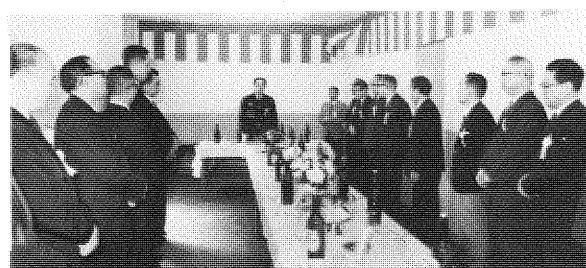
米崎岩雄氏

大内保市氏

後藤博雅氏



ミス神戸やフラワープリ  
ンセスもお祝いにかけつけ  
ひとときわ華やいだ。



▲三宮自治会館の竣工披露宴（正面は坂本正三氏）

## 昭和41年

▼1月17日、20日 新年総会

一丁目会は一月十七日、デラックスバスで北陸の名温泉「片山津」にて一泊総会開催。

二丁目会は一月二十日、往復ともデラックスバスで、名神高速道路を通り、豊川稲荷、浜名湖畔館山寺温泉一泊、総会、帰りは豊橋、名古屋を経て犬山の明治村に寄り帰神のコース。

▼3月10日 三宮自治会館完成

昨年来より工事中のところ十日完工、披露宴が行なわれた。

▼3月24、25日 一丁目婦人部親睦旅行

湯原温泉で総会を開催盛会であった。(会員五十名)

▼4月6日 センター街創立二十周年記念式典

午前十時半より創立二十周年記念式典が、住友銀行三宮支店の三階大ホールで盛大に行なわれた。

当日は長沢連合会長を式典委員長に、山下良造、坂本正三の一、二丁目会長を副委員長として一、二丁目企画部長以下町内役員がそれぞれ役目を分担。

### 主な行事

第一部 祝賀式典(開会十時三十分)

式典委員長の挨拶、来賓ご挨拶に続きセンター街内外の功労者の表彰式を行ない、万才三唱。

第二部 祝賀パレード(出発十二時)

神戸市消防音楽隊を先頭に、代表ミスコウベ・生田・兵庫・葺合のミスコウベと花のプリンス数名及び役員店主、従業員がセンター街をパレード、各店頭ではコメントで祝福、神戸市



▲三宮トリオ(センター街・さんちかタウン・そごう)結成の記念にパレードして歳末特別警戒を呼びかける。(12.1)



花いっぱい運動に協賛して風船、花の種子を配布。

第三部 祝賀パーティー(開会一時)住友銀行三階ホール

八木神戸大学長他来賓各位、功労者、受賞者を迎えてセンター街役員、店主等で祝宴。・司会 落語家 桂小春団治氏。

☆感謝状を贈られる人たち☆

※センター街関係(十一名)

東中 清一氏(ベル)

大石 雄三氏

東條喜三郎氏(マミー株式会社)

上田 数平氏(上田洋服店)

行政 猛男氏(ユキマサ)

米崎 岩雄氏(丸松呉服店)

田路 茂夫氏(田路時計店)

大内 保市氏(マルダイ釦店)

後藤 博雅氏(星電社)

大井 義雄氏(イセヤシャツ店)

故渡辺徳治郎氏(翠芳園)

※センター街以外の各社(二十六社)

川崎重工業株式会社様

日本毛織株式会社様

カネボウ製品販売株式会社様

神戸銀行三宮支店様

神戸新聞社事業部様

富士銀行三宮支店様

十合百貨店様

三井銀行三宮支店様

鐘淵紡績株式会社様

第一銀行三宮支店様

シチズン商事KK大阪支店様

大和銀行三宮支店様

帝人株式会社様

住友銀行三宮支店様

三宮センター街協同組合様

福徳相互銀行本店様

横山電機工業KK様

兵庫相互銀行本店様

富士展装KK様

七福相互銀行本店様

兵庫県商工信用組合様

イナハラ事務器様

神戸信用金庫本店様

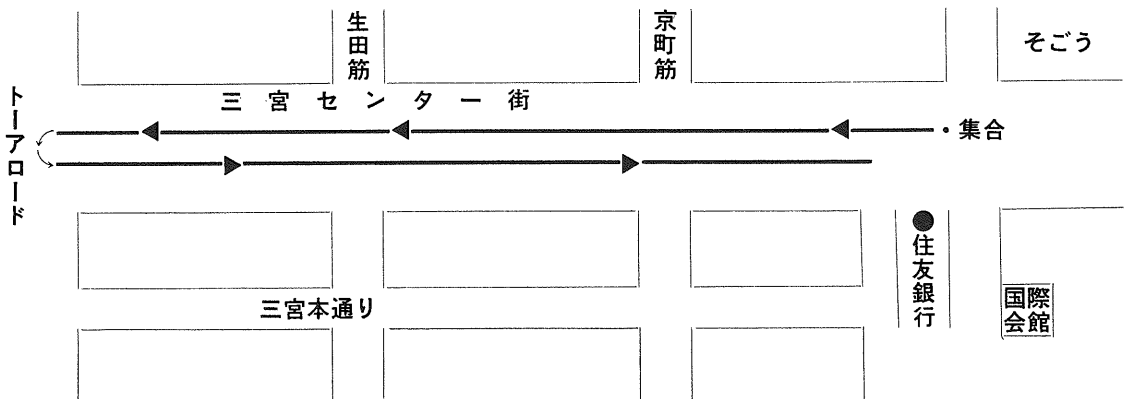
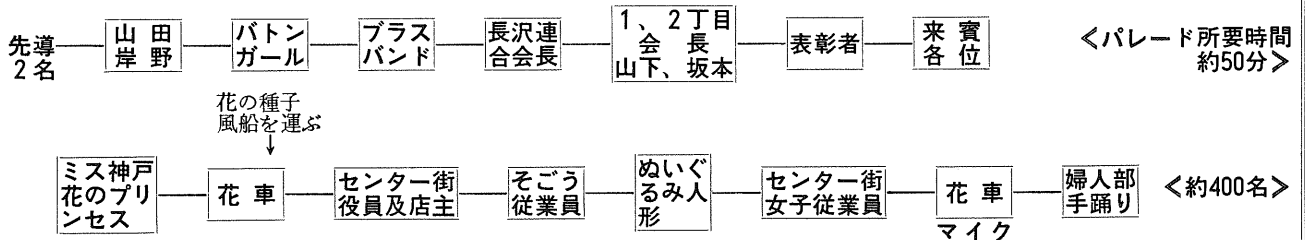
浜田広告社様

神和信用金庫本店様

月刊センター様



＜パレード順路＞ 出発・12時 ◇神戸市とタイアップして 花の種子・風船をサービス



▼4月30日 第三十一回長田神社商工祭

森田博子（神戸モリタ）、大西悦子（大西呉服店）、玉垣緑（玉垣時計店）の三名が他商店街の四十二名のお嬢さんと一緒に四月三十日、参拝した。

▼5月11日 二丁目女子従業員研修会

一時より大和銀行三宮支店主催、二階会議室で同行本店経営相談徳山コンサルタントにより「好ましい店員の言語動作」「お客との応待」「小売店の社会的役割・サービスの本質」などスライド映写により研修会。

▼5月16日 一、二丁目鳴門観潮

春の従業員リフレッシュコンバスターは一丁目二台、二丁目三台、二五〇人で淡路へ。福良の休暇村で昼食をとり、潮の時間を見計らって観潮を楽しんだ。

▼5月20、22日 センター街交通量調査実施

二十日（金）、二十二日（日）の両日センター街の東西の入口など四カ所で平日と休日の人の流れをキャッチした。神戸市で昨年十一月二十六日（金）、二十八日（日）の両日国鉄、阪神、阪急の各改札附近、さんちかの各タウン入口などで行なった交通量調査では昭和三十五年の一・五倍、各駅平日の乗降客は計二十二万、日曜二十五万、センター街は平日一・五倍増。人の流れでは休日にはセンター街↓地下街↓そごう又はセンター街↓交通センタービルとなっている。

センター街の人通りは平日約五万六千人、休日十万人、ピークは午後一時から六時まで。

▼5月30日

センター街再開発計画：市街地改造法についての説明懇談会  
一時より住友銀行三宮支店三階大ホールで開かれ、神戸市側より都市計画局長、同第二課長、市街地改造課長、同副主幹、同建築係長、計画係長、センター街は長沢連合会長及び一、二丁目会長、各店主約百人が集まり、市当局の説明を聞いた。三宮を中心とする不燃化、高層化を実現させるというもので、七カ年計画でスタートするもの。

▼6月25日 センター街における小売店経営実態調査

三宮経済圏の実態をとらえ、今後の一般小売店の如何を統計的に解明する目的で神戸新聞が（甲南大）増田教授、（神戸大）荒川教授（関西大）山崎教授らを委員にセンター街各店を訪問調査した。「経営組織、売場面積、従業員数、対象客層、売上高、販売対策、三宮地区発展に伴う対策」の他「営業時間、休業日数、店員教育、共同仕入、宣伝、共同店舗、特売日の新設、高級品販売かスーパーの商品か……」等について。

▼10月1日～5日 我楽久多市

全店が年に一度、お買得の商品を選んで特価台に並べ紅白の幕を引き、秋の商戦に贈る謝恩大バーゲンセール。

▼10月25日 センター街地区総合再開発基本計画発表

一丁目（山下会長）・二丁目（坂本会長）は都市設計連合の協賛で地元プランを発表。二十六日説明会を住友銀行三宮支店三階ホールで開催、神戸市都市計画局より市街地改造計画案の発表が二次にわたって（五月・七月）行なわれたが、いずれも

北側市街地改造区域のプランで、地元としては北側（山側）南側（浜側）の総合的プランを望んでいるもので、その結果、あらゆる方面の学識経験者その他の方々と相談、研究して三宮地域全体の再開発計画基本案の第一回発表となったもの。

▼11月10日 一、二丁目婦人部合同嵯峨野探秋

リクラインシートのデラックスバスで九時出発、一、二丁目合同旅行は初めてのことに。十一時大徳寺大仙院へ、七品付懷石料理で昼食の後嵯峨御所大覚寺へ、大沢の池や狩野山楽の重文級襖絵などを鑑賞、序で苔寺の名庭をめぐり帰神。参加者五十名

▼11月22日 センター街研青会（東中弘吉会長）結成 一丁目

「センター街及び各商店の発展と会員相互の親睦を図ること」を目的として発会、住友銀行三階ホールで役員会を開いた。三宮地区の都市改造とサンノミヤショッピング地区としてのセンター街の現状を重視し、若い力でより強く向上を目指す、センター街各店在籍の二十五才～四十五才までの有志の集い。定例会は毎月第二木曜日十時三十分より。事務所は一丁目事務所、各役員は次の通り、会長―東中弘吉（ベル）、副会長―柴本實（ミカサ）、会計―長沢基夫（ナガサワ）、文化厚生―小松原正義（神戸センター）、商店街近代化研究―西岡照男（ミキヤ）、商店経営―長田和夫（大和屋）

▼11月18日～12月25日 サンノミヤ クリスマスセール

センター街、さんちか、そごうのトリオでおくる…

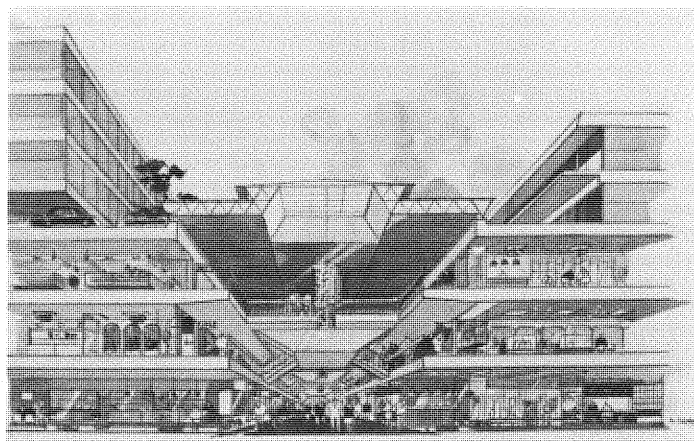
抽せん付期間 十二月一日～十二月二十五日（空くじなし）

「全国でも初めての企画」三宮センター街・さんちかタウン



▲センター街地区総合開発 基本計画発表会（5.30）

▼センター街地区総合再開発基本計画（プランナー・山下良造）



・そごうの三者合同セールで、PRも景品も三者統一して行う抽せん方法は現金お買上二千円一回（五百円で補助券一枚）センター街、さんちかのみ補助券二百円も発行、抽せん場所はそごう本館二階北側、センター街、さんちかは住友銀行地下。景品は特賞：三宮トリオ賞として三菱FMステレオ、大型冷蔵庫、ダイナミカ19TV、16型カラーテレビのいずれか一点一等：ホットプレート 二等：ボンネルマット 三等：サラダ油、キッチンセット、タンブラー、映画招待券（阪急会館・国際会館） 四等：ストッキング 等外：シャンプー、石鹸、アップリケのいずれか一点。

## ▼2月6日 スキー同好会ができる

早速定休を利用して鉢伏山へスキーバスを運行。

## ▼3月15日 三宮センター街コーナー開店

住友銀行地下（さんちか・センター街連絡口）にコーナーが開店。広さは約33㎡（約十坪） センター街連合会で、センター街のご案内、広告（希望店舗よりの美しい行灯式看板を掲示）お客様の応待（センター街にたいする意見、批判、苦情承り等）やコーラ・牛乳・コーヒなどを備えた自動販売機・公衆電話各々十台設置、従業員二名でお客様サービスに励む。

## ▼3月16、17日 研青会東京視察 一丁目

三宮地区都市改造事業法の認可と防災街区指定が三宮地区の大変革をもたらす時期が間近かにせまったことから、五十年先、いや二百年先きの三宮の発展は如何にあるべきか、神戸を外から見直そうという意欲から、神戸市街地改造課との密接な連絡のもと、レインストーミングで抽出された四十項目に亘る研究要点を頭に叩きこんで、会員十三名が朝七時大阪発ひかり号で上京。意欲的に見学、現地での質疑討論を重ねて帰神した。

## ▼2月1日 昭和42年度新役員

## 〇一丁目会

|     |                 |
|-----|-----------------|
| 会長  | 山田 六郎（ウインザー洋装店） |
| 副会長 | 大西 章輔（京呉服大西）    |
| 〃   | 山川源次郎（くしや）      |
| 〃   | 小山 博義（コヤマカメラ店）  |
| 総務部 | 原田 幹夫（香 月）      |
| 〃   | 井上 貞夫（井上金物店）    |
| 〃   | 宮元 一雄（まるみや洋服店）  |
| 〃   | 入江 清一（カスカード）    |
| 企画部 | 柴本 実（ミカサ洋傘店）    |
| 〃   | 長田 熙（大和屋シャツ）    |
| 〃   | 竹村 義知（ヤマトショップ）  |
| 〃   | 久保 欣治（久保時計店）    |
| 〃   | 大井 義雄（イセヤシャツ）   |

## 〇二丁目会

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 〃       | 岩崎 幸一（コール）      |
| 文化部     | 小松原政雄（神戸センター）   |
| 〃       | 大橋 秀男（流泉書房）     |
| 渉外部（新設） | 東中 清一（洋菓子ベル）    |
| 〃       | 長沢 堅次（長沢文具センター） |
| 〃       | 米崎 岩雄（丸松呉服店）    |
| 〃       | 後藤 博雅（星 電 社）    |
| 会計部     | 山内 鶴雄（視 正 堂）    |
| 〃       | 中振 和夫（マルナカ）     |
| 監察部     | 西岡精一郎（ミ キ ヤ）    |
| 〃       | 島本 良晴（フタバヤ）     |
| 〇二丁目会   |                 |
| 会長      | 毛利 保一（毛利マーク）    |
| 副会長     | 川飛 満祐（とんかつムサシ）  |
| 〃       | 進藤 勇（ぼんぐう）      |

## 〇三丁目会

|       |               |
|-------|---------------|
| 〃     | 田中 卓郎（マリヤ）    |
| 企画部   | 進藤 勇          |
| 〃     | 衣笠 悦三（コマツヤ）   |
| 〃     | 芹沢 利雄（セリザワ）   |
| 〃     | 太田 利秋（エビス宝飾店） |
| 文化厚生部 | 田中 卓郎         |
| 〃     | 玉垣 照雄（玉垣時計店）  |
| 〃     | 島谷常次郎（シマタニ）   |
| 〃     | 福本 辰（丸福履物舗）   |
| 会計    | 稲永富士夫（スコッチ洋服） |
| 〃     | 久利宇太郎（大 学 堂）  |
| 監察部   | 池田 享（アイリス）    |
| 〃     | 西尾 哲治（三幸薬局）   |

▼5月9日～16日

センター街ウインドー展★ウインドーらくがき展

☆神戸開港百年祭 ☆神戸カーニバル・協賛

神戸開港百年祭祝典に協賛して、センター街では、通りをギャラリーに見たてた街ぐるみの絵画展『三宮センター街ウインドー展』と『ウインドーらくがき展』を開催。

街そのものを画廊として大勢の作家が、ズラリと絵画を飾り、そぞろ歩きのお客様に観賞して貰おうという絵画展は、おそらく世界に類を見ないアイデアと自負している。

記

一、テーマ ①「三宮センター街ウインドー展」

希望する商店のウインドーに画家の肉筆画を展示する。

一、展示期間 九日～十六日参加店のウインドーに絵画を飾る

一、テーマ ②「ウインドーらくがき展」

希望する商店のウインドーにらくがきする。

一、らくがきの日時 十三日、十四日（二日間）

☆十三日夕方一斉に各店のウインドーに描く。

一、人気投票 投票用紙で一般の人気投票、抽選で賞品が当たる

☆特別賞 一名 ☆賞 約五十名

☆ウインドー展 出品者名

|       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 青木 一夫 | 赤羽 恒男 | 網谷 義郎 | 伊川 寛  |
| 石阪 春生 | 岩本 隆善 | 大西 敏巳 | 小笠原誠次 |
| 岡崎 陽子 | 貝原 六一 | 片山 直  | 角 卓   |

ウインドー展・ウインドーらくがき展の展示店

|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----|-------|-----------------------|--------|---------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|----------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|------|-------|--------|------|-------|--------|-------|--------|-------|---------|----|---------|--------|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|    |       | ウインドー展・ウインドーらくがき展の展示店 |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 山側 | 久保時計店 | 日欧                    | スタイルビル | アンコールビル | イセヤシャツ | 小山カメラ  | ウインザ  | クレイン靴店 | マルナカ  | 秋田ドライ  | ナガサワ<br>文具センター | ミヤムラ   | 本多屋   | カンダヤ   | コーラル  | ベール    | 阪本薬院  | 香月    | ミキヤ  | キャロル  | 大和屋シャツ | カッウラ | マルダイ  |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       | ウインドー展 |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       | ウインドー展 |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       | ウインドー展 |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       | 目                     |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 浜側 | 真美堂   | 村越房                   | つばめ    | まさ      | 錦商會    | スズヤ宝飾店 | 中川貸衣裳 | まるみや洋服 | 後藤書店  | 神戸センター | ヒカリ            | フタバヤ   | 内田陶器店 | トピック靴店 | 田和洋装店 | みちぐさ   | マッ    | 山下履物店 | 池田靴店 | 若松草   | 丸松呉服店  | ミカサ  | 大西呉服店 | フクトク洋品 | 渡辺洋服店 | 古川軒    | 東京    | ヤマトショップ |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         | ウインドー展 |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         | ウインドー展 |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         | ウインドー展 |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       | 目                     |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 山側 | 玉垣時計店 | 山口洋服店                 | 真美堂    | 村越房     | つばめ    | まさ     | 錦商會   | スズヤ宝飾店 | 中川貸衣裳 | まるみや洋服 | 後藤書店           | 神戸センター | ヒカリ   | フタバヤ   | 内田陶器店 | トピック靴店 | 田和洋装店 | みちぐさ  | マッ   | 山下履物店 | 池田靴店   | 若松草  | 丸松呉服店 | ミカサ    | 大西呉服店 | フクトク洋品 | 渡辺洋服店 | 古川軒     | 東京 | ヤマトショップ |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  | ウインドー展 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  | ウインドー展 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  | ウインドー展 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       | 目                     |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 山側 | 久保時計店 | 日欧                    | スタイルビル | アンコールビル | イセヤシャツ | 小山カメラ  | ウインザ  | クレイン靴店 | マルナカ  | 秋田ドライ  | ナガサワ<br>文具センター | ミヤムラ   | 本多屋   | カンダヤ   | コーラル  | ベール    | 阪本薬院  | 香月    | ミキヤ  | キャロル  | 大和屋シャツ | カッウラ | マルダイ  |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       | ウインドー展 |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       | ウインドー展 |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       |                       |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       | ウインドー展 |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |       | ウインドー展                |        |         |        |        |       |        |       |        |                |        |       |        |       |        |       |       |      |       |        |      |       |        |       |        |       |         |    |         |        |  |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

狩野 晃一 鴨居 玲 川西祐三郎 小松 益喜  
 小西 保文 田中 徳喜 津高 和一 中右 瑛  
 中村百合子 西村元三朗 久本 弘一 別車 博資  
 増田正三郎 松岡 寛一 松下 元夫 松本 宏  
 南 和好 元川嘉津美 山下 栄市 山田 祥三  
 山田 千秋 山本 大慈 綿貫 宏介 梅宮馨四郎  
 片岡眞太郎 川田 茂 丸本 耕 榊井 一夫

☆らくがき展参加者名

河村 立司 春山 正 高橋 孟 田中 晋一  
 永井 文明 福永 道子 関西漫画家クラブ

☆らくがき広場のらくがき歓迎

西入口、サントアビル工場の塀に「らくがき広場」を設け  
 一般通行者に自由にらくがきをしてもらう。

▼5月27日 一丁目、二丁目共に受賞

神戸開港百年祭協賛商店街コンクールが行われ、神戸新聞社  
 賞（楯・賞状）を受賞、市庁舎四階会議室で表彰式が行われた

▼6月1日～14日

第14回神戸市商店街優勝野球大会一丁目チーム優勝

須磨海浜球場で行われた野球大会に一・二丁目の二チームが  
 出場したが一丁目チームが堂々優勝した。（監督、細目源次郎）  
 戦歴をみると一回戦で湊川商店街Aを4：0、二回戦、長田商  
 店街3：1、三回戦4：3で三宮高架商店街、四回戦湊川商店  
 街B4：3、決勝戦で東山商店街を2：1で降し、優勝旗を手  
 中にした。尚二丁目監督は行政信敏。

|        |      |        |        |        |       |        |        |        |      |       |       |      |        |       |        |
|--------|------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|------|-------|-------|------|--------|-------|--------|
| 葵レコード店 | 三輪堂  | アオイストア | 大学堂    | エビス宝飾店 | ユキマサ  | 丸太屋呉服店 | しまたに洋品 | モード洋装店 | あかし屋 | マリヤ   | 三和商会  | リリアン | ちんがら屋  | マスヤ   | スコッチ洋服 |
| ○      | ○    | ○      | ○      | ○      | ○     | ○      | ○      | ○      | ○    | ○     | ○     | ○    | ○      | ○     | ○      |
| ○      | ○    | ○      | ○      | ○      | ○     | ○      | ○      | ○      | ○    | ○     | ○     | ○    | ○      | ○     | ○      |
| 2丁目    |      |        |        |        |       |        |        |        |      |       |       |      |        |       |        |
| 丸福履物店  | ぼんぐう | マミ     | まる喜履物店 | タマガキ洋品 | ちんがら屋 | セリザワ   | 喜久屋化粧品 | ふみや呉服店 | アイリス | 田路時計店 | 上田洋服店 | コマツヤ | ニューホープ | 美和光芸社 | ツカサ    |
| ○      | ○    | ○      | ○      | ○      | ○     | ○      | ○      | ○      | ○    | ○     | ○     | ○    | ○      | ○     | ○      |
| ○      | ○    | ○      | ○      | ○      | ○     | ○      | ○      | ○      | ○    | ○     | ○     | ○    | ○      | ○     | ○      |

▼6月29日～8月31日 三宮お中元セール

★三宮トリオ（センター街、さんちかタウン・そごう）共催

★ルームクラーの当たる、空くじなし

★抽せん券発行期間／七月十五日～三十日

◆お買上二、〇〇〇円毎に抽せん券一枚

◆賞品 特賞 三菱ルームクラー 一等 〃 扇風機

二等 〃 ハンドズボンプレッサー 三等 化粧石け

ん 等外 シャンプー、ティッシュペーパー

★等外十個で化粧石けん一個と交換できる。

▼7月14日 一・二丁目接続アーケード完成

生田筋商店街の交差点、一丁目と二丁目のアーケードが予算約三十万円で完成。市土木局、消防関係、二丁目企画部（部長進藤勇）関係者が二月から交渉をすすめていたもの。

▼8月10日 センター街近代化研究会発足

住友銀行三階会議室で一・二丁目山側店舗で構成される「センター街」の繁栄につながる自主的近代化を研究する事を目的として会員組織で発足した。事務所はセンター街一丁目事務所会長に長沢堅次連合会長、副会長にA地区（二丁目）大内（マルダイ）、B地区（一丁目）原田（香月）、C地区（一丁目）井野（関西電気）の三氏が就任。

▼8月16日 三宮防災街区打合せ会

市役所六階会議室で開催、三宮地区の近代化再開発案を地元と密接に連絡して行うというものでセンター街防災街区関係者と市関係課とマスタープランの検討などを行った。防災街区団体は一・二丁目浜側店舗の各区で構成され、

◇三宮第一防災建築街区造成組合（理事長、小松原政雄）

◇三宮第二防災建築街区造成組合（理事長、山下良造）

◇三宮第三防災建築街区造成組合（理事長、坂本正三）

▼9月21日 センター街改造事業、市街地改造事業計画・区画事業計画案の撤回要求を決議 各方面に請願書を提出

センター街連合会は、午前十一時より住友銀行三宮支店で一・二丁目緊急総会を開いて神戸市の進めている改造事業は街を南北に分断する。過当競争を助長する近代化計画であり、不安、

疑惑、混乱が生ずる等の理由から市当局に徹底的に善処を要求、町を挙げて、自力で自分たちの街を創りセンター街の歴史を守る団結をしようと決議をとり、直ちに商工会議所、県商連、市商連、市会各派議員、神戸市選出国會議員の協力を求めて請願書を提出する。

▼11月29日 サントアビル完成オープン

地下和風喫茶と軽食コーナー・一階ベビー用品のファミリー・モトヤ靴店・二・四階東京銀座マミーナ婦人洋品店・五階文化教室。

▼12月2日 とんかつ武蔵ビル完成

一階から五階までとんかつお食事の味覚ビルとなる。

▼12月1日～12月25日 サンノミヤクリスマスセール

センター街・さんちかタウン・そごう共催

お買上げ現金二、〇〇〇円ごとに抽せん券一枚進呈、五〇〇円ごとに補助券一枚進呈・四枚で一回抽せん

☆センター街・さんちかタウンは二〇〇円ごとに補助券一枚進呈・十枚で一回抽せん

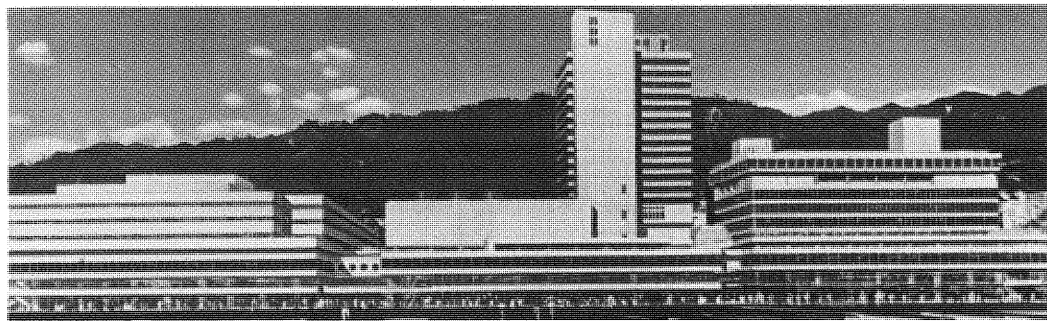
特賞・グアム島招待旅行（四泊五日） 一等・英国製バーラー

石油ストープ 二等・カネボウ純毛毛布 三等・ブルックボン

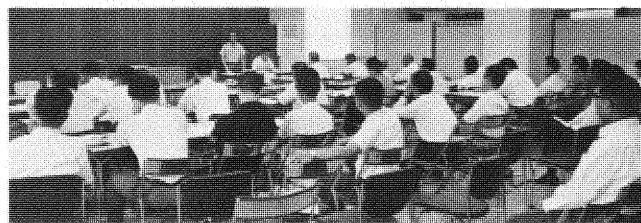
ド紅茶セット 四等・資生堂ティッシュペーパー又は森永ミックスキャンデー 等外・資生堂粉末シャンプー又は森永ベルベツトキャラメル

☆抽せん会場 一丁目（大洋劇場前） 二丁目（西入口） さんちかタウン（特設会場） そごうは二階・六階両会場

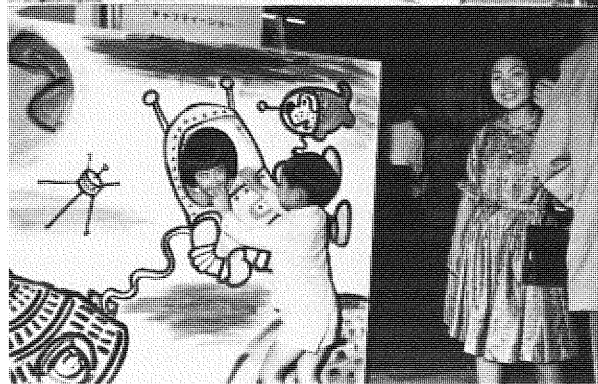
三宮市街地改造ビルA、B、  
C棟完成予想図。下は昭和42  
年のセンター街。



◀神戸開港百年記念第1回神戸カーニバルでセンター街は大ハッスル！らくがきは人気のまと。



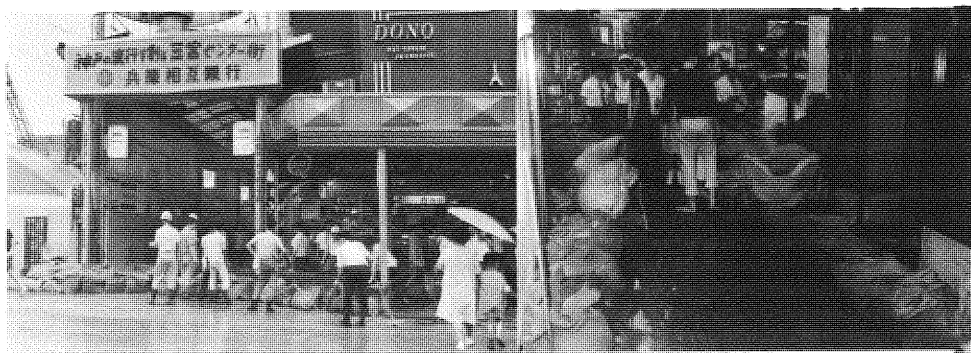
▲センター街近代化研究会（住友銀行で）



▲モトヤビルのネーミング審査会で「サントアビル」に決まる。正面は富田碎花氏、陳舜臣氏、宮崎修二郎氏。

▼濁流センター街を襲撃。7月10日の大雨でセンター街が川になった。大急ぎで土のうを積上げ防水作業に懸命の会員たち。

▼研青会（1丁目）の勉強会



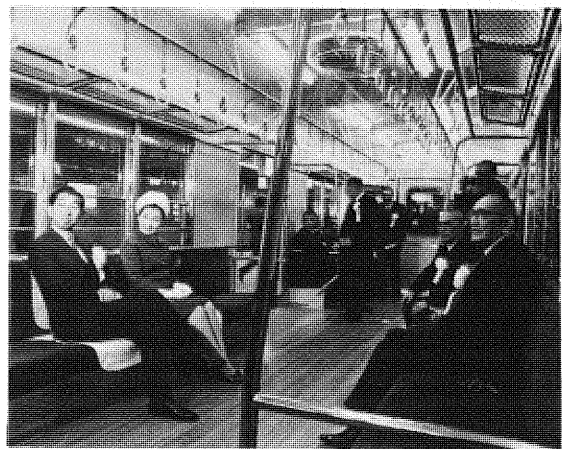


▶三宮大空襲から25年、当時三宮に住んでいた人々が三宮神社に集った。  
◀しゃれたカーニバルタワーが好評だった。

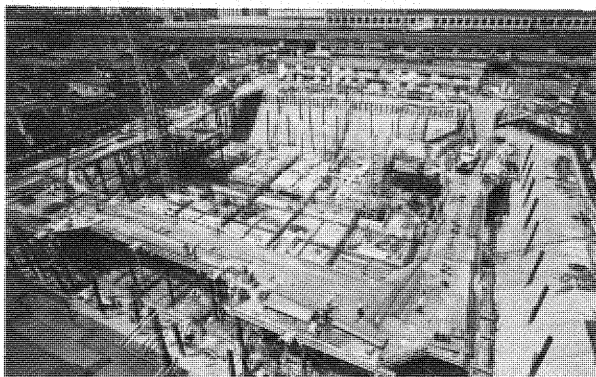


◀研青会、人工地盤見学。

▶神戸高速鉄道開通。試乗の高松宮様ご夫妻と原口市長。



▶Cビル工事現場(44・4・13撮影)  
▼第一防災第一期工事地鎮祭(43・9・17)



▲第一防災第四期工事地鎮祭(44・4・25)  
◀上田、田路、アイリスビル地鎮祭(43・8・10)

▼1月15日 成人祝賀会 一丁目

十時から、ベル喫茶店に於て、従業員百八名に記念のネーム入り万年筆を贈って新成人を祝福した。

当日の講師は竹田洋太郎氏（神戸新聞 論説委員）で、二十世紀で尚活躍可能なみなさんへ、未来学を平明に講義、ベル勤務滝山修一君とウインザー勤務米田幸江さんが謝辞をのべた。

▼1月22日 百貨店進出阻止などで小売商店初のデモ

正午より海員会館で『小売商店が団結して諸要求をかちとろ

う！今こそ小売商が団結する時だ！』と、ハチ巻、タスキ姿でセンター街からも商店主達が参加、総決起大会が開かれた。  
神戸市商店街連合会（鳥越静助会長）、県商店連合会（中林寅一会長）、中政連神戸支部（安藤年雄支部長）神戸クーポン連盟（松岡広次社長）など六団体主催で約千百人が会場を埋め  
①中小企業事業税撤廃②売上税制定絶対反対③都市行政の三宮集中反対④デパートの三宮進出阻止の四項目を満場一致で可決、大会決議の後、三越前↓元町通り↓大丸前↓市役所の順路でデモ行進、市役所前で万才三唱、解散した。

▼2月1日 昭和43年度役員

○三宮センター街連合会

会長 長沢 堅次（ナガサワ文具）

○一丁目会

相談役 山田 六郎（ウインザー）

会長 小松原政雄（神戸センター）

副会長 大西 章輔（京呉服大西）

原田 幹夫（香 月）

総務部 山川源次郎（くしや化粧品店）

井上 貞夫（井上金物店）

宮元 一雄（まるみや洋服店）

大橋 秀男（流泉書房）

入江 清一（カスカード）

小山 博義（コヤマカメラ）

企画部 柴本秀太郎（ミカサ）

久保 欣治（久保時計店）

長田 熙（大和屋シャツ）

小松原正義（神戸センター）

大井 義雄（イセヤシャツ）

文化部 竹村 義知（ヤマトシヨップ）

岩崎 幸一（コー ル）

渉外部 東中 清一（ベ ル）

長沢 堅次（ナガサワ文具）

米崎 岩雄（丸松呉服店）

後藤 博雅（星電 社）

山下 良造（山下履物店）

会計部 山内 鶴雄（視正堂）

島本 良晴（フタバヤ）

監察部 西岡精一郎（ミキヤ）

大西 章輔

○二丁目会（留任）

会長 毛利 保一（毛利マーク）

副会長 川飛 満祐（とんかつムサシ）

進藤 勇（ぼんぐう）

田中 卓郎（マリヤ）

企画部 進藤 勇

衣笠 悦三（コマツヤ）

芹沢 利雄（セリザワ）

太田 利秋（エビス宝飾店）

文化 田中 卓郎

玉垣 照雄（玉垣時計店）

島谷常次郎（シマタニ）

福本 辰（丸福履物舗）

会計 稲永富士夫（スコッチ洋服店）

久利宇太郎（大学堂）

監査 池田 享（アイリス）

西尾 哲治（三幸薬局）

▼1月23、24日 二丁目新年総会

神話と温泉の鳥取県、有名な砂丘と世界一のラジウム含有量を誇る三朝温泉の旅。二十三日、特急「まつかぜ」に乗車、齊木別館に到着。入浴後、総会も各議事満場一致で終了。

▼2月8日 三宮地区暴力追放総けっ起大会

一連の暴力取締で話題になった兵庫県警の音頭で、神戸中央地区（三宮地区）暴力犯罪特別取締本部が二月一日、生田署内に開設、生田、葺合管内にまたがる犯罪を一掃しようと活発な動きがあり、これに呼応して地元住民も二月八日、住友銀行三宮支店三階大ホールで三宮暴力追放連絡会議主催生田区役所、生田防犯協会後援で「三宮地区暴力追放総けっ起大会」が開かれた。三宮センター街、さんちかタウンなどの経営者約百八十人、取締本部の説明のあと、自主防犯パトロール、防犯懇談会、マイクの呼掛など犯罪のない明るい三宮にしようと決議した。

▼2月10日～14日 三宮トリオ招待ゲーム島旅行

センター街、さんちかタウン、そごうが共催した「クリスマスセール」の抽せん招待旅行。

▼2月12、13日 一丁目新年総会

南紀・白浜一泊の旅で、デラックスバス二台、七十名参加して九時三宮を出発。紀三井寺で昼食の後、車窓にみかん畑を見ながら四時半旅館ニュー白浜に到着。六時から大広間で総会。

▼2月21、22日 人工地盤造成工事見学 研青会

一丁目若手二世で結成している研青会はより良い街づくりにかねてから商店街近代化研究部を設定、東京その他の近代化過

程、経済性等の研究を進めているが、最近話題の四国坂出市の人工地盤造成工事（一部完成）を見学、大なる成果があった。当地住民などと接し近くカラーライドによる報告会も開く予定。

▼3月29日～4月10日

サンノミヤラッキーセール 三宮トリオ

四月七日神戸高速鉄道が開通するのを祝ってセールを開催、現金買上げ一万円毎に抽選券一枚進呈。

・金賞 一万円のトラベルギフト 二百名

・銀賞 神戸高速鉄道沿線遊園地入場券一枚（宝塚ファミリーランド、阪神パーク、有馬ヘルスセンター、須磨浦ロープウェイ、姫路城のうちお好みの所へ、五月中有効）

▼4月12日 『サンノミヤラッキーセール』抽せん

神戸高速鉄道開通を祝してセンター街・さんちか・そごうで行なわれた抽せん売出しの抽選会が四月そごう店長室で係官立会の下で行なわれ、金賞（一万円のトラベルギフト：二百名）銀賞（近郊遊園地入場券：四万名）がきまった。

▼5月1日 一丁目婦人部役員改選

部長に佐伯シゲさん（フクトク洋品）、副部長に奥村ひささん（錦商会）以下十二名。

▼5月4、5日 神戸カーニバルのための行事

☆4月26日～5月5日 センター街カーニバルタワー

アーケード柱、電柱等にタワー状の工作物を取りつけ上部にはマンガ、絵などをいれ下部はカーニバル行事、五月五日当日は一般のお客様に「らくがき」を自由にして頂く。

☆5月3日 (金) 午後四時～七時 ウィンドーラくがき展

関西マンガクラブと行動美術神戸会の三十余名が各店ウィンドーにポスターカラーで落書、代表ミスコウベ乾さんも参加。

☆5月4日 (土) 前夜祭／午後五時～八時

たそがれ流し大会

センター街一帯

流行歌、なつメロなどを演奏する移動音楽行進／

☆5月5日 (日) 午後一時～六時 南の国・夢のパレード

音楽花自動車パレード

センター街・中央会場一帯

トラック・オープンカー計十台に装飾し、プロの楽団とアマのグループサウンズ、道化役、女子従業員など総勢百名の出演大パレードで、五日のパレードには、近藤利三郎、高橋孟、春山正、中森コーコ、麦野耕平、田坂修一のみなさんが参加。

尚当日のカーニバル・パレードは二十八人の審査員が三カ所に分かれて審査したが、センター街の「南の国・夢のパレード」は最優秀賞を獲得した。

▼5月20日 二丁目従業員春のリクリーションと

写真コンクール

バス三台で赤穂御崎に楽しい従業員慰労を行ったが、今回新しい試みとして思い出の写真を募集、六月末審査の結果左記の通り優秀賞、アイデア賞、ユーモア賞などの賞が決まった。

★最優秀賞「パチリ」山田智 (毛利マーク)

★優秀賞「偉大な赤穂」(カラー) 松井寛一 (美和光芸社)

「ぼくの記念写真」滝山徳一 (まる喜)

「義士さん安らかに眠り給え」吉野修二 (ナポレオン)

★アイデア賞は中塚一行

★努力賞は山田智、作品最多点数応募の努力で。

★ユーモア賞は切抜き板から顔をだした下の写真。吉野修二

★入選 (五名) は、中塚一行、松井寛一、吉野修二、滝山徳一、毛利雅博。

▼5月21日 北海道から視察団

若い人の街、流行を創る街、ミナトコウベを代表する商店街として全国に名声をはせているセンター街を参考に…と北見商店街の若い店主連が来訪、街をみた後、二丁目事務所で店主を交え情報交換、研究討論を約一時間行った。

▼5月28日 上田、田路、アイリスビル着工 (第三防災の内)

二丁目第三防災の上田洋服店、田路時計店、アイリス洋装店の三店は本設計も完了、五月二十八日竹中工務店により着工。共同社屋ビル案で地上五階、地下一階、延面積一、三〇〇㎡。

▼6月4日 一丁目野球チーム優勝

第十五回記念大会を迎えた市商連野球大会が十五日須磨海浜球場で行われたがセンター街からは一丁目、二丁目チームが出場 (過去・二回の優勝経験をもつ)、市内各商店街二十六チームと戦い一丁目チームが優勝。

▼5月20日 神戸カーニバル写真コンテスト締切

☆五月三・四・五日の神戸カーニバル、センター街の各種催し



をフジカラー・富士フィルムで撮影したもの

☆賞：推選・特選・準特選・入選……三宮センター街連合会賞  
や神戸カーニバル協会賞、毎日新聞神戸支局長賞、富士フィルム賞、フジカラー賞、キャノン、東京光学、兵庫県写真材料商組合賞……等々豪華賞品

☆受付：毎日新聞神戸支局「三宮センター街写真コンテスト係」

兵庫県写真材料商加盟店、コヤマカメラ、美和光芸社

▼6月9日 第二回神戸カーニバル写真コンテスト表彰式

写真応募約五百点。五月二十五日午前十時より主催のセンター街から企画部役員、行動美術員原六一氏、毎日新聞神戸支局写真部武居幹生氏、月刊センターが審査の結果入賞がきまった

▼6月19日 「ヤングセンター」正式発足 二丁目

パウリスタで有志相寄り正式発足した。従来もヤングセンターと称してセンター街二丁目若い店主の親睦団体で商店経営などの研究、実行を行ってきたが正式に会則を定め発展的結成を行ったもの。「年令二十歳以上四十五歳までのセンター街二丁目」で事業を営む者又はその後継者」を会員として会長石井省三副会長に坂田光男、藤田明、伊藤稔の各氏、事務局はセンター街二丁目事務所。

▼6月28日～8月15日 サンノミヤお中元セール

三宮トリオ抽選つきセールは7月14日～8月4日

三菱電化製品（三点セット）をはじめ豪華賞品が当たる

お買上げ二千円毎に抽せん券一枚（五百円、二百円毎に補助券一枚）空くじなし☆三宮トリオ賞（十万円相当三菱の冷蔵庫

洗濯機、掃除機三点セット）☆一等三菱テープコーダー

☆二等香港製お子様カメラ☆三等オーデコロン（マックス）

☆四等ティッシュペーパー☆等外：シュガー、紅茶、シャンプーの内一点（等外品十点で四等一点と交換可）

▼7月1日 Cブロック起工式（センター街一丁目二区山側）

該当十七商店は現店舗の前に仮店舗営業、阪神相互銀行前、市建設の仮設店舗に『イセヤシャツ』『マルナカ』の二店が。

▼7月11日 一丁目浜側第一防災も第一期工事着工近し

星電社と神戸センター共同ビルが七月着工、年内に一階より順次に開店の予定。地下一階地上七階、延面積二、五四〇㎡。

▼7月19日 C地区仮設店舗披露行事

三宮市街地改造の最初の工事地区センター街C地区（山側）一帯がいよいよ新しい街づくりの第一歩として六月三十日より各店舗の営業打ち切り移転、建物除却、工事塀設置、仮設店舗設置とほぼ予定通りに進行、十時より従来店舗の前、（昭和四十四年十一月竣工予定迄の工事期間中営業する仮設店舗現場）で関係者相寄り、神事修祓、改造工事担当市再開発伊東課長、C地区山田会長両氏によりテープカット、地元関係者を招き披露を行った。

▼8月5日 一丁目リクレーション

日本海の水晶ヶ浜にバス二台で七時三十分出発、終日、水泳に西瓜割り海中宝探しなど童心にかえり従業員は八時帰神。

▼8月22日 三宮防災建築街区基本計画報告書／6803完成

神戸市住宅局建築部指導課（畑田堅一課長）と大阪市立大学

工学部都市計画研究室（水谷頼介氏ほか）の労作（計画期間四十二年八月～四十三年三月、二十四項目、図表約二十二枚八十頁）の三宮防災建築街区基本計画報告書が出来上り、兵庫相互銀行六階ホールで地元関係者を招いて発表会を開いた。

▼9月27、28日 三宮第三防災役員が静岡・横浜研修視察会

神戸市経済局商工課後援で将来の防災ビル建設研修の一環として、片山理事他八名が静岡市を視察。ゴールデン街、呉服町通り、同地下道、新静岡センター、静鉄バスターミナル接続地寄合百貨店方式などの見学、二日目は横浜でダイヤモンド地下街、横浜元町商店街見学、横浜地下街商店会役員、横浜市経済局商工課の説明会等有意義な研究をもち現地解散した。

▼11月1日 いわき市より視察団

福島県いわき商工会議所磐城支所管内の小野浜ショッピングセンター（協同組合）一行十五名が、『発展する三宮ショッピングセンターの情況、大阪の市場調査』を目的に来神、センター街の発展盛況ぶりを視察、役員と意見交換。

▼11月3日 四十三年度の商業関係褒彰式

県信用金庫会館ホールで金井知事、中林県議長（県商連会長）出席で午前十一時より行われ、センター街では西義弘氏が商店街功労者代表として知事より直接表彰状を受けられた。

▼11月19日 優良従業員表彰式

相楽園会館で有岡助役（市長代理）など来賓多数を迎えて行われ、センター街では勤続十年のちんがら屋の大塚喜与子さん同じく十八年のドキ手芸品KKの小寺澄子さん、㈱マスマヤ商店の

稲垣忠之氏が受賞された。

▼11月20日 中小企業庁長官賞

ちんがら屋社長三角常夫氏は虎の門の共済会館ホールで椎名通産大臣、乙竹中小企業庁長官臨席で表彰状を受けられた。

▼11月25日 第一防災建築街区造成組合第二期工事始まる

第一期、神戸センター、星電社は只今工事進行中だが、十二月上旬よりいよいよ第二期工事が始まる。（万平・森下万年筆）十二月中旬、Xマスセール繁忙のため仮設店舗を設ける。

▼11月30日～12月25日 三宮クリスマスセール 三宮トリオ

☆景品・空くじなし

・特賞（カップル賞）十万円のオメガ腕時計アベックセット

紳士用 自動巻・カレンダー防水

婦人用 中三針・サファイヤクリスタル

・ご家族賞 三菱電子安全毛布（カバーつき）

・お茶の間賞 ブルックボンド紅茶セット

・お子さま賞 能力開発おもちゃ組立ブロック

・パパ賞・ママ賞・残念賞

▼12月23日 第一防災建築街区第二期工事の仮設店舗完成

十二月より工事開始の同地区が（神戸センター以西万平まで）仮設店舗をオープンした。ドキ手芸品店より内田陶器店角までは、一月上旬より工事開始の予定。

▼1月15日 従業員成人式 一丁目

織田正吉氏を講師に迎えて、ベルで。一丁目文化部主催。

▼1月21日～23日 二丁目総会

粟津温泉、山中温泉などバスでめぐり、金沢、兼六公園などを経て帰神（参加者三十九名）

▼1月23、24日 全国防災街区造成組合連合会役員上京

事業助成金予算成立の御礼と今後の予算獲得の打合せ等に同

連合会兵庫県支部長山下良造、役員小松原政雄、同大上福太郎

（元町地区）の三氏と事務局長が上京、会合には建設大臣も出席、今後の防災事業計画に対して意見が交換され大いに成果を

あげて帰神した。

▼3月11日 防災街区ビル第一陣オープン

上田、田路、アイリス三者が進めている三宮再開発ビルが完成、田路時計店、アイリスは十一日開店、上田は五月七日開店

▼昭和44年度新役員（任期二年）

○三宮センター街連合会

会長 長沢 堅次（ナガサワ文具）

○二丁目会

相談役 山田 六郎（ウインザー洋装店）

会長 小松原政雄（神戸センター）

副会長 大西 章輔（京呉服大西）

〃 原田 幹夫（香 月）

〃 小山 博義（コヤマカメラ）

総務部 山川源次郎（くしや化粧品店）

〃 井上 貞夫（井上金物店）

〃 西岡精一郎（ミキヤ）

〃 大橋 秀男（流泉書房）

〃 大井 義雄（イセヤシャツ）

〃 入江 清一（カスカード）

〃 森田 博次（モリタ）

〃 土井 良三（ドキ手芸品店）

企画部 柴本 実（ミカサ）

〃 長田 熙（大和屋シャツ）

〃 小松原正義（神戸センター）

〃 久保 欣治（久保時計店）

文化部 竹村 義知（ヤマトショップ）

〃 岩崎 幸一（コール）

渉外部 長沢 堅次（ナガサワ文具）

〃 東中 清一（ベル）

〃 米崎 岩雄（丸松呉服店）

〃 後藤 博雅（星電社）

〃 山下 良造（山下履物店）

会計部 大西 章輔（京呉服大西）

〃 湯前 正雄（翠芳園）

監査部 山内 鶴雄（視正堂）

〃 宮元 一雄（まるみや洋服店）

○二丁目会

相談役 大内 保市（マルダイ鋳店）

〃 行政 猛男（ユキマサ）

〃 東條喜三郎（マミー物）

〃 田路 茂夫（田路時計店）

〃 上田 数平（上田洋服店）

顧問 坂本 正三（喜久屋化粧品店）

会長 岸野 利男（シンワ洋装店）

副会長 今江 英夫（おそめや）

〃 三木正之助（丸太屋呉服店）

〃 西尾 悟（リアン）

会計 片山 清敏（美和光芸社）

企画部 石井 省三（あかし屋）

〃 藤田 明（モード洋装店）

〃 坂田 光男（ミツチャン）

〃 酒井 隆八（ヒカリ）

文化厚生部 伊藤 稔（ニュー・ホープ）

〃 行政 信敏（ユキマサ）

〃 玉垣 昭三（e & b）

〃 勝浦 章（カツウラ）

店名も「計画服飾センター上田」に改め店舗面積も三倍となる

▼4月5日～13日 柳筋商店街がセンター街連合会へ加盟

柳筋のアーケードが完成し、同時に三宮センター街三丁目として連合会に加盟、センター街と同じ商業活動を行うことになった。

・五日十時半～十一時 アーケード完成祝賀式典（カスカード前）・十一時五十分 祝賀パレード（カスカード前→大丸前→トアロード→センター街二丁目→一丁目→さんちか→そごう前→富士銀行市電通り→生田筋→柳筋）花と緑の推進運動のために花のプリンスが種子を配り女子従業員が風船を配る。

☆五日十二時～一時 緑化協会協賛、落語家露の五郎司会のチャリティセール 二丁目上田洋服店前で六日十一時半～十二時半 昨日と同じ。・柳筋では十一時～十二時 ダークダックスを招きサイン色紙の即売、チャリティセールを行った。

▼4月25日 第一防災第四期工事地鎮祭

十一時半より関係者相寄り行われた。これで第一防災建築街区造成組合工事は殆んど年内に完了する。

▼5月1日～3日 第三回神戸カーニバル

テーマは「レッツゴー・センター街」

・一日夕六時 ウィンドーらしくがき展

・三日パレード「レッツゴー・センター街」

先導車一、二、三丁目連合のデコレーショントラックに続いて学生バンド演奏と振付け、道化座の楽しい扮装のぬいぐるみのパレードを展開する。

▼5月24日 一防二期工事完成

四十三年八月下旬着工以来九カ月を要して二防神戸センター、星電社ビルが完成オープンした。



▼7月9日 「さんプラザ」愛称決まる（改造ビルC棟）

来春地上三階までの約三百店の一部オープン予定のCブロックが愛称を募集していたが六月三十日締切、九日市役所三階で審査会が開かれ『さんプラザ・S A N P L A Z A』と決定。さんは三宮の三、太陽のS U Nに通じ、プラザはスペイン語で、欧米ではショッピングセンターと同意語のように使用されており、近代的でムードがあると満場一致で決まった。

佳作には「一番街」「三宮マイタウン」「サンCセンター」「メインこうべ」「サンセンター」など応募多数で選ばれ、その中からミス神戸山田さんの抽選で横川守氏ら五名が入選。

・応募総数二、一八九点、審査員二十名（新谷秀雄委員長）  
・当選者／福井久吉氏（東灘区）と夏田住子さん（生田区）の二名が概当者で、賞金十万円は五万円ずつ折半して贈られた。表彰式は七月十五日。

★三宮市街地改造ビル愛称審査員（敬称略）

市民代表 土井芳子 陳舜臣 山田泰子 佐谷弘 新谷秀雄

Mrs. Sherman（米国総領事夫人）

・地元代表 横井信市、井野富次郎、玉田胖、山田六郎、東中

清一、西岡照男、平井誠、大内保市、中本増吉、藤田明

・神戸市より宮崎助役 藤原局長 笹山次長 伊東課長

▼7月13日～8月3日 サンノミヤお中元セール

空くじなし抽せん付セール

三宮トリオ

トリオ賞（アメリカ）フィルコ・フォード・ルームクローラー

パキスタン賞 中華民国賞 イギリス賞 万国博賞

西ドイツ賞 471オーデコロン 日本賞 森永ピース

★お買上げ現金二千円ごとに抽せん券一枚、五百円・二百円ごとに補助券一枚進呈（二百円券はセンター街・さんちかのみ）

▼10月1日～5日 ニ丁目ハプニングセール

ハイセンスな装飾と各店ムード豊かな花車に大出血の奉仕品を山積して突然のセールを行った。

▼11月1日 さんセンター営業開始

三宮第一防災ビル（小松原政雄理事長）の第二・三期工事が完成、「さんセンター」ショッピングビル（この愛称は三宮町一丁目春名元男さんの命名）が営業を開始。シンボルマークはクロードデザイン事務所（合田鎮社長）の作。地下一階地上七階、ニチイ、ダイエースーパーと、一、二階の従来のセンター街専門店との積極商法、三宮再開発にそったモデル建築だけに市はもとより地元商工関係者も今後の発展を見守っている。尚十四

日十時より地元、工事関係者によって完成祝賀会が催された。

▼11月20日～12月25日 三宮クリスマスセール

・万国博協賛シリーズ第二弾 三宮トリオ

☆抽せん：十二月二十六日まで

現金お買上二千円毎に抽せん券一枚・抽せん場は三宮センター街：（一丁目大洋劇場前・三丁目カスカード前）

☆景品は特賞：日本賞（三菱電子レンジ「ダイヤクックRR—

603”）アメリカ賞（コダックインスタマチックカメラ124型カラ

ーセット）イギリス賞（バーラー石油ストーブL207）万博入場

券、映画招待券（阪急会館・国際会館）トリオ賞、残念賞。

▼11月29日 三丁目で大規模な消防訓練

秋の全国火災予防運動の一環として、十時から大規模な消防訓練が行われ、生田署からシュノーケル車を含む出動車六台、消防署員三十七名、三丁目自治消防隊（隊長北森愛紹団員六十五名）が協力して、新式アーケードの開閉や放水、排煙効果などをテストしたが成績は至って良好「凡て優良」とモデルケースとしての面目をほどこした。

▼12月1日～20日 さんプラザ分譲公募〆切

四十三年七月より市街地改造事業がすすめられているC地区「さんプラザ」地下二階・地上十階・床面積約五万五千㎡、従来営業店の入居した余剰部分約三千㎡（地上一～三階・地下一階の一部）を一般公募価格（三・三㎡）七十万～百三十五万。

▼1月7日 センター街地価百五十万円

大阪国税局発表による「最高路線価」は全国で一番高いのが東京銀座「三愛」前の四百二十万（昨年四百十万）、大阪北の阪神百貨店東側は三百三十五万（昨年三百二十万）、神戸は村越印房前で百五十万、（昨年百三十七万）、そごう百貨店前百四十万（百二十六万）。

▼1月8日 三宮第二第四防災街区造成組合連合会結成

住友銀行で前田新蔵氏議長で連合会創立総会を開催「規約、役員選出」など可決。今後は建築コンサルタントの委嘱、テナント誘致の実をあげる。組合員は一月末現在で第二防災三十名第四防災八名、土地面積は約三千三百平方メートル。

▼1月9日～15日 「アッ!とおどろく大バーゲンセール」

例年より一足早く、年の始めの大サービス「ッゲバゲバ…」を実行、全店が飛び切り安いお買得品を提供。

▼1月15日 一丁目成人式

ベルで十時より神戸大学高橋省己教授の講話を聞き成人式を行なった。成人従業員には恒例のネーム入り万年筆が贈られ、Fモードの長田仁志さんが答辞をのべ、茶話会となった。

▼1月31日まで C地区センター街仮設店舗さよならセール

昨年七月より営業していた仮設店舗が二月撤去ときまり「仮設店舗さよならバーゲンセール」で在庫を一掃して二月初旬新ビルさんプラザ入居体勢に入る。

▼1月20日～22日 二丁目新年度総会

玉造温泉、皆生温泉に二泊、山陰の情緒豊かな十六年ぶりの

雪景色を堪能、日御碕灯台を見学帰神。尚、総会席上、本年は上田数平氏企画の「のど自慢」が行われ、川飛満祐審査委員長が厳正に選び、のど自慢センター街に伊蔵稔氏が選ばれた。

▼2月16、17日 一丁目新年度総会

焼津温泉一泊、日本平などの名所を訪ね、帰路トヨタ自動車本社工場見学。

▼2月中旬 センター街・さんちかタウンの連絡地下道建設

センター街の道路の真下を掘り、住友銀行前さんちかタウンからセンター街へ出る階段まで長さ約八十メートル、幅六メートル十一メートル。総工費約一億四千万円で着工、八月頃完成予定。

▼4月28日 さんプラザ開店

二年の歳月をついやして三宮市街地改造事業東ビル（Cビル）地下二階、地上十階、塔屋二階、高さ五十三米、床面積五万六千三百平方メートルの三階までの店舗部が十一時オープン。

▼5月2、3日 神戸カーニバル

サンノミヤからこんにちわ 三宮トリオ  
今年初めて三宮トリオと組んで参加する。

・前夜祭 一、二、三丁目通してウィンドーラくがき展。

・三日 総勢三百名、車六台、乳母車三台、プラスバンド六十名、バトントワラー十五名、車上でツーバンド、GOGOとデキシーに分け、GOGOガールが車上で踊る。万国旗を持って行進、超ミニのユニホームに白ブーツの女子五十名、ピエロ十二名、マンガ集団十名など華やかにパレードする。

▼2月1日 昭和45年度新役員

○三宮センター街連合会

会長 長沢 堅次 (ナガサワ文具)

○一丁目会

相談役 山田 六郎 (ウインザー洋装店)

会長 小松原政雄 (神戸センター)

副会長 大西 章輔 (京呉服大西)

〃 原田 幹夫 (香 月)

〃 小山 博義 (コヤマカメラ)

総務部 大橋 秀男 (流泉書房)

〃 井上 貞夫 (井上金物店)

〃 西岡精一郎 (ミキヤ)

〃 森田 博次 (神戸モリタ)

〃 大井 義雄 (イセヤシャツ)

〃 入江 清一 (カスカード)

〃 土井 良三 (ドキ手芸品店)

企画部 柴本 実 (ミカサ)

〃 長田 熙 (大和屋シャツ)

〃 久保 欣治 (久保時計店)

〃 小松原正義 (神戸センター)

〃 長沢 基夫 (ナガサワ文具)

文化部 竹村 義知 (ヤマトシヨップ)

〃 岩崎幸一 (コール)

渉外部 長沢 堅次 (ナガサワ文具)

〃 東中 清一 (ベ ル)

〃 米崎 岩雄 (丸松呉服店)

〃 後藤 博雅 (星電社)

〃 山下 良造 (山下履物店)

会計部 湯前 正雄 (翠芳園)

〃 前田 新蔵 (京町デパート)

監査部 山内 鶴雄 (視正堂)

〃 山川源次郎 (くしや)

○二丁目会

相談役 大内 保市 (マルダイ釘店)

〃 行政 猛男 (ユキマサ)

〃 東條喜三郎 (マミー鉄)

〃 田路 茂夫 (田路時計店)

〃 上田 数平 (服飾計画セン  
ター上田)

会長 岸野 利男 (シンワ洋装店)

副会長 今江 英夫 (おそめや)

〃 三木正之助 (丸太屋呉服店)

〃 西尾 悟 (リリアン)

会計 片山 清敏 (美和光芸社)

企画部 石井 省三 (あかし屋)

〃 藤田 明 (モード洋装店)

〃 坂田 光男 (ミッチャン)

〃 酒井 隆八 (ヒカリ)

厚文化部 伊藤 稔 (ニューホープ)

〃 行政 信敏 (ユキマサ)

〃 玉垣 昭三 (e & b)

〃 勝浦 章 (カツウラ)

○三丁目会

相談役 藤和頼太郎 (スターお好み焼)

〃 山根 音松 (山根測量)

会長 北森 愛紹 (栄寿司)

副会長 宮本 正三 (時雨庵)

〃 角丸 時男 (カクマル印刷)

企画部 宮本 正三

〃 鉄山 善康 (すし鉄)

〃 畑中 嘉七 (松 阪)

事業部 馬場 敏之 (たちばな)

〃 妻鹿 満 (マルトシ)

〃 北森 敬紹 (栄寿司)

〃 平田 忠義 (光 蘭)

総務部 大宅 富男 (絹屋化粧品店)

〃 矢野 太郎 (ヤノスポーツ)

渉外部 榊原喜一郎 (花 菱)

〃 山田 茂 (山田の案山子)

〃 安藤 照一 (一貫楼)

経理部 寛 信雄 (春陽軒)

〃 三村 卓 (三 三)

監査部 浜西寿三郎 (浜西内科)

▼5月26日 市商連創立二十周年

二十周年記念大売出しにセンター街も協賛、万博記念メダル、ナショナルお好み電化製品十万円の当るを行っているが、優良従業員、町内会事務員等の表彰式典では、一丁目三十二名、二丁目十三名、三丁目五名、一、二丁目事務員が表彰された。

▼5月30日 三宮第五防災建築街区造成組合(栄川省造理事長)

ビル工事着工

一丁目東入口浜側が五月初旬から店舗撤去工事を始め二十日過ぎ完了、現場で地鎮祭を行い、地下二階、地上六階(敷地千平方メートル)のショッピングビルの建設(大林組施工)にかかる。

工事期間約十五ヶ月(四十六年八月末完成・九月初旬オープン予定)でメインテナントに野村証券、地元商店は木下商店、スズヤ宝飾店、村越印房、錦商会、中川貸衣裳店、まるみや洋服店、ビル完成の時点では、地下にさんプラザ及びさんちかタワー

ンとの連絡地下道も完成。

★第五防災ビル仮設店舗：前記工事に伴って、各店の仮設店舗はスズヤ宝飾店、木下商店、村越印房は従来店舗の向側(久保時計店東側)錦商会、中川貸衣裳店は星電社南入口前の三宮町一丁目本通筋で、まるみや洋服店はさんプラザ東筋で。

▼6月26日～7月31日 抽せんつきサンノミヤ中元セール

三宮トリオ

☆抽せん期間 七月五日(日)より二十七日(月)

☆お買上げ二千円毎に抽せん券一枚(補助券は五百円・二百五十円)。抽せん会場はセンター街大洋劇場前・さんちか案内

所前・そごう一階と七階

☆景品は万博最終回シリーズで豪華空くじなし! ☆特賞(日本賞) SONYトリニトロンカラーテレビほか西ドイツ・アメリカ・フランス・イギリス等々、残念賞まで十一種、電気シ

▼6月1日 三丁目役員改選(任期二年)

|             |              |     |               |   |     |              |
|-------------|--------------|-----|---------------|---|-----|--------------|
| 相談役         | 藤和頼太郎(スター)   | 〃   | 角丸 時男(角丸印刷)   | 〃 | 文化部 | 広瀬 実(カブト屋)   |
| 〃           | 真壁 与一(とん平)   | 〃   | 三村 卓(三三)      | 〃 | 厚生部 | 妻鹿 満(マルトシ)   |
| 〃           | 早水 敬治(早水鍼力)  | 渉外部 | 榊原喜一郎(花菱)     | 〃 | 〃   | 平田 忠義(光蘭)    |
| 会長          | 宮本 正三(時雨庵)   | 〃   | 大宅 富男(絹屋化粧品店) | 〃 | 〃   | 北森 敬紹(栄寿司)   |
| 副会長         | 寛 信雄(春陽軒)    | 〃   | 安藤 照一(一貫楼)    | 〃 | 〃   | 岩井 章浩(とん平)   |
| 経理・企画文化厚生担当 | 〃            | 経理部 | 山根 音松(山根測量)   | 〃 | 監事  | 浜西寿三郎(浜西内科)  |
| 〃           | 山田 茂(山田の案山子) | 〃   | 寛 信雄(春陽軒)     | 〃 | 〃   | 矢野 正(ヤノスポーツ) |
| 総務渉外担当      | 〃            | 企画部 | 馬場 敏之(たちばな)   | 〃 | 〃   | 〃            |
| 〃           | 〃            | 〃   | 鉄山 善康(すし鉄)    | 〃 | 〃   | 〃            |
| 総務部         | 北森 愛紹(栄寿司)   | 〃   | 畑中 嘉七(松阪)     | 〃 | 〃   | 〃            |

ユーバー、万博銀メダル、入場券、たばこ、など。

▼7月7日 三宮第三防災建築街区造成組合役員会

第四期の役員会は役員強化態勢、防災組合員の今後の市街地再開発の状況再確認など相互の親睦、意見交換を行った。役員は  
理事長 坂本正三 副理事長 岸野利男 毛利保一  
会計理事 片山清敏 理事 進藤勇 今江英夫 芹沢利雄 衣笠悦三 大上美義 監事 藤井幸男 酒井隆八  
相談役 東條喜三郎 上田数平 田路茂夫

▼7月25日～8月2日 ダイナミックバーゲンセール

大好評シリーズの大バーゲン商品をワゴンに山積、風船とジヤングルムードに装飾して一、二丁目大売出し。

▼9月初旬 一丁目道路舗装とアーケード塗替

大洋劇場一帯は凹凸が激しかったので九月初旬舗装工事を行い、また頭上も十月はじめアーケードも波板取替を実施、完成当時の明るいシルバーアーケードにした。

▼10月7日 第十五回共同化店舗・商店街コンクール

主催兵庫県、神戸市、神戸市商工会議所、日本商工会議所で商店街の場合は環境整備事業、経済事業、指導事業、組織及び運営等を採点して表彰するもので「通商産業大臣表彰状」「大阪通商産業局長表彰状」「神戸市長賞」「神戸商工会議所会頭賞」があり、午後四時より神戸商工貿易センタービル十六階会議室で表彰式が行われ、一丁目会が特別奨励賞受賞。

▼10月30日（金）、11月1日（日） 通行量調査

神戸市経済局が十時から午後八時まで、センター街全域、元

町商店街一～三丁目で通行量・通行人アンケート調査を行ない、十二月八日結果をまとめ発表した。最近の再開発事業、大型小売店の進出で市内のショッピングセンター機能が周辺部に及ぼす影響などの基礎調査として行なったもの。これによると通行量はセンター街東入口（三十日、東行六万九千、日曜は十一万三千で六割増）センター街へ買物に來た人のうち約六〇％市内在住者、神戸市より西の客も増えており、大阪府の客も増加、確実に商圏が拡大したものだと思われる。年令層は二十二才～二十四才の比重が高く「若ものの街」のイメージにピッタリ。

▼11月3日 昭和四十五年度商業関係褒賞

兵庫県、県商店連合会（中林寅一会長）恒例の表彰式を県信用金庫会館三階ホールで十一時より金井知事他來賓を迎えて挙行、センター街では、小松原政雄、北森愛紹、福田次男三氏が商業振興功労者、優良従業員として江頭貞男（大西呉服店）榎本正夫（一丁目事務局）が優良団体職員として表彰された。

▼11月12日 優良従業員表彰式

神戸市と神戸市商店街連合会（鳥越静助会長）は十時より県民会館九階ホールで宮崎市長、他來賓を迎え表彰式を行なった。センター街被表彰者は△一丁目▽中谷武士（ナガサワ文具センター）池沢寿男（香月）△二丁目▽山口務（美和光芸社）福井幸成（田路時計店）丸岡忠一（淡州堂）の五名。

▼11月19日～12月27日 三宮クリスマスセール 三宮トリオ

現金お買上げ二千円毎に抽せん空くじなし、王冠賞は毎日当る。

▼1月15日 一丁目成人式

ゲストに落語家露乃五郎氏を招いて、十一時からベル喫茶室で開催、新成人五十名のうち二十数名が参加、祝辞や講話の後記念品を贈呈、マルナカの上森康励君が謝辞をのべた。

▼1月18日～20日 二丁目総会

南九州の旅、大阪空港発・鹿児島遊覧、指宿泊り、翌日桜島えびの高原、宮崎泊り、総会行事をとどこおりなくすませ現地解散した。

▼2月15、16日 一丁目総会

片山津温泉で昭和四十六年度の総会を開催、会計報告、新旧役員引つぎ及び親睦旅行。

▼2月1日 スキーバス 二丁目

従業員慰安バスを神鍋スキー場に運行。

▼3月11日 岐阜県商店街より視察団

代表約四十名がバスで来神、センター街視察の後四国銀行神戸支店で、町内役員と協議。

▼3月17日 二丁目ヤングセンター会議

二丁目会事務所に全員集合、若い行動力で目下センター街の急務、都市再開問題などに積極的に取り組む姿勢を明らかにし今後の活躍を新年度にあたって確認した。

▼3月19日 一丁目研青会総会

東明閣で四十五年度総会を開催、事業報告、収支決算の承認四十六年度事業方針の協議、役員改選を行った。新役員は

会長 小松原正義（神戸センター）

副会長 梶原 孝三（梶原商店）

会計 長沢 基夫（ナガサワ文具センター）

幹事 佐伯竹一郎（フクトク洋品店）

栗山 匡（喫茶東京）

▼3月22、23日 一丁目婦人部春の懇親会

白浜御苑一泊で二十五名が参加、盛会。

▼4月5日、19日 親善ボーリング大会

一丁目が五日三宮ボウリングセンターで約五十名、二丁目は十九日神戸テアトルボウリング（湊川）で百三十名が参加各々優勝トロフィほかハイゲーム、ブービー賞など沢山の景品をはずんで従業員春のリクレーション。

▼4月14日～16日 生田神社春まつり 三宮地区当番

十二年に一回まわってくるお祭当番が今年は地元三宮地区とあって、総合委員長：中林寅一、副委員長：横井信市、大内保市、磯川太良、長谷川寛雄（兵庫相互）の四氏、総務委員：川飛満祐、会計委員：米崎岩雄、坂本正三、末積良之助、神興委員長：西義弘、子供神興委員長：山下良造、獅子頭委員長：岸野利男、神受委員長：上田数平、警備委員長：宮本正三、神賑委員長：田路茂夫、広報委員長：大西章輔、記録委員長：小山博義各氏。十四日宵宮、十五日日本祭り奉幣祭、十六日神幸式に大人神輿、子供神輿四台、稚児約百三十名各委員の参列、神輿や稚児行列もセンター街、トアロード、本通り、大丸前などを練り歩く。また神賑に淡路浄るり人形一座、京都の伝統「包丁式」を本殿、拝殿前で奉納。

▼昭和46年度役員

○センター街連合会

会長 長沢 堅次(ナガサワ文具)

○一丁目会

相談役 小松原政雄(神戸センター)

会長 大西 章輔(京呉服大西)

副会長 原田 幹夫(香 月)

〃 小山 博義(コヤマカメラ)

〃 柴本 実(ミカサ)

総務部 西岡 晃生(ミキヤ)

〃 内田 幸俊(スズヤ宝飾店)

〃 山川源次郎(くしや化粧品店)

〃 長田 和夫(大和屋シャツ)

企画部

〃 部長 長沢 基夫(ナガサワ文具)

〃 福井 健(スタイル会)

〃 西 正興(ユルハイム  
コンフェクト)

〃 田淵 能也(みどりや玩具店)

〃 小松原正義(神戸センター)

〃 本多 武(本多屋)

〃 植村 伸二(マック)

〃 佐伯竹一郎(フクトク洋品店)

文化部

〃 部長 岩崎 幸一(コール)

〃 久保 欣治(久保時計店)

〃 細目源次郎(フタバ園)

〃 栗山 匡(喫茶東京)

渉外部

〃 部長 山下 良造(山下履物店)

〃 山田 六郎(ウインザー  
アルファイ)

会計部

〃 部長 湯前 正雄(翠芳園)

〃 山内 鶴雄(視正堂)

監査、監察部

〃 部長 大橋 秀男(流泉書房)

〃 竹村 義知(ヤマトショップ)

○二丁目会

顧問 大内 保市(マルダイ)

〃 行政 猛男(ユキマサ)

〃 東條喜三郎(マミーKK)

〃 田路 茂夫(田路時計店)

〃 上田 数平(服飾計画セン  
ター上田)

相談役 岸野 利男(シンワ洋装店)

〃 毛利 保一(毛利マーク)

会長 川飛 満祐(トンカツムサシ)

副会長 進藤 勇(ぼんぐう)

〃 芹沢 利雄(セリザワ)

〃 稲永富士夫(スコッチ洋服店)

会計 三角 恒雄(ちんがら屋)

企画部

〃 部長 衣笠 悦三(コマツヤ)

〃 大内 信行(マルダイ)

〃 久利 計一(大学堂)

〃 田路 達夫(田路時計店)

〃 上田 博章(服飾計画セン  
ター上田)

〃 島谷 一郎(しまたに)

文化・厚生部

〃 部長 隈部 宏(マミーKK)

〃 石橋 健一(ドンク)

▼5月14日～16日 第一回神戸まつり

十四日には子供たちにセンター街大らぐがき広場を設置(一

丁目・第五防災工事現場、住友銀行西、大きさは二十五メートル×三

メートル、夕方デモンストラーションに貝原六一、田中徳喜両画伯

他プロの画家を招きらくがきをして、その後、お客様に開放。

◆十五日五時～七時 ウィンドー大らぐがき大会(例年通り)

◆十六日パレードには総勢二百七十名の大部隊で若もののパレ

ードに参加。「三宮からこんにちは」と三宮トリオがくりひろ

げるページェントは、スクールメイッ、プラスバンドに二十三

体のピエロ、動物ぬいぐるみなどが色どりをそえて歌と踊りと

花自動車の一大パレードを展開する。パレード実行委員会メンバーは小松原正義、衣笠悦三、佐伯竹一郎、田路達夫、妻鹿満馬場敏之、伊福良雄、西尾悟、熊野稔、平田佳暢の各氏。

▼5月20日 三丁目総会

二時より三丁目カスカード二階グリルで出席六十二名（会員七十七名）で開催、決算報告、事業報告、予算審議など可決した。尚役員は留任。

▼5月21日 三宮センター街一丁目振興組合創立

一丁目は従来の任意組合より法律的な組合組織に移行、（四十六年二月より）市民生協四階ホールで第一回通常総会を午後一時より開催、組合員八十八名中、出席多数で本年度事業報告役員改選などの議案を終了した。尚、役員理事は左記変更の他は従来のまま再就任。

初代理事長 大西 章輔 相談役 小松原政雄 〃 山下良造

▼6月14日～16日 第一防災総会 三宮第一協同組合設立

三宮第一防災建築街区造成組合小松原政雄理事長は総会と懇親会を裏盤梯・吾妻方面に開催、飯坂温泉で一泊、仙台、松島を観光帰着した。尚、役員は全員再選された。また組合本来の業務である特高受電室も整備され会議室も新設したのでこれの披露を七月十四日午後三時より同会議室で行った。（事務局長西畑英雄、電話三二一六六八。ニチイ浜側商品搬入入口入る地下二階約五十㎡）

▼6月23日～7月7日 第十八回神戸市商店街優勝野球大会

二十三日の入場式より七月七日まで随時（六日間）須磨海浜

球場で参加十六チームで行われ、二丁目（行政信敏監督）三丁目（馬場敏之監督）が出場。

▼6月27日～7月25日 サンノミヤハワイアンセル

夢の島ハワイへ飛ぼう 三宮トリオ

二千元お買上げごとにラッキーカード一枚（二百円、五百円ごとに引換補助券）抽選で△特賞▽五十名を四泊六日ハワイへ招待。食事は朝食のみ。渡航手続き費用は当選者負担。

△トリオ賞▽三千円の買物券が三百名に当る

☆当選発表は八月一日朝日、毎日、神戸各新聞朝刊と店頭

☆引換は八月十日まで連合会事務所。

▼7月2日 三宮第三防災建築街区造成組合 総会

坂本正三理事長組合員三十二名未加入三十一名（センター街二丁目浜側と三宮本通り山側）は、四国銀行神戸支店三階で十時より第四期通常総会と懇親会を開催、来賓を交えて今後の防災建築に対する基礎討論を行った。

▼7月19日 由良海岸に海水浴 一丁目

文化部（岩崎幸一郎長）では、バス二台で従業員慰安をかね日本海天の橋立近く「安寿と厨子王」伝説の由良海岸に海水浴、西瓜割りなど楽しい一日を過し七時全員無事帰神した。

▼8月14日 ジャンボ・アーケード完成

さんプラザ、さんセンターの間約八十六㎡に、高さ十一m（改造ビル側三階、防災ビル側四階）、道路幅十一m工費約七千万円をかけ七月末に完成、十四日神戸市長をはじめ市消防音楽隊のプラスチックバンドでクインコウベらも共に豪華パレード「レ

モンの街」としてスタートする。アーケード建設委員会（代表山田六郎、小松原政雄両氏）従来の鉄製アーケードに比して塗装不要軽快、プレハプ化で現地ですぐ組み立てられ、その上アルミの銀白色を基調に色彩豊かなアーケードになる各利点があり、施工は神戸製鋼所で、日本一で初のアーケードがセンター街に誕生する訳。大屋根の支柱はビルの側壁にのせるので無柱というのも最大の特徴、また地元の商店の発案で照明兼PRのための電飾板も大九基（一・八坪円形アクリ）、小十八基（一坪六角形アクリ）街全体のムード創りのため約六十<sup>クラス</sup>で、明るすぎてウインドの照明を殺さぬよう配慮、天幕はプリント模様の合成繊維を使用近代感覚をもちこみ、日よけ雨よけから一歩進んでムード豊かな街づくりのアーケードになった。

#### ▼8月22日 電話局番三ケタに

市内の局番が二ケタから三ケタに変わる。センター街周辺32局は321局、33局は331局、39局は391局へ。

#### ▼8月26日 第三防災組合の開発研究会

午後一時より交通センターの中小企業センター会議室で「今後の三宮二丁目のあり方について、商店街の体質改善および再開発について」などを原田市太郎講師（神奈川県商工指導所々長）より、また神戸市経済局商工課より中小企業高度化資金、関連融資制度についての説明研究を行なった。

#### ▼11月2日 第五防災ビル（二丁目東ビル）完成

四十四年五月に着工以来十六ヶ月ぶりに三宮第五防災建築街区造成組合（栄川省造理事長）が完成式を挙行、地下二階、地

上六階（敷地約千平方<sup>メートル</sup>）のショッピングセンタービルが実現した。当ビルは村越印房、キノシタ袋物店、スズヤ宝飾店、錦額縁画廊、中川衣裳店、まるみや洋服店、メインテナントの野村証券が地下及び地上に。まるみや洋服店の地下に約三百平方<sup>メートル</sup>の喫茶・レストラン（モスクワロシア料理）十一月十二日オープン。二、三階は日本交通公社が「旅のサロン」を設置、四、五階を大阪外語学院（E・C・C・理事長山口勇・豊中本校）が開校。錦は貸画廊を計画。地下は中川衣裳店の地下と一緒に喫茶「キャラバン」にテナント貸。

#### ▼11月12日 三宮地下連絡道完成

センター街とさんちかタウン、さんプラザを結ぶ連絡道約百<sup>メートル</sup>が第五防災ビル完成とほぼ同期に完工、宮崎市長のテープカットで関係役員が握手、通り初めの後九龍でお祝いの会が行われた。

#### ▼11月19日～12月26日 ジャンボ・クリスマスセール

##### 三宮トリオ

十萬円の海外旅行券が毎日当る、抽せんつき大売出し。

・お買上げ二千円毎に一回抽せん、五百円、二百円補助券発行  
・特賞：ジャルパック十萬円海外旅行券。

・レジャー賞：カワムラ自転車、サンブリッジのボーリングセット、ダイワのフィッシングセットのうちいずれか一点。  
・ファミリー賞：お好み焼セット。パパ賞・ママ賞など。

・抽選場所：そごう一階と七階、さんちか案内所前、センター街一丁目は翠芳園前、二丁目武蔵前、三丁目サラリーマン店内



▼トアロードが土・日曜オアシスロードに(45年)  
 ▲月刊センター創刊15周年記念として生れかわる三  
 宮写真コンテストが行われ、作品発表は11月6・11  
 日さんちかタウンの「そごうウインドー」で(45年)



▶三宮地下連絡道完成(46・11・12)



▲さんブリッジのネーミング決定は田辺聖子さ  
 んの手で(47.9.20)



▲クリスマスセール抽せん場(1丁目  
 大洋劇場前、45.12)



◀センター街のCMガール小鹿ミキさ  
 んを囲む企画部員(46.2)

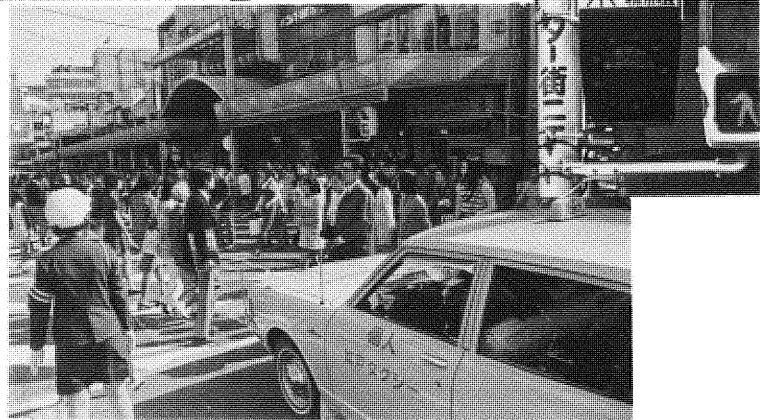


◀露乃五郎氏を迎えて (46.1.15)

▼2丁目から3丁目へのトアロードの  
信号が50mのジャンボに (47.5)



▲三宮トリオ結成7周年記念NEWカ  
リーナプレゼント (47.12)



◀星の  
プロムナード完成  
(47・12・6)



▼ジャンボアーケード工事中(46・7)



▲さんブリッジ完成(47・9・20)

▼1月11日 一、二丁目バーゲンセール

年頭を飾るデラックスバーゲンセール実施。

▼3月22日 生田区復興土地区画整理審議委員に山下氏

定員十名のところ十三名が立候補し、センター街は挙げて山下良造氏を推選して当選（選挙事務長坂本正三氏、得票二一六票、八年ぶりの改選で山下氏は再選）

▼4月7日 二丁目都市再開発研究会発足

A地区十ブロック会（大内保市会長）や第三防災（坂本正三理事長）、三宮本通り商店街（松田佐一会長）らが一九となつて二丁目全域の団結を呼びかけたもので、会長に坂本正三、副会長に岸野利男、今江英夫、三木正之助、久松正章各氏を選任、創立総会を一時より阪神相互銀行本店ビル三Fで行った。事務所はセンター街二丁目会事務所におく。

▼5月4日 ジャンボ横断歩道実現

二丁目と三丁目の間（トアロード）に幅四十メートルのゼブラマークを県警交通部が線引き、専用信号機六基と、信号が変わるまで色電球が次々と消え、残り時間を知らせるタイマー標示機も設置、過密横断場所の緩和に対処した。

▼6月29日 オーバーブリッジ起工式

さんプラザ二Fとさんセンター三Fを結ぶ空中廻廊が九月中旬完成の予定で始まった。ブリッジは鉄筋コンクリート、長さ十二メートル、幅六メートル、高さ五メートル七〇センチ、工費約千五百万円。

▼6月19、20日 津山市視察 一丁目

湯郷温泉一泊、翌日は古い城下町津山商店街へ。津山は昭和

二十四年アーケードを完成し、四十六年有色歩道を実現させているので、その実態を視察。

▼6月25日～7月30日 サンデープレゼント 三宮トリオ

十二時～一時／二時の三回、センター街各店やそごう、さんちかタウンで、神戸まつりで人気を集めたユニフォームを着用した担当者が資生堂ビーチバッグ、セーラー帽、ジャンボバッグ、ビーチハットなど三千個をサービス配布。

▼7月16日 スカイショップ各店オープン

B地区工事の一環として旧市電筋（三宮町一～三丁目）に市街地改造事業同志会の二十四店舗が仮設店をオープンした。長沢文具センター、カクシン、イワタヤ、本多屋、ミキヤ、ミヤマの各店が出店約二年間、Bビルの完成まで営業の予定。

▼7月23日～29日 セブンアップ八万杯 一丁目企画

三宮トリオのサマーカーニバルの一環として冷たいセブンアップを街頭（住友銀行前）で一日一万杯、八日間八万杯をサービスした。

・二丁目は二十五日～三十日、サマーバーゲンゴンセール。  
・三丁目は二十九日～八月二十七日の土・日にヨーヨー進呈。

▼8月5、6日 従業員慰安海水浴 一丁目

小豆島シルバービーチ海水浴場へバスツアー。

▼9月20日 さんブリッジ渡り初め 一丁目

六月二十九日着工したオーバーブリッジが完成、ペットネームを募集していたが、応募者二千二百二十通の中から村上伊保美さん（本山中二年）の「さんブリッジ」に決定、渡り初めに先

だち、宮崎市長が命名、市長、小松原建設委員長、横山さんプラザ社長らのテープカットで開通した。

通路はカラフルなイタリアンタイルで、さんプラザからさんセンターへ六段の上り階段がつけられている。

ネーミングは作家の田辺聖子さん、毎日新聞大久保支局長、月刊センター本地編集長と地元関係者が審議の結果、同名多数の中から田辺さんの抽せんで村上さんが選ばれた。

#### ▼10月16日 京都めぐりバスツアー 二丁目

従業員リクレーシヨンバスを運行、紅葉の三千院、寂光院、国際会議場、二条城など洛北をめぐる一日。

#### ▼10月24日 商業功労者市長表彰

市役所三階大会議室で一丁目振興組合理事長大西章輔氏が、二丁目藤井幸男氏はトアロード相談役として共に市長表彰受彰

#### ▼10月27日 優良従業員市商連会長表彰

二丁目谷洋輔氏（上田）吉野修氏（ナポレオン）は海員会館で市商連会長表彰を受けられた。

#### ▼12月1日～25日 ジャンボクリスマスセール

##### 三宮トリオ結成七周年記念

☆特賞 ハワイ招待（四泊六日、十万円負担）二十五名。三千万円買上げ毎に一回抽選。

☆一等 カワムラのミニサイクル「ラブリカ」

☆ラッキークイズでカーリーナ1000が三台。

センター街、さんちか、そごうに展示してあるカーリーナと共に問題を掲示し官製ハガキで応募する。締切十二月二十日必着

#### ▼12月21日 カリーナ当選者決まる

##### 三宮トリオ

ラジオ関西サタスタで警官立会いの上で抽選・センター街賞は葺合区浜西三郎（学生）・さんちか賞は尼崎市高原照彦（会社員）・そごう賞は西宮市井沢唯士（学生）の三名が当選。二十五日十一時より住友銀行前路上でカーリーナを贈呈。又正解者の中から岡部氏他五百名に国際会館新春公演にペアで招待。

#### ▼12月6日 星のpromナードとジャンボアーケード完成

十一月二十日から大林道路側の手ですすめられていた東入口から京町筋まで一丁目（一、二区）約百六十坪の有色タイル舗装道路が十一月末完成、北斗七星、方位表を現わした斬新な図柄が描かれている。（工費約四千万円、柴本実建設委員長）

アーケード（一区）も十月中旬に完成、舗道も合わせての竣工式が、十一時より住友銀行前路上で関係者を迎えて行なわれ坂井知事、狩野助役、大西理事長がテープカットして通り初めの後、九龍でパーティ。（西正興建設委員長）

#### ▼12月20日 Bブロック起工式 一丁目

地上十九階地下二階、八十七坪の、神戸で第二の高層ビルとして建設される市街地改造二期工事が昭和五十年完成をめざして九時五十分より大洋劇場跡地付近で起工式を行った。引続きさんセブンで式典。この地区は改造事業に異議があり憲法論争にまで発展、予定より二年余り着工が遅れていたがこの程和解が成立したもの。地域は京町筋から生田筋まで、センター街一丁目山側から高架までの六千三百余平方メートル、予算二百億円、総床面積五万八千八百平方メートル。

▼1月10日～16日 ニュー・イヤール・バーゲン 二丁目

ワゴンにお買徳商品を山積みして一週間限りのセール。

▼1月15日 成人お祝い会 連合会

十一時からベルで毎日新聞大久保文男支局長を招いて講話を  
きき、ネーム入万年筆が贈られた。該当者一丁目五十人、二丁  
目十八人。

▼2月1日 昭和48年二丁目役員

。相談役 大内保市、岸野利男、東條喜三郎、坂本正三、池田  
享、田路茂夫、上田数平、川飛満祐、毛利保一、藤井幸男

。会長 西尾悟 。副会長(企画) 石井省三 。副会長(文化)

稲永富士夫 。副会長(総務) 今江英夫 。企画部(部長) 藤

田明、坂田光男、三木浩司、久利計一、大内信行、上田博章、

芹沢利雄、酒井隆八 。文化部(部長) 行政信敏、出田孝、毛

利雅博、勝浦章 。総務部(部長) 隈部宏、伊藤稔、田路達夫

。会計 片山清敏 。監事 福田次男、元田輝彦

▼2月12日～14日 親睦旅行 二丁目

修善寺物語で有名な伊豆修善寺方面へ、大沢温泉で一泊、石  
廊崎の景観、浄蓮寺などを経て稲取温泉で一泊、翌日、熱海十  
国峠を経て元箱根方面を巡り帰神の日程。

▼3月1日 連合会長に岸野利男氏

予てより辞意を表明していた長沢堅次氏が二月末で退任、後  
任に岸野利男氏が就任。新旧会長の歓送迎会は二月二十七日五  
時よりホテル神戸で。

▼3月29日 三宮センター街二丁目振興組合創立

四国銀行神戸支店で十時三十分、創立総会を開催、組合員多  
数出席し各議案も満場一致で通過。予定通り商店街振興組合法  
に基いた法人格の団体が誕生した。尚、振興組合法に基き現役  
員は理事に自動的に就任、組合の実質的運営に参加し組合活動  
を行う。初代理事長西尾悟氏。尚振興組合認可は六月二十七日

▼4月16日 リクレーション 二丁目

参加約四十名、バスで「エキスポランドと日本庭園」に。

▼4月19日 京町筋、三宮センター街の火事

未明午前零時四十分頃、三宮町一丁目京町筋から出火、同所  
附近が深夜の為と居住者の少ない密集地帯なのでセンター街筋  
南側と京町筋の一角計十四店舗が類焼。センター街側の類焼は  
京町デパート、トピック靴店、虎や、生駒楽器店、常盤写真館、  
ニューコマツ、マミー。

▼5月19、20日 神戸まつり

十九日前夜祭は「ポニーと遊ぼう」と四頭のポニーに子供を  
のせ、八カ所に特設された駅の間を往復する子供中心の行事。

二十日のパレードには特別出演の仔象一頭総勢三百名の行進

▼5月23日 三宮第一協同組合三期通常総会

小松原政雄理事長「山田屋」で午後四時より開催、決算報告  
事業報告、四十八年度収支決算、事業計画案が上程満場一致可  
決の後懇親会が行われた。

▲5月25日 一丁目振興組合三期総会

(理事長大西章輔)市民生協「聖光殿」で開催、決算報告、

予算案、事業計画などあり、満場一致で議事進行、連合会懸案の定休日（第一・三月曜日を水曜日に変更）問題も審議通過し六月より実施。尚、新しくニチイ（岸章浩店長）より理事一名が追加決定した。

▼5月25日 三宮第三防災六期通常総会

坂本正三理事長は四国銀行神戸支店会議室で一時より開催。

▼5月30日 三丁目会四十八年度総会

宮本正三会長はホテル神戸で四十七年決算報告、四十八年予算案、事業計画、その他町内会費の件などを審議。

▼6月6日より定休日を水曜日に変更 連合会

従来月曜定休を実施してきたが諸般の事情にかんがみ第一、第三水曜日に変更。

▼7月4日 従業員ボウリング大会 一丁目

グラウンド六甲（灘区桜口町）で行われ①位松本真知子（マック・542）ハイゲームも、②位浦千鶴（モロゾフ・490）③位金村孝子（若草・485）ブービー賞は岩元としえ（京町デイト）で参加者は53名。男女のハンディを20にしたため入賞者は女子が独占

▼7月31日 浦富小栗浜海水浴場へ 一丁目

午後十時出発、デラックスバスで鳥取県の東端、白砂青松の地「小栗浜」に行き、帰りは八月一日夕刻八時。

二丁目文化部（行政信敏部長）でも八月七日夜出発、山陰海岸国立公園、香住町佐津海岸に海水浴。リアス式海岸で広大な砂浜、奇岩洞門見学、夕刻帰神。

▼7月7日～29日 三宮トリオ・サマーフェア

☆バリ祭7日（土）―29日（日）

トリオラッキークイズで三名をバリーへ八日間招待！・街ぐるみ画廊・掘出しトリオ市（トリオ各店一勢に特別提供品をワゴン形式セール）・花の種プレゼント・十四日に五万袋進呈。

▼7月31日 花のバリーに3名様ご招待決定

三宮トリオサマーフェア抽せんがラジオ関西サテライトスタジオで公開で行われ左記の方々がバリ招待（8日間）に当選。

☆尼崎市今北宮本西28広井清子（22）、三木市緑ヶ丘町中一丁目山本待子（25）、箕面市面小路302杉本辰一（64）（敬称略）

▼8月21日 三宮市街地改造A地区△西端△大幅変更

神戸市都市計画審議会が開かれ、三宮市街地改造事業について次の様に計画変更が発表された。三宮市街地改造は昭和四十二年三宮―元町駅間の中央幹線を整備すると共に市街地の立体化を図るため計画され、過去第一期工事としてC地区さんプラザビルが昭和四十五年オープン。第二期工事としてB地区が三宮西ビル（仮称）十九階建て四十七年暮れ着工、現在基礎工事中五十年夏の完成予定。残る第三期工事としてのA地区は最初は職住接近の地上三階までが店舗で四階から十七階はペンシルビルで百四十四戸の住宅を建設する予定だったが地価が高く住宅の値段を試算すると二DKで最低二千万、三DKで三千万円になり、一方センター街でも住宅は近郊に移る人が多く、また春に生田区北野町に四十戸のマンションをつくったのでA地区は商店用だけの方が得策とこの計画変更に踏みきったもの。

▼10月9日 商業功労者、優良従業員表彰

新装の神戸文化ホールで市商連より二丁目名田実氏（ふみや）が、商工業功労者として、前会長川飛氏が市長表彰を受賞。

▼10月16日 従業員秋のリレーション 二丁目

デラックスバスで乗鞍岳、飛驒の里、高山に秋の風物詩を尋ねた。参加者三十五名。

▼11月22日 センター街25周年記念 永年勤続優良従業員表彰

生田神社会館で連合会により、男子は十年以上、女子は五年以上勤続者を表彰。一丁目男子五十九名、女子百五名、二丁目男子三十六名、女子三十五名。三丁目男子三十四名、女子三十五名。計三百四名。

▼12月1日～25日 クリスマスセール “世界へ飛ぼう”

三宮トリオ

☆七百名様海外旅行にご優待☆ お買上額三千円毎にラッキーカード本券（補助券は千円、三百円）を一枚、これで十二月二十七日、公開抽せんを行いナンバーで当せん者はパリ賞：パリへ空の旅九日間、アメリカ賞：シスコ・ロスへ四日間空の旅、香港賞は四日間香港へ。

▼12月26日 三宮第一地区市街地改造事業の事業計画掲示

神戸市長の告示によるとAビルは地上七階地下二階、高さ四六・五五、敷地三、七五〇㎡、延三二、六八三㎡、鉄骨鉄筋コンクリートビル。費用は国庫補助一三億二、四〇〇万円、市負担六億六、二〇〇万円、起債その他六一億七、七五〇万円、合計八一億六、三五〇万円。



| 神戸国際港 三宮第一地区市街地改造事業の事業計画<br>建設事業                           |                                                                        |                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 事業の名称<br>神戸国際港建設事業三宮第一地区市街地改造事業                          | 6 設計および設計費の概算<br>1 設計の概算<br>ア 公共施設<br>神戸市 36 138 4975<br>建設費 75 45 340 | 2 資金計画の概算<br>金 額 単 位<br>円 千 円<br>国庫補助金 1,324,000<br>市費 862,000<br>入 出 金 計 6,177,500<br>合 計 8,163,500<br>3 建設費の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500 |
| 2 施行者の名称<br>神戸市                                            | 7 建設費の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500              | 3 事業計画の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500                                                                                                        |
| 3 事業計画の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500 | 4 建設費の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500              | 4 建設費の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500                                                                                                         |
| 4 建設費の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500  | 5 建設費の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500              | 5 建設費の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500                                                                                                         |
| 5 建設費の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500  | 6 建設費の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500              | 6 建設費の概算<br>建設費 4,522,000<br>設計費 286,800<br>合 計 5,055,500                                                                                                         |



サテスタのクリスマスセール抽せん風景 (12/27)

第一地区改造事業の計画掲示板

センター街従業員の永年勤続優良従業員表彰式



長沢連合会長ご苦労様。48年2月末で辞任した長沢さんを囲んで。上は石井一衆議院議員、宮崎市長と。下は月刊センター本地編集長より花束を受ける。

(48.2.27)



▶開館一周年を迎えたセンタープラザ中央鏡の広場  
(51・7)



▶(50・5)



▶第一回センター街連合大運動会 (49・9・4)



▼市街地改造Aビル起工式 (50.7.4)



▶神戸まつり前夜祭「ポニーと遊ぼう」は子供達に大好評 (48・5・19)



▼1月 第二防災バーゲン始まる

昨年四月の京町筋大火で既に仮設店舗営業中のところもある二防（米崎岩雄理事長）は正月早々店じまい一掃セールを実施

▼1月16日 センター街地価三百七万円に

国税庁の発表によると村越印房前の三、三平方メートルが三百七万円と査定。昨年二百六十七万円だったので十五%の上昇で、全国第五位。一位は新宿タカノフルーツ前の八百四十四万円。

▼2月11、19、24日 世界へ飛ぼう海外旅行 三宮トリオ

クリスマスセールの海外旅行当選者は十二月二十七日警官立合いの上サテスタで抽選して決まり、一般応募者も含めて左記の通り実施した。

☆バリ行は十一日、十九日の二班に分かれて四百六十名が羽田空港発。☆アメリカ行は二十四日、百七十八名が大阪空港発。香港行は三月二十九日、五十名が大阪空港発。

▼2月6日 戸倉スキー場へスキーバス 二丁目

岡山県境の戸倉へ五日夜出発、六日は一日スキーを楽しむ。

▼2月20日～23日 松山高知へ懇親旅行 二丁目

中突堤から関西汽船で船中泊、早朝松山へ着いて市内見学の後道後温泉一泊。翌日は高知市へ市内、桂浜見学、ホテル山翠園泊り、夜半、近くの町で火災あり。23日は竜河洞など名所見学の後現地解散（限部宏部長担当）

▼3月19、20日 南紀へ町内旅行 一丁目

親睦を目的として勝浦温泉と紀伊半島巡りを行い、帰路は神紀フェリーで神戸港へ（参加者五十名）

▼3月28日 第二防災の一期工事地鎮祭

既に着工の準備をすすめていたG線、山下履物店、翠芳園、池田靴店、若草、丸松、ミカサ、大西、フクトクの防災ビル建築起工式と地鎮祭が、工事現場で行われた。各店舗は旧店舗跡に仮設店営業する。

▼5月18日 昭和49年度二丁目振興組合役員

理事長 石井省三・副理事長（企画担当）坂田光男、（文化厚生）行政信敏、（総務担当）藤田明・会計 今江英夫・企画（部長）衣笠悦三、（副部長）田路達夫、上田博章、久利計一、稲永省三、片山博晶、川飛毅晋、芹沢利雄・文化厚生（部長）三木浩、（副部長）毛利雅博、三角恒雄・総務（部長）伊藤稔、（副部長）出田孝、（渉外担当部長）酒井隆八、（〃副部長）大内信行・監事 池田享、福田次男

▼5月28日 三宮第一協同組合総会

四時より山田屋で開催（小松原理事長組合員四十名）

▼6月18日 昭和49年度三丁目役員

会長 宮本正三・副会長（総務企画経理担当）寛信雄、（文化渉外青年担当）山田茂・総務（部長）大宅富夫（副部長）久宝守正・経理（部長）山根音松・企画（部長）馬場敏之（副部長）平田忠義、谷掛洸、安藤照一、山井亘・文化厚生（部長）妻鹿満、（副部長）北森敬紹、押切毅・渉外（部長）榊原喜一郎、（副部長）広瀬実・青年（部長）角丸時男、（副部長）道仲重利・監事 矢野正、浜西寿三郎・相談役 北森愛紹・会債管理委員会 委員長 山根音松

・振興組合設立委員会 委員長馬場敏之 副委員長 谷掛洸

委員 安藤照一、押切毅、久宝守正、山井亘

▼6月20日 第21回神戸市商店野球惜敗 二、三丁目

十九日九時半須磨球場で市内十四チームが参加して開会式、

二丁目は板宿センター街と三丁目は板宿本通と対戦、共に惜敗

▼7月7日～8月28日 さわやか夏ページェント 三宮トリオ

7月14日の日曜日、三宮トリオの街角でプロカメラマン二名

によるスナップを撮り、選考して☆特別賞 夏の北海道五泊六日三名招待の他フランスの絵画を四十名に進呈。

▼7月23日 県商連の二十五周年記念表彰

午前十時よりサンボーホールで行われたが、県商連感謝状受

賞者は上田房江、大西章輔、小松原政雄、石井省三、岸野利男  
西義弘、西尾悟の各氏★四十九年度関係受賞者は西尾悟、山田

六郎、岸野利男の各氏。優良従業員は中谷武士（ナガサワ）福

井幸成（田路時計）栗田清二（マスマ）木下幸雄（東京屋）大

森雪子（モード）の各氏。

▼8月6日 山陰佐津海水浴場へ 二丁目

前夜バス二台参加者百名で出発、風光明媚の海水浴場へ。

▼8月7日 琵琶湖畔の北小松浜へ水浴 一丁目

バス二台参加者百名で八時半発、近江舞子の北小松浜へ

▼8月12日 店舗デザイン講習会 連合会

伊予銀行神戸支店で中川構装社を招きフレッシュ・センター

街の店創りの勉強をした。中川構装社は宝塚南口サンビオラの  
設計企画を担当し、好成績をあげている。参加者四十名。

▼9月4日 第一回センター街大運動会 連合会

王子運動場で十時より二時まで開催、店主家族従業員、各界

からゲストを招き一体となつての大運動会は参加者約千人。競

技科目も徒競争、障害、パン食い、百足競争等バラエティに富

み、賞の他福引でカラーTV等も当る（実行委員長行政信敏）

▼11月21日 第二防災基礎工事着工

三月二十八日起工式を行った二防が、二十一日いよいよ工事

に着手、ベニヤも仮設店舗が完成、喫茶東京は十一月一日ベビ

ー用品「ポニー」として開店、古川軒も十一月中旬開店。

▼11月30日 さんプラザ11（イレブン）オープン

さんプラザの二、三階部分、太陽の広場と呼ばれるところへ

二丁目Aビル該当の十店が仮設店舗を開店した。

▼12月1日～25日 クリスマスセール 三宮トリオ

「ジャンボで四百名をバリとハワイへご招待旅行」を実施する

☆三千円でラッキーカード一枚、☆パリ賞は八日間空の旅A賞

五十名（自己負担六万円）B賞百五十名（八万円）☆ハワイ賞

は六日間A賞五十名（自己負担四万円）B賞百五十名（六万円）

▼12月9日 三宮第二地区改造ビル（Bビル）受渡期決定

工事進行中のB地区権利者へ都市計画局三宮再改発課長名で

書類が手渡された。受渡し期日は地下一階～地上二階は五十年

五期末日、三～六階は七月末日、七～十九階は同十二月末日。

▼12月20日、25日 三宮第一地区（A地区）研究会

Bビル受渡期の決定にともない、一区該当権利者は四国銀行  
会議室で仮設店舗問題、新春よりのセール等について討議した

▼1月15日 成人式 連合会

10時より生田神社社会館で。講話は福田義文氏の青春について

▼2月17日～19日 千葉館山方面へ親睦旅行 二丁目

新幹線で東京→京葉バイパスで千葉館山のフラワールライン、行川アイランドのフラミンゴショー、そして誕生寺、九十九里浜の眺望を楽しんで帰神。

▼2月24日 第二防神戸信用金庫三宮支店前仮設店舗へ

マルサン、ヤマトショップ、五十二、住山、富士鞆の五店は二十四日取壊し、三月二十四日仮設店舗オープン。

▼2月27日 ジャンボで飛ぼうパリ・ハワイ 三宮トリオ

☆パリ八日間の旅第一便は二十七日（長沢基夫団長）、第二便は三月六日（熊野稔団長）それぞれ二百名が伊丹空港より羽田経由で。☆ハワイへ六日間の旅は二十五日（浅井二郎団長）二百名が出発。

▼2月末日 B地区仮設撤去

工事進行中のB地区は五月末利権の受渡しが決まっていることから、センター街側の仮設店舗を二月末に撤去、受電設備のケーブルやマンホール工事等がはじまる。

▼3月18、19日 萩、秋芳洞方面へ親睦旅行 一丁目

新年総会と親睦会を、三月十日開業早々の山陽新幹線利用で維新のふる里へ。湯本温泉に一泊、萩市を中心に。

▼4月1日 株式会社センタープラザ設立

B地区新ビルは「株式会社センタープラザ」として正式に発足、社長に株式会社さんプラザ社長の横山正武氏が、専務取締

役には同じくさんプラザ常務の井川一馬氏が就任、さんプラザ社長には鈴木卓二氏が就任。

▼4月1日 さんちかタウン名店会長に片山和男氏就任

開店以来十周年を迎えたさんちかタウンの名店会長東條喜三郎氏退任、後任に片山和男氏（サロンタウン平野屋社長）が名店会長に選任された。

▼4月1日 三丁目婦人部「七草会」が発足

平井純子さん（ヒライメガネ）が会長に就任、会員四十三名

▼4月1日 三宮センター街三丁目振興組合設立

商店街近代化に即応して、中小企業振興組合法に基きホテル神戸で十六日創立総会を開き正式発足した。組合員六十五名。

初代理事長・宮本正三、副理事長・山田茂、寛信雄、理事・大宅富夫、久宝守正、多田修造、馬場敏之、平田忠義、谷掛洗、安藤照一、山井亘、妻鹿満、北森敬紹、押切毅、榊原喜一郎、広瀬実、角丸時男、道仲重利、監査役・矢野正、浜西寿三郎

▼4月16日 渥美半島へ従業員の親睦バスツアー 二丁目

渥美半島、伊良湖岬へ初夏の潮騒と花を見学、伊良湖ビューホテルでハワイアンダンスを楽しんだ。（参加六十五名）

▼4月28日 さんプラザ五周年記念祝賀会

午前十一時よりさんプラザビル二階の九龍に於て、鈴木卓二社長は関係者を招待して五周年祝賀を開催、宮崎市長、坂井知事代理などの祝辞があり、さんプラザ名店会長小山博義氏の万才三唱で閉会。

▼5月17、18日 第五回神戸まつり

「サンノミヤからコンニチワ」 三宮トリオ

花自動車や万国旗、動物ぬいぐるみなど今年は四百五十人の大パレードで、現在人気抜群の「坂ターン」やジャンボマックスが注目を集めた。

▼5月19日 第一協同組合五周年表彰

午後四時より山田屋で総会を開き、五周年記念優良従業員西端英雄事務局長を表彰。

▼5月21日 三丁目ヤングの会「歯車会」発足

道仲重利氏（時雨庵）が会長に就任、街の融和と発展に若い力を発揮するのが目的。

▼5月20日 第22回商店街野球に惜敗 三丁目

二十日から三日間須磨と荒田で行われ、三丁目チーム（妻鹿監督）は優勝候補の元町高架チームと対戦4―0で敗戦。

▼6月6日 センタープラザのシンボルマークが決まる

七月二十六日オープン予定のセンタープラザでは、かねてシンボルマークを一般募集していたが、五百点余りが集まったので、画家の石阪春生氏、彫刻の新谷琇紀氏や狩野助役、笹山再開発局長、センタープラザの横山社長、井川専務、小山課長、名店会より東中、前田、中林、沖夫妻、竹中氏等が市役所会議室で審査の結果、三宮・センター・プラザの頭文字S・C・Pを图案化した臼井正則氏（会社員21才）の作品が採用され、賞金十万円が贈られた。

▼7月4日 三宮第一地区改造ビル（Aビル）起工式

午前十時から地元代表が参加して行なわれた。Aビルは二丁目山側で、センター街と三宮公設市場（地下一階の小売市場四十店と、地上二階北面に鮮魚市場十五店）が入居する全国でも珍しい共同ビルで、地下二階、地上七階、総工費約八十億、三階までに約百七十店が入店予定で五十二年夏完成予定。

▼7月7日～31日 さわやかサマーさんのみや 三宮トリオ

中元商戦デモンストレーションの一環として12日～20日まで三宮トリオ地区でショッピング中のレディ、ファミリーにカメラを向けてスナップ、その中から最もふさわしいレディとして下井喜代美さん（兵庫区）泉本千恵子さん（西宮）細見啓子さん（芦屋）の三名が、ファミリーに村井謙治さん（垂水区）長谷川初美さん一家が決定。レディにはヨットスカンジナビア号にペアで伊豆三津浜に一泊二日の招待。ファミリー賞は六甲オリエンタルホテルへ四名まで一泊二日招待。

▼7月14日 第二、第四防災ビル地鎮祭

十一時より第二防災（三十四店、米崎岩雄理事長）と第四防災（九店、阿部長雄理事長）が合同で地鎮祭を行った。二防は鉄筋地下一階、地上七階、延べ約一万四千三百㎡、総工費約二十五億二千万円で来年八月完成予定。一、二階が地元、二階と三、四階、地下にテナントを、四防は二防と背中合わせに建つもので鉄筋地下一階、地上五階、延べ五千七百㎡、総工費八億二千万円で来年夏完成予定。一、二階に地元が入り、三、四階と地下にテナントが入る。



↑ジャンボで飛ぼう  
←人気独占坂ターン  
↓C地区の取壊しが  
始まった(50. 3.  
22)



パリへ二百名"を優待  
するもので、ラッキ  
ナンバーの抽選は二十  
七日ラジオ関西のサテ  
スタで行い、二十九日  
発表する。

▼7月26日 センタープラザオープン

昭和四十八年一月着工以来二年半をついやしてセンタープラザが完成し、朝九時四十分宮崎市長、市会議長、横山センタープラザ社長、関係者代表の手でテープカットが行われた。ビルには約百五十店が入居、その約八割がこの日部分オープンした。事務局と管理会社は四F駐車場北側、ビルの営業時間は午前十時—二十時、地下飲食街は十時—二十二時、定休日は第一、第三月曜日。

▼8月6日 山陰白浜へ海水浴 一、二丁目

五日の夜出発して香住の白浜で楽しい一日を過ごした。

▼8月27日 七草会、歯車会結成記念合同ツア一 三丁目

婦人部、青年部のグループ結成を機に、三丁目では初の全町懇親旅行を、バス二台で紅葉パラダイスへ(参加者百三名)

▼12月1日~25日 クリスマスセール 三宮トリオ

三千円買上げ毎に抽選券一枚、ジャンボで飛ぼう



▼1月20日 A地区店じまい売りつくしセール最終

該当二十五店は売りつくしセールを二十日で終え、二十一日より店舗除去を開始、仮設店舗（奥行九五cm）を造って二月中旬営業開始。尚、生田筋と公設市場は既に昨年七月より仮設店舗で営業中。

▼2月1日 第一協同組合研究会

一週間の予定で東南アジアへ、四十五名参加。

▼2月20日24日 パリ招待旅行出発 三宮トリオ

クリスマスセールのジャンボで飛ぼうパリ八日間の旅は二班に分かれて行われた。

▼3月17、18日 萩方面へ懇親会 3丁目

萩、秋芳台、下関と懇親旅行、参加者七十名。

▼5月14日、16日 第六回神戸まつり 三宮トリオ

花と海と太陽の祭典に、トリオは十六日のパレードにトリオ仲良し大行進「サンノミヤからこんにちわ」で参加。TVの人気のゴレンジャーを中心に二百五十名がパレード。

▼5月17日 第一回三丁目振興組合総会

生田神社会館で開催、議題として道路のカラー舗装を九、十月完成予定で決定した。

☆新役員／理事長・宮本正三、副理事長・寛信雄、山田茂、馬場敏之、理事・大宅富夫、平田忠義、谷掛洸、安藤照一、妻鹿満、榊原喜一郎、角丸時男、北森愛紹、平井純子、監事・矢野正、浜西寿三郎、青年部・北森敬紹、婦人部・北森工美子

▼5月19日 京都へ懇親旅行一丁目 京都太秦の映画村を見学

▼7月10日、18日 さわやかタウンさんのみや 三宮トリオ

ことしのさわやかさんだあーれ？ さわやかレディのスナック写真は今年で三回目。

▼8月3日 昭和51年度二丁目振興組合新理事

理事長・川飛満祐、総務担当・福田次男 企画担当・坂本正三 文化担当・隈部宏 会計・片山清敏、出田孝 企画・上田博章 芹沢利雄、田路達夫、久利計一、稲永省三、毛利雅博 文化・勝浦章、行政信敏、三木浩司、小野礼一 渉外・藤井幸男、西尾悟、石井省三 総務・坂田光男、大内信行 監事・池田享、今江英夫 相談役・東條喜三郎、上田数平、田路茂夫、毛利保一

▼8月4日 北小松水浴場へ 一丁目

九時出発日帰りコースで琵琶湖畔へ水泳に。

▼9月15日、30日 第二防バイバイセール

昭和四十九年十月二十一日清水建設により新ビル着工のため仮設店舗で営業を開始した二十五店舗がいよいよビル竣工、十二月五日オープン予定のため店舗とりこわしに伴って商品売りつくしさよならセールを行った。

▼9月21日 優秀技能者表彰

相楽園会館で時計修理経験二十五年の福井幸成氏（田路時計店）が神戸市表彰。優良従業員表彰は十月七日文化ホールで上村卓朗（マルナカ）関口守（武蔵）平海照幸（東京屋）香川満子（サブリーナ）永山加代（三好）の皆さんが受けられた。

また田路茂夫氏は十月二十八日国際会館で日本赤十字社有功賞銀賞を三笠宮妃殿下より受けられた。

▼10月4日 一丁目振興組合事務所移転

第二防災ビル完成まで住友銀行ビル地下のセンター街PRコーナーに仮移転。

▼10月31日 センター三三(さんさん)街誕生 三丁目

八月二十八日九時半より三宮神社で地鎮祭を行った赤煉瓦の舗装道路が二カ月を要して完成し、路上で祝賀式典を行った。工費約三千万円、道幅六メートル、全長百二十五メートル。

これを機会にペットネームを一般募集していたが十月十五日夕切、応募八千通。これを審査員の画家石阪春生氏、漫画家高橋孟氏、生田神社宮司福田義文氏、本地スマ子氏、組合役員で審査の結果「センター三三街」を採用、矢野高氏(西宮市)に十万円が贈られた。

▼12月1日～26日 パリへ八日間招待クリスマスセール

三宮トリオ

ジャンボで飛ぼう二百名、パリへ八日間空の旅は例年通り三千円買上げ毎にナンバー入りラッキーカードを発行、二十七日サテスタで抽選、当選受付は一月四日～六日連合会事務所です。

▼12月3日 第二防災ビルとジャンボアーケード完成祝賀会

昨年夏から工事をすすめていた第二防災ビルが完成し、ジャンボアーケードの完成と併せて盛大な祝賀式典を行った。

二防新ビルはかねて募集していたネーミングの中から選ばれた「ニューセンター」と命名。

二、一七九㎡の敷地に床面積一万六、八六四㎡の建物が建ち八階建。地下は淳久堂書店、一～四階は権利者店舗三十二店と

ダイエー(来春開店)、五、六階東映直営館二館(四日開館)七、八階は事務所、エレベーター二基、五階までのエスカレーターあり。

昭和四十二年暮れに防災建築の指定を受け、五十年七月に着工した当ビルは、神戸市防災建築ビル三十三組合で最後の完成である。(米崎岩雄理事長、組合員三十六名)

ジャンボアーケードは高さ十一メートル、幅十一メートル、ステンレスパイプ三角錐で仕上げた斬新なデザインで、三階部分の屋根に支え、路面には支柱がない。天窓はボタンで開閉出来る。総工費一億六千万円で一丁目振興組合(大西章輔理事長)の事業。



▼1月21日 三宮三十五番街区協同組合創立

二丁目浜側のコマツヤからドンクまでの本通商店街も含めた地区で、元第三防災地区より分れて結成、四国銀行で創立総会を開催した。理事長に片山清敏氏を選出。事務所は三宮町二丁目三五―一三五番地（佐野煙草店三階）

▼2月3日 研青会新年の集り 七時より栄弥で。

▼2月7日～9日 北陸路へ親睦バスツアー 二丁目

北陸の名所見学、粟津温泉、金沢の兼六公園、山中温泉と二泊三日で回ったが思わぬ積雪、雪原に会い冬景色を満喫した。

▼2月21、22日 早春の富士箱根へ親睦旅行 一丁目

午前十時新神戸駅発新幹線で二泊三日の旅に出発、富士白糸の滝、箱根の名所旧蹟、湯河原と回り熱海で解散。

尚スキーバスは二月三日戸倉スキー場へ実施。

▼3月7日 北海道商店街より視察団来町

ニューセンタールビル（五十一年十二月五日開店）とアーケード（西独特許の立体トラス構造）に注目。

▼4月13日 はぐるま会総会 三丁目

生田神社社会館で。結成三周年を迎えてその実績を確認（会長中村勝弥氏、会員五十一名）

▼5月12日 第二回定時総会 三丁目

片山津の北陸グランドホテルで開催、参加者七十五名。

▼5月13日～15日 第七回神戸まつりに参加 三宮トリオ

十五日正午より三時までのパレードに「ジャッカー電撃隊」を加えて賑やかにパレード。

▼6月11日 三宮センター街一丁目振興組合役員

理事長・山田六郎 副理事長・西正興、長沢基夫、小松原正義  
理事渉外部・部長・大西章輔 渉外部・米崎岩雄、山下良造、東中清一、後藤博雅 総務部・部長・内田幸俊 総務部・小山博義、原田幹夫、柴本実、岩崎幸一、竹村義知、森田博次、入江清一 企画部・部長・植村孝一 企画部・本多武、松谷富士男、福井健、山本義二、土井良三、内田一利 文化部・部長・栗山匡 文化部・西岡晃生、田淵能也、横内泰人 会計部・部長・山内鶴雄 会計部・細目源次郎 監事・会計監査部長・湯前正雄 監事・大橋秀男

▼6月25日～8月15日 十一街区店じまい売りつくし

三宮十一街区東協同組合（岸野利男理事長三十一店）は八月十五日をもって取壊し、九月より着工、五十三年秋完成の予定。その間は仮設店舗で営業する。

▼7月7、8日 神戸市商店街野球準優勝 三丁目

須磨海浜球場で行われた大会（参加九チーム）で三丁目チーム（監督妻鹿満）は優勝戦にのぞみ、対板宿センター街チームに善戦むなしく4対10で惜敗準優勝に終わった。

▼8月3日 慶野松原海水浴場へ 一丁目

日帰りバスで淡路へ。水泳西瓜割等で楽しい一日を過ごした。

▼8月17、18日 香住佐津海岸へ 二丁目

観光バスで日本海へ。黒潮荘で休息の後夏の海を楽しむ。

▼8月19日 ウエストプラザオープン 十一街区仮設店舗

阪急西口ウエストプラザでシンワ、ナポレオン、玉垣時計店

ふみや、シンヤクドー等九店が営業。尚、喜久屋化粧品店は八月二十六日自宅駐車場に、おそめやは九月六日三宮本通開店。

▼9月16日 三宮東十一街区共同ビル地鎮祭

すっかり整地された店跡地工事現場で生田神社加藤権宮司により修祓、岸野理事長がクワ入れをした。

ビルは地上九階地下二階、延一万四千四百㎡、高さ三八m、総工費十八億三千万円。設計施工西脇設計、鹿島建設、清水建設、竹中工務店、熊谷組。完成予定五十三年十月。

▼10月15日 神戸市体育表彰 大倉山中央体育館

スポーツ功労者として行政信敏氏(神戸早朝野球連盟委員長)優秀選手として角丸房子さん(高飛込み)が表彰された。

▼11月17日 技能功労者表彰 相楽園会館

この道一筋三十年、時計修理技能者として田路茂夫氏が受賞

▼11月3日～5日 風見鶏セール 三丁目

レンガ舗道完成一周年を記念して、人気TV番組「風見鶏」の名を取ったセールを行った。楽しいぬいぐるみ、ヨーヨー釣りなどが人気を博した。

▼11月3日 仮設店舗オープン 十一街区

新ビル工事中の十一街区旧店舗跡に十三店の仮設が完成。開店を祝ってファンファーレセールを盛大に行った。

▼12月5日 ニューセンタービル誕生一周年記念

クリスマスケーキ百名プレゼント

ファッションと文化とレジャーの楽しいプロムナードゾーンとして皆様に愛されているニューセンタービル満一才の誕生日

を記念してG線特選クリスマスケーキをプレゼント。十二月十日までにエイツにハガキで申込んだ人の中から百名に当る。

▼12月1日～25日 二百名様をハワイへご優待 三宮トリオ

お買上げ三千円、千円、五百円毎にラッキーNo付カードを発行。二十六日公開抽選(さんちかサテスタにて)の結果、当選者二百名を自己負担四万八千円でハワイへご優待する。尚、当選発表は二十八日新聞誌上、各店頭で。

▲昭和53年▼

▼2月17日 三宮二丁目東第一種市街地再開発事業個人施行者披露宴

十一時より関係者、役員、来賓ら約百三十名が出席して元町風月堂地下で行われた。この名前は県知事認可を全国で初めて受けたもので「三宮十一街区東協同組合」が三宮十一街区株式会社(代表者、岸野利男、井上貴之氏)を設立、ビル建設を行う。(事務所はセンタープラザ十階)

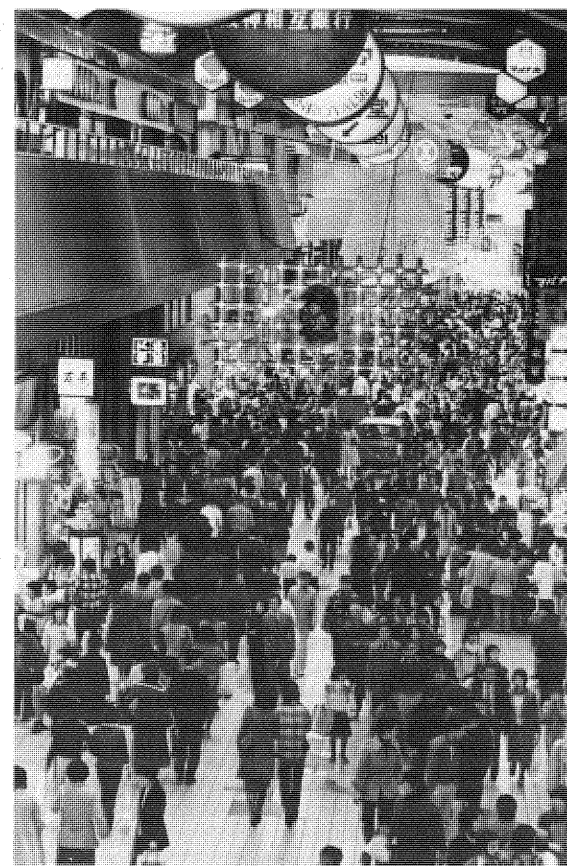
▼3月24日 センタープラザ西館オープン

三宮再開発事業の最後のビルとして建設された三宮第一地区Aビルが完成オープンした。起工式を行った五十年七月四日から約二年十カ月を要した。地上七階地下二階、延べ三万三、三五〇㎡、工費約八十億円。



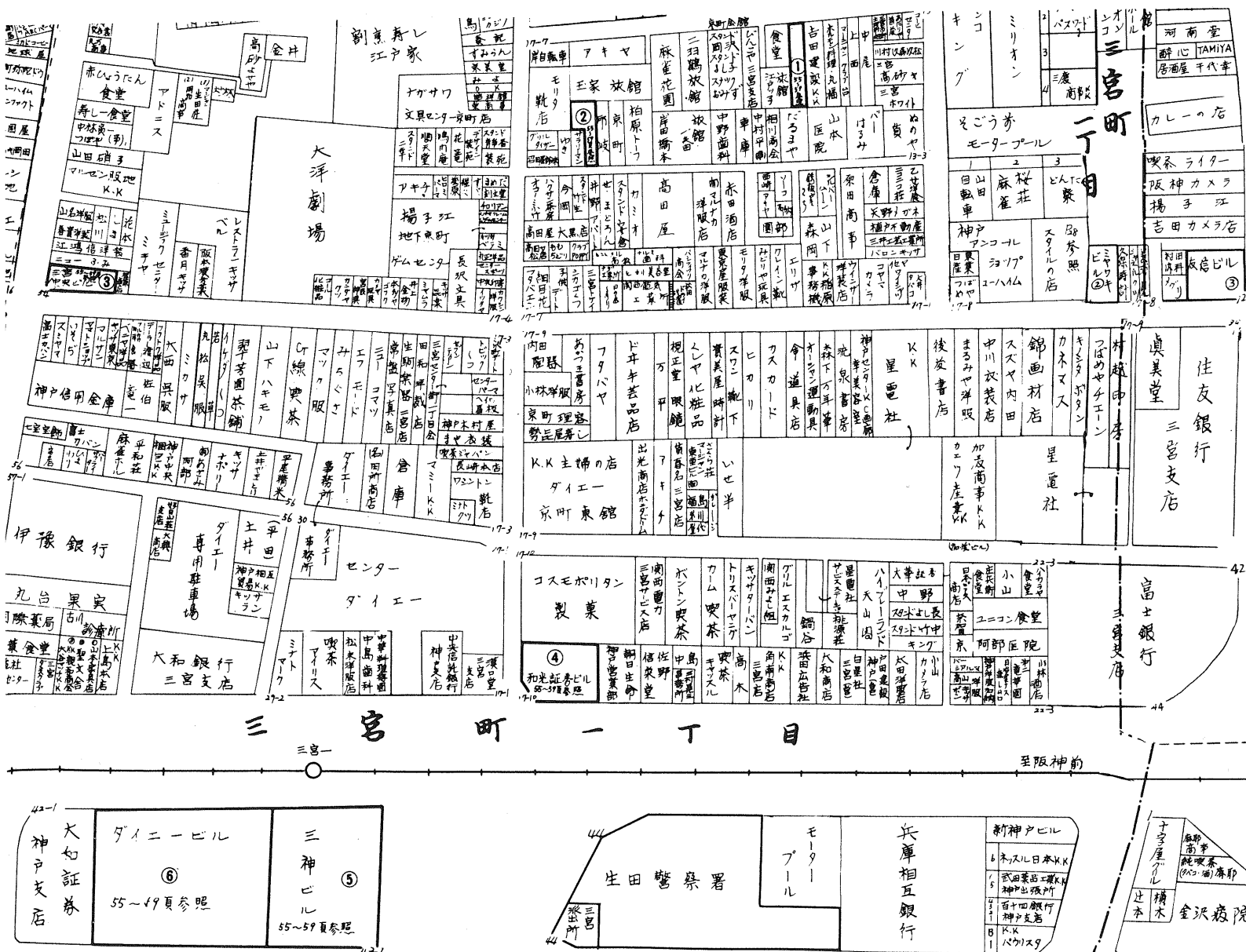
▼センター街でのデモンストレーション、アピール運動は、今も昔も絶えることがない。  
(二丁目S 44・秋)

▶今日も人の波でうずまるセンター街の賑わい。  
(二丁目S 52・12・18)



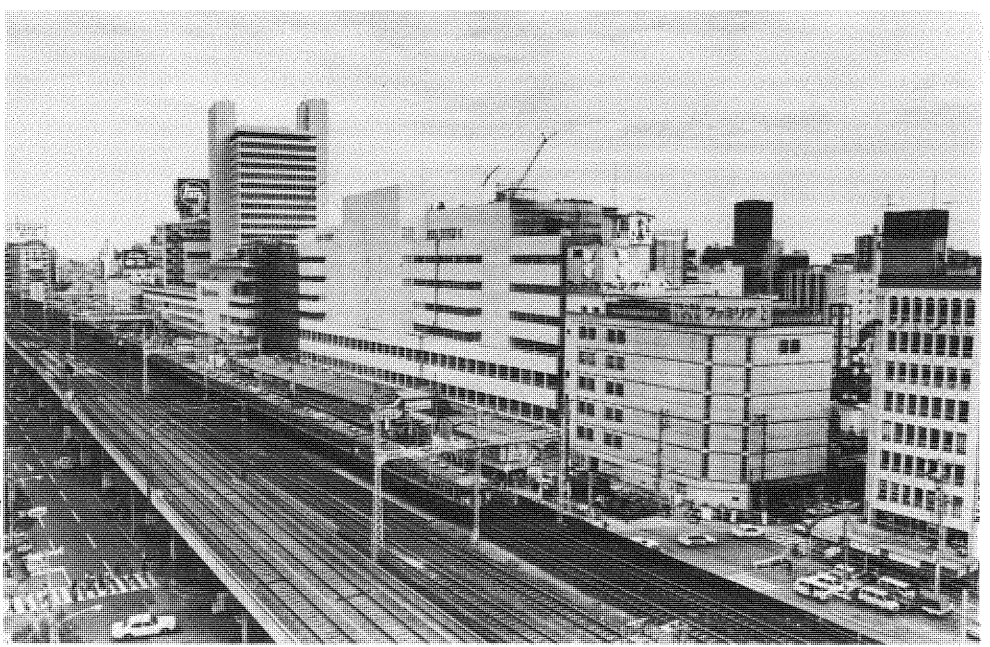
▲五十余年の長い間三宮の治安につくしてくれた生田警察署は地元住民に惜しまれながら新居へ引越した。  
(S 52・5・2)

ビルになるまでの三宮町一丁目 センリンの住宅地図 (S. 43年版) より





▲風見鶏 N H K 朝のテレビで  
北野異人館ブームとなる。売  
出しにも早速流用させて頂い  
た(三丁目、S 52・11・12)



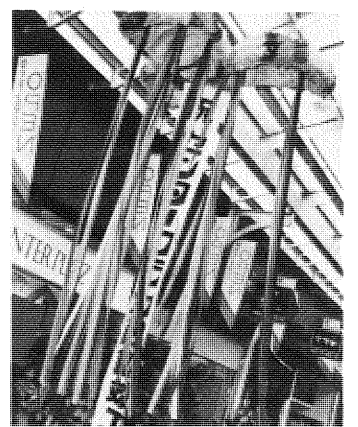
◆みなと神戸に浮ぶ白い船。

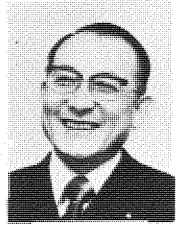
センター街市街地改造ビルは19階建てのB棟をマストに見たて、C棟は船尾のキャビン、A棟を舳先きになぞらえて出来た三宮丸。

C、B、A、三棟の建築は神戸市の大事業であると同時に、地元住民にとって起死回生の大手術であった。浜側の数々

の防災ビル化建築と共に10余年を費して商店街の近代化をなしとげ、いま船出する。

センター街創立から30年、会員諸氏は絶え間なき努力によってこの大偉業を達成させた。いま、センター街は一大エポックを迎えたのである。(S 52・秋)





## 株式会社 そごう神戸店



明治三十二年六月二十五日、湊川神社の近く、相生町二丁目、わずか二十坪ほどの十合呉服店の神戸支店が開設された。これが「神戸そごう」の第一歩である。

明治三十四年に、元町五丁目に移転、本格的な呉服店としての体裁を整えた。さらに十四年から大正三年にかけて拡張を重ねた。第一次大戦後の好景気を背景に、十合呉服



▲増築工事をすすめるそごう神戸店（S.43.12.15撮影）

店大阪本店は飛躍的に業績を伸ばし、近代的百貨店への道を歩みはじめ、大正八年に株式会社になった。

昭和五年に、神戸支店の三宮進出が決定された。国鉄の高架化、電化完成、省線電車の運転、阪神電車の地下乗入れ、阪神国道の完成、阪急電車の延長計画など、三宮は当時ようやくターミナルとして発展しつつあった。

そして昭和八年、新築の阪神三宮ビル（現在のそごう旧館）を賃借して、七階建て、三千坪余のターミナルデパートとして生まれ変わった。丁度四十五年前前であった。店名も「神戸そごう」と平仮名表示となった。七台のエレベーター、四百名の大食堂、すばらしい展望の屋上庭園などのある新ビルは、たちまち神戸名物となり、開店日には、飛行機を飛ばして市内一帯に宣伝ビラをまき散らすなどの華やかなセレモニーが行われた。

昭和十三年七月の大水害では、旧生田川の川筋にあたる神戸そごうは、濁流の直撃をうけ、一階以下は水びたしとなり孤立した客と従業員は、飲料水がないので、金魚売場の水で炊き出しを行ったなどの出来事もある。

昭和二十年三月の神戸の空襲で、三宮一帯は猛火に包まれたが、神戸そごうは類焼をまぬがれた。終戦後も、しばらくは配給業務のほか

は売る品物もなく、神戸そごうも売場の一部を、進駐軍相手の「富士桜ダンスホール」に賃貸したりした。（二十年～三十年）

昭和二十一年、大阪そごう全館が進駐軍に接収されたので、神戸そごうが主力店として重大な役割を担うことになった。二十二年四月、六、七階の接収が返還されると「アメリカ・モード展」などの華かな催しも開催されるようになった。

昭和二十五年ごろから二十七年ごろまで「インポート・バザー」などの在日外国人向け営業も手がけ、外国人の多い神戸では順調に収益をあげた。

二十七年六月、大阪そごうが再開された。

三十一年、新聞会館・国際会館・市庁舎などのビルが建ち、三宮の復興、発展がめざましく進む中で、神戸そごうも待望の増築を達成、十月に営業を開始した。

三十二年夏の中元期から、神戸そごうは三宮センター街と共催して、景品付き大売出しを行い、ショッピングセンターとしての三宮一帯の雰囲気大いに高上げた。ちなみにこの時の一等は、電気冷蔵庫または14吋テレビであった。その後夏と暮の売出し行事は共催するのが恒例となった。四十年にさんちかタウンが完成すると、センター街、さんちか、そごうが「サンノミヤ・トリオ」を組み、中元・歳暮大売出し・カーニバルや神戸まつりなどの催しを盛大に行い今日に至っている。

三十九年、店長に岡部誠一氏が就任。四十一年、隣接の室町殖産ビルを賃借し、更に四十三年、五十年と増築大拡張を行い、神戸最大、そごう全店中でも最大のデパートになった。

五十年三月岡部誠一氏は神戸店駐在役員となられ現在監査役、店長に山田恭一氏就任。



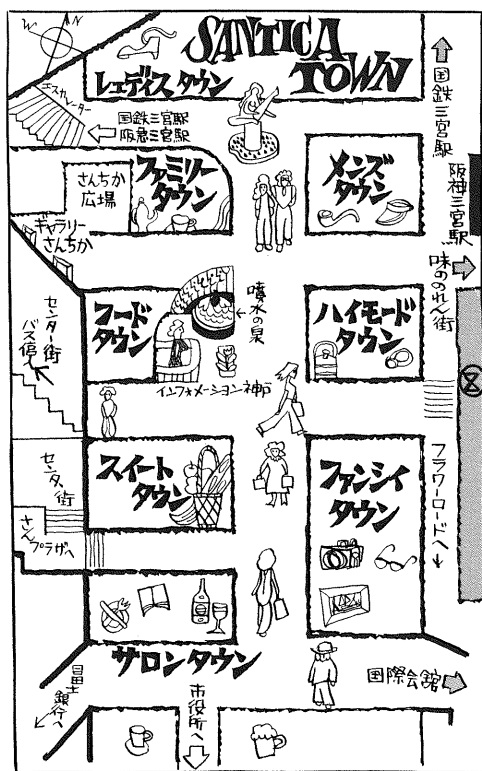
## さんちかタウン

ターミナル三宮の、人と車の雑踏をスムーズにさばくために、歩行者通路とショッピング・センターをかねた地下街を造ろうという計画が、神戸市内部で昭和三十四年ごろから具体化していった。

色々な調査を行い議論が重ねられて、地下街のスケール、イメージなどについて、ほぼ現在の（改装前の）姿に近い最終案がまとまったのは、三十七年十一月である。

三十八年二月、神戸市と、阪神、阪急、そごう、神戸銀行、兵庫県、神戸高速鉄道などとの共同出資で、神戸地下街株式会社が設立された。

同年六月、工事着工。工事請負は鹿島建設・藤田組共同企業体。四十年十月、第一期工



事竣工、同時に、国鉄三宮駅西口阪急三宮駅東口、阪神三宮駅などの改築も行われた。また、国鉄、阪急との連絡をスムーズにするために、あわせて交通センタービルが新築された。

四十二年第二期工事竣工、全フロアーが完成した。同じ作るならば、神戸でなければ出来ない神戸らしいファッショナブルな地下街を、という基本プランに沿ってアイデアが出され、実現されていた。通路をストリートに広くとり、店舗は業種ごとにブロック分けして明るいオープン・フロアにまとめられ、レディース・タウン、スイーツ・タウンなどと名付けられた。明るい照明と、シックなカラー・コンディショニングなどで全体の雰囲気を作り、従来の東京、大阪などの雑駁なつぎはぎ地下街とは一線を画した。全国でもはじめての、統一されたデザインを持つ大規模な地下街が出現し、日本各地の地下街ブームの火付け役となった。

神戸を中心に、全国の有名店百余店が入居し、ネーミングも一万点あまりの公募の中から国際港都らしいシャ



ープで開放的な感覚と、関西的な親しみやすさをあわせもつ、さんちかタウン（SANJIMA TOWN）と名付けられ、名店会を結成して初代会長に東條喜三郎氏が就任。

四十二年には神戸港開港百年の祝賀行事が全市を挙げて行われることになり、毎日新聞社の提唱で「神戸カーニバル」という新しい祭りが始まることになり、さんちかタウン、そごうとセンター街のトリオが結成され、カーニバルの参加団体となる。それより以後は中元、歳暮などの売出し行事を三宮トリオで共催することになり、三宮の商圈拡大に一大エポックを画することとなる。

国鉄、阪急、阪神のターミナルと、センター街、そごう、国際会館、新聞会館、市役所そして港湾方面を明快に機能的に結合し、国際都市コウベの地下のシンボルゾーンとしての役割を果たしている。

四十五年には、その年完成したさんプラザの地下街との間にしやれた通路が設けられたさんちか以後、大阪梅田などに、さんちかのイメージの上に、趣向を積み重ねたショッピングエリアが次々と生まれた。

昭和五十一年、さんちかも、オープン十年を機に、気分一新すべく大改装が行われ、趣きもあらたに、インフォメーション・コウベなどの公共スペースも充実した。

この年名店会長を十年間勤めた東條氏が勇退、後任に片山和男氏が就任。

今後、ポートアイランドへの新交通システム、地下鉄新長田―三宮―新神戸線の開通、国鉄三宮駅ビルの新設などが控え、地下のメインストリートさんちかの役割は、ますます大きくなるだろう。

# 三宮センター街協同組合の記録



・設立年月 昭和二十九年十月一日  
・組合住所 神戸市生田区三宮町二丁目  
一六四

・設立の目的 組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、以て組合員の自主的な経済活動を促進し、且つその経済的地位の向上を図ることを目的とする。

・組合員の資格 三宮センター街に店舗を有し、三宮センター街商店会の会員であること。

・創立総会と役員 組合を設立するに当り、福井猛郎、田淵富久蔵、井野富次郎、渡辺徳治郎、西岡精一郎、大西儀蔵、原田幹夫、田和繁之助、山下良造、東條喜三郎、大内保市、松原治郎、行政猛男、北村嘉雄、田路茂夫、池田享、西尾悟、元田蓮の十八名が発起人となり、九月二十日パウリスタで創立総会を開催、設立同意者七十名中六十二名が出席して



初代理事長  
東條喜三郎氏



第二代理事長  
渡辺徳治郎氏

渡辺徳治郎氏を議長に選び、議事進行、総会が成立した。これより以前、七月二十六日に東條氏他十七名が設立発起人となり、目録見書を

作成して設立準備会を招集し、回を重ねて創立総会に及んだ。

この時承認された取引銀行は富士銀行三宮支店と神戸信用金庫本店の一行一金庫。借入金最高限度は二千万円也。

役員選挙は記名投票により東條氏四一票、

渡辺氏四〇票、大内氏四〇票、長沢氏三八票、上田氏三七票、大西氏三五票、田和氏三五票、坂本氏三五票、福井氏三四票、井野氏三四票、元田氏三二票、松原氏三〇票、田路氏三〇票、山下氏二八票、北村氏二八票、池田氏二七票、原田氏二六票、田淵氏二五票、行政氏二五票の十九氏が理事に当選、初代理事長に東條氏が就任、監事は二名、西岡氏三二票、西尾氏二九票で選ばれた。(任期は理事二年、監事一年)

・出資金 一口五万円七十口、初年度収入予算は百八十万円(手数料百五十万円、これは売上三千万円に対する五%、組合費三十万円)・初年度の事業 当年は後半期を残すだけとのこと

①普通チケット(一冊二千五百円) 高額券(一冊二万円) お買上チェック(一冊五万円)の三種を発行、共同月賦販売制度の確立をめざした。②転貸融資、③損害保険業務その他。現金を持ち歩かなくてもクーポンによる信用販売で顧客をキャッチしようというころみは現在大幅に行なわれているキャッシュレス時代をまさに先取りした事業ということが



出来よう。

▼昭和三十四年四月一日、事務所を三宮町一丁目三十一番地へ移転。

この年出資口数七十九口。

長らく低迷が続いていた日本の鍋底景気もこの頃から漸く燭光が見えはじめ、市民の生活にも少しは余裕が出来、チケット販売も年々業績を伸ばしていく。

▼昭和三十五年十月六日には、三宮センター街協同組合に対し、阪本勝兵庫県知事、県中小企業団体中央会会長納嘉正治氏の連盟で表彰状が贈られた。永年に亘る組合員の指導と産業発展の功を讃えたもので中小企業法制化五周年記念表彰であった。

▼昭和三十六年四月一日東條氏勇退、二代目理事長に渡辺徳治郎氏就任。中小企業等協同組合法の一部改正に応じて定款を一部変更、理事の任期二年を三年に監事一年を二年にし、また会員資格は従来センター街会員に限られていたが、トアロード、生田筋、京町、滝道筋、また三宮本通商店街に店舗を有し、かつ所属商店街の会員であって物品の小売業またはサービス業を営む者で、高架南側国道以南の地域まで広げた。

## 三宮センター街協同組合



第三代理事長  
大内保市氏

▼昭和三十七年八月二十日  
三宮町一丁目  
四二、三宮自治会館へ移転

▼昭和三十八年五月十三日、布引の観光ホテルで第九回定時総会の席上、渡辺理事長は、「不況といわれた三十七年度に於ても、センター街協同組合は順調な業績を示し、各単組を抜いて第一位の伸率を示したことは、各店諸氏の努力の結果であり、更に業績を伸ばす努力を」と挨拶されたが、三十七年十二月の神戸クーパーン売上ベストテンは左記の通りセンター街の店舗が独占している。

星電社、ぼんぐり靴店、アンコール・ショップ、上田洋服店、ベニヤ洋装店、喜久屋化粧品店、セリザワ服飾店、マルナカ洋服店、モトヤ靴店、小松屋洋装店。

▼昭和三十九年には設立十周年を迎えたが、三月二十日渡辺理事長が突然死去され、後任理事長に大内保市氏が四月一日就任。クーパーン券も職域クーパーン、家庭クーパーン、パーソナルクーパーンと多様になり、センター街の加盟店は百二十軒となった。九月八、九日には加盟店座談会を神戸信用金庫で、同十八日にはクーパーン利用者、加盟店、組合役員の三者会談をニューミュンヘンで開くなど、オリンピックと呼応して業績の向上をはかった。

▼昭和四十一年五月十七日、第十二回総会を三ッ輪で開催、この年も神戸クーパーン売上げ一位の記録を保持。

▼昭和四十三年五月二十一日、第十四回の総会では、この四月から発足した各銀行のクレジットカード（O・C・B、ダイナース、ダイヤモンド、住友クレジット、第一チェック）

等の説明が行われ「買物に便利でスマートなクーパーン」を強調し、売上増進標語を店主店員対象に募集、六月二十日夕切で富田充彦氏の「クーパーンで今日もたのしいお買物」が一位当選（賞金三千円）

▼昭和四十六年一月、神戸市内の七商店街協同組合で組織している株式会社神戸クーパーン（社長松岡広次社長、加盟店約千二百、会員五万人、年商約十億円）が、十五年間に亘る割賦信用販売業務を日本信販株式会社（社長山田光威氏、資本金十四億五千万円）に、前年十一月三十日全面的に経営を移譲したことから、一月から近畿日本信販のクレジットカードへ移行、四月一日からサインだけで買物OK時代へはいる。

▼昭和四十七年三月三十一日、協同組合は解散申請書提出、臨時総会を市民生協三階で開き、解散を決議。

神戸クーパーン売上げトップの記録を保持した三宮センター街協同組合の事業も十八年間で終りを告げた。（代表清算人大内保市氏）

尚清算金の残高を定期預金として四国銀行に保管していたが今回センター街創立三十周年記念式典が催されるに当り、元利合計十九万七千五百七十一円也を記念式典に寄贈した。



▲第12回定期総会は三ッ輪で（S41.5.17）

▼春の親睦旅行は和歌山県白浜御苑で（S36.3.13）



# PR誌「月刊センター」の刊行

・創刊の目的 三宮センター街が町ぐるみ、更に新しい感覚と香り高い文化的雰囲気をつくりたいための媒体として創刊された。

・創刊号 昭和三十年一月一日

発行所を三宮センター街二丁目におく。

編集兼発行人 森崎有康 精文舎印刷、十二頁で本文監刷。これと同年月日の創刊に

「銀座百点」があり、センターは商店街PR誌の草分けである。

「センター」は、センター街のPR誌といながら全くの独立採算制で、有志がスポンサーとなり、一店が千五百円を負担して創刊されたもので、参加店は三十八店、その他の広告表紙裏にセンター街が一頁、田路時計店とマルダイ銀座が二分の一頁ずつ、星電社が表紙四に一頁掲載されている。

センターは現在二百八十五号（十月号）を



祝辞をのべる宮崎市長と坂井知事

数えるが、創刊号から続いているスポンサーは、マルダイ、田路、視正堂、マミー、ベル、香月、長沢、ドキ手芸、マルナカ、おそめや、本多屋、大西、丸松、ファミリア、みどりや、ドンク、渡辺、スコッチ、山下履物舗、喜久屋、フタバヤ、三和商会（順不同）の二十二店である。

当時のセンター街はアーケードが出来て、町内組織も漸く確立し、街の繁栄も日毎に増していた時代ではあるが、新興商店街のこととて、客寄せにうたえるような核店舗がなかった。

そこで宣伝小冊子を連合で作し、PRの媒体に利用したわけで、活字文化の必要性をいち早く感じて創刊されたことは、時流に目覚めた店主たちの、最もナウな経営感覚といえることが出来る。

2号は二月二十八日発行二十頁、発行人中島七郎、印刷は丸和印刷。3号休刊。4号は四月十五日発行、編集人中島七郎、発行人奥元敏治、5号名義人奥元敏治。

こうして担当者がめまぐるしく変更する原因は他にもあったかも知れないが、表面に現われたのは印刷費の支払いが遅延したこと、これを肩代りして支払った神港通信社へセンターの権利は移った。印刷費の未払い分は半年月賦で完済された。しかし経済的には好転せず、人件費の払えるような状態ではなかった。

そういう中で写真コンテストを行い、第一回応募は七十点、一位石田正彦氏（賞金五千円）で三十年八月十四日、センター会館で表彰式を行った。10号印刷は一進舎。第二回写真コンクールは三十一年六月、中尾悦次郎氏が一位入選（応募九六点）その後センター写真コンテストは恒例となった。

七月から愛港社印刷所へ変更、これで印刷会社を四社歩いたこととなる。

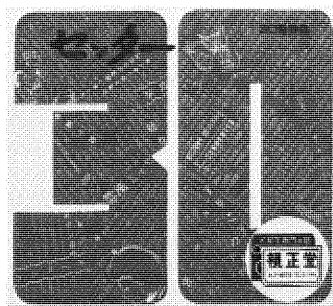
昭和三十三年正月には24号を発行、広告主は四十五店。この年は市庁舎の新築落成があつて三宮は急に活気づき、センターも30号には二十四頁の特集を編む。

三十三年36号より発行人岩槻通行。六月五日第三種郵便物認可。三種郵便物の認可に際しては田路茂夫氏の並々ならぬ熱意とご尽力に負うところが大きい。これによってセンターは読者に対して教養面や文化の面で大いに役立つ有意義な本であることを認められたもので、出版物の権威も大いに高まり、同時に郵便料金が格安となり、購読を希望する読者サイドの負担を軽くすることが出来た。

昭和三十三年68号より発行人渡辺徳治郎、編集人はんじすまこととなる。

昭和三十八年五月100号発行、そごうの好意により記念祝賀会とチャリティショウを行ない、六万三千二百四十円が集まったので、オルガン、図書などを求めて、再度山中にある精薄施設神戸学園に寄贈、この時は落語家桂小春団治師（現露乃五郎師匠）も同道して慰問をされた。このことが三宮センター街善意の会の先鞭となった。

昭和三十九年三月二十日、発行人渡辺氏が死去されたことから、後任の発行人として長沢氏、大内氏と就任を懇請したが、ご両氏共



▲30号特集(S 32.6.25発行)



▲No.83クリスマス号(S 36.12.1) 鴨居玲画伯作



に都合がつかず、行政氏の斡旋で漸く坂本正三氏が受諾、今日に至っている。

昭和四十年センターは創刊十周年を迎えた。五月七日、再びさう神戸店の好意により記念式典を開催、会場で記念事業として善意の会の発足を計って賛成を得、ボランティア活動を始めた。

昭和四十六年四月二十六日朝、尼崎印刷所へ出張校正中のデスクへ行政猛男氏の悲報がはいる。仕事をそのままにして枕許に駆けつけたが間に合わなかった。行政氏は創刊以来、センターの最もよき理解者、顧問格として常に公正な指導をされたお陰で、PR誌としての正道を歩むことが出来たと思う。その後任に山下良造氏を依頼して今日に至っている。

九月二十一日には、センター200号記念式典を、同じくさうで開催、行政氏の遺影をかがけて報告した。この時のアトラクションはさう店長室部長の浅井二郎氏の斡旋で「石見神楽」を招聘、八岐大蛇(やまたのおろち)退治を演ずる神話の舞台は、幽玄且つ雄壮にして参会者の拍手を浴びた。

昭和五十年正月、創刊満二十年を迎えたので盛大な祝賀会を五月二十七日、四度びさう

う大食堂で行った。今回も知事、市長、作家陳舜臣先生をはじめ来賓多数、三百余名が臨席、当夜は世界的バイオリンの名手、辻久子先生に特別演奏をお願いして、フロア・ショーの醍醐味を満喫して頂いた。

当夜は出席者より五百円の献金を頂き、その場で坂井知事さんに委託して善意銀行へ預託をした。

◇ ◇

月刊センターは理解ある有志と読者に支えられて十二頁のパンフレットから、現在は百二十頁(百三十二頁の堂々たる本になった。町と人をつなぐパイプの役目を果たしてきたと自負しているが、一見その歩みは遅々として、言揚げする程のものでもないではないかとご批判の言葉も聞かれなくはない。

しかし、ただひたすら編集方針は一貫して変わることがなかった。その姿勢は「商店主がお客様へ差し上げる本であること」。広告主は三宮一円に限られ、夜間営業の軟派広告は掲載しないことであった。常に新しく、フレッシュな情報を亭主の立場で考え、作り、読んで頂くことであった。

出版文化は時代に抵抗しきれない場合が多い。そして時流に乗って面白おかしくこしら

◀No.264創刊22周年(S 52.1.1)  
須田剋太画伯作



えることが、編集者は楽なのである。時にはエロもグロもボルノも流行った。そういうものを要求されたことも幾度あったけれどもセンターは、常に茶の間の本でありたい信念をつらぬいた。広告はスマートで美しく、センターを参考にして、多くの同類誌が刊行された。

どこに置かれても、いつでも清潔で、手作りの味を持った本でありたい。それを愛して下さる読者とスポンサーに支えられて二十有余年生き続けてきたのだから。

そして、これからもその姿勢は変わることあるまい。(左は昭和四十八年一月二十九日新年懇親会で・本地編集長記)

# 三宮センター街1丁目

|             |     |      |                        |
|-------------|-----|------|------------------------|
| 宮脇ビル        | 331 | 2962 | 喫茶・食堂・文化教室             |
| パスタイルスル     | 〃   | 5193 | ファッションビル               |
| ユーハイムコンフェクト | 〃   | 2421 | 喫茶・洋菓子・デザート<br>3階レストラン |
| モリタ靴店       | 〃   | 0780 | 流行を創る靴の専門店             |
| イナハラ事務機     | 331 | 2145 | タイプライター・計算機            |
| イセヤシャツ      | 391 | 4780 | Yシャツオーダー               |
| さんプラザ       | 〃   | 1187 | さんプラザ関係車務              |
| ウインザイアル     | 〃   | 5029 | ヤングファッションの店            |
| コヤマカメラ      | 331 | 0158 | カメラと8ミリ                |
| 三宮時計店       | 〃   | 3691 | 時計・宝石・記念品              |
| 神戸モリタヤ      | 331 | 5216 | メンズショップ                |
| ニュー京屋       | 331 | 0590 | 婦人服飾                   |
| カンサイ        | 〃   | 6545 |                        |
| モロゾフ        | 391 | 8717 | チヨコレートショップ             |
| さんシカゴ       | 〃   | 0479 | 高級紳士靴の店                |
| みどりや玩具      | 〃   | 1579 | おもちゃ・人形                |
| マルナカ        | 〃   | 2852 | メンズショップ                |
| 東京屋         | 〃   | 1209 | 世界の服地とプレタポル            |
| フタバ花園       | 〃   | 4187 | お花の店                   |

センター街・さんプラザ⇄さんちか連絡地下道

|           |     |      |               |
|-----------|-----|------|---------------|
| 住友銀行      | 391 | 6961 | 証券投資相談        |
| 野村証券      | 〃   | 2201 | 印章・ゴム印        |
| 村越印房      | 331 | 3592 | 各種バッグ袋物       |
| キノシタ      | 〃   | 5770 | 宝石・時計         |
| スズヤ宝飾店    | 〃   | 0520 | 額縁・絵画・画材・画廊   |
| 錦商会       | 〃   | 1721 | ご婚礼貸衣裳全般      |
| 中川衣裳店     | 〃   | 5333 | メンズショップ       |
| まるみや洋服    | 〃   | 5310 | 古書・専門書売買      |
| 後藤書店      | 〃   | 3362 | 音と光と暮しのデパート   |
| 星電社       | 391 | 8171 | 世界の民芸・アクセサリ   |
| 神戸センター    | 321 | 0161 | 新刊書籍(地下)      |
| 流泉書房      | 331 | 7390 | おしゃれショッピング広場  |
| ニチイ       | 391 | 6631 | コーヒー&スナック(地下) |
| カスカード     | 331 | 9739 | 運動具一般         |
| オーシャンスポーツ | 〃   | 7683 | 古銭と万年筆        |
| モリシタ      | 〃   | 7533 | 靴一般・アクセサリ     |
| 銀座ワシントン   | 332 | 1301 | 時計・貴金属        |
| 貴美屋時計店    | 331 | 3580 | 靴下専門店         |
| スワン       | 〃   | 7211 | 化粧品・婦人雑貨      |
| くしや       | 〃   | 3595 | メガネ専門店        |
| 規正堂       | 〃   | 7060 | 鰻・寿司・軽食       |
| 万平        | 〃   | 1370 | 手芸材料・毛糸       |
| ドナ手芸品店    | 〃   | 1573 | ガラスと陶器の創作     |
| フタバ       | 〃   | 4437 | 古書籍売買         |
| あかつき書房    | 〃   | 0879 | 陶磁器           |
| 内田陶器店     | 〃   | 0092 |               |

# 三宮センター街1丁目

振興組合事務所 331-3548

生田

京町

|          |     |      |            |
|----------|-----|------|------------|
| ナガサワ文具   | 321 | 3333 | 文房具・事務用品   |
| カクシン     | 〃   | 1530 | 舶来洋品雑貨     |
| イワタヤ     | 321 | 2408 | 高級帽子       |
| エスペランサ   | 332 | 2866 | 高級オシヤレ婦人靴  |
| カメヤ玩具店   | 331 | 4969 | おもちゃの店     |
| 本多屋      | 321 | 1640 | 特選ぎもの      |
| ミヤムラ     | 331 | 3217 | 特選婦人服地     |
| ラモス      | 391 | 3389 | 舶来靴とハンドバッグ |
| レディースコール | 331 | 2012 | 婦人洋品       |
| ベール      | 〃   | 0021 | ケーキサルーン    |
| 阪本薬院     | 〃   | 4871 | 漢方薬        |
| J&Rハラダ   | 〃   | 8667 | ブティック      |
| ベニヤ(エルベ) | 332 | 2829 | 婦人服飾       |
| ミキヤ      | 321 | 3651 | 楽器、楽譜      |
| カジワラ     | 331 | 0639 | 婦人服飾       |
| キャロル     | 〃   | 0371 | 婦人服飾       |
| フヂヤ      | 〃   | 6860 | 舶来雑貨       |
| サンセンター   | 〃   | 0497 | 婦人・紳士靴     |
| 大和屋シャツ   | 〃   | 6956 | Yシャツ       |
| バンビ      | 〃   | 0115 | ベビー用品・子供服  |

筋

筋

|         |     |      |              |
|---------|-----|------|--------------|
| 京町デイト   | 331 | 4598 | ファッションハウス    |
| トビック靴店  | 〃   | 7937 | おしゃれ婦人靴専門    |
| 一丁目事務所  | 〃   | 3548 |              |
| 虎や      | 〃   | 2770 | 婦人服飾         |
| 六本木ガロ   | 321 | 4051 | トータルファッションズ  |
| コマツ     | 331 | 1159 | おしゃれ婦人服飾     |
| エフ・モード  | 391 | 4041 | 婦人服飾         |
| みちぐさ    | 331 | 2405 | おしゃれハンドバッグの店 |
| マック     | 391 | 0895 | 若人の服飾        |
| G線      | 331 | 0329 | 喫茶・洋菓子       |
| 山下履物店   | 391 | 0256 | 高級お履物        |
| 翠芳園     | 〃   | 3901 | 銘茶・茶道具       |
| 池田靴店    | 331 | 2558 | 高級婦人靴        |
| 丸松呉服店   | 〃   | 5290 | 京呉服・帯        |
| ミカサ     | 〃   | 5828 | 洋傘・コート・スカーフ  |
| 大西呉服店   | 〃   | 1931 | 京呉服・帯        |
| メンズ佐伯   | 〃   | 0231 | 紳士洋品         |
| プチ若草    | 391 | 0515 | ブティック        |
| ダイエー    | 391 | 8161 |              |
| 淳久堂書店   | 392 | 1001 | 書籍(地下1階)     |
| レディース渡辺 | 331 | 1650 | ブティック        |
| 古川軒     | 〃   | 2813 | 陶芸           |
| ベニヤ     | 332 | 2135 | 婦人服飾・洋品      |
| ポニー     | 331 | 0798 | ベビー用品と子供服    |
| 神戸信用金庫  | 331 | 3326 | 三宮支店         |
| マルサン    | 391 | 2673 | 洋品雑貨         |
| ヤマトショップ | 321 | 2455 | 婦人下着の店       |
| 五十      | 331 | 6282 | ハンドバッグの店     |
| 住装      | 391 | 2376 | 室内装飾         |
| 富士靴店    | 332 | 1042 | カバン          |

井

# 三宮センター街2丁目

振興組合事務所 331-3091

生田

|         |     |      |                     |
|---------|-----|------|---------------------|
| カツウラ    | 331 | 0716 | 婦人の服飾               |
| ヒラタ     | 〃   | 6436 | 靴下の店                |
| ヒシマン    | 〃   | 1333 | 特選洋品の店              |
| ユキマサ    | 〃   | 7615 | 洋品雑貨・趣味の店           |
| マルダイ    | 〃   | 0064 | 釦・洋裁材料・裏地           |
| 大学堂     | 332 | 1336 | メガネ専門店              |
| 丸太屋     | 331 | 5332 | 工芸呉服                |
| モード・フジタ | 〃   | 6494 | 婦人服飾                |
| 東京ますいわや | 332 | 3881 | 呉服                  |
| エビス宝飾店  | 331 | 7255 | 貴金属・宝石              |
| アオイ     | 391 | 3985 | ブティック               |
| 三幸薬局    | 331 | 3840 | くすりと化粧品             |
| 三松      | 332 | 6864 | きもの                 |
| 藤田たばこ店  | 391 | 2623 | タバコ                 |
| アカシヤ本店  | 331 | 2234 | 婦人服飾                |
| しまたに    | 〃   | 0350 | ワコール下着の店            |
| リリアン    | 〃   | 3251 | 特選紳士婦人洋品            |
| パリーモード  | 321 | 0858 | 婦人服                 |
| サブリナ    | 331 | 3496 | 婦人靴専門店              |
| 三和      | 〃   | 7339 | ハンドバッグ専門店           |
| ちんがら屋   | 332 | 5298 | きもの工芸               |
| マスヤ     | 331 | 2444 | 婦人服                 |
| ミツチャン   | 321 | 1010 | 舶来雑貨・食料品            |
| ムサシ     | 321 | 0634 | トンカツ専門店             |
| ローレル    | 321 | 2375 | 民芸品・舶来雑貨            |
| モトヤ     | 331 | 6536 | シューズ専門<br>(サントア1階)  |
| マミーナ    | 321 | 2361 | 洋装店<br>(サントア2・3・4階) |
| ファミリア   | 391 | 5555 | ベビー用品<br>(サントア1階)   |

筋

|         |     |      |              |
|---------|-----|------|--------------|
| 玉垣時計店   | 331 | 6663 | 時計・宝石・貴金属    |
| ハリウッド東店 | 〃   | 7900 | 高級婦人紳士靴      |
| e & b   | 391 | 3652 | 皮革服飾・毛皮      |
| おそめや    | 321 | 1611 | 特選小もの・半あり    |
| 山口洋服店   | 331 | 2914 | 舶来高級服地・仕立    |
| フェンツ生地  | 321 | 3615 | 服地の店         |
| 丸福履物店   | 〃   | 4358 | 趣味のお履物       |
| マルナカ    | 〃   | 0739 | メンズショップ      |
| シンワ     | 〃   | 3098 | 舶来婦人服地・お仕立   |
| カンダヤ    | 〃   | 0408 | 特選婦人靴専門店     |
| マミ      | 〃   | 6304 | 婦人服飾・ブラウス    |
| 寿春      | 〃   | 4478 | ランジェリーハウス    |
| ナポレオン   | 〃   | 6587 | JUNメンズショップ   |
| ちんがら屋   | 〃   | 0629 | 服飾細貨         |
| ヤマトショップ | 391 | 2751 | 婦人下着         |
| セリザワ    | 〃   | 4624 | 婦人服飾の店       |
| 喜久屋化粧品  | 331 | 6433 | 化粧品・婦人雑貨の専門  |
| ふみや呉服店  | 〃   | 1837 | 高級呉服の店       |
| アイリス    | 〃   | 5472 | 高級婦人服地とお仕立   |
| 田路時計店   | 〃   | 3434 | 時計と宝石・喫煙具    |
| にしむら    | 391 | 0669 | 宮水の珈琲        |
| 上田      | 331 | 7135 | 服飾計画センタービル   |
| コマツヤ    | 〃   | 1833 | 高級婦人服地・仕立    |
| ニューホープ  | 〃   | 7625 | 特選紳士洋品       |
| ハリウッド西店 | 〃   | 7760 | 高級婦人・紳士靴     |
| 美和光芸社   | 〃   | 5397 | カメラとアクセサリ    |
| ノリタケ    | 〃   | 5136 | 洋食器・厨房器具     |
| ツカサ     | 〃   | 5183 | おしゃれハンドバッグ・靴 |
| 11・ワンワン | 〃   | 0828 | 舶来商品専門店      |
| 美登里屋    | 〃   | 3632 | 高級ハンドバッグ     |
| ヒカリ     | 〃   | 4676 | セーターとブラウス    |
| 毛利マーク   | 〃   | 0874 | バッグ・旗・カップ    |
| 絹屋      | 321 | 6103 | 婦人下着の店       |
| ドンク     | 391 | 5481 | フランス菓子・喫茶    |

# 三宮センター街3丁目

＜センター三三街事務所＞ 391-5338

鯉

川

|      |      |      |              |      |          |       |         |        |        |      |       |      |      |      |      |          |           |         |      |           |      |         |      |           |      |       |         |        |         |      |
|------|------|------|--------------|------|----------|-------|---------|--------|--------|------|-------|------|------|------|------|----------|-----------|---------|------|-----------|------|---------|------|-----------|------|-------|---------|--------|---------|------|
| 喜久美  | 里町   | 小ブト屋 | カブト菱         | 花菱   | 花菱       | バンドール | サラリーマン  | 時雨庵    | モード美容室 | 鼓    | も     | き    | たち   | さ    | 清    | 扉        | ふ         | 赤       | 山田   | 三         | ア    | 福       | 町    | K         | 葡    | ス     | 北       | 道      | バ       | 一    |
| 331  | 391  | 331  | 391          | 331  | 331      | 321   | 391     | 331    | 331    | 391  | 331   | 331  | 331  | 331  | 331  | 331      | 331       | 391     | 331  | 331       | 331  | 391     | 331  | 331       | 331  | 331   | 331     | 331    | 331     | 331  |
| 5495 | 4619 | 3294 | 8709         | 0915 | 5127     | 2216  | 2688    | 0122   | 4852   | 0323 | 0390  | 7644 | 0572 | 6592 | 4815 | 2304     | 3419      | 2154    | 0360 | 0107      | 3588 | 0788    | 5338 | 8711      | 9006 | 9577  | 5232    | 5271   | 5756    | 0017 |
| 焼鳥   | たこ焼  | お好み焼 | 趣味の草履・ハンドバック | お好み焼 | お好み焼(別館) | 婦人服飾  | コーヒショップ | 洋酒スタンド | すし・そば  | 美容院  | 串かつの店 | スタンド | スタンド | おでん  | 麻雀荘  | スナックスタンド | スタンド(扉2階) | 洋食、すきやき | 串かつ  | 麻雀倶楽部(2階) | 婦人服飾 | 麻雀荘(2階) | (3階) | 英会話教室(4階) | 喫茶館  | ビザハウス | 麻雀荘(2階) | 劇団(5階) | 各種舶来民芸品 | 中華料理 |

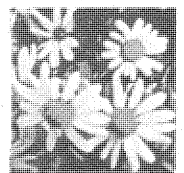
筋

|        |     |      |                |
|--------|-----|------|----------------|
| 芸夢     | 331 | 5393 | コスチューム・アクセサリーズ |
| 千代美容室  | 〃   | 7697 | パーマ(2階)        |
| 柳      | 〃   | 4067 | 麻雀クラブ(3階)      |
| 絹屋化粧品店 | 〃   | 5778 | 化粧品とアクセサリ      |
| サンコー   | 321 | 2584 | 中国直輸入繡衣        |
| スター    | 331 | 5629 | お好み焼           |
| カスカード  | 391 | 8530 | 喫茶と(階上) グリル    |

|       |     |      |               |
|-------|-----|------|---------------|
| 浜西内科  | 331 | 6067 | 内科・小児科・レントゲン科 |
| きくや   | 〃   | 7688 | 質屋(浜西内科ロジ入る)  |
| 扉     | 〃   | 5295 | 麻雀サロン(山根ビル3階) |
| なかむら  | 〃   | 8613 | お好み焼(〃 2階)    |
| なかむら  | 〃   | 8613 | お好み焼(〃 1階)    |
| しゃねる  | 391 | 1938 | スタンド          |
| 春陽軒   | 331 | 6327 | 中華料理          |
| 早水ブリキ | 321 | 1830 | 飯金            |
| 光蘭    | 331 | 7380 | 中華料理          |

|         |     |      |              |
|---------|-----|------|--------------|
| とん馬     | 391 | 2985 | お好み焼・そば焼     |
| 住吉      | 〃   | 3818 | 小料理          |
| 蘭々荘     | 〃   | 2201 | 麻雀荘          |
| サリナ     | 〃   | 3747 | 世界の民芸品       |
| インディアン  | 〃   | 2047 | 趣味の模型・モデルの店  |
| 富貴      | 〃   | 2927 | おそばどころ・柳そば   |
| 林商事     | 331 | 8861 | 「角丸2階」取引所仲買人 |
| 角丸印刷    | 321 | 2377 | 文具と印刷        |
| ヒライメガネ  | 391 | 1937 | 眼鏡専門店        |
| 万平荘     | 321 | 1230 | 麻雀クラブ(ヒライ3階) |
| マルトシ    | 391 | 1684 | おしゃれ服地       |
| おぐら     | 331 | 3884 | スッポン料理・スナック  |
| 安西釣具    | 391 | 1685 | 釣具専門店        |
| グリルコーナー | 331 | 6172 | 洋食           |
| 一力      | 391 | 2322 | 天ぷら・うどん・そば   |
| 市川商店    | 332 | 1133 | ボタン・裏地・服飾材料  |

# 三宮センター街善意の会の奉仕



## ・三宮センター街善意の会設立の趣旨

会員の善意をもちより、恵まれない人達に奉仕し、明るい社会づくりに寄与することを目的としている。

## ・善意の会の設立 昭和四十年六月一日

・事務所 三宮町一丁目四三「月刊センター」編集室内におく。

・奉仕の対象①精神薄弱児(者) 身体障害児(者)の収容施設、養護施設等へ施設が希望される設備や備品等を寄贈し、施設を訪問して慰問激励する。

②善意銀行に預託する。その他。

〈三宮センター街善意の会収支表〉

| 期   | 期 間          | 収 入 金      | 奉 仕 金      | 経 費     |
|-----|--------------|------------|------------|---------|
| 1   | 40. 6 ～41. 5 | 918,474    | 863,395    | 55,079  |
| 2   | 41. 6 ～42. 5 | 852,151    | 780,182    | 71,969  |
| 3   | 42. 6 ～43. 5 | 960,523    | 871,449    | 89,074  |
| 4   | 43. 6 ～44. 5 | 1,227,838  | 1,151,797  | 76,041  |
| 5   | 44. 6 ～45. 5 | 1,085,707  | 998,446    | 87,261  |
| 6   | 45. 6 ～46. 5 | 1,258,498  | 1,164,863  | 93,635  |
| 7   | 46. 6 ～47. 5 | 1,542,986  | 1,449,277  | 93,709  |
| 8   | 47. 6 ～48. 5 | 1,475,806  | 1,373,111  | 102,695 |
| 9   | 48. 6 ～49. 5 | 1,690,813  | 1,586,528  | 104,285 |
| 10  | 49. 6 ～50. 5 | 1,585,773  | 1,479,018  | 106,755 |
| 合 計 |              | 12,598,569 | 11,718,066 | 880,503 |

## ・会費 毎月金五百円也と定める。

・会員 センター街の店主とその家族及び従業員、の会費納入者を正会員とし、以外の賛助協力者を特別賛助会員とする。

・会費の使途 収入金額の九〇%を奉仕活動基金に当て一〇%を運営事務費とする。

但し運営費の年度末剰余金は基金に戻す

・理事定数 十九名、会長は三宮センター街連合会長に、副会長は一、二丁目会長に委嘱する(この件は昭和四十四年四月、三丁目が連合会加盟にともない理事定数を二十四名に会則変更した)

センター編集室が常任理事として会則及び理事会の議決に基き会計、記録その他全般運営事務を担当する。

・事業年度 一年とし毎年六月一日より始まり翌年五月三十一日終了する。活動状況は月刊センター誌上に掲載し公告する。

善意の会が発足したきっかけは「月刊センター」が創刊十周年を迎え、祝賀会を開催するに当り、記念事業としてボランティア活動を継続して行いたい旨を、当時センター誌の顧問格として指導頂いた行政氏に本地がご相談申し上げたところ、時あたかも社会福祉への目が向き始め、マスコミも善意番組が組まれる風潮にあった時代だったので、行政氏も賛同して下さり、早速長沢連合会長にも相談協議して、善意の会と名付けることになった。

◇ ◇ ◇

▼坂井知事・和子夫人もチャリティセールにお出で下さる。夫人はこの日浴衣をお買上げ。



◀第1回老人展へ寄付金。  
現金の後援をするようになったのは善意の人選ばれて3万円を贈られ、その金を寄付してから恒例となった。(S42.9.6)



▶神愛子供ホームヘステレオを奉仕。(フローレンス・バイヤス園長さん、S.48.8.16第99回)



## 三宮センター街善意の会

三宮センター街善意の会奉仕

|                 |         |                     |         |
|-----------------|---------|---------------------|---------|
| 50. 6. 9 県善意銀行  | 372,590 | 51. 11. 30 市福祉協会    | 300,000 |
| 9. 30 市老人展      | 50,000  | 52. 3. 28 家庭養護促進協会  | 100,000 |
| 11. 4 尼子病院      | 50,000  | 6. 11 県献金           | 315,690 |
| 12. 1 歳末愛の鍋（県）  | 100,000 | 9. 20 市老人展          | 70,000  |
| 16 生田区福祉協議会     | 100,000 | 11. 30 歳末愛の鍋（県）     | 100,000 |
| 51. 3. 5 神戸学園   | 300,000 | 12. 23 誕生日ありがとう運動本部 | 50,000  |
| 6. 1 県善意銀行      | 130,000 | 53. 1. 17 市消防育英会    | 100,000 |
| 6. 3 県献金        | 326,579 | 20 神戸市さどんか療護園       | 100,000 |
| 9. 17 市老人展      | 70,000  | 2. 28 県肢体不自由児協会     | 200,000 |
| 10. 30 県水害義捐金   | 500,000 | 3. 24 信愛学園          | 200,000 |
| 11. 30 歳末愛の鍋（県） | 100,000 | 28 生田区福祉協議会         | 100,000 |

決して負担を感じさせてはならない。しかしコーヒークラーク杯を始末してもらえば会費がもらえるとして、昭和四十年五月七日、そごうに於けるセンターの記念式典の席上で提案したところ、来賓始め満場拍手の賛意を受けて決定、六月一日が兵庫県善意の日に当たるのでこの趣旨にこたえて「三宮センター街善意の会」を発足させた。

会員数は第一回一三六〇（会員一八、従



▲善意の会育ての親、行政猛男氏

会費五百円というのも行政の提案で、人に善意をほどこすのに、

▼第一回奉仕は子供の家へ



▼おかば学園に喚声が上がった（S40.7.5第2回）

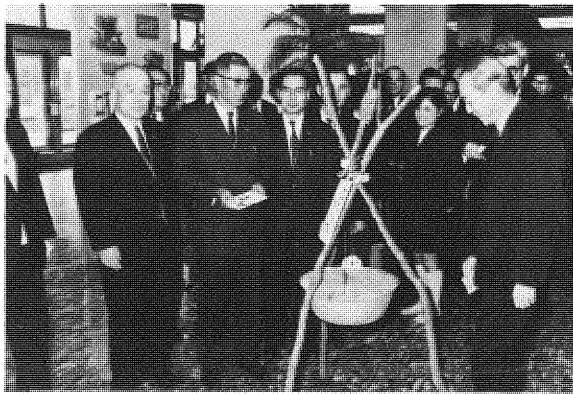


業員三、賛助会員五）で、会費の徴収は町会事務員が担当された。集金手数料三%。  
・善意の会第一回の奉仕は六月二十二日、当時助役であった宮崎氏と相談して須磨離宮にある市立子供の家（八十名収容）へ「夏に冷たい水を飲ましてやりたいから」との要望で「ウォータークーラー」一台、星電社の特別割引料金で四三、二〇〇円で奉仕、当時としてはぜいたくな備品のように思われた。  
以来、長沢会長、行政氏を中心に、理事、会員有志は施設を慰問、往復の乗用車の奉仕また星電社、流泉書房、みどりや玩具、長沢文具、ミキヤ、ドンク、上田金物店、そごう山田自転車などは格安料金で商品を入り入れなど善意の協力を得て、初年度は八六三、三九五円の奉仕となり、マスコミも広く報道し善行を賛えたので街のイメージアップになった。  
昭和四十一年八月三日「のじぎく賞」がおりられ、四十二年六月一日「兵庫県善意の人」、四十九年六月二十五日神戸市「花時計賞」、四十年九月七日市社協感謝、その他多くの表

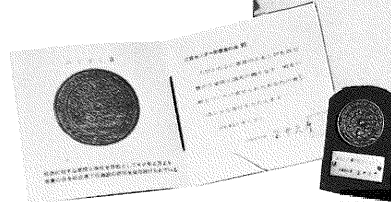
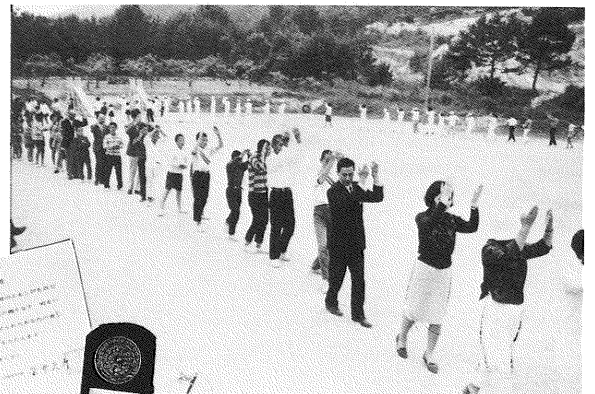
▼真生塾へおひな様を（S47.3.7第82回）



彰状、感謝状を受けている。  
こうして十年間、会則にのっとり絶え間なく奉仕活動が続け、毎年六月一日のチャリティセール売上金や会員或は有志の慶弔金の献金も併せて、総額一千一百七十一万八千六十六円の奉仕額となった（右上表）  
第十期の会計監査を終えて、月刊センター編集室に置いていた事務局を岸野会長へ返上し今日に至っている。



▶県立赤穂精華園ヘリズム  
楽器を（S 41.5.22第12回）  
◀歳末たすけ合い愛のナベ  
献金（S 43.12.2 第55回）



▲チャリティオークションには上方漫才  
の売れっ子、青芝キック、フックさんも  
大奉仕（野村証券前で）

昭和四十一年八月三日  
「兵庫県のじぎく賞」を受賞  
「社会に対する愛情と奉仕を目的と  
して四十年六月より善意の会を結成  
県下各施設の慰問を毎月続けられて  
いる。  
人びとの心に善意のともしびを点  
じ豊かな愛情と誠実の織りなす明る  
い郷土づくりに寄せられたあなたの  
美しく清らかな善意をたたえます」と  
賞状に記されている。



▲真生塾へ鯉のぼりを（S 43.3.29）



◀縦の木学園へベッドを寄付。ちえおくれの子た  
ちが作った大根のプレゼントはとても嬉しかった  
（S 44.11.19）  
✓のじぎく整肢学園には、わざわざ脚踏みのオル  
ガンをミキヤさんが探して届けて下さった。  
▼3丁目がセンター街に加盟した記念チャリティ  
の売上金で奉仕（S 44.4）



## 三宮センター街草創期の 苦勞を話し合う長老たち



△右から▽

山下編集主任

東中清一氏

北森愛紹氏

大石雄三氏

長沢堅次氏

上田数平氏

西岡精一郎氏

(昭和五十二年  
九月十九日

二丁目事務所で)

### 資料を提供して下さった方々並びにご助言を賜った方々

荒尾親成氏 加藤隆久氏 山田芳信氏 川西 英氏 川西祐三郎氏 山内鶴雄氏

上田数平氏 大石雄三氏 川飛満祐氏 そごう神戸店殿 月刊センター編集室殿

北森愛紹氏 坂本正三氏 作田森義氏

### 出典

柴本 実氏 田路茂夫氏 田所新三氏 神戸のあゆみ／市制七〇周年

東中清一氏 長沢堅次氏 西岡精一郎氏 神戸古今の姿 昭和四年刊

早水敬治氏 原田幹夫氏 矢野 正氏 月刊センター No.1～No.280

### 編集を終えて

(本地スマ子)

センター街の三十年史を作ることになったが、私には少々重荷に感じられた。というのは発会当時から三十年までの記録がないので、その期間をどのように書きおこしたらよいか、見当が付きにくかったからである。

空襲で焼かれて、凡てが無であった町角の瓦礫を、一つ一つ手で片付けながら、柱一本トタン一枚探し回って、やっとバラックが建つ。情景や物語りとしては鮮明に脳裏に描くことが出来るし「センター」にも幾度か紹介したけれども、それは年史ではない。

幸い町作りに心血を注がれた先駆者たちがご健在なのでこの方々に尋ねて回り、ここにお集りの皆さん方にもお話を伺い、特に田路茂夫氏がメモして下さったものを参考にさせて頂いて、創立から確立の時代を書き上げた。

しかし三十年間の変遷は余りにも激しく、最初に立った木柱街路燈一本の値段は七十円か七百元か、どちらとも結論が出なかつたりすることもある。経費その他数字に関しては明確な記載が出来なかつた。

三十年以後についても執筆期間が短かつたので、推敲の余裕がなく、書きながしのまま印刷に回す状態で、文面割付、その他粗雑に流れ、見苦しい点が多いと思いますが、ご忌憚なきご高評を賜りますようお願い申し上げます。

### 制作・編集 月刊センター編集室

### スタッフ

田坂修一 田中徳喜

納 健 永井文明

河田博敏 本地真穂 安原妙子

製版 株式会社神戸印刷センター

三和写真製版株式会社

お礼にかえて

## 三宮センター街三十年史

編集委员会主任 山下良造

菊蕉る文化の佳節に「三宮センター街三十年史」をお届け出来ることをこの上なき喜びと感じております。

思えば三十有余年の昔、焼野原の三宮の一角に息吹きはじめた小さい商店街が、全国有数の有名商店街となり、更に十年余りをかけて近代的な商店街が完成いたしましたことは

誠に同慶の至りであります。これを機会にセンター街三十年間の記録をまとめ「三宮センター街三十年史」を刊行いたしました。

各丁から選ばれた委員は幾度か編集会議を重ねましたが、何しろ不慣れの上に資料不足で、特に初期十年間は記録も皆無に等しく、先輩諸賢の記憶に負うところが非常に大きいのであります。

三十年に月刊センターが創刊されて以後は町内の行事も記録されておりますので、全面的にこれを流用させてもらうことになり、連合会、町内会、婦人会、同好会等の行事を生順に記述し、出来るだけ多くの会員従業員

も紹介したいと心がけました。不備不足の点多々あると思いますがご寛恕の程お願い申し上げます。

年史刊行に際し祝辞をお寄せ下さいました坂井知事、宮崎市長、陳先生、その他ご協力賜りました皆様へ厚く御礼申し上げます。

特に、全面的に資料を提供して下さいました月刊センター編集室と、編集の任に当られた本地スマ子氏に深甚の謝意を表します。

昭和五十三年十月十日



### ◆三十年史編集委員

・主任 山下良造

岸野利男 山田六郎  
川飛満祐 宮本正三  
山内鶴雄 原田幹夫  
上田数平 田路茂夫  
毛利保一 安藤照一  
寛 信雄 北森愛紹  
馬場敏之 妻鹿 満

## 三宮センター街三十年史

発行日 昭和五十三年十一月一日

発行人 三宮センター街連合会

〒650 神戸市生田区三宮町一丁目十七番地

三宮センター街一丁目事務所内

〒神戸(078) 331・3548番

編集人

本地スマ子

印刷

大和出版印刷株式会社

製本

株式会社サンエー

# 異人館MAP



P.B. ... ポスト  
 GS ... ガソリン  
 ... スタンド  
 ... バスストップ  
 ... 主な 異人館

三宮駅 阪急 至 大阪  
 阪神 至 大阪 国鉄

